

2005 (平成 17) 年度

講義内容

国文科 英文科 放射線科
専攻科 (放射線技術科学専攻)
仏教科

講 義 內 容

目 次

国文科・英文科・放射線科

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	11
2	教 養 教 育 科 目	25
3	外 国 語 科 目	93
4	保 健 体 育 科 目	139
II	專 門 教 育 科 目	
1	国 文 科	175
2	英 文 科	245
3	放 射 線 科	311
III	他 学 部 履 修 科 目	321
IV	「日本語」・「日本事情」科目	383
	專 攻 科 (放射線技術科学專攻)	403

仏 教 科 (夜 間 開 講)

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	419
2	教 養 教 育 科 目	425
3	外 国 語 科 目	451
4	保 健 体 育 科 目	463
II	專 門 教 育 科 目	473
III	他 学 部 履 修 科 目	493
IV	仏 教 学 部 開 設 科 目	515

国文科・英文科・放射線科	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	専門教育科目	国文科
		英文科
		放射線科
	履修科目	他学部
		「日本語」 「日本事情」
	専攻科	放射線技術科学専攻
仏教科 (夜間開講)	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	専門教育	
他学部履修	仏教学部開設	

国文科・英文科・放射線科

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間 (短国)	〈奥野光賢〉	11
仏教と人間 (短国)	〈木村誠司〉	12
仏教と人間 (短英)	〈石井公成〉	12
仏教と人間 (短英)	〈袴谷憲昭〉	12
仏教と人間 [再クラス]	〈晴山俊英〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈福田孝雄〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈村松哲文〉	14
仏教と人間 [再クラス]	〈吉津宜英〉	15
文化と宗教 (短国・短英)	〈長谷部八朗〉	15
社会と宗教 (短国・短英)	〈池上良正〉	16
自然と宗教 (短国・短英)	〈小川順敬〉	16
坐 禅 (短国・短英)	〈佐藤秀孝・熊本英人〉	17

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	おくの 奥野 みつよし 光賢	短国1必	4

講義のねらい

本学（駒澤大学・駒澤短期大学）は、仏教の教義、中でも曹洞宗の教えを建学の理念とする私立大学である。したがって、この講座が開講されている意義をまずしっかりと認識してもらいたい。講義は、仏教の基本的教義と歴史の解説を中心とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、下記に指定する教科書によって進める。教科書に入る前に、宗教学上における仏教の位置など基本的事項について概説する。

（前期）

- （1～2）信教の自由について
- （3～4）宗教の分類
- （5～6）さまざまな宗教
- （7～9）仏教の誕生一釈尊の伝記
- （10～12）釈尊の説いた道一四諦・八正道
- （13）前期のまとめ

（後期）

- （14～15）戒・定・慧と律
- （16～17）仏教の流れ一原始仏教・部派仏教・大乘仏教
- （18～19）小乗仏教と大乘仏教
- （20～21）大乘仏教の教え一六波羅蜜
- （22～23）四摂法・四無量心について
- （24～25）曹洞宗の歴史と教えについて
- （26）後期のまとめ

履修上の留意点

受講者の人数の関係上、授業は講義形式で進める。但し、一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。授業においてくわしく触れることになるが、この授業はけっして宗教として「仏教」の信仰を勧める授業ではない。その点くれぐれも誤解のないようにして欲しい。なお、授業中の私語、携帯電話の受信等は厳禁とする。指示を守れない人は退出させるので、あらかじめ留意して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。試験は教科書・参考書等の持ち込みを不可とする。なお、年間出席数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）定価1,400円（税別）を教科書とする。その他、プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

受講者の人数の関係上、授業は講義方式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	木村誠司	短国1必	4

講義のねらい

「仏教とは何か」について様々な角度から考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、インド・中国・日本の仏教教理史を概観し、重要な教理については、詳しく考察する。そこで得た知識を生かし、種々の仏典に直に触れ、仏教への理解を深める。後期は、日本仏教から一冊を選び、講読する。

成績評価の方法

試験あるいはレポートによって行う。

教科書

本年度は、富永伸基の『出定後語』を予定しているが、希望があれば協議の上、他のテキストに変更することもある。必要な文献は、適宜コピーして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	石井公成	短英1必	4

講義のねらい

釈尊に始まる仏教の基本的な立場、インド・中国・朝鮮・日本などの仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について十分な理解を得、宗教に関する様々な問題について自分で調べ、また考えることができるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

原始仏教の基本的な立場を明らかにしたうえで、仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について講義する。その際は、受容と変容の過程に注意し、仏教以外の宗教との違いやまた呪術的な習俗とのかかわりなどにも注意する。

履修上の留意点

一人一人に頻繁に質問を行うほか、問題によっては討論を行うこともあるため、進んで取り組む態度が必要である。

成績評価の方法

数回、小試験をおこない、その点数によって評価するが、授業中、質問その他で積極的に授業に参加していた者については、そうした面も考慮する。

教科書

使用しない。コピーを配布する。

参考書等

平川彰著『インド・中国・日本 仏教通史』（春秋社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	袴谷憲昭	短英1必	4

講義のねらい

下記の教科書により、仏教と人間の問題について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 自己と他者、(2) 信仰と言葉、(3) 北西インド、(4) マガダの地、(5) 北伝の地域、(6) 南伝の地域、(7) インドの古代、(8) 開祖の伝記、(9) 三蔵の成立、(10) 発展の時代、(11) 宗教の定義、(12) 業と輪廻と、(13) 解脱と成仏、(14) 苦行と布施、(15) 無我と五蘊、(16) 縁起の思想、(17) 四諦の教義、(18) 有為と無為、(19) 一音演説法、(20) 小乗と大乘、(21) 空性と唯識、(22) 顕教と密教

履修上の留意点

授業では必要に応じて資料を配布するが、資料の再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験によって評価する。

教科書

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	はれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	短国・短英2年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

積尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	ふく だ たか お 福 田 孝 雄	短国・短英2年	4

講義のねらい

無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

宗教学的の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教々団、經典の組織などについて学んでいくことにする。

成績評価の方法

出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。

参 考 書 等

講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 [再クラス]	むら まつ てつ かみ 村 松 哲 文	短国・短英2年	4

講義のねらい

東洋世界で生きている我々にとって、仏教は身近な宗教のほうである。ところが案外と知らないことが多いのではなかろうか。いうまでもなく駒澤大学は、仏教精神により建てられた大学である。本学に在籍していることも何かの縁であり、これを機会に仏教を知り、深遠な仏教世界を理解してもらいたい。本講義では、釈尊の生涯、仏教の伝播などについて考察し、宗教の存在意義や宗教と人間との関わりについて考えを深めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

[前期] 釈尊の生涯 (1～3)、釈尊の教え (4～8)、経典の内容 (9～12)、仏教的世界観 (13～14)、大乘仏教と小乗仏教 (15・16)
[後期] 中国の仏教受容 (17)、中国仏教の展開 (18)、日本の仏教受容 (19)、日本仏教の展開 (20)、仏教と仏画で見る仏教 (21～30)

履修上の留意点

仏教が日常の社会・生活に如何に関わっているのか考えながら講義に臨むこと。

成績評価の方法

定期試験、レポート、授業態度、出席率などを総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	吉津 宜英	短国・短英2年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

その他

私の講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。あまり日立つ場合には退場を要請しますので、あらかじめご承知おき下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	長谷部 八朗	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

開講後に決定する。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	池上良正 <small>いけがみ よし まさ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然と宗教	小川順敬 <small>おがわ とし ゆき</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。
この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験（もしくはレポート試験）により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
坐 (前期)(後期) 禅	佐藤 秀孝・熊本 英人 <small>さとう しゅうこう くまもと えいじん</small>	短国・短英選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

教養教育

2. 教養教育科目

(1) 人文分野 (短国・短英)

文学	[外国文学「中国文学」]	〈清水浩子〉	25
歴史学	[古代オリエント史]	〈大城道則〉	25
芸術学(1)	[日本美術]	〈北野良枝〉	26
芸術学(2)	[西洋美術]	〈矢野陽子〉	26
芸術学(3)	[音楽]	〈赤羽由規子〉	27
哲学	[近代の人間観と世界観]	〈麻生享志〉	27
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈山口祐弘〉	28
論理学	[知の技法]	〈箭野浩司〉	28
論理学	[知の技法]	〈伊古田理〉	29
科学史	[科学と技術]	〈長岡亮介〉	29
倫理学(1)	[人間観]	〈古田知章〉	30
倫理学(2)	[応用倫理学]	〈黒崎剛〉	31
倫理学(3)	[価値観]	〈滝沢正之〉	31
倫理学(4)(7)	[応用倫理学]	〈箭野浩司〉	32
倫理学(5)	[制度とモラル]	〈滝口清栄〉	32
倫理学(6)	[東洋倫理]	〈水口拓寿〉	33
宗教学(1)	[比較宗教文化]	〈池上良正〉	33
宗教学(2)	[聖と俗]	〈田中かの子〉	34
宗教学(3)	[世界観と儀礼]	〈小川順敬〉	35
宗教学(4)	[日本人の宗教]	〈洗建〉	35
宗教学(5)	[聖と俗]	〈菅原壽清〉	36
宗教学(6)	[民俗宗教の諸相]	〈佐藤憲昭〉	36
人文地理学(1)	[風土と文化]	〈竹林和彦〉	37
人文地理学(2)	[風土と文化]	〈高橋健太郎〉	37
人文地理学(3)	[空間と行動]	〈山口太郎〉	38
人文地理学(4)	[空間と行動]	〈伊藤修一〉	39
教育	の思想	〈豊田千代子〉	40
教育	の思想	〈北村三子〉	40
教育	の思想	〈伊藤茂樹〉	41
教育	の思想	〈萩原建次郎〉	41
教育	の思想	〈坂本信昭〉	42
教育	と社会	〈豊田千代子〉	42
教育	と社会	〈北村三子〉	43
教育	と社会	〈伊藤茂樹〉	43
教育	と社会	〈萩原建次郎〉	44
教育	と社会	〈坂本信昭〉	45
発達学	と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	45
発達学	と学習の心理学	〈三國隆子〉	46
発達学	と学習の心理学	〈夏堀陸〉	46
発達学	と学習の心理学	〈角野善司〉	47
カリキュラム	と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	47
カリキュラム	と学習の心理学	〈三國隆子〉	48
カリキュラム	と学習の心理学	〈夏堀陸〉	48
カリキュラム	と学習の心理学	〈角野善司〉	49

(2) 社会分野 (短国・短英)

社会学〔現代社会を考える〕	〈呉 炳 三〉	49
統計学〔社会現象の統計的分析〕	〈田 中 正 光〉	50
文化人類学〔社会変化と価値観〕	〈小 川 順 敬〉	51
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈鶏 徳 啓 登〉	51
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—	〈池 田 実〉	52
政治学〔国際社会と日本〕	〈三 船 恵 美〉	53
経済学〔現代社会と市場経済〕	〈梶 中 貴〉	53
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大 石 雄 爾〉	54
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳 堀 素雅子〉	55
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野 中 弘 敏〉	55

(3) 自然分野 (短国・短英)

生物学〔生物と環境〕	〈中村敏枝〉	56
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	〈小池敏夫〉	57
自然環境論〔生命と環境〕	〈持丸真里〉	57
自然環境論〔変動する地球と環境〕—夏季集中—	〈山本由弦〉	58
自然誌〔現代の自然像〕			
	〈清水善和・篠原正雄・持丸真里〉	59
数学(1)〔微積分学入門〕	〈小沢誠〉	60
数学(2)〔線型代数学入門〕	〈小沢誠〉	60
数学(3)〔現代数学入門〕	〈福田賢一〉	61
情報数学〔情報と論理〕	〈坂野井和代〉	61
物理学〔光と物質〕	〈篠原正雄〉	62
化学〔衣食住の化学〕	〈持丸真里〉	63
宇宙科学〔星と銀河〕	〈篠原正雄〉	63
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)(10)	〔コンピュータの実際〕	〈小沢誠〉 64
コンピュータ基礎(2)(7)	〔コンピュータの実際〕	〈山本博信〉 65
コンピュータ基礎(3)(8)	〔コンピュータの実際〕	〈小川健次郎〉 66
コンピュータ基礎(5)	〔コンピュータの実際〕	〈澤口隆〉 67
コンピュータ基礎(11)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—		
		〈元木光雄〉	... 68
コンピュータ基礎(12)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—		
		〈坂野井和代〉	... 69
コンピュータ基礎(13)(17)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—		
		〈山本博信〉	... 70
コンピュータ基礎(14)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—		
		〈長坂浩史〉	... 71
コンピュータ基礎(15)(16)(18)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—		
		〈小川健次郎〉	... 72
コンピュータ基礎(19)(20)	〔コンピュータの実際〕	〈坂野井和代〉	... 73
コンピュータ応用(1)(2)	〔コンピュータの原理〕	〈坂野井和代〉	... 74
人類学(1)(2)〔人類の進化〕		〈篠田謙一〉	... 74
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕		〈仲渡江美〉	... 75
心理学〔人間関係を考える〕		〈鈴木順一〉	... 76
心理学〔心を科学する〕—夏季集中—		〈堀内正彦〉	... 77

(4) 総合分野 (短国・短英)

総合Ⅰ(1) [仏教と自然]	〈四津谷 孝道〉	78
総合Ⅰ(2) [仏教と社会]	〈熊本 英人〉	78
総合Ⅱ(2) [自然観察入門富浦をめぐる人と自然]	〈清水 善和・他〉	79
総合Ⅲ(1) [人権と社会問題]	〈ピアス, D. M.〉	80
総合Ⅲ(2) [欧米の教育と日本の教育]	〈岡崎 寿一郎〉	81
総合Ⅲ(3) [女性学・男性学]	〈杉山 秀子〉	82
総合Ⅳ(1) [現代アメリカ事情]	〈林 明人〉	82
総合Ⅳ(2) [シアトル市のNPOとまちづくり]	〈西村 祐子〉	83
総合Ⅳ(3) [ポスト・モダンの世界]	〈丸小 哲雄〉	83
総合Ⅴ(1) [イギリス文化探訪]	〈川股 陽太郎〉	84
総合Ⅵ(1) [民族とは何か]	〈大野 祐二〉	85
総合Ⅵ(2) [イスラム]	〈吉田 京子〉	85
総合Ⅵ(3) [フェミニズム・ジェンダー]	〈早川 紀代〉	86
総合Ⅶ(1) [トラブルと法的解決]	〈藤本 茂・他〉	87
総合Ⅶ(2) [都市論]	〈内海 麻利・他〉	88
総合Ⅷ	〈休 講〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔外国文学〔中国文学〕〕	清水浩子 しみず ひろこ	短国・短英選	4

講義のねらい

前期の前半は中国神話・伝説について解説する。その後はテキストを講読し、『風俗通義』の作者応劭の神話・伝説・俗説についての考え方を知る。

講義の内容・授業スケジュール

神話・伝説・俗説について、テキストに従って講読・解説を行う。

履修上の留意点

毎時間、その日の講義に対する意見を書き、それを提出してもらう。

成績評価の方法

年間3～4回のレポートと毎時間の意見文を参考に総合的に判断する。

教科書

中村璋八・清水浩子著『風俗通義』（明德出版社）

参考書等

授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔古代オリエント史〕	大城道則 おおしろ みちのり	短国・短英選	4

講義のねらい

古代オリエント世界と古代地中海世界との交流関係について具体例を挙げつつ紹介し、当時の歴史背景や研究上の問題点などを解説・指摘する。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ世界の起源である古代地中海世界は、様々な文明と多様な文化が接触・交錯し、相互に影響を与え合い、共存する場であった。我々は、ヨーロッパ世界を理解するために、その根源である古代地中海世界について考える必要がある。そのため本講義では、古代エジプト文明の成立から、古代ギリシアを通して、古代ローマ帝国の地方都市である埋没都市ポンペイや隊商都市パルミラの歴史までを取り扱う。

前期 後期

- (1) 地中海世界の中のエジプト (8) 古代エーゲ文明の成立
- (2) 古代エジプト形成期(統一王朝の出現) (9) 東方化の時代と大植民時代
- (3) 古王国時代のエジプト(ピラミッドの発展過程) (10) エトルリア文明
- (4) 古王国時代のエジプト (11) 古代ローマ皇帝伝
- (5) 新王国時代のエジプト (12) 火山で埋もれた都市ポンペイ
- (6) メソポタミアの古代都市 (13) 古代ローマ人の食生活
- (7) 鉄の王国ヒッタイト (14) 砂漠の隊商都市パルミラの歴史

履修上の留意点

お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法

学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書

講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。

参考書等

大城道則『古代エジプト文化の形成と拡散—ナイル世界と東地中海世界—』（ミネルヴァ書房）

その他

スライドとビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	きたのよしえ 北野良枝	短国・短英選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ~ (7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派
 (11) 狩野正信・元信 (12) ~ (13) 狩野永徳と桃山画壇
 後期 江戸時代の絵画
 (14) 江戸時代の狩野派 (15) ~ (18) 琳派
 (19) ~ (20) 浮世絵 (21) 南蘋派
 (22) 文人画 (23) 秋田蘭画と司馬江漢
 (24) 円山四条派 (25) 伊藤若冲と曾我蕭白
 (26) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	やのようこ 矢野陽子	短国・短英選	4

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀までの美術、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの美術を対象とします。まず美術作品に表現された内容を理解し、その表現様式の特徴を考えながら、美術の主要な流れを把握することを目的とします。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 15・16世紀の美術
 イタリア初期ルネサンス／15世紀の北方美術／イタリア盛期ルネサンス／北方ルネサンス／マニエリスム
 (後期) 17・18世紀の美術
 バロック美術 (イタリア、ネーデルラント、スペイン、フランス)／ロココ美術／新古典主義美術

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席してください。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席することが望まれます。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価します。

教科書

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』(美術出版社) 1,900円

参考書等

参考文献は授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 〔音楽〕 (3)	あか ぼ ゆ き こ 赤羽由規子	短国・短英選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。
後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。
後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	あさ お なが し 麻生享志	短国・短英選	4

講義のねらい

どういふものが真理だろうか、認識はどのようになっているのだろうか、存在とは何であろうか。このような問いが、哲学の立てる問いです。普通、「哲学」という言葉は、経営哲学とか、趣味における哲学などと使われますが、それは、人生論とか、自分独自のこだわりや目標のようなものかもしれません。しかしそのような哲学は、学問的でもないし、哲学との内容的なつながりもありません。そういったものではなく、本当の「哲学」、本物の哲学を、現代の視点から案内したいと考えています。講義では、いろいろな哲学関係の議論の中で、おもしろさを伝えられるようなものを選び、わかりやすく説明します。また、哲学の議論は、人間の諸問題とつながっています。ですから、過去に行われた議論を紹介するだけではたりず、講義を聞く諸君一人一人が、自分の問題として考えられるようになるために、私自身の考え方や批判も示します。

講義の内容・授業スケジュール

主な話題として、プラグマティズム・分析哲学・経験論と合理論・ドイツ観念論・生の哲学などを考えています。また、西洋近現代にきちんと限定するようなことにはせず、古代や東洋思想にも言及する予定です。

履修上の留意点

学問の場として、自分で考える態度を持つように努めることが決定的に重要。そのためには、自分で読んだり、調べたり、書いたりしなければならない、と考えています。その具体的なやり方は、講義において、場合に応じて説明します。

成績評価の方法

前期・後期試験・レポート（前期5月連休明け提出、後期夏休み明け提出）を中心とし、平常点（出席）を加味して成績を評価します。

教科書

久保・河谷編、麻生ほか著『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

参考書は、その都度、講義の中で丁寧に紹介します。積極的に、自分で選択し、精力的に読書する姿勢を期待しています。

その他

多少は指名して対話するかもしれませんが、基本的には講義。主体的な質問は大いに歓迎です。初日はガイダンスとし、定時から五分間、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンスが済んだら、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）

この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	山 口 祐 弘 <small>やまぐち まさひろ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

1. 論理学とは何か
2. 思考の原理
3. 同一性と同一律
4. 関係の思想
5. 対立と矛盾
6. 矛盾の概念
7. 判断論
8. 無限判断
9. 二律背反
10. 弁証論
11. 無限性の思想
12. 論理思想の比較

【後期】

1. 記号論理学の基本思想
2. 真理関数
3. 標準形
4. 公理体系
5. 定理の演繹
6. 同
7. 同
8. 体系の条件
9. 述語論理学
10. 無矛盾性、完全性、決定問題
11. 伝統的論理学との対比
12. 三段論法の基礎付け

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

テストによる。

教科書

『論理学概論』（岩波書店）

参考書等

『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	野 浩 司 <small>の ひろし</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しようとしませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生きてゆくためには武器となるスキルです。

初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。

講義の内容・授業スケジュール

まずディベートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジネス戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいない人やリピーターの参加は歓迎します。

昨年は学生からの提案で〈論理王決定戦〉と題するトーナメントを行いました。盛り上ったので、今年もやりたいと思います。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。

教科書

プリントを配布しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論 理 学 〔知の技法〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教 科 書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参 考 書 等

そのつど指示する。

そ の 他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい

科目名	担当者名	配当学科	単 位
科 学 史 〔科学と技術〕	長 岡 亮 介 <small>なが おか りょう すけ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

我々の今日の文化と文明が、高度に発達した科学とその科学に裏付けられた技術に決定的に依存していることはいままでもない。しかし、その科学を支えている「方法」や「思想」には必ずしも多くの人の眼差しは届いていない。「科学」と「技術」の区別さえ曖昧なわが国の傾向は、その一つの現れである。本講義は、古代より今日に至る科学と思想の歴史的な展開を、いくつかの重要な局面に注目して見るというスタイルで、現代に至る科学と科学思想の展開を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、古代ギリシヤの自然哲学や幾何学の話題から出発し、中世、近世、現代へと時間的に降りるが、単なる概観ではなく、上に述べたようにスポットライト的に重要な話題を捨てるように講義する。学生諸君の希望によっては、後期は、19世紀以降の論理学や数理と哲学の話題にも触れる。

履修上の留意点

いわゆる自然科学についての具体的な知識は前提としないが、数学や理科についての最小限の教養（中学レベルまで）は仮定する。また、講義の中でやや複雑な諸概念を登場したとき、必要に応じて調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。

成績評価の方法

出席状況、随時のレポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

参 考 書 等

講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫 理 学 (1) 〔人間観〕	<small>ふる</small> 古 <small>た</small> 田 <small>とも</small> 知 <small>あき</small> 章	短国・短英選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的な生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―

〔後期〕新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参 考 書 等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	黒崎 剛 <small>くろ さき つよし</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	滝沢 正之 <small>たき ざわ まさ ゆき</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものはいくらほど自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけない、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4)(7) 〔応用倫理学〕	箭野 浩司 <small>ひろし</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

例えば、自動車でスーパーマーケットに行つて、パックされた牛肉を買つて、ポリエチレン製の袋に入れてもらつて、家に持つて帰つて食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。しかし、多くの人々は自分が選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考えて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによって、考えること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、理論の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、チェチェン問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT犯罪、IT汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、ヒートアイランド、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。(一年間ですべての問題を扱うことはできないので、この中からセレクトすることになります。)

履修上の留意点

今年から一日二回講演になりましたので、座ることができると思います。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクションペーパーで評価します。

教科書

プリントを使用しますが、現在、教科書を作成中です。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	滝口 清栄 <small>たきぐち きよさか</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的の制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的の制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあつても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐり、そのあとも検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト(10月上旬を予定)と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円

参考書等

高木・末延・宮沢編『人権宣言集』(岩波文庫)
シンガー『私たちはどう生きるべきか』(法律文化社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	みなくちたくしほ 水口拓寿	短国・短英選	4

講義のねらい

「無礼者」や「親孝行」という言葉には、皆さんもなじみがあるでしょう。この授業では、私たち東アジア人の思考や行動を二千年以上にわたり規定してきた「礼」と「孝」の精神を探りあげ、その原像・伝統・現在を見つめてみましょう。歴史的にも思想的にも、これら二文字に含まれる意味は、思いがけないほど深いのです。

講義の内容・授業スケジュール

初めに「倫理」という概念そのものや、「道徳」「規範」との異同について考察します。次に「礼」をめぐって、教科書Aの章節に沿いながら講義します。続いて「孝」をめぐって、教科書Bの章節に沿いながら講義します。教科書は共に「儒教」を表題にしていますが、この授業では儒教という言葉に必ずしもこだわらず、東アジアに今も息づく「礼」や「孝」を、身近なところから探り当てることに務めましょう。

履修上の留意点

私は教科書を朗読するだけの係ではありませんし、著者たちの代弁役でもありません。むしろ学説の一例として批評的に吟味する態度を、皆さんにも共有してほしいと思います。

成績評価の方法

学期末に提出してもらったレポートを、主な評価材料にします。授業中には出席状況の調査も兼ねて、講義内容の感想などを書いてもらう場合があります。

教科書

A 小島毅『東アジアの儒教と礼』（山川出版社、世界史リブレット）
B 加地伸行『儒教とは何か』（中央公論社、中公新書）
受講時には必ず持参して下さい。いずれも持ち運びやすく廉価な本です。

参考書等

必要に応じて、主に授業中に指示します。私の作成したプリントを、参考資料として配る場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけがみよしまさ 池上良正	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。(1)「宗教」概念の成立とその意義。(2)人類史と宗教。(3)現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	田 中 かの子 <small>た なか こ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいているからにはほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされる時、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. ゴロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2004年

参考書等

「いのち」を尊ぶ書物ならどれでも。

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔世界観と儀礼〕	小 川 順 敬 <small>おがわ としゆき</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・
授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔日本人の宗教〕	洗 建 <small>あらい けん</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

日本人の多くは、自分は無宗教であると思っている。しかし、その同じ人が、正月には神社仏閣に初詣に行き、お彼岸にはお墓参りに行っている。これはどういう事なのであろうか。まず、日本人の宗教意識と宗教生活の実態を事実即して明らかにし、それを形成してきた宗教伝統の理解を目指したい。

講義の内容・
授業スケジュール

前半には、諸種の統計資料によって、日本人の宗教生活の実態を明らかにし、なぜそのようなになってきたのかを考察する。後半は、日本人の宗教を形成してきた伝統、就中、その基層を流れている神道的なるものをたどって、日本文化の世界観的特徴を考察する。

履修上の留意点

個々の事実を覚えることよりも、問題を理解し、共に考えることを目指したいので、出席して共に考えて欲しい。原則として出席をとりたいが、受講者多数の場合は出席に代わるレポートを夏休み前に提出して貰う。

成績評価の方法

原則として期末試験により成績評価する。その結果が合格点にやや届かない場合には、出席またはレポートの結果を配慮する。

教科書

教科書は使わない。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (5) 〔聖と俗〕	菅原 としきよ すが たらしきよ	短国・短英選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教人類学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

成績評価の方法

試験+出席点+レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

授業の方法—講義、ビデオ・スライドなども使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (6) 〔民俗宗教の諸相〕	佐藤 のりあき さとう のりあき	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。通常、宗教といえば、仏教やキリスト教などのように、特定の教義、儀礼、教団などが整備されている成立宗教を連想することが多い。だが、これと並んで他方には、仏教やキリスト教などの外来宗教と、日本の土着宗教とが混じり合い、生活に合った形で展開している宗教の存在を忘れてはならない。このような生活場面で展開している宗教を「民俗宗教」と呼ぶ。この講座では、民俗宗教の諸局面を通して日本人の心とその文化に迫ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、宗教学の学問的特徴と、宗教文化に関する基本的な用語などについて具体的に解説する。次に、民俗宗教の概念を明らかにした上で、「憑霊（ひょうれい）信仰の諸相」「仏教と民俗宗教」などのテーマのもとに考察する。なお、「憑霊」とは、神霊または呪力が人間その他に乗り移り、あるいは影響を与えて、人間や事物に聖なる変化を生じさせると信じられている現象のことである。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出のこと。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、レポート点（卒業年次生のみ該当）と出席点を加算して最終評価を行う。

卒業年次生のみ提出のレポートは、次の通り。[課題] 宗教文化に関する書物を読み、その感想文を作成する。[字数] 本文は2000字。[提出先と時期] 授業時に随時受けつける。ただし、授業時以外は受理しない。[その他] 表紙をつけること。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (1) 〔風土と文化〕	たけばやし かずひこ 竹 林 和 彦	短国・短英選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス 10. 文化景観
2. 人文地理学の学問的性格 11. 文化伝播
3. 人文地理学の基本概念 12. 東南アジアの風土と文化
4. 人文地理学の思考対象とその方法 13. 東アジアの風土と文化
5. 人文地理学と地誌学 14. 市場の風景
6. 地理学にとって文化とは何か? 15. 都市での居住 (都市の文化)
7. 地域とは (地域概念) 16. 都市と農村
8. 文化地域 17. まとめ
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～

履修上の留意点

授業には必ず地図帳 (中学・高校で使用したものでもよい) を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たかほし けんたろう 高 橋 健太郎	短国・短英選	4

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。

具体的には、講義内容として次の項目を予定している。(1) 人文地理学の位置づけ、(2) 大衆文化と文化景観、(3) 日本の基層文化の地域性、(4) 照葉樹林文化、(5) プナ帯文化、(6) 文化生態、(7) 地域文化と観光、(8) 地図、(9) 地名、(10) 空間認知。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容 (30%) と定期試験の結果 (70%) で採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

主な参考書は次のとおり (授業スケジュール順に掲載)。その他については、授業中に適宜紹介する。

- 高橋伸夫ほか1995. 『文化地理学入門』 (東洋書林)
 鈴木秀夫1988. 『風土の構造』, 講談社 (講談社学術文庫)
 佐々木高明1993. 『日本文化の基層を探る』 (日本放送出版会)
 田畑久夫2003. 『照葉樹林文化の成立と現在』 (古今書院)
 市川健夫ほか1984. 『日本のプナ帯文化』 (朝倉書店)
 中島峰広1999. 『日本の棚田』 (古今書院)
 溝尾良隆2003. 『観光学』 (古今書院)
 若林幹夫1995. 『地図の想像力』, 講談社 (講談社選書メチエ)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	やまぐち たらう 山口 太郎	短国・短英選	4

講義のねらい

この講義は、都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなごしを養うことを目的とする。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなごしを養う。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)

- 1 東京の自然史
- 2 東京の歴史社会地理
江戸から東京へ、モダニズム・大衆文化、高度経済成長、都市論ブーム、バブルの時代、郊外居住、都心回帰
- 3 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、泉麻人、石井實、奥田道大、ライフヒストリー

(後期)

- 4 都市の中の差異
都市計画、時間地理学、認知地図
- 5 商品としての都市
場所のイメージ、ディズニーランド化、創られた伝統
- 6 都市民の憂鬱
選好地図、まなごしの権力性、故郷、集団の風景、住民参加のまちづくり

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）

その他

この講義は、各人が積極的にまち歩きを行うことが前提となる。教室は、東京や都市に関する知識の埋め込みの場というよりもむしろ、都市についていろいろ考える場としたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 文 地 理 学 (4) 〔空間と行動〕	伊 藤 修 一 <small>い どう しゅう いち</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動する。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されている。この講義では、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。

前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、具体的な研究事例を通して説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕 イントロダクション (1)、地図 (2)、都市の分布と立地 (3～7)、
地域の結びつき (8・9)、都市の内部構造 (10)

〔後期〕 人口変動と分布・人口移動 (1・2)、都市の居住構造の形成過程とその変化－郊外化・再都市化 (3～8)、都市と余暇活動 (9)、都市空間における知覚と認知 (10)

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。高校数学や統計学などの基礎知識を持っていることが望ましい。

成績評価の方法

原則として年度末の試験結果から評価し、出席状況も若干考慮する。

教 科 書

講義ではプリントを随時配布する。

参 考 書 等

北川建次編 (2004) 『現代都市地理学』 (古今書院)
坂本英夫・浜谷正人編 (1985) 『最近の地理学』 (大明堂)
富田和暁・藤井 正編 (2001) 『図説 大都市圏』 (古今書院)
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。

そ の 他

プロジェクターを用いて講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	とよ たちよこ 豊田 千代子	短国・短英1選	2

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読んでみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	きた むら かつ こ 北村 三子	短国・短英1選	2

講義のねらい

日本の教育界に大きな影響を与えた教育思想を学び、それを手がかりに自分なりの教育観を培っていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

20世紀の代表的な思想家の一人、ジョン・デューイの教育思想を、『経験と教育』を中心として学んでいきます。子ども自身の経験を基礎に構築されたその教育論を丁寧に読み、私達の日常経験や教育体験を考え直します。具体的な授業計画は、初回の講義でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

教科書

ジョン・デューイ『経験と教育』 講談社学術文庫 798円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	伊藤茂樹 <small>いとう しげき</small>	短国・短英1選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・近代社会と教育
 ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	萩原建次郎 <small>はぎ けんじろう</small>	短国・短英1選	2

講義のねらい

この授業では、第一に自分自身の教育体験のふりかえりを出発点として、「学ぶこと」「教えること」「生きること」の意味を考える機会をもちたい。第二に自己の体験と他者の体験を交流させながら、多様なものの見方を学ぶと共に、教育に対する自分の視点がどこにあるのかさぐっていききたい。第三に各自の体験知だけにとどまらずに教育学が蓄積してきた学問知（主に教育史・教育哲学）との交流によって、これまで暗黙のうちに了解してきた「教育目的」「学習」「人間の発達」などの意味について深く捉える感性と知性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 自らの教育・学習体験をふりかえる—「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」をつくる
- ② 自己と他者との体験知の交流—「学びのマップ」・「私のライフライン」「学びの自分史」を他の受講生と相互コメントを行う
- ③ 教育をめぐる体験知と学問知との交流
 - (1) 近代教育が前提としてきた人間観と教育目的・理念の歴史を学ぶ
 - (2) 発達の思想を学ぶ
 - (3) 学習の思想を学ぶ

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業の質は各自の積極的な参加姿勢に大きくかかわっていることを留意願いたい。また、小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。一回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得したものは、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	さか もと のぶ あき 坂本 信 昭	短国・短英1選	2

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的の変遷
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他（大村はま、林竹二などから学ぶものは何か）

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円
デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	とよ た ちよこ 豊田 千代子	短国・短英1選	2

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返り
自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。
- ・教育と人権
障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	北村三子 <small>きたむらみつこ</small>	短国・短英1選	2

講義のねらい

近代の社会システムと教育はどのような関係にあるのでしょうか。私たちが体験してきた日本の学校教育のあり方を社会との関係から考察することを通して、私たちがどのように社会的に形成されてきたのかを考えます。

講義の内容・授業スケジュール

日本という国家と教育との関係を歴史的に考察するとともに、近代的な組織とその構成員との間に働く力について原理的に考察します。また、そうした観点から、今日の学校教育をめぐる諸問題を考えていきます。詳細は初回の授業でお話します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによります。

参考書等

教場で指示します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	伊藤茂樹 <small>いとうしげき</small>	短国・短英1選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎	短国・短英1選	2

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを旨とした具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 「居場所」をめぐる言説の登場
- (2) 「居場所」の意味を読み解く
- (3) 子ども・若者の自己形成空間の変容
- (4) 子ども・若者の居場所空間をデザインする
- (5) 「居場所」に関わる指導者論
- (6) 「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想－「教育」から「関わり」の場へ－』（学陽書房）3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』（萌文社）
ロジャー・ハート著『子どもの参画』（萌文社）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回日の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	さか もと のぶ あき 坂本 信昭	短国・短英1選	2

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなる時、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義の内容・授業スケジュール

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他(教師論集)

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

参考書等

西村絢子他著『現代教育を考える』(昭和堂) 2,600円
デューイ著『学校と社会』(岩波文庫) 410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (後期)	おお はま まく こ 大 浜 幾久子	短国・短英1選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

定期試験(学期末)の成績に小レポートの成績を加味する予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	三 國 隆 子 <small>みくにりゅうこ</small>	短国・短英1選	2

講義のねらい

- ・子どもから大人へ。人の発達過程について概観する。
- ・発達や個に応じた学習や教育について学ぶ。
- ・以上を踏まえ、学校現場で行われる教育や指導のあり方について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・発達とは何か
- ・発達の特徴と発達理論
- ・発達観の変遷と教育
- ・学習とは何か
- ・学習と評価
- ・意欲と学習（1）動機づけ理論
- ・意欲と学習（2）自己効力感

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末に筆記試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教科書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	夏 堀 睦 <small>なつぼりむち</small>	短国・短英1選	2

講義のねらい

幼児、児童・生徒の発達と学習のメカニズム、および援助、指導の方法について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①発達とは何か
- ②知能・創造性・思考の発達
- ③対人関係（と人格）の発達
- ④特別な教育的ニーズを持つ子どもへの援助（障害児・才能を持つ子ども）
- ⑤新しい「学習」の捉え方
- ⑥多重知能理論に基づく教育実践

履修上の留意点

学期末試験の成績を中心に評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

開講時に指示します。

その他

講義形式で行います。授業中に小レポートを課す場合もあります。
この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	すみ の ぜん じ 角 野 善 司	短国・短英1選	2

講義のねらい

教育心理学は、教育現場に対して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 教育心理学とは (2・3) 発達観の変遷 (4・5) 発達の規定因 (6) 教育の最適期 (7) 発達段階と発達課題 (8) 学習への動機づけ (9) 内発的動機づけ (10) 学習性無力感 (11) 原因帰属 (12) 学習目標と遂行目標 (13・14) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (前期)	おお はま きく こ 大 浜 幾久子	短国・短英1選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

リポート提出（定期試験期間）を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	三 國 隆 子 <small>みくにりゅうこ</small>	短国・短英1選	2

講義のねらい

- ・学習指導要領から読み取れる、日本の教育課程を理解する。
- ・カリキュラムと学習の効果について学ぶ。
- ・学校現場で行われているカリキュラムの実際と課題について理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・我が国の教育課程
- ・学習指導要領の変遷
- ・教授と学習の効果
- ・カリキュラムと学習の効果
- ・学校教育（1）教育制度・カリキュラムの実際について
- ・学校教育（2）教育評価・今後の課題について

成績評価の方法

- ・毎回の授業でその授業内容についての小テストや課題を提出してもらう。
- ・学期末に筆記試験を行う。
- ・小テストや課題の提出状況と学期末テストを総合して評価を行う。

教 科 書

教科書、参考資料等は、授業中に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	なつ ぼり ちか 夏 堀 睦	短国・短英1選	2

講義のねらい

- 1) カリキュラム—教授—評価のサイクルを中心に、教育活動を構成する諸要素について学習する。
- 2) 現行学習指導要領の特徴をふまえて、実践案作成課題に取り組む。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① カリキュラムの意義
- ② 現行学習指導要領の基本方針
- ③ 総合的学習の意義
- ④ 総合的学習の設計に関わる教授理論と評価法
- ⑤ C—I—A サイクルの構成
- ⑥ ポートフォリオ評価法を使ったC—I—A サイクルの設計

成績評価の方法

授業中の小レポートと学期末試験の成績によって評価します。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

授業中に適時紹介します。

そ の 他

一回目の講義のなかで実践案作成課題について説明を行います。必ず出席するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	すみ の ぜん じ 角 野 善 司	短国・短英1選	2

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1) カリキュラム (教育課程) とは (2) カリキュラムに関する法制 (3) カリキュラム編成の原則 (4) 学習指導要領改訂の歴史 (5-7) 平成10年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (8-10) 平成15年学習指導要領一部改正の経緯と基本方針 (11-12) 平成10年改訂学習指導要領 (平成15年一部改正) の下での教育評価 (13-15) 補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 総則編』『高等学校学習指導要領』講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社 会 学 〔現代社会を考える〕	お び ほん さん 呉 炳 三	短国・短英選	4

講義のねらい

社会学が対象とするのは個人、集団、社会などである。その分野においても、「恋愛」「家族」「教育」「文化」「政治」「犯罪」「法律」「経済」「宗教」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何だろうか。また、これらの諸問題を解決するためにはどのような手段が有効であろうか、本講義で分析していく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、前期は社会学の基礎について講義する。後期は、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な諸問題について考察を深めていく。

- (1) 社会の変動にともなう家族の変化をおう。これは、乳幼児における親との関わりや家族生活における様々な要因によって、青春期や高齢期に様々な問題が現れる。また、少子・高齢社会といった家族に関する諸問題などを検討する。
- (2) 近年、凶悪な少年犯罪が多く、犯罪と家族との関係についても分析する。
- (3) 「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー：社会的な性」などの諸問題を考える。
- (4) 現代のIT文化が若者文化(ユース・カルチャー)に与える影響について、または現代社会において果たす役割とは、など日本の若者の心を分析していく。
- (5) 現代における企業活動の意義、または企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題について考える。

履修上の留意点

この講義は、出来る限り受講生自分自身で調べ、考え、答えを出す方向で講義を持っていくので、授業を聴く、考える姿勢が望まれる。または毎回辞書を持参すること。曖昧な日本語を使う学生、日本のことを知らない学生のために宿題を出すことがあるので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

前・後末に筆記試験を行うなど。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』(学文社) 2,500円

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	田中まさみつ まさみつ	短国・短英選	4

講義のねらい

現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が必要とする情報を適格に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。この数値データの整理・分析の作業は特に実社会に出たときに様々な場面が必要とされるものである。この講義では、この作業に慣れることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期後期を通じて、統計的基礎知識の概略の説明に3回程度費やし、4回日に実際に計算ソフト・エクセルを使って（パソコンルームの確保が前提）実際ないし架空の数値による統計的分析を行う。

年間を通して、この作業（3回講義+1回パソコンを使った統計分析作業）を繰り返す予定である。

【前期】

- 1～3：統計データの代表値
平均値、中央値、最頻値などの代表値。
- 4：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）
- 5～7：データの散らばり
分散、標準偏差、度数分布など。
- 8：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）
- 9～11：2変数の関係
相関、単純回帰分析など。
- 12：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）

【後期】

- 1～3：標本と確率分布
母集団と標本、正規分布、二項分布などの確率分について。
- 4：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）
- 5～7：標本分布と推定
推定量の望ましい性質、点推定および区間推定など。
- 8：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）
- 9～11：仮説検定
正規母集団に対する仮説検定、カイ二乗検定など。
- 12：前3回で講義した内容の復習作業（パソコン使用）

履修上の留意点

パソコン操作、特にエクセルの操作を行う場面が多くなるので、パソコン操作があまり嫌いでないこと。また通常講義では電卓などの持参が望ましい。

成績評価の方法

前期末と後期末に試験を実施し、この結果に通常授業における練習問題の結果を加味して判断する。

教科書

なし

参考書等

室淳子+石村貞夫著『Excelでやさしく学ぶ統計解析』（東京図書）
森田優三著『統計概論』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

文化人類学(以下、人類学)とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思っています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方式、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書560番 中央公論社)

参考書等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	鷄 徳 啓 登 <small>い たく ひろ とう</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国内的、国際的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。
 (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
 (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
 (7) 法と裁判
 憲法の講義は、次の内容を中心として行う。
 (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
 (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
 (6) 各種基本的人権の内容
 (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
 (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法

出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』(八千代出版) 3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』(出版社・定価各種) 及び参考書は教場にて説明致します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕 — 夏季集中 —	いけ だ みのる 池 田 実	短国・短英選	4

講義のねらい

〈法学〉家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかわり、規制されているかをさまざまな具体例を通して考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような諸原理・精神に結びついているかを明らかにします。
 〈憲法〉政治の法である憲法にかかわる問題には、“唯一絶対の正解”というものがほとんどありません。すっきり明瞭で断定的な解答を求めるのではなく、現代国家の病理やその複雑さに悩みながら、政治生活のあるべき姿をじっくり考えるきっかけにさせていただければ、と思います。

講義の内容・授業スケジュール

〈法学〉(1) 授業案内・導入 (2) 国家と法 (3) 実定法ガイド (4) 裁判制度ガイド (5) 夫婦と法 (6) 子どもと法 (7) 自己決定権 (8) プライバシーと法 (9) 生命倫理と法 (10) 社会保険と公的扶助 (11) 介護と扶養 (12) マルチメディアと法 (13) 国際社会と法 (14)(15) 補遺・総括
 〈憲法〉(1) 憲法の基本概念 (2) 日本国憲法の沿革 (3) 国会 (4) 選挙・政党 (5) 内閣 (6) 天皇 (7) 地方自治 (8) 人権総論 (9) 自由権・受益権 (10) 社会権 (11) 新しい人権 (12) 裁判所 (13) 戦争の放棄 (14)(15) 補遺・総括

成績評価の方法

出席および授業中に提出するレポート類により総合的に評価します。

教科書

抱喜久雄編『新・初めての法学』(法律文化社)
 野畑・池田・渡邊・清水『テキストブック日本国憲法』(嗟哦野書院)平成17年4月刊行予定
 上記2冊を用います。

参考書等

授業時に適宜指示します。

その他

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金						8月29日	月	○	○	○	○	○
8月1日	月						8月30日	火	○	○	○	○	○
8月2日	火	△	△	△	△	△	8月31日	水	○	○	○	○	○
8月3日	水						9月1日	木	○	○	○	○	○
8月4日	木						9月2日	金	○	○	○	○	○
8月5日	金						9月5日	月	○	○	○	○	○

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔国際社会と日本〕	みふねえみ 三船恵美	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義では、現代日本が国際社会で直面しているさまざまな問題の基本的な概念や知識について学びます。本講義は、副題が示すように、「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材に「政治を視る眼」を養うことを目的とします。現代日本が直面している問題について、「何が問題になっているのか」、「原因は何か」、「その問題の解決のためにどのような取り組みがなされているのか」について、「国内政治・国内要因と国際政治との関連」、「地域秩序との関連」、「日本の国際貢献」、という視角から考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なテーマとしては、米軍再編とアメリカの対東アジア戦略、日米同盟の再構築、日本の自衛隊と国際貢献、米中関係の変化が日中関係・日米関係に与える影響、中国のエネルギー戦略をめぐる諸問題、中国の戦略的海洋進出、尖閣諸島領有問題、日本の対中国 ODA 問題、米中台関係と日本の安全保障、韓国の文化産業戦略と日韓関係、朝鮮半島の核危機と日本、日中・日韓歴史問題、戦後補償問題、日本の戦後教育とアジア、東アジア共同体の可能性と限界、イラン・アザデガン油田開発問題と日本、などを予定しています。これ以外にも、講義の時期に実際に起こる政治事件や政治状況を取り上げていきます。

政治学を専攻していない学生を対象とする本講義が、受講生に政治について考えるきっかけを提供するものになるように、講義したテーマについて、時々、教場レポートを書いてもらいます。

成績評価の方法

学期末試験（前期50%+後期50%）。ただし、時々教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

用いません。

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代社会と市場経済〕	はたなか 島中貴	短国・短英選	4

講義のねらい

諸々の経済現象をよりよく理解するための理論（ミクロ経済学・マクロ経済学）について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

授業は基本的に授業時に配布するプリントに沿って行う。スケジュールは以下の通り。
 (前期) (1) ガイダンス (2) 経済主体と市場 (3・4) 需要曲線、供給曲線
 (5・6) 価格および取引数量の変化 (7・8) 家計の経済活動 (9・10) 企業の経済活動 (11・12) 厚生経済学の基本定理と市場の失敗 (13) 前期末試験
 (後期) (14) 独占 (15) 情報の不完全性 (16) GDP の3面等価 (17) 産出量の変動、物価水準の変動 (18・19) 完全雇用の状態におけるマクロモデル (20・21) 不完全雇用の状態におけるマクロモデル (22・23) 財政政策、金融政策 (24・25) 国際貿易 (26) 経済成長

履修上の留意点

講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するためにはそれなりの労力と時間を必要とする。配布されたプリントを、期末の試験までに何度も読み返し、分からない部分については積極的に質問をすること。世界一頭のいい人であっても、プリントを一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていなければ、単位を与えることはできないので注意すること。追・再試験は実施する。

教科書

教科書は使用しない予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう じ 大石雄爾	短国・短英選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホブズとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても時折とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しません。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	柳堀素雅子 <small>やなぎ ぼり すがこ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

人間の生と死の問題を多角的な方向から考察していく。その際に重要となることは、どのような視点から人間の生と死を考察していくかということである。医学的、生物学的に見た人間の生と死、文化や民族や国や宗教によって異なる死生観、環境問題と人間の関係などの問題を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

戦争と人間の死の問題。
環境問題と人間の関係。
先端医療と人間の生と死の問題

履修上の留意点

単に知識を詰め込むだけでなく、情報を分析し、自分の見解を明確に論じることができるようになる必要がある。出席状況が悪いと講義の内容についていけないので、講義には必ず出席するように。

成績評価の方法

レポートの提出状況、出席状況などを総合的に評価する。

教科書

なし

参考書等

授業中にその都度紹介する。

その他

ビデオ、DVDも豊富に使用する。
参加人数が少なければ、討論も取り入れる予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理-教育臨床心理学の立場から-〕	野中弘敏 <small>の なか ひろ とし</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

- おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。
- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
 - ・人間の心理-社会的発達
 - ・人格の構造と機能
 - ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
 - ・心理療法の基本的考え方
 - ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	短国・短英選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかし、その負の部分が近年私たちに脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- （前期）生物の生活
 - （1-5）地球の歴史と生命の期限
 - （6-13）生態系のしくみ
- （後期）化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
 - （14-21）ゴミ処理とダイオキシン汚染
 - （22-23）水銀汚染と水俣病
 - （24-25）人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参 考 書 等

授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔地球の変遷・生命の進化〕	小池敏夫	短国・短英選	4

講義のねらい

地球は誕生以来、地球内部のエネルギー循環により、大規模な変動を繰り返してきたこと、それに伴う自然環境の変化と関わりながら生命は進化してきたことを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

地球は、その深部に貯えた熱エネルギーを大規模に放出するイベントを繰り返してきた。そのため、大陸の合体・分裂や大規模な火山活動が生じ、太陽エネルギーの受容量や大気中の二酸化炭素の濃度は大きく変化、地球は全面凍結や灼熱の地獄を経験した。地球上に誕生した生命は、自然環境の大変動による大量絶滅、あるいは新しい環境への適応放散を経ながら、多様性を増してきたのである。前期は地球の変動の主役、大陸の合体・分裂とそれに関わる地質事象（日本列島の成立、火山活動、地震）を中心に、後期は生命進化と自然環境の変動との関わりについて解説、学生諸君に考察してもらおう。

1. 海と陸の地質的特徴
2. 大陸移動の証明
3. 大陸の合体・分離の原動力
4. 日本列島の生い立ち
5. 地震の予知と対策
6. 地球環境の変動と生物進化
7. 分子生物学から知る生命の繋がり
8. ヒトの起源・現代人のルーツ

成績評価の方法

毎週、授業の内容に関する様々な問題について考察し、筆記してもらう。それに基づいて成績評価を行なう。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業の中で、そのつど紹介する。

その他

配布資料に基づいて授業を進める。必要に応じ OHP などを用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	持丸真里	短国・短英選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 生態系の成り立ち (2) 生物とは何か (3) 生命の誕生と地球環境
 (4) 地球温暖化 (5) 生態系内の物質循環 (6) 生産者の働きと生態系
 (7) 森林破壊
 (後期) (8) 生態系の浄化作用 (9) 化学物質による生態系汚染
 (10) ダイオキシン問題 (11) 環境ホルモン (12) オゾン層破壊
 (13) 近代農業の問題

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に勤めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）
 1,500円
 その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔変動する地球と環境〕 — 夏季集中 —	やまもと ゆづる 山本 由弦	短国・短英選	4

講義のねらい

自然環境の変化を考えるためには、人類による物理的・化学的環境汚染など社会的要因によるものと、地震や火山活動に代表される自然的要因をあわせて考えることが必要とされる。本講義では、後者の自然的要因に焦点を絞り、これらの諸現象とその地球科学的背景についての理解を深めることをねらいとしている。特に日本列島がプレートテクトニクスなど地球科学体系の中でどういった位置にあるのかを理解することを最初期の目的とし、最新の研究成果を紹介しながら災害や自然環境変化の要因を考える。また、日本列島とは異なった地球科学的背景が見られる世界各地の例も一部紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球の構造と日本列島の地球科学的な位置
2. 日本を構成するもの－付加体・衝突帯・火山列
3. 地震と断層
4. 斜面崩壊と液状化
5. 日本の地球科学的環境－関東周辺・南九州
6. 世界の地球科学的環境－大陸：米国・アジア 造山帯：米国・英国

成績評価の方法

出席およびレポート

参考書等

講義の中で紹介

その他

液晶プロジェクターもしくは OHP を使用
授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	○	8月29日	月	△	△	△	△	△
8月1日	月	○	○	○	○	○	8月30日	火					
8月2日	火	○	○	○	○	○	8月31日	水					
8月3日	水	○	○	○	○	○	9月1日	木					
8月4日	木	○	○	○	○	○	9月2日	金					
8月5日	金	○	○	○	○	○	9月5日	月	△	△	△	△	△

(△は予備日)

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水善和・篠原正雄 持丸真里	短国・短英選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする3名の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員3人により、1人8回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
 - (2) エネルギー消費と「豊かさ」
 - (3) 化石燃料の化学
 - (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
 - (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、教員ごとに計3回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に3人の採点を合算して成績評価とする。追再試験は行わないので、教員ごとの指示に従ってそのつど評価をうけること。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	お <small>お</small> 沢 <small>ざわ</small> ま <small>ま</small> こと <small>こと</small> 誠 <small>まこと</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的な思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、直線と2次曲線・三角関数・指数関数と対数関数を学び、それらの導関数を求める。また、基本的な関数の微分が出来るようにする。後期に、平均値の定理とマクローリン展開・関数の増減とグラフの凹凸・偏微分と極値、不定積分・置換積分と部分積分・定積分と面積を学ぶ。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微分積分』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2) 〔線形代数学入門〕	お <small>お</small> 沢 <small>ざわ</small> ま <small>ま</small> こと <small>こと</small> 誠 <small>まこと</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的な思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、平面と空間のベクトル・行列・行列の基本変形・連立1次方程式の解・逆行列の求め方を学ぶ。後期に、行列式の定義・行列式の性質・クラメールの公式・ベクトル空間と1次変換・固有値と固有ベクトルを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる基礎数学—線形代数・微分積分』(共立出版) 2,100円(税込)

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
数 学 (3) 〔現代数学入門〕	ふく だ けん いち 福 田 賢 一	短国・短英選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践な応用力の養成を目指す。本年度は情報環境への理解を深めるため、基礎情報理論・情報数理解分野を充実させる。また、時間が許せば、経済工学・金融工学の基礎もともに学びたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期： 論理の基礎と言語、情報理論の数理解と論理、論理設計、情報機器の理解、コンピュータ・携帯電話、通信機器の理解と数理解、線型代数とその応用、
後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、数値解析とその応用、交通・運輸の数理解、経営の数理解

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要がある。また、社会・経済現象に対する認識を深める必要もある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。配布する教材、資料等に提示する。

その他

教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情 報 数 学 〔情報と論理〕	まかの い かず よ 坂野井 和 代	短国・短英選	4

講義のねらい

情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理、確率と統計について学ぶ。後期は、主に形式言語理論の基礎について学ぶ。

履修上の留意点

予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。ただし、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

野々山隆幸監修、石原光／小堆光喜共著『入門 情報処理数学』（実教出版）2,200円
J. ホップクロフト、R. モトワニ、J. ウルマン共著、野崎昭弘、高橋正子、町田元、山崎秀記共訳『オートマトン 言語理論 計算論 I 〔第2版〕』（サイエンス社）2,800円
ISBN4-7819-1027-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	篠原まさお のほらま まきお	短国・短英選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	持丸真里	短国・短英選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2) 物質の成り立ち (3) 水の性質 (4) 有機化学の基礎 (5) 合成繊維 (6) 染料 (7) 合成洗剤と水質汚濁
後期 (8) タンパク質 (9) 遺伝子 (10) 遺伝子情報の社会への影響 (11) 遺伝子組み換え食品 (12) 食品の安全性 (13) 住環境の化学物質汚染

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	篠原正雄	短国・短英選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。
太陽： 構造 エネルギー源
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源
後期は銀河をとりあげます。
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

履修上の留意点

この講義は毎回完結の物語ではありません。前の講義で学んだことを前提として進めます。欠席したときは自分の責任で補っておかないとついていけなくなります。

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』(地人書館) 1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。
なお、履修者数によっては、シラバス通りの講義の実施が物理的に不可能になることもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9)(10) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	小 沢 誠 お ざわ まこと	短国・短英選	2

講義のねらい

ホームページの作り方を説明します。文書の構造を記述する言語であるHTML (Hypertext Markup Language)、その表示方法を指定する仕組みのCSS (Cascading Style Sheet)、作成したHTML・CSSファイル等をウェブサーバーに送信する際の通信規約FTP (File Transfer Protocol) を学びます。これらを学ぶ過程で、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようになります。最終的に、自分のホームページを公開することが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学びます。HTMLでは基本構造・テキスト・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リストを扱います。HTMLが一通り終わった段階で、無料ホームページの登録をし、FTPのやり方を説明します。

履修上の留意点

パソコンにログインするには、KOMAnetの「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。
この講義では内容については触れないので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法

レポートで評価します。HTML・CSS・内容の3点で採点をします。

教 科 書

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~w3c/lecture/computer.html>のHTMLとCSSを教科書として使用します。

参 考 書 等

『改訂第4版オールカラーHTMLポケットリファレンス』(株)シーズ著 定価1,659円

そ の 他

<http://www.yahoo.co.jp/>、<http://www.google.co.jp/>等で自分の興味があるホームページを検索して、どのような情報が公開されているか見ておくことも重要です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やまもとひろのぶ 山本博信	短国・短英選	2

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーションの利用法を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、パソコンの操作だけでなく、練習問題や演習問題などを含みます。

前期では、特にキータッチの基本、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザの基本を取り上げます。これらのアプリケーションソフトを活用しながら、基本ソフトを操作すれば、Windowsデスクトップを作業場とみなすことができるようになります。後期には特に文書によるコミュニケーションおよび表計算ソフトを学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1・2) 基本ソフトの基礎
- (3・4) キータッチの基本
- (5) ActiveMailを用いたメールの操作、パスワードの変更、日本語入力・メールの送受信
- (6～7) ワープロソフトと日本語変換
- (8～10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷
- (11～12) WWWブラウザを用いたホームページの閲覧、レポート作成
- (13) 総合演習

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は、(1) 出席状況、(2) 授業期間中に適宜行う演習やレポート(成果物)、(3) 授業の最終回で行う実技試験および筆記試験を総合的に評価します。

教科書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習が多いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	おがわ けんじろう 小川 健次郎	短国・短英選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	さわぐち たかし 澤 口 隆	短国・短英選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(11) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	もと き みつ お 元 木 光 雄	短国・短英選	2

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特に OS の役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWW などのサービスを取りあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(11)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金	○	○	○				8月29日 月						
8月1日 月	○	○	○				8月30日 火						
8月2日 火	○	○	○				8月31日 水						
8月3日 水	△	△	△				9月1日 木						
8月4日 木	○	○	○				9月2日 金						
8月5日 金	○	○	○				9月5日 月						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	さかのい かず 坂野井 和代	短国・短英選	2

講義のねらい

コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(12)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
7月29日 金				○	○	○	8月29日 月						
8月1日 月				○	○	○	8月30日 火						
8月2日 火				○	○	○	8月31日 水						
8月3日 水				○	○	○	9月1日 木						
8月4日 木				○	○	○	9月2日 金						
8月5日 金				△	△	△	9月5日 月						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもと ひろのぶ 山本博信	短国・短英選	2

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場(業務)ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でもとても大事なものです。ここでは特に描き方(ビジュアル表現)についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
 - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
 - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

出席状況、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって総合的に評価します。

教科書

未定(毎回、プリントを配布します。)

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程
コンピュータ基礎(13)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金	△						8月29日	月						
8月1日	月	○	○	○				8月30日	火						
8月2日	火	○	○	○				8月31日	水						
8月3日	水	○	○	○				9月1日	木						
8月4日	木	○	○	○				9月2日	金						
8月5日	金	○	○	○				9月5日	月						

△は予備日

コンピュータ基礎(17)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金							8月29日	月	○	○	○			
8月1日	月							8月30日	火	○	○	○			
8月2日	火							8月31日	水	○	○	○			
8月3日	水							9月1日	木	○	○	○			
8月4日	木							9月2日	金	○	○	○			
8月5日	金							9月5日	月	△					

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(14) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが まか ひろ かつみ 長 坂 浩 史	短国・短英選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Webページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excelによる表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用(電子メール、WWW)等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料はWebページの体裁で作成してもらうので、HTMLの入門等、Webページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っていよい。

教 科 書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参 考 書 等

同上

そ の 他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(14)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金	○	○	○				8月29日	月						
8月1日	月	○	○	○				8月30日	火						
8月2日	火	○	○	○				8月31日	水						
8月3日	水	○	○	○				9月1日	木						
8月4日	木	○	○	○				9月2日	金						
8月5日	金	△	△	△				9月5日	月						

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (15)(16)(18) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>	短国・短英選	2

講義のねらい インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール 多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解すること。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法 評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書 必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等 必要に応じて紹介する予定である。

その他 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎 (15)

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
7月29日	金	○	○	○			8月29日	月					
8月1日	月	○	○	○			8月30日	火					
8月2日	火	○	○	○			8月31日	水					
8月3日	水	○	○	○			9月1日	木					
8月4日	木	○	○	○			9月2日	金					
8月5日	金	△	△	△			9月5日	月					

△は予備日

コンピュータ基礎 (16)

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
7月29日	金			○	○	○	8月29日	月					
8月1日	月			○	○	○	8月30日	火					
8月2日	火			○	○	○	8月31日	水					
8月3日	水			○	○	○	9月1日	木					
8月4日	木			○	○	○	9月2日	金					
8月5日	金			△	△	△	9月5日	月					

△は予備日

コンピュータ基礎 (18)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
7月29日	金							8月29日	月	○	○	○			
8月1日	月							8月30日	火	○	○	○			
8月2日	火							8月31日	水	○	○	○			
8月3日	水							9月1日	木	○	○	○			
8月4日	木							9月2日	金	○	○	○			
8月5日	金							9月5日	月	△	△	△			

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(19)(20) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	まかのい かずよ 坂野井 和 代	短国・短英選	2

講義のねらい

コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもしよいか、何をやってはいけないうか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	さかのい 坂野井 和代	短国・短英選	4

- 講義のねらい** コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール** まず初めに、コンピュータの動作原理およびプログラミングについて簡単に学ぶ。その後、Visual Basic という言語を使ってプログラミングの基礎を学ぶ。さらにいくつかの問題に対して、実際にプログラムを作成する。最後に、このようなプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを実習により確かめる。
- 履修上の留意点** プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、www の利用など）はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識（関数 log など）が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。
- 成績評価の方法** 評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。
- 教科書** 使用しない。適宜資料を配付する。
- 参考書等** 山本信雄著『Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング』（翔泳社）1,900円 ISBN4-88135-718-2
- その他** 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学(1)(2) 〔人類の進化〕	しのだけんいち 篠田謙一	短国・短英選	4

- 講義のねらい** 人類学はひとことで言えば「人間の生物学」ということですが、その包含する分野は漠然としていて、簡単に捉えることは難しいものです。本講義では、現在「人類学」の名の下に行われている具体的な研究内容を紹介し、人類学とはどのような学問であるのかを理解することを目的とします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 以下の内容をそれぞれ1回ないし2回で講義します。前期は基本的には人類の進化を、後期は日本人の起源を中心とした話になります。
「人類学の歴史と包括する分野」「霊長類学」「化石人類の発見史」「霊長類の進化と猿人」「原人から新人への進化」「現代人の起源」「分子人類学」「日本人の起源」「歴史時代における日本人の変化」「成長」「新大陸の人類学」
- 履修上の留意点** 出席を重視しますので、講義に参加できることを前提に履修してください。
- 成績評価の方法** 毎回、課題もしくは小試験を行い、その成績を総合して評価します。
- 教科書** R. ルーウィン著、保志 宏訳『ここまでわかった人類の起源と進化』（てらぺいあ）3,200円 ISBN：4-88699-013-4
- 参考書等** 特に指定しませんが講義の中で紹介します。
- その他** 本講義では、単に講師の話の聞くだけでなく、皆さんに考えて頂くような講義をしたいと思っていますので、主体的に参加していただくことを望みます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	仲 渡 江 美 <small>なか と え み</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

「人とは、何か」についての答えを探るのが、心理学という学問である。日常、私たちは、特に意識せず「見る」、「聴く」、「思い出す」、「考える」といった様々な行動を行なっているが、その背景には複雑な仕組みがある。例えば、「横顔や後ろ姿からでも親友をすぐに見つけることができるのは、なぜ。」、「自分の名前を呼ばれるとすぐに気づくのは、なぜ。」、「語呂合わせをして覚えた電話番号をいつまでも覚えているのは、なぜ。」など、人がどのような行動を行なうのか、なぜそのような行動を取るのかについての仕組みを心理学の様々な領域から捉え、日常生活での私たちの見方、考え方に新しい視点を与えて、自己や他者を理解していくことが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で、人が起こす行動とその仕組みについて、知覚、学習、記憶、人格、発達、臨床といった心理学の各領域から毎回トピックスを決めて探っていく。具体的なスケジュールについては、第1回目の講義で提示する予定である。

履修上の留意点

「理解する」ためには、講義の内容を自分の視点で改めて捉え直す必要がある。そのために、授業中、講義の内容に関して自分なりの意見や感想などを書いてもらう予定である。

成績評価の方法

講義の出席状況と年度末の筆記試験の結果から、総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義時にいくつか紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	鈴木 順一 <small>すずき じゆん いち</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具(理論と技法)を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは? 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解 (4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (7) コミュニケーションの促進 (8) 対人関係の真理 (9~10) カウンセリングの理論と技法 (11) 生涯発達心理学 (12) 親子関係の心理
- [後期] (13) 青年の心理 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自己肯定の人間関係 (16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation法 (19) 職場の人間関係 (20) 恋愛と結婚の心理 (21) 流行とマス・コミュニケーション (22) 社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席をとります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験、小レポート、グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』(福村出版)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心 理 学 〔心を科学する〕 (夏季集中)	ほり うち まさ ひこ 堀 内 正 彦	短国・短英選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- (1) 私語は厳禁である。
- (2) 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- (3) 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

そ の 他

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	○	8月29日	月	△	△			
8月1日	月	○	○	○	○	○	8月30日	火					
8月2日	火	○	○	○	○	○	8月31日	水					
8月3日	水	○	○	○	○	○	9月1日	木					
8月4日	木	○	○	○	○	○	9月2日	金					
8月5日	金	○	○	○	○	○	9月5日	月					

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (1) 〔仏教と自然〕	よつや こう どう 四津谷 孝 道	短国・短英選	4

講義のねらい	「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、いくつかの具体的テーマに焦点をしばって、仏教と自然に関する検討を進めてゆきたい。
講義の内容・授業スケジュール	まず、本講座において扱うところの「仏教」並びに「自然」というものについて明確な説明を加える。それを前提にして、「肉食」というテーマを、仏教思想を包括する意味でのインド思想全体の関連の中で検討する。
履修上の留意点	特になし。
成績評価の方法	学年末の試験。
教科書	特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。
参考書等	特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (2) 〔仏教と社会〕	くま もと えい にん 熊 本 英 人	短国・短英選	4

講義のねらい	日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。
講義の内容・授業スケジュール	社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。
成績評価の方法	適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。
教科書	適宜プリントで配布する。
参考書等	講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅱ (2) 〔自然観察入門富浦をめぐると自然〕	清水 善和・小沢 誠 小高 昭一・篠原 正雄 橋詰 直道・持丸 真里 柳澤 紀夫	短国・短英選	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究方法の一部を実体験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は、生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然である。ある地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的、地理的な背景を知る必要がある。本科目では、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法を紹介し、一部の講義では駒沢公園を利用した実習を行う。また、夏休み中に千葉県富浦町にある駒澤大学富浦セミナーハウスにて、泊まり込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。夜には天体観測の実習も行う。これらの講義や実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と富浦での実習を行う。内容に応じて、合計8名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。
前期半期：本校での講義（一部実習を含む）
（1）ガイダンス（2）自然観察の方法（3）植物の観察1（4）植物の観察2（5）バードウォッチングの方法（6）バードウォッチングの実習（7）化学的な見方1（8）化学的な見方2（9）地球科学的な見方1（10）地球科学的な見方2（11）天体観測の方法1（12）天体観測の方法2（13）富浦実習に向けて
富浦での講義と実習：7月17日（日）午後－7月21日（木）午前（4泊5日）
午前の講義、午後の野外実習、夜の天体観測など。

履修上の留意点

前期半期の講義と夏休みの実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦の実習に参加できない人は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休みの実習に参加する人のみ履修すること。採点の都合上、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする（予約の都合上、宿泊費1万6千円を4月中に徴収する）。実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回講義で詳しいガイダンスを行い、履修希望者が定員を越える場合には、その場で抽選を行うので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

合計7名の教員が分担して講義と実習を行うので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点とを総合して最終的な成績の判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試は行わない。

教科書

特になし。

参考書等

各担当教員が必要に応じて紹介する。

その他

抽選の可能性があるので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D.M.	短国・短英選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

履修上の留意点

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; all examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time. Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A", in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Rights*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おかざき としちろう 岡崎 寿一郎	短国・短英選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔女性学・男性学〕	すぎやま ひでこ 杉山 秀子	短国・短英選	4

講義のねらい

まず本講座では、日常生活において男女の意識や役割の区分が長い年月をかけて文化的につくられてきたことの歴史的経過を理解し、ジェンダー（社会的、文化的性差）の概念を正しく把握することにより、ジェンダーの視点から、社会的人間関係や、社会構造について新たな考察を展開したい。そもそも女性学とはこれまで男性中心に出来上がっている社会を女性の視点から新たに洗い直し、批判的に分析するための学問として成立した。従って女性学の主要な課題は男性によってこれまでつくりあげられたバイアス志向（男の視点によるものの見方の偏向性）による既成の社会や、政治、経済の仕組みや、道徳観、思考などにメスをいれ、批判的に解剖することであった。女性学のこの華々しい出現に対して、男性達も男性優位の社会のなかで必ずしもそれが自分達にとって都合のよいことではないということ、男性中心社会が、女性にとっても快適な社会でないと同様に男性にとっても居心地がよくないということが、男性自身にも近年ようやく気づきはじめられてきた。現在日本でも遅ればせながら、男性社会を男性の目でもう一度読み直そうとする男性学研究の気運が年々高まってきているのである。本講座ではこれらの最新の情報を踏まえながら、女性学、男性学の基礎を学んでいきたい。

授業のやり方としては、以下の項目の問題点をまず教員が基本的に提議、説明し、そのあと具体的な問題点を各人にディベートしてもらい、問題の所在を明らかにする事により、お互いに切磋琢磨し、意識を高めあいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 女性学、男性学とはなにか？
- 2) 性差とはなにか？
- 3) 男らしさ、女らしさとはなにか？
- 4) 性のダブル・スタンダード
- 5) 性の商品化
- 6) セクシュアル・ハラスメント
- 7) ジェンダー・ハラスメント
- 8) ジェンダー・トラブル
- 9) 家庭と性別役割分担
- 10) 現代日本の家族が抱える諸問題……非婚化、夫婦別姓、出生率低下と高齢社会
- 11) 労働とジェンダー
- 12) まとめ

成績評価の方法

授業中に何回かにわけて小論文を書いてもらい、提出する。
また年一回課題を出し、レポートを提出する。

教科書

プリントその他を必要におうじて配布する。
場合によってはビデオ、映画などを見る。

参考書等

参考書はその都度列挙する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし あきと 林 明人	短国・短英選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (2) 〔シアトル市のNPOとまちづくり〕	にしむら ゆうこ 西村祐子	短国・短英選	4

講義のねらい

アメリカのNPO,NGO（非営利組織）は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれる。前期はまちづくり（コミュニティビルディング）において市民と自治体の協働が盛んなワシントン州、シアトル市のNPOのいくつかをとりあげてみる。前期のシアトルに続き、後期はアメリカと日本の比較に移る。主に日本におけるまちづくりとNPOのあり方を比較し、日米のまちづくり政策や移民政策などと深くかかわるNPOの役割を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。
 前期：アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとNPO
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくりとNPO
 アメリカにおける移民とNPO
 自治体とNPOの協働について

後期：日本のまちづくりとシアトルのまちづくりの比較
 日本のまちづくり政策とNPO
 世田谷区のまちづくりとNPO
 まちづくり協議会とNPO
 兵庫県・神戸市と神奈川県・横浜市におけるまちづくりとNPO
 日本における移民政策とNPO

履修上の留意点

マルチメディア教場で講義をおこない、インターネットやビデオなどを毎回使う。受講人数は50名に限定。授業でコンピュータにアクセスするためにコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席率、レポート内容）重視。

教科書

『草の根NPOのまちづくり：シアトルからの挑戦』勁草（けいそう）書房

参考書等

教場にて指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこ てつお 丸小哲雄	短国・短英選	4

講義のねらい

近代思想批判としてのポストモダンの世界を分析して、合理化と絶対世界に対する相対化と主体化の問題を取り上げて、それを乗り越えるための方法を見出すように講義します。

講義の内容・授業スケジュール

モダニズムからポストモダニズムへの移行過程における問題を扱う。たとえば、近代の啓蒙思想の問題、合理性の問題、理性の暴力（排除されたもの）、相対化の問題、狂気の問題、建築・モード（ファッション）・エロス、携帯電話といったヴィジュアル系文化の問題、そして主体化過程を講義していきます。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

配布されたリーディング・リストに基づいて前期と後期にそれぞれテキストを読み、レポートを作成し提出する。最後にタームペーパーにまとめて、「ポストモダンにおける〈主体性〉のあり方」という表題でレポートを提出すること。なお出席を重視します。

教科書

読書リスト配布
 プリント配布

参考書等

リーディング・リスト配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ 川 股 陽太郎	短国・短英選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。わたし達がわたし達の文化をどれほど知っているかを考えてみる時、はなはだ心もとない思いを抱くことを考えれば容易に察しがつくであろう。ここでは「イギリスとはイギリス人とはなんであろう」ということを、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見たいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。一つの文化を理解しようとするとき、言語・風俗・習慣はもちろんのこと、政治・経済・文化を切り離して考えることはできない。それゆえ、原則として、たえず現代と関連させながら、様々な角度から「イギリス」というものを考察してみたい。

例えば、「イギリス」というものを、「地理的な面」と「人種的な面」から眺めてみるとしよう。イングランド地方・スコットランド地方・ウェールズ地方・コーンウォール地方という地理的側面と、イングランド人・スコットランド人・ウェールズ人・コーンウォール人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。一人の人間がどの部族に属するのか、どの人種に属するのかを決めるのは、土地と無縁ではありえないし、その地域の文化（言語、風俗、習慣）と無縁ではあり得ない。しかし、「血」もさることながら、それを決定するのはその人の「所属意識」である。

ビクトおよびケルトの時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人およびヴァイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性とその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで比較・検討することによって、よりいっそう明確にその認識を深めることが可能となる。それは、自分の所属する社会形態と、ある社会が有する社会形態を比較することによって、それぞれの文化が持つ特性をよりいっそう明確に認識するようになるということである。

善し悪しは別にして、「日本の常識は世界の非常識」であることが多いことも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように常に自己を訓練しておくことである。そのためにも自国の文化はいわずもがな、他国の文化を理解することが肝要である。

偽政者と都市計画、町並みと生活権、古代ローマと今日の道路・交通機関、大学の置かれている現状等々、比べてみると面白い。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポートはレポート用紙10枚程度のものを、12月末迄に提出。「引用文」には注（書名と頁数）を付し、参考文献名を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義のレジュメ、参考文献、資料等を適宜配布する。

その他

講義形式をとる。その一助として、視聴覚機材（VHS、DVD、PC、書画カメラ）等を用い、映像、写真、絵図、資料を提示しつつ、年間講義予定表に基づき講義を進めていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (1) 〔民族とは何か〕	おののゆうじ 大野 祐二	短国・短英選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的な方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめませんが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作著『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (2) 〔イスラム〕	よしのだきょうこ 吉田 京子	短国・短英選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを中心に講義を行う。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

神話、儀礼、救済、聖性の四側面から、宗教としてのイスラームにアプローチする予定。各5回から6回の授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	短国・短英選	4

講義のねらい

この世のなかには、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっています。この両性の関係は私たちの社会の中で、どんな風に構成されているだろうか。男も女も人間らしく生きてゆくことができる両性関係はどんな関係だろうか。私たちが理想とする両性関係をどんな風にしてつくっていったらよいか、皆さんとともに考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 前期
- a. ジェンダーってなに？
フェミニズムやジェンダーという考え方が生まれた歴史背景と私たちがもっている女らしさ、男らしさの内容を考えます。
 - b. 労働とジェンダー
企業の雇用戦略が大変貌をとげている現在、男女の企業における配置はどのようになっているか、その原因はなにか、雇用機会均等法は機能しているか、家族と労働生活は両立できるのか、など、私たちが直面している問題を考えます。
- 後期
- c. 家族とジェンダー
皆さんの来歴をたどりながら、現在の家族の変貌、そこからでてくる問題をとりあげ、未来の家族像を考えます。恋愛や結婚、夫妻、親子の歴史を簡単に古代からふりかえりながら、私たちの将来像を考えます。
 - d. セクシュアリティとジェンダー
今日程、性のありかたが多様になって、変化している時代はないでしょう。性同一障害やホモセクシャルな関係、性暴力の問題など、人間の性のありかたを考えます。

履修上の留意点

毎回ではありませんが、感想や意見を書いたもらいます。それが出席評価になりますから、就職活動や病気などを除いて欠席しないこと。

成績評価の方法

出席回数、夏休みレポート、後期期末試験（論述）によって成績評価する。講義の内容がいかされているかが評価の基準になる。

教 科 書

教科書は使用しない。

参 考 書 等

資料を随時配布する。

そ の 他

授業は講義、討論、映画鑑賞をふくむ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅶ(1) 〔トラブルと法的解決〕	<small>ふじもと</small> 藤本 <small>しげる</small> 茂・ <small>あらき</small> 荒木 <small>まさたか</small> 正孝 <small>たけなか</small> 竹中 <small>あか</small> 智香・ <small>はらだけい</small> 原田啓一郎 <small>ひさ</small> 日笠 <small>かんじ</small> 完治・ <small>やまくち</small> 山口 邦夫	短国・短英選	4

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。
 法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1回日の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。
 担当教員の順番や講義内容は、「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。
 1 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える
 2 山口 邦夫 刑事事件と法定手続
 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法
 4 荒木 正孝 現代社会と商法
 5 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
 6 原田啓一郎 大学生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。
 私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。
 追・再試験は、講義の形態上、行わない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。
 六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ 〔都市論〕	内海 麻利・浦田 早苗 坂井 文・品田 知美 早川 純貴・保坂 尚郎	短国・短英選	4

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会や建築及び都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

6名の講師により、各々4回講義を担当する。その順序、時期と講義内容は以下の通り。

内海麻利『都市論』ガイダンス（1回：4月）

品田知美「都市の変容と生活様式」（4回：4月・5月）

多くの人々が集う都市には、独特の生活様式が見いだせる。本講義では、大都市圏を中心とした日本の都市的生活様式を、主に2つの視角から振り返る。（1）環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するか。（2）家族：都市は、新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるか。過去を知り、現在を理解しながら、ともに近未来を考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」（4回：5月・6月）

都市における労働では、快適な通勤の実現や子育てとの両立などが課題となる。この講義では、通勤と関わる需要サイドを重視した交通政策「TDM」の展望や裁量労働制、SOHOワークなど新たな働き方と保育制度改革のあるべき方向などを検討し、「痛勤」からの解放と労働と子育ての両立を考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回：6月・7月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

内海麻利 「都市計画制度とその動向」（4回：9月・10月）

都市の物的な計画、実現手段である都市計画制度は、土地利用や道路・公園等の都市施設整備、市街地開発など、都市を形成するための様々なルールや仕組みを提供してきた。本講義では、社会情勢を踏まえ目指すべき都市計画制度を概観するとともに、その動向に見られる都市づくりのあり方を考える。

早川純貴「まちづくりと住民参加」（4回：10月・11月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

坂井 文 「都市を公共空間から読む」（4回：11月・12月）

都市の形成とともに、広場や公園などの近代公共空間は形成されてきた。公園の誕生にともなって、伝統的な都市空間の社会的な意味はどう変化してきたのだろうか。ロンドンと江戸・東京の都市の歴史を振り返り、また現在の政策を考察しながら、都市における公共空間のあり方を考える。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを内海が総合して評価する。

3. 外国語科目

外国語

3 . 外国語科目

〔英 語〕

英語 I (短国) 〈岸 本 茂 和〉	93
英語 I (短国) 〈吉 沢 栄治郎〉	93
英語 I (短国) 〈藤 島 喬 樹〉	94
英語 I (短英) 〈岸 本 茂 和〉	94
英語 I (短英) 〈吉 沢 栄治郎〉	95
英語 I (短英) 〈藤 島 喬 樹〉	95

〔ド イ ツ 語〕

ドイツ語 I (短国・短英) 〈井 村 行 子〉	96
--------------------------	----

〔フ ラ ンス 語〕

フランス語 I (短国・短英) 〈前 田 祝 一〉	97
---------------------------	----

〔中 国 語〕

中国語 I (短国・短英) 〈宮 本 厚 子〉	98
中国語 I (短国・短英) 〈岩 崎 皇〉	98

〔ス ペ イ ン 語〕

スペイン語 I (短国・短英) 〈上 野 勝 広〉	99
---------------------------	----

《再履修クラス》

英語 I [再クラス] (短英) 〈丸 小 哲 雄〉	100
ドイツ語 I [再クラス] (短英) 〈本 橋 右 京〉	100
フランス語 I [再クラス] (短英) 〈谷 川 かおる〉	100
中国語 I [再クラス] (短英) 〈蘭 明〉	101
スペイン語 I [再クラス] (短英) 〈佐 藤 麻里乃〉	101

《選 択 科 目》

英 文 講 読 (短国・短英) 〈林 明 人〉	102
英 文 講 読 (短国・短英) 〈矢 島 直 子〉	102
英 文 講 読 (短国・短英) 〈牧 野 輝 良〉	102
時 事 英 語 研 究 (短国・短英) 〈竹 村 恵 都子〉	103
時 事 英 語 研 究 (短国・短英) 〈林 明 人〉	103
時 事 英 語 研 究 (短国・短英) 〈岸 本 茂 和〉	104
時 事 英 語 研 究 (短国・短英) 〈丹 治 弘 昌〉	104
時 事 英 語 研 究 (短国・短英) 〈矢 島 直 子〉	105
マルチ・メデイア (短国・短英) 〈落 合 和 昭〉	105
マルチ・メデイア (短国・短英) 〈大 庭 直 樹〉	106
マルチ・メデイア (短国・短英) 〈西 村 祐 子〉	106
英 会 話 I (短国・短英) 〈ウエルズ, J. K.〉	107
英 会 話 I (短国・短英) 〈ソルタ, P. N. F.〉	108
英 会 話 I (短国・短英) 〈ピアス, D. M.〉	109
英 会 話 I (短国・短英) 〈ラッセル, S. J.〉	110

外国語

英	会	話	I (短国・短英)	〈ラージ, R.〉	111
英	会	話	I (短国・短英)	〈レーン, C. M.〉	112
英	会	話	II (短国・短英)	〈ラッセル, S. J.〉	113
英	会	話	II (短国・短英)	〈レーン, C. M.〉	114
英	会	話	II—夏季集中—	(短国・短英) 〈ピアス, D. M.〉	115
英	会	話	III (短国・短英)	〈ウェルズ, J. K.〉	116
英	会	話	III (短国・短英)	〈ラージ, R.〉	117
英	会	話	III—夏季集中—	(短国・短英) 〈レーン, C. M.〉	118
英	語	L L	I (短国・短英)	〈太田雅子〉	119
英	語	L L	I (短国・短英)	〈甲斐捷子〉	119
英	語	L L	I (短国・短英)	〈加藤佐和子〉	120
英	語	L L	I (短国・短英)	〈久保ひさ子〉	120
英	語	L L	I (短国・短英)	〈西村祐子〉	121
英	語	L L	I (短国・短英)	〈埴美智子〉	121
英	語	L L	II (短国・短英)	〈太田雅子〉	122
英	語	L L	II (短国・短英)	〈外池一子〉	122
英	語	L L	II (短国・短英)	〈西村祐子〉	123
英	語	L L	III (短国・短英)	〈レーン, C. M.〉	124
英	語	L L	III (短国・短英)	〈久保ひさ子〉	125
英	語	L L	III (短国・短英)	〈西村祐子〉	125
英	語		II (短国)	〈伊藤幸一〉	125
英	語		II (短英)	〈矢島直子〉	126
ドイツ語	I A (選)		(短国・短英)	〈五十嵐信子〉	126
ドイツ語	I B (選)		(短国・短英)	〈薮下紘一〉	126
ドイツ語	II (選)		(短国・短英)	〈薮下紘一〉	127
フランス語	I A (選)		(短国・短英)	〈出口雅俊〉	127
フランス語	I A (選)		(短国・短英)	〈遠山博雄〉	127
フランス語	I B (選)		(短国・短英)	〈菅原猛〉	128
フランス語	II (選)		(短国・短英)	〈桑田禮彰〉	128
中国語	I A (選)		(短国・短英)	〈釜屋修〉	128
中国語	I A (選)		(短国・短英)	〈宮本厚子〉	129
中国語	I B (選)		(短国・短英)	〈蘭明〉	129
中国語	II (選)		(短国・短英)	〈松本丁俊〉	129
スペイン語	I A (選)		(短国・短英)	〈亀山晃一〉	130
スペイン語	I B (選)		(短国・短英)	〈ナバロ, ホワン J.〉	130
スペイン語	II (選)		(短国・短英)	〈荻野雅司〉	130
ロシア語	I A (選)		(短国)	〈クロチコフ, Y.〉	131
ロシア語	I B (選)		(短国)	〈木村英明〉	131

〔英 語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	岸 ^{まし} 本 ^{もと} 茂 ^{しげ} 和 ^{かず}	短国1選	2

講義のねらい

つねに基礎にもどりつつよりたくさんの分野にわたる文章を読む。
ふつうの英語の授業だ。文章は平易。

講義の内容・
授業スケジュール

分野は——言語芸術・地理・歴史・芸術など多岐にわたる。英語でやさしい数学を解いてみよう。よりたくさんの文章をよむためにクラスをいくつかのグループに分け、夏季休暇に課題を課することになるだろう。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

出欠席を勘案しつつ試験結果をおもんじる。試験は前期・後期の2回。授業の3分の1いじょう欠席のばあいは不可とする。

教 科 書

E.D. Hirsch, Jr. - *What Your 6th Grader Need to Know* (Delta, USA)
(教科書は担当者が手配し授業第一週時に配布・購入の予定)

参 考 書 等

適宜指示する。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	吉 ^{よし} 沢 ^{ざわ} 栄 ^{えい} 治 ^{じろう} 郎	短国1選	2

講義のねらい

和文英訳の練習をしていきます。直訳してよい場合と、そうしては英文にならない場合があります。数多く英訳を重ねていくうちにしだいに訳すコツがつかめるようになるのではないのでしょうか。基本的な英訳文は、あまり文法に気をとられず、そのまま覚えていくことだとおもいます。短文でいくつも習得していくように心掛けたいものです。

履修上の留意点

授業時には和英辞典を用いて表現を豊かにしておくようにしたい。

成績評価の方法

テストは2回行ないます。出席状況のみで総合評価とします。

教 科 書

初回の授業時に指示します。

参 考 書 等

小学館プログレッシブ和英中辞典

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	狩野晃一	短国1選	2

講義のねらい	音読・精読等を通して英語の基礎力の定着をはかります。
講義の内容・授業スケジュール	テキストを正確に読むことを中心にしてゆきます。必要に応じてプリント等を配布します。
履修上の留意点	予習をすること。常に辞書を携帯すること。
成績評価の方法	日常の発表を重視し、前期・後期の試験の結果に加えて評価します。3分の2以上の出席が求められます。
教科書	未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	岸本茂和	短英1年 短英1選	2

講義のねらい	つねに基礎にもどりつつよりたくさんの方々の分野にわたる文章をよむ。ふつうの英語の授業だ。
講義の内容・授業スケジュール	分野は——言語芸術・歴史・地理・芸術など多岐にわたる。やさしい数学を英語で解いてみるのも興味があるかもしれない。たくさんの方々の文章をよむためにクラスをいくつかのグループに分け、夏季休暇に課題を課することになるだろう。
履修上の留意点	授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。
成績評価の方法	出欠席を勘案しつつ試験結果をおもんじる。試験は前期・後期の2回。授業日数の3分の1いじょう欠席したばあいは不可とする。
教科書	E.D. Hirsch, Jr. - <i>What Your 6th Grader Kneed to Know</i> (Delta, USA) (教科書は担当者が手配し授業第一週時に購入してもらう予定)
参考書等	適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	吉沢 栄治郎 <small>よし ぎわ えいじろう</small>	短英1年 短英1選	2

講義のねらい

エッセイ、あるいは、評論的な文章をよんでいきます。よんでいくものは、わかりやすいのものもあるだろうし、一寸つかまえてころがない文章と出会うかも知れませんが、ともかくも、種々様々な英文をよむことによって、思いを深め、視野が広がればよい、と考えています。まず板書された英文を筆写してからしばらく黙読し、あてられたらその意味するところを口頭でいう、という順に進めていきます。辞典は大いに引いて、確認しつつ、自前の訳文をノートしてみるとよいでしょう。あとで模範訳をみて、直します。

履修上の留意点

辞典を携帯し、実際に使うこと。何度も引く手間を惜しまぬように。

成績評価の方法

テストは2回行ないます。出席状況をみて総合評価とします。

教科書

とくに使用しません。

参考書等

研究社新英和中辞典

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	狩野 晃一 <small>かの のう こう いち</small>	短英1年 短英1選	2

講義のねらい

音読・精読等を通して英語の基礎力の定着をはかります。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを正確に読むことを中心にしてゆきます。必要に応じてプリント等を配布します。

履修上の留意点

予習をすること。常に辞書を携帯すること。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期・後期の試験の結果に加えて評価します。3分の2以上の出席が求められます。

教科書

未定

〔ドイツ語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	井 村 行 子 <small>いむらゆきこ</small>	短英1年 短国・短英1選	2

外国語

講義のねらい

ドイツ語の基礎を身につけることを目標にします。

講義の内容・
授業スケジュール

簡単なテキストを読みながら、文法事項の説明や練習を行います。できるだけ口頭演習の機会を多くしたいと思います。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

教 科 書

『いかがですか大学生生活（進級版）』（朝日出版社）

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I	まえだのりかず 前田祝一	短英1年 短国・短英1選	2

講義のねらい

初めてフランス語に接するものとして、ABCの基礎から開始し、音としてのこの言語に慣れ親しんでもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

教室では練習問題をくりかえし実践し理解を深めて行きます。

履修上の留意点

毎回の授業が、それまでの学習の成果の上に立っての、新しい項目の勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席を重ねていると取り残されてしまいますから、御用心。

成績評価の方法

前・後期のペーパーテストで成績評価しますが、出席状況や教室での課題も考慮します。

教科書

『でびゅたん』（白水社）1,800円

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I	みやもと あつこ 宮本厚子	短英1年 短国・短英1選	2

外国語

講義の内容・授業スケジュール	発音を学んだ後、簡単な会話を聞きとり、話せるようにする。前回学んだところを暗記して来ることが求められる。
成績評価の方法	年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点で評価する。
教科書	相原茂ほか『恋する莎莎』（朝日出版社）2,625円
その他	詳細は開講時に説明するので、履修者は第一回目に必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I	いわさき ひろし 岩崎 皇	短英1年 短国・短英1選	2

講義のねらい	中国語という言語を体験してもらうことが目標です。とりわけ発音が重要ですから、繰り返し練習します。
講義の内容・授業スケジュール	ビデオを利用しながら、テキストに沿って進めていきます。
履修上の留意点	授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。
成績評価の方法	4分の3以上の出席を前提とした上で、授業態度及び試験結果で判断します。
教科書	遠藤光暁『話す中国語北京篇1』（朝日出版社）2,500円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I	上野勝広 <small>うえのかつひろ</small>	短英1年 短国・短英1選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は5課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『新世紀のスペイン語』（同学社）2,200円

参考書等

初回の授業で紹介します。

《再履修クラス》

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I 〔再クラス〕	丸 小 哲 雄 <small>まる こ てつ お</small>	短英2年	2

外国語

講義のねらい	基礎英語に立ちかえりながら、速読ができるようにパラグラフの構成のあり方とそのコメント力の涵養に努めます。
講義の内容・授業スケジュール	リスニング・タイムを総理解をとして、リーディング・タイムで日本文化論を読み、自己表現できるように発信型の能力も涵養してゆきます。レポート提出を課題とします。
履修上の留意点	私語厳禁
成績評価の方法	出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。
教科書	リーディング・テキスト：The Compact Culture（英宝社） リスニング・サブテキスト：Listening closer to English（英宝社）
参考書等	随時指示し、タイムリーな時事英語ニュース記事をコピーも配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I 〔再クラス〕	本 橋 右 京 <small>もと はし う きょう</small>	短英2年	2

講義のねらい	やさしい文章を読みながら、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。
講義の内容・授業スケジュール	文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で以って、理解を確実なものとしします。
履修上の留意点	予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期後期の試験や出席などで総合評価します。
教科書	諏訪田清『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2,200円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I 〔再クラス〕	谷 川 かおる <small>たに がわ</small>	短英2年	2

講義のねらい	フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。
講義の内容・授業スケジュール	文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。
履修上の留意点	出席重視。辞書は毎回持参すること。
成績評価の方法	前期・後期試験、および小テストなど。
教科書	太田『フランス語文法の〈基礎〉、新訂版』（駿河台出版社）2,500円 CD付
参考書等	授業中に紹介する。
その他	全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I 〔再クラス〕	らん 明	短英2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社）2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I 〔再クラス〕	さとう まりの 佐藤 麻里乃	短英2年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

毎回の授業内で行う課題による（このため出席は必須である）

教科書

寺崎英樹『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等

小学館『ポケット・プログレッシブ西和・和西辞典』

《選択科目》

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	はやし 林 明人	短国・短英1・2選	4

外国語

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにになれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを用品です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	や 矢 じま 島 なお 直 こ 子	短国・短英1・2選	4

講義のねらい

イギリスの現代戯曲を読む勉強をします。取りあげる作品は、2004年8月にロンドンで見た評判のよかった芝居です。少々難しいかもしれませんが、基本的にコメディです。文学と歴史の勉強をする高校生が描かれています。中でフランス語が使われていますが、その部分は私がします。

履修上の留意点

毎回全員に当てるつもりですから、辞書を引いて意味が分ってから授業に出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

Alan Bennett The History Boys (faber & faber) ISBN0-571-22464-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まきの 牧 野 輝 良	短国・短英1・2選	4

講義のねらい

内容のある高度な英文を正確に読む訓練をする。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間3頁読む。指名された受講生はテキストを読み、和訳する事。時々全員に1頁ほどのパラグラフの和訳を紙に書き、担任者の前で読み上げ、評価を受ける作業を課す。

履修上の留意点

指名されたら和訳出来るようによく予習しておくこと。

成績評価の方法

毎時間毎の口答による和訳と記述試験。

教科書

『真の国際化とは』(成美堂) 980円 ISBN4-7919-1236-5

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	竹 ^{たけ} 村 ^{むら} 恵 ^え 都 ^つ 子 ^こ	短国・短英1・2選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	林 ^{はやし} 明 ^{あき} 人 ^と	短国・短英1・2選	4

講義のねらい

CNN,Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

講義の内容・授業スケジュール

CNN,Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	岸本茂和 <small>きし もと しげ かず</small>	短国・短英1・2選	4

講義のねらい

アメリカ合衆国第16代大統領エイブラハム・リンカーンの生涯を読む。
少年少女たちはリンカーンといえば「かわいそうな黒人奴隷を開放したおひげをはやしたやさしいのっぽのおじいさん」というイメージをもっているようだがはたしてそうか。どうもそれだけではないらしいことがつかめればこの授業の目標は達したといえる。

講義の内容・授業スケジュール

この授業はいわゆる講義ではなくふつうの英語のクラスだ。
「時事英語研究」と銘うちながら新聞・雑誌をよまないのを不審におもうのももつとだが、新聞はインキのおいがするあいだけがいち、それが消えてしまえば捨て去ってかえりみるものはない。だから新聞はよまない。雑誌はよまない。
一年間でこの作品を読み通すためにクラスをいくつかのグループに分け、一部を夏季休暇の課題にしたり通常授業でもそのグループの「自主研究」を重んじてゆく。作品は1987年度「ニューベリー賞」受賞。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。予習は必須。

成績評価の方法

試験は、前期・後期の2回。出席はとる。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。

教科書

Russell Freedman. - *Lincoln: A Photobiography*. (Clarion Books, USA)
(テキストは担当者が手配し授業第一週時に受講希望者に買ってもらう予定)

その他

受講者は40人を上限とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語研究	丹治弘昌 <small>たん じ ひろ まさ</small>	短国・短英1・2選	4

講義のねらい

英語の週刊誌の最新号を読みながら、語彙、表現法、文化的な背景を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

次の三項目を中心に行う。
(1) 基礎語彙表による単語を記憶する。
(2) 英文記事を毎回プリント2枚分を読解し、内容の把握する。
(3) パソコンを使って電子スクラップを作成して、データの処理を学習する。

成績評価の方法

平常の出席と時おりの小テスト、それに前期と後期の期末テストによって評価します。なお期末テストは授業の最終日に行うので留意のこと。

教科書

プリント使用。

その他

(注) 受講者多数の場合には人数制限あり。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	矢島直子	短国・短英1・2選	4

- 講義のねらい BBC News Online と日本の英字新聞 Daily Yomiuri のニュースを基にした教科書を使って、英語のニュースをしっかりと読む勉強をします。
- 履修上の留意点 毎回どンドン当てますから、辞書を引いて意味が分ってから、授業に出席するようにして下さい。
- 成績評価の方法 平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。
- 教科書 柏原英則『英文ニュース入門 2005/2006年版』(成美堂) 1,800円(税別) ISBN4-7919-4827-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	落合和昭	短国・短英1・2選	2

- 講義のねらい このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級(二級、準一級)程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を運用して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験(英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等)の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール 一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞(せりふ)を再現しながら、会話練習をする(一人の場合と、対話形式の場合がある)。授業は徹底した演習形式を取り、学生の子習を前提にして、進める。
- 履修上の留意点 このクラスの受講生はすでに現代口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講してもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は48名しか入れない教場を使用するので、48名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。
- 成績評価の方法 定期試験は全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%(現代口語英語の和訳)、後期試験は30%(ヒヤリングが10%、会話英作文が20%)である。課題、小テスト、授業中の発表等は全評価の60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度、小テストは5~10分程度のものを20回程度、授業中の発表は、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。
- 教科書
 - 1) 『イディオム表現のマルチ習得法』(北星堂) 1,700円 ISBN4-590-01180-8 C3082
 - 2) 映画総合教材『シャイン』(松柏社) 2,000円 ISBN4-88198-561-2 C3082
 - 3) Longman Pocket Phrasal Verbs Dictionary ISBN0582776422

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おほばなつき 大庭直樹	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

その他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	にしむらゆうこ 西村祐子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

インターネットとコンピュータを使用して、パワーポイントを使った英語プレゼンテーション素材の作り方やインターネットの情報収集の仕方について学ぶクラス。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：CDRom教材を利用し、パワーポイントをつかって内容を英語で説明していく。
 9-12月：インターネットを使って与えられた課題に答える。海外の文化や社会について情報を収集し、パワーポイントでまとめる訓練を繰り返しおこなう。

履修上の留意点

教場の都合で受講は50名に限定。

成績評価の方法

平常点（出席点、提出物など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

特になし。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー550点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J.K.	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I!!

Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1st semester will be question and answer, while the 2nd semester will be role playing activities.

講義の内容・ 授業スケジュール

WELCOME to my class! The following is an example of my class.

- ・ quizzes 25%
- ・ tests 25%
- ・ attendance 50%

Assignments will be given weekly, with emphasis on group or pairwork

No one will be able to miss more than 3 classes

Let's have fun!

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.

LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ソルタ, P.N.F.	短国・短英1・2選	2

外国語

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・
授業スケジュール

A textbook with 15 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will be given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教科書

Communicate: book 1 a / David Paul / Macmillan Language House, 1, 230
ISBN0-435-26119-3

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 I	ピアス, D.M.	短国・短英1・2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final - semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

そ の 他

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラッセル, S.J.	短国・短英1・2選	2

外国語

講義のねらい

English ConversationIC is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

Fifty - Fifty Book 1 ISBN0 - 13 - 920000 - 2 (Published by Longman)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラーズ, R.	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students simple fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, asking questions and communicating information about themselves, their families, interests, homes and neighborhoods. Special attention is given to pronunciation. Students are given basic exposure to the differences in English spoken in the U.S. and U.K.

講義の内容・授業スケジュール

Vocabulary building and conversations in Present Simple and Present Continuous tense (some introductory use of future and past tense) about the following subjects: Personal information and meeting people; home and classroom objects, places around town and everyday activities; nationalities, professions and describing people and things; describing the weather; talking about family members, activities and events; asking directions, describing locations, describing and asking questions about neighborhoods and apartments; clothes, colors, going shopping; likes and dislikes, feelings; numbers; speaking about days of the week, months, years.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow modeled exercises in the text. Additional vocabulary is introduced and practiced. Once the model is established, pair-work, group-work and conversations around and beyond the model are practiced. To enhance listening skills "conversations on tape" are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of memorizing the new vocabulary and models, and completing grammar exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary, grammar exercises and conversation games are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) 3 or 4 written tests over the year (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教科書

- I) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Student's book* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN# 0-13-183935-7
- II) *Side by Side (Third Edition) Book 2 Activity Workbook* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN# 0-13-026750-3

参考書等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	レーン, C.M.	短国・短英1・2選	2

外
国
語

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester exams

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教 科 書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参 考 書 等

A good English / Japanese dictionary

そ の 他

Message for Students

Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア650点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅱ	ラッセル, S.J.	短国・短英2選	2

講義のねらい

English Conversation II C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教 科 書

Within Your Reach : Keys to Conversation (NAN^NUN-DO)
ISBN4-523-17444-X C0082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	レーン, C.M.	短国・短英2選	2

外国語

講義のねらい

This language course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel more comfortable in communicating in English on a variety of different topics.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on speaking practice and improvement of listening skills. students will be invited to give their opinion on a number of different issues, as well as general conversational practice. Journal writing will also be compulsory and will give students a chance for freer expression as well as being a good way of having more personal contact with the teacher.

履修上の留意点

Classes will be taught entirely in English with students working in pairs or small groups.

成績評価の方法

50% Class participation and attendance
25% Journal
25% Semester presentations

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書

Book used will be decided on after the course starts to ensure the correct level of text is chosen.

参考書等

A good English / Japanese dictionary

その他

Message for Students
Speaking English can be fun, but to make any progress the student must be prepared to try to speak as much as possible.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 (夏季集中) II	ピアス, D.M.	短国・短英2選	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. Students will improve their conversational ability by expressing opinions on topics of their own interest. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. Students will be free to make their own groups and carry out discussions and make presentations. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Sociological Notes*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English - Japanese dictionary or a battery - powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

Adam Pelagius *Sociological Notes*, Themis Research Group, 2003

その他

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high - quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Take this course only if you are fully willing to practice English conversation, in a loud voice, with others. If you don't want to speak out loud, take some other course. In this class you will be speaking English all the time.

授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	8月29日	月				
8月1日	月	○	○	○	○	8月30日	火				
8月2日	火	○	○	○	○	8月31日	水				
8月3日	水	○	○	○	○	9月1日	木				
8月4日	木	○	○	○	○	9月2日	金				
8月5日	金	○	○	○	○	9月5日	月				

英 会 話 Ⅲ

外国語

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア580点以上、TOEIC®のスコア800点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウエルズ, J.K.	短国・短英2選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
 Students must have taken English conv.Ⅱ to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
 I'm waiting to meet you and to improve your English...

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.
 LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ラーズ, R.	短国・短英2選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, and by discussing simple to moderately abstract / complex subjects. Students read stories and articles and extrapolate content verbally through questions and answers. Special attention is given to improvement in pronunciation and grammar.

講義の内容・
授業スケジュール

Conversations using present, past and future tense: talking about oneself, other people, families, one's likes and dislikes, professions and neighbors; forms of communication and communities around the world, cultural patterns and traits, travel; human interests and hobbies, habits, possessions; going shopping, shopping districts and specialties, currencies and numbers; crime; asking and giving directions; feelings and needs, etc. Some introductory explanation of word roots, English slang and commonly used phrases.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow the text that has a number of stories or essays with questions and answers and grammar exercises. Additional vocabulary is introduced and explained. After modeling a few examples, the text is discussed through pair-work and group-work. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of revising, memorizing new vocabulary, written assignments and completing exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary and conversation games, and grammar exercises are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) written tests and papers (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2 / 3 of the year will fail the course.

教 科 書

- I) *New Headway English Course Pre - Intermediate Student's Book* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN# 0-19-436670-7
- II) *New Headway English Course Pre - Intermediate Workbook* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN# 0-19-436672-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 Ⅲ (夏季集中)	レーン, C.M.	短国・短英2選	2

外国語

講義のねらい

The main aim of this class is to help students take control of their own learning and to help them gain confidence speaking English in front of groups of people. This will be achieved through presentations and small group discussions. The course will also concentrate on cultural and/or controversial issues and will teach the students to view value systems, which are different from their own.

講義の内容・授業スケジュール

Each week one student will be in charge of the content of the class. This means that they will at the beginning of the class they will give a presentation on their chosen subject. Then they will provide a discussion sheet related to their topic, which will be discussed either as a class activity or else in small groups. Students will be required to give two such presentations during the academic year.

The teacher will prepare some discussion subjects as well. How many will depend on how many students decide to enrol in the class. Also, the teacher will choose the material to be discussed only after consultation with the students as a whole. This is because it is felt that students tend to contribute much more when they are actually interested in the topic up for discussion.

履修上の留意点

1. The presentations and discussion sheets must be shown to the teacher at least one week before the student's presentation, so that the teacher can help the student with corrections and ideas.
2. Students must be able to communicate, or at least be willing to try to participate, within group discussions. Failure to do so will result in the student failing the course.

成績評価の方法

There is no exam for this course. However, students will be graded by the quality of their presentations and by the amount of their week - to - week participation.
 20%two take home essays (10%each essay)
 40%two presentations, with discussion sheet (20%each presentation)
 40%participation within the class (20%each semester)

教科書

There is no required textbook for this course. However students will be required to have a good dictionary and to buy a binder to keep the handouts and presentation copies in.

参考書等

Dictionary

その他

Method of Teaching. Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
7月29日	金	○	○	○	○	○	8月29日	月					
8月1日	月	○	○	○	○	○	8月30日	火					
8月2日	火	○	○	○	○	○	8月31日	水					
8月3日	水	○	○	○	○	○	9月1日	木					
8月4日	木	○	○	○	○	○	9月2日	金					
8月5日	金	○	○	○	○	○	9月5日	月					

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	おお たい まさこ 太 田 雅 子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

授業の前半はテキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は映画の中の natural English をききとれるように練習を重ねる。又、その中の expression を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

矢作三蔵 *Basics of Natural English*（開文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期はゆっくり、後期は力がついてきますので、進度を早めながら、全章を終了します。

履修上の留意点

別売りのカセットテープを繰り返し聴いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Sounds Right! Sounds Good!
Hisako Murakawa 著 MacMillan Languagehouse 2,000円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	加藤 佐和子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい	発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC スコア500を目標にする。
講義の内容・授業スケジュール	毎回テキストを1 Lesson 進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC 受験のための学習も行う。
履修上の留意点	各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。
成績評価の方法	毎回の小テスト・授業参加度50% まとめテスト50%
教科書	『English20』（英進社） 『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保 ひさ子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい	現地で、一人で、病院に行って、薬局で薬をもらって帰って来られるようにするために、病気や医療場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	医療英会話の短文を、パソコン使用で、聞き取り、書き取り、反復練習する。小テストあり。
履修上の留意点	実習授業のため、欠席しないようお願い致します。
成績評価の方法	試験と授業実習と小テストの合計点。
教科書	尾崎哲夫『病気になっても困らない英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	<small>にしむら ゆうこ</small> 西村 祐子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は前期は日本語でおこなうが、後期にはすべて英語による授業になる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：英語の会話ビデオを見基本的な会話表現を学習する。ディクテーションによって会話を書き取ってタイプし、ペアワークのなかで覚える。

9-12月：ビデオをみながら話の内容を英語で説明する。概略をMSワードでタイプして提出する。英語で簡単なプレゼンテーションを毎回行う。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒沢大学のコンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。

教科書

教場で指定。

参考書等

教場で指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	<small>ほなわ みちこ</small> 埴 美智子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

PC教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Talk of the Town—Adaptive language skills— 生きた英語から学ぶ会話ストラテジー』（マクミラン・ランゲージハウス）1,600円

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語文化についても知識を増やしていく努力をする。

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。デジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア500点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお た まよ こ 太 田 雅 子	短国・短英2選	2

講義のねらい

テレビニュース、映画などを利用して、ヒアリングの力を向上させる。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には、単位を認定しない。その他履修上の注意点は第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

小野田栄 *BBC World Understanding the News in English 2* (金星堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おの いけ かず こ 外 池 一 子	短国・短英2選	2

講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの主に最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすることが重要です。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

英語 LL I を受講済みの学生、もしくは同程度のリスニングの力がある学生が受講対象です。初めにテストを行いますから必ず出席してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	にし西村 祐子	短国・短英2選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルⅠを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルⅡではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得し、概略を説明していく作業を繰り返す。また、テキストを使用してより正確な表現、高度な表現ができる訓練をおこなう。電子メールで提出する課題英作文による書く訓練、多様な文章を読む訓練も併用する。授業はすべて英語でおこない、質問も英語でのみ受けつける。学生同士の英語での話し合いやペアワークなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC700-750程度。LLⅠにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

外国語

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。教科書は Unit 1-5 まで。
9-12月：LLⅢへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をおいた授業。教科書は Unit 6-10までを学習。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員駒沢のコンピュータ ID を取得しておく。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：*New Headway pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：*Headway elementary*、および *pre-intermediate*、その他。

参考書等

使用ビデオ：*New Headway (elementary)*、および (*pre-intermediate*)、その他。

英 語 L L Ⅲ

〈英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL Ⅱを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコアー550点以上、TOEIC®のスコアー800点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	レーン, C.M.	短国・短英2選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many English as a second language tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the real world they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as, music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.
2. Since the lesson is only once a week, students must also take control of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English everyday. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

- 20%attendance
- 40%exams
- 40%participation within the class

教 科 書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	久保 ひさ子	短国・短英2選	2

講義のねらい

英語講演等を、大半、理解でき、さらに、ディスカッションできる程度をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、再生、反復練習する。自己紹介、ビデオ、ディベートも含む。

履修上の留意点

実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習の合計点

教科書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	西村 祐子	短国・短英2選	2

講義のねらい

レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざしたが、このレベルⅢはそれより一層高度な会話表現力およびプレゼンテーション能力を習得することをめざす。また、欧米の大学留学のための準備クラスとして、多様な英文を読み、概略を英語でまとめたり、いくつかのトピックについてのプレゼンテーションをおこなったりもする。LLⅡ同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、グループワークも取り入れる。LLレベルⅡを終了し、英検準一級程度（TOEIC レベル700以上）の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：教科書のUnit 1-5まで。ビデオのサマリーを中心としたプレゼンテーション。
9-12月：教科書のUnit 6-10まで。多様な文章を読みながら感想を記述し、発表する訓練を繰り返し行う。ビデオの英語による概略説明も続ける。

履修上の留意点

大学のコンピュータIDを必ず事前に取得しておく。レベルⅢは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修の前にLLⅡの内容とよく比較して検討してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教科書

New Headway Upper Intermediate. (Oxford Univ. Press)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II	伊藤 幸一	短国2選	2

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ主要都市の最新穴場情報満載、ヨーロッパ圏への興味を誘う、とテキストは言う。毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。そして、復習の為に宿題レポートを3回（5月末、夏休み、大学祭後）課し、最終授業時に「まとめ」のテストを予定。

成績評価の方法

以上、3点、予習・復習・「まとめ」の成果による。詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

『European Vacation』（松柏社）

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II	矢島直子	短英2選	2

講義のねらい

教科書を使って、英語を聞く力と表現する力をつけるような勉強をします。

履修上の留意点

毎回授業でどんどん当てますから、辞書を引いて意味が分るようにしてから、授業に出席して下さい。

成績評価の方法

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合して成績をつけます。全出席数の3分の1以上欠席すると、原則として受験できません。

教科書

最初の授業で知らせます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	五十嵐信子	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引きながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかりと理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	藪下紘一	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

はじめてドイツ語を習う皆さんに一寸苦しんでもらいます。短い易しい文から始めましょう。

履修上の留意点

できるだけ教室に来てください。出欠をとります。

成績評価の方法

前期・後期の試験で評価します。時々ミニテストもやりますか。

教科書

教科書は4月に決めます。

参考書等

特に参考書はなくていいと思います。辞書については4月の第1回目の講義の時4冊程挙げますので、それを参考にして各自買って下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ(選)	やぶ した こう いち 数 下 紘 一	短国・短英2選	2

講義のねらい

1年生で習った事を元にして、辞書を引きながら読めるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期は易しい物をゆっくり、後期は2年生らしい文を読みます。

履修上の留意点

出席は是非して下さい。サボるとわからなくなりますから。

成績評価の方法

成績は前期・後期の試験+平常点で決定します。平常点も入ります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠA(選)	で ぐち まさ とし 出 口 雅 敏	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかりと身につけることは、フランス語の世界に入ってゆくための大切なプロセスです。ですから、この入口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、文法事項の簡潔なまとめと練習問題から成っています。授業は、文法事項の具体的説明の後、練習問題に取り組む、という形で進行します。加えて、フランス語の読み方や仏和辞書の引き方についても慣れてもらいます。

履修上の留意点

辞書を持参して下さい。やむをえず欠席する場合は、理由を書面にて提出して下さい。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と通常点によって評価します。

教科書

斎藤昌三『《新版》ル・フランセ』(白水社) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠA(選)	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験を行ないます。

教科書

佐藤久美子他著『フロレゾン』(白水社) 2,100円 ISBN4-560-06036-3

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	菅原 猛	短国・短英1・2選	2

講義のねらい	英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。
講義の内容・授業スケジュール	1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。
履修上の留意点	教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。
成績評価の方法	年2回の定期試験の他、授業時間内に行う平常試験の成績を重視します。
教科書	石井洋二郎『新フランス文法要説』(朝日出版社) 2,000円 ISBN4-255-35165-1 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II (選)	桑田 禮彰	短国・短英2選	2

講義のねらい	フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
講義の内容・授業スケジュール	比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	プリント配布。
参考書等	そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	釜屋 修	短国・短英1・2選	2

講義のねらい	正確な発音を習得し、基本文法のいちばん基礎となるところを重点的に学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	週一回の授業なので欠席なく持続的な学習に心がけてもらうが、授業展開も継続性に留意する。
履修上の留意点	週一回の授業なので、一回の欠席は大きな学習欠落となる。出席に注意せよ。
成績評価の方法	出席状況、各種テストにより総合的に評価する。
教科書	董燕・遠藤光暁『中国語プロムナード』(好文出版) 2,400円 CD付
参考書等	開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	宮本厚子 <small>みやもとあつこ</small>	短国・短英1・2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点

毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。

教科書

プリント配布。

その他

詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	蘭明 <small>らんめい</small>	短国・短英1・2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一か月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗』（朝日出版社） 2,835円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	松本丁俊 <small>まつもとあつとし</small>	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の故事や民話を題材にし、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に学ぶ。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段授業中に、発音のチェックや、作文の練習などを見る。出席点も参考にする。

教科書

陳榮生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	ナバロ, ホワン J.	短国・短英1・2選	2

講義のねらい

スペイン語の基本文法を学びながら、中級程度の会話能力の養成を目指します。動詞の過去形の練習に力をいれます。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに文法についての説明があり、次に練習問題で理解を確実にします。各課の会話文や読み物は日本語に訳してもらいます。

履修上の留意点

出席はもちろん積極的な授業参加を期待します。各課の新出単語を調べておくなど予習はかせません。

成績評価の方法

出席と2回の期末試験の結果で評価します。

教科書

ホワン・J・ナバーロ『Español dinámico』(印刷中)

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 II (選)	おぎ の まさ し 荻 野 雅 司	短国・短英2選	2

講義のねらい

スペイン語 I で学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語 I で得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んで行きます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法システム』(同学社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	短国1・2選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディ・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B (選)	木村英明	短国1・2選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

外国語

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (卓球)	〈佐藤 政之〉	139
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈三幣 晴三〉	140
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈山口 良博〉	141
健康・スポーツ実習 (テニス)	〈田中 佳孝〉	142
健康・スポーツ実習 (ティーツフトボール)	〈田中 佳孝〉	143
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈田中 佳孝・長濱 友雄〉	144
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	145
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング)	〈秋田 浩一〉	145
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓球)	〈川村 正義・山口 良博〉	146
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン)	〈牧野 茂〉	147
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール)	〈高橋 俊介・村松 誠〉	148
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	149
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング&太極拳)	〈光永 吉輝〉	150
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期/基礎 (簡化太極拳)	〈大石 武士〉	151
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期/基礎 (バドミントン)	〈長濱 友雄〉	152
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期/基礎 (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	152
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期/基礎 (卓球)	〈牧野 茂〉	153
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期/基礎 (バスケットボール)	〈牧野 茂〉	154
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期/応用 (簡化太極拳)	〈大石 武士〉	155
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期/応用 (ニュースポーツ)	〈大石 武士〉	156
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期/応用 (バドミントン)	〈長濱 友雄〉	157
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期/応用 (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	157
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期/応用 (バドミントン)	〈鈴木 淳平〉	158
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期/応用 (卓球)	〈牧野 茂〉	159
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前期・後期/応用 (バスケットボール)	〈牧野 茂〉	160
生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中)	〈江口 淳一〉	161
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中)	〈江口 淳一〉	162
生涯スポーツ実習 (集中後期) (ゴルフ集中)	〈三幣 晴三〉	163

生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈村 松 誠 他〉	164
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈竹 田 幸 夫 他〉	165
健康・スポーツ論 (佐藤 政之)		166
健康・スポーツ論 (三 幣 晴 三)		167

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1 時限 (短国)		2 時限 (短英)	
金 曜 日	※佐藤	卓球	※田中	ティーソフトボール
	田中	テニス	三幣	ゴルフ
	山口	室内球技	佐藤	卓球
			山口	室内球技

※は、科目の主担当者

保健体育

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日					
1 時限										
2 時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	牧	前期・応用	野	前期・応用		
		バドミントン		ニュースポーツ※		卓球		バスケットボール		
	濱	後期・基礎	石	後期・応用	後期・応用	野	後期・応用	野	後期・応用	
		バドミントン		ニュースポーツ※	卓球		バスケットボール			
3 時限	長	前期・応用	大	鈴	前期・応用	牧	前期・基礎	野	前期・基礎	
		バドミントン			簡化太極拳※		室内球技		卓球	バスケットボール
	濱	後期・応用	石	木	後期・応用	後期・基礎	野	後期・基礎	野	後期・基礎
		バドミントン			簡化太極拳※	室内球技		卓球		バスケットボール
4 時限	大	前期・応用		鈴	前期・基礎	野	前期・応用			
		簡化太極拳※			室内球技		バドミントン			
	後期・応用	後期・基礎			後期・応用					
	簡化太極拳※	室内球技			バドミントン					

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	佐 藤 政 之 さとう まさゆき	短英1必 短国1選	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	みぬきはる 三幣晴三	短英1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時 限 目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時 限 目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時 限 目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時 限 目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時 限 目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時 限 目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時 限 目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時 限 目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時 限 目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時 限 目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時 限 目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時 限 目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時 限 目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やま くち よし ひる 山 口 良 博	短英1必	2
		短国1選	

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	たなか よし たか 田 中 佳 孝	短国1選	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本記述
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本記述
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (ティーソフトボール)	たなかよし たか 田 中 佳 孝	短英1必	2

講義のねらい

ソフトボールから生まれたニュー・スポーツ「ティーボール」を行なう。このスポーツはピッチャーのいないソフトボールであり、ホームベース上のティーに置かれたボールを打つことからプレーされる。

より安全に広範囲の年齢層にプレーができる様ルールおよび用具が考えられている。ティーボールの基本技術を習得し、ルールを理解することにより見るスポーツから参加するスポーツに発展させる。また、模擬試合をすることにより戦術的なことを理解し、より楽しくゲームが行なえ、野球やソフトボール観戦にも興味を持つことができる様にする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明と諸注意
- 2 時限目：用具の説明と使い方、キャッチボールの基本、ゴロ補球の基本、ルールの説明と実際
- 3 時限目：キャッチボール&ゴロの補球、バッティングの基本、ルールの説明と模擬ゲーム
- 4 時限目：ゴロの補球と1塁送球、ティーバッティング、ルールの説明と模擬ゲーム
- 5 時限目：フライボール補球の基本、模擬ゲーム
- 6 時限目：ティーバッティング、ゲーム
- 7 時限目：ティーバッティング、ゲーム
- 8 時限目：W-up、リーグ戦
- 9 時限目：W-up、リーグ戦
- 10時限目：W-up、リーグ戦
- 11時限目：W-up、リーグ戦
- 12時限目：W-up、リーグ戦
- 13時限目：W-up、リーグ戦
- 14時限目：W-up、リーグ戦
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は一般的運動服装。運動シューズを用意する事。用具は全て貸与する。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。特別な実技テストは行わない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	たなか よしたか ながはま ともお 田中 佳孝・長濱 友雄	短英2年	2

講義のねらい

室内で行なう球技（卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール）の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球（ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム）
- 3 時限目：〃（サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム）
- 4 時限目：〃（シングルスゲーム）
- 5 時限目：〃（シングルスゲーム）
- 6 時限目：〃（ダブルスゲームの進め方、ゲーム）
- 7 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 8 時限目：〃（まとめと評価）
- 9 時限目：バドミントン（ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム）
- 10 時限目：〃（ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス）
- 11 時限目：〃（ルール解説、シングルスゲーム）
- 12 時限目：〃（ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム）
- 13 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 14 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 15 時限目：〃（まとめと評価）

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール（パスとサーブの技術、ミニゲーム）
- 3 時限目：〃（アタックとブロックの技術、ルール解説）
- 4 時限目：〃（フォーメーション、ゲーム）
- 5 時限目：〃（ゲーム）
- 6 時限目：〃（ゲーム）
- 7 時限目：〃（ゲーム）
- 8 時限目：〃（まとめと評価）
- 9 時限目：バスケットボール（パス、ドリブル、ショットの基本技術）
- 10 時限目：〃（レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説）
- 11 時限目：〃（ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム）
- 12 時限目：〃（ゲーム）
- 13 時限目：〃（ゲーム）
- 14 時限目：〃（ゲーム）
- 15 時限目：〃（まとめと評価）

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	短英2年	2

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(トレーニング)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	短英2年	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）
（後期）12月21日（水）～25日（日）
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：午前 10：00～12：00
午後 13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への「履修届（事前登録）」は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(卓球)	<small>かわむら まさよし やまぐち よしひろ</small> 川村 正義・山口 良博	短英2年	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単と言われるルール(シングルス、ダブルス)を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4日目午前：ダブルスゲーム
- 4日目午後：ダブルスゲーム
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期)7月17日(日)～21日(木)
(後期)12月21日(水)～25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧 野 茂	短英2年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

 講義の内容・
授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1 日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
（1）（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2 日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2 日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
（1）（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3 日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
（2）（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3 日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4 日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
（3）（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4 日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5 日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5 日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- （1）服装は、一般的な運動服とする。
- （2）体育館シューズを用意すること。
- （3）ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- （1）実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）
（後期）12月21日（水）～25日（日）
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
 - （2）実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
 - （3）実施場所：玉川体育館
 - （4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - （5）備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	たかはし しゅんすけ わらまつ まこと 高橋 俊介・村松 誠	短英2年	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃
午後：〃
- 第5日目 午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月17日(日)～21日(木)
(後期) 12月21日(水)～25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース（室内球技）	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	短英2年	2

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントン等の種目を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月17日（日）～21日（木）
（後期）12月21日（水）～25日（日）
7月17日及び12月21日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合すること。
- (2) 実施時間：10：00～12：00（昼食・休憩） 13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館他
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(トレーニング&太極拳)	みつなが よしてる 光 永 吉 輝	短英2年	2

講義のねらい

この講義では午前、体力の基礎である、筋力、持久力、柔軟性をトレーニングの授業で学び、午後の講義では、バランス、集中力、呼吸法によるリラクスの方法を太極拳で学ぶことをねらいとしている。

簡化太極拳は、簡単なものから複雑なものへ、やさしいものから難しいものへと構成されていて、学びやすく、覚えやすいようになっている。全コース八組(24式)あって、練習では全コース通してやってもいいし、あるいは一組が2~4式となっているが、ここでは、第一組から第四組(11式)までを学ぶねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | |
|-----|----|------------------------|
| 1日目 | 午前 | オリエンテーション・体力測定 |
| | 午後 | オリエンテーション・基本動作・第一組(3式) |
| 2日目 | 午前 | カイザーカムⅡの使用説明、最大筋力測定 |
| | 午後 | 第一組、第二組(3式) |
| 3日目 | 午前 | トレーニング |
| | 午後 | 第一組、第二組、第三組(2式) |
| 4日目 | 午前 | トレーニング |
| | 午後 | 第一組、第二組、第三組、第四組(3式)、総合 |
| 5日目 | 午前 | 体力測定 |
| | 午後 | 総合(1~11式)、テスト |

履修上の留意点

服装は、トレーニングウェア。実技は、体育館地下一階トレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。尚、太極拳は、最終日に演武テストを行う。

そ の 他

再クラス、集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期)7月17日(日)~21日(木)
(後期)12月21日(水)~25日(日)
7月17日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場集合
- (2) 実施時間：午前10:00~12:00
午後13:00~15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館地下トレーニング場
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎)		短国・短英2選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎) (バドミントン)		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目： /
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： }
総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目： }
- 11 時限目： }
総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)	すず き じゅん べい 鈴 木 淳 平	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎) (室内球技)		短国・短英2選	

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
1 時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出席率の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)	まさきの 牧野 茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎) (卓 球)		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時 限 目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時 限 目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時 限 目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時 限 目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時 限 目：シングルスゲームの練習
- 8 時 限 目：}
- 9 時 限 目：} 総合練習、シングルスゲーム練習
- 10 時 限 目：}
- 11 時 限 目：}
- 12 時 限 目：}
- 13 時 限 目：} 総合練習、ダブルスゲーム
- 14 時 限 目：}
- 15 時 限 目：}

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	まきの 牧野 茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) (バスケットボール)		短国・短英2選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス（1）、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス（2）、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（1）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク（2）、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフense（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフense（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフense（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用) (後期・応用)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (簡化太極拳)		短国・短英2選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・転身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 転身撒ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用) (ニュースポーツ)		短国・短英2選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時 限 目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時 限 目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時 限 目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時 限 目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時 限 目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13 時 限 目：総合
- 14 時 限 目：総合
- 15 時 限 目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズについてはオリエンテーションの時に説明する。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (バドミントン)		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目：総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目：総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 11時限目：総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目：総合練習・ゲーム（ダブルス）

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	すず き じゅん へい 鈴 木 淳 平	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (室内球技)		短国・短英2選	

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要な積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行い、スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 定員は50名とする。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)	すず き じゅん へい 鈴 木 淳 平	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用) (バドミントン)		短国・短英2選	

講義のねらい

生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：ク
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11 時間目： }
- 12 時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15 時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	まきの 牧 野	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (卓 球)		しげる 茂	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3時限目：サーブ、ラリー
- 4時限目：
 - ｝ 総合練習・シングルスゲーム
- 8時限目：
 - ｝ 総合練習・シングルスゲーム
- 9時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10時限目：
 - ｝ 総合練習・ダブルスゲーム
- 13時限目：
 - ｝ 総合練習・ダブルスゲーム
- 14時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	まきの野 しげる茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (バスケットボール)		短国・短英2選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE（3）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE（1）ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE（2）ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE（3）ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) (テニス集中)	え ぐち じゆん いち 江 口 淳 一	短国・短英選	1

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスがこなせる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 日目午前：ラケットイング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1 日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2 日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2 日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3 日目午前：半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)
- 3 日目午後： 〃 〃 (戦術と応用)
- 4 日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4 日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月17日 (日)～21日 (木)
7月17日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。特・4時限 (前期)

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (テニス集中)	え ぐち しゆん いち 江 口 淳 一	短国・短英選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスは打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎)…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用)…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（水）～25日（日）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (ゴルフ集中)	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	短国・短英選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。
本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2 日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3 日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4 日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5 日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 - (1) 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - (2) グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（水）～25日（日）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費 用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
- (5) 定 員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ)	むら まつ まこと 村 松 誠 他	短国・短英選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション1回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月22日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月5日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習
講義:10:40~12:10 17:30~18:00《ゴルフスイングの基本》
※注意:1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月6日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習
講義:19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目 9月7日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目 9月8日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目 9月9日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

履修上の留意点

生涯スポーツ演習シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 実習日程:9月5日(月)~9月9日(金)の3泊5日(現地集合解散)
- 場 所:(1)宿 泊 ホテル安比グランド電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
(2)練習場 玉山ゴルフクラブ電話019-683-3100 FAX019-683-3100
(3)コース 安比高原ゴルフクラブ電話0195-73-5311
FAX0195-73-5044
- 定 員:40名
- 集合解散:現地(ホテル安比グランド)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
- 受講料:39,350円(左記金額には、交通費は含まれない。)
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間:5月23日(月)~6月4日(土)
- 服装・用具
 - 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - グローブは、必ず各自で用意すること。
 ※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー・スノーボード)	たけだ ゆきお 他 竹田 幸夫 他	短国・短英選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1 回目 4月9日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2 回目 4月16日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。
2. 事前授業 12月21日(水) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1 日目 2月13日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2 日目 2月14日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3 日目 2月15日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4 日目 2月16日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5 日目 2月17日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成18年2月13日(月)～2月17日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラント 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成17年5月23日(月)～6月4日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1～3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	佐 藤 政 之 さとう まさゆき	短国・短英1選	2

保健
体育

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に生活習慣病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりとした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に、運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 時限目：現代生活と健康（食生活と健康）
- 3 時限目：〃（食生活と栄養）
- 4 時限目：〃（運動不足と成人病）
- 5 時限目：〃（平均余命と寿命の伸び）
- 6 時限目：〃（健康のための生活習慣）
- 7 時限目：〃（喫煙・飲酒）
- 8 時限目：〃（ストレス社会と健康障害）
- 9 時限目：〃（ストレスと健康測定）
- 10時限目：現代生活と運動（健康づくり運動）
- 11時限目：〃（スポーツマンのトレーニング）
- 12時限目：〃（スポーツマンの運動処方法）
- 13時限目：〃（スポーツ医学の一般知識）
- 14時限目：〃（スポーツと環境・条件）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

遅刻・早退・私語は認めない。携帯電話、ポケベル等のスイッチは切っておくこと。

成績評価の方法

(1)「レポート」の提出3回で成績評価とする。

教 科 書

毎時限に配布プリントにて授業を進める。

参 考 書 等

授業中に発表する。

そ の 他

講義の補助としてビデオを使用することがある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論(前期)	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	短英1選	2

講義のねらい

健康は、人間が生きて、何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康だけに焦点をおくのではなく、人間として生きる上で身体的・精神的健康とはどんな状態であるのか、また、その実現にはどうすべきかを論ずるものである。したがって健康にとって障害となる現代の社会的状況からのさまざまな問題（食・住・ストレスなど）について、どう対処すべきかを、実際の観点から探ろうとするものである。また、西洋医学と東洋医学の相異などから、心と体の関係などにも言及し、メンタルマネジメント・自律訓練法・ヨガ・健康体操などの実際的な健康づくりによって学生としての、また生涯にわたっての健康の必要性を認識することをねらいとする。その際、これまで一般的に常識とされていた種々の考え方を、別の角度から検証し、新しい認識を作り上げることを目指すものである。

スポーツは、過去から長い間にわたって築きあげられてきたが、いまや現代の人々によって欠かすことのできない《文化》である。文化としてのスポーツを楽しむことは、いまや現代人にとって生活のひとつの要素になりつつある。それは、実践することを楽しむことだけにとどまらず、観ることを楽しむ、あるいはマスコミからの情報によってスポーツから幅広い視点を提供されるなど、現代人にとって広範囲の影響力をもちつつある。本講義では、スポーツを《文化論》あるいは《遊戯論》から論じることで、人間とは何か、生きるとは何かについても言及するものである。また、《スポーツの技術論》、さらに《スポーツ運動学》、《メンタルトレーニング》などにも触れることで、スポーツの狭い領域だけにとどまらず、生きがいをもって仕事・生活・趣味をしていく上での共通点を見いだしていこうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の概要説明
- 2 時限目：健康とは何か（世界の長寿村と短命村の比較）－そのⅠ
- 3 時限目：同 －そのⅡ
- 4 時限目：現代の生活と健康
- 5 時限目：ストレス学説（セリエ博士の学説）－そのⅠ
- 6 時限目：同 －そのⅡ
- 7 時限目：西洋医学と東洋医学の比較
- 8 時限目：健康体操・メンタルトレーニング
- 9 時限目：遊戯論（ホモ・ルーデンス）－そのⅠ
- 10 時限目：同 －そのⅡ
- 11 時限目：スポーツ論
- 12 時限目：スポーツ技術論
- 13 時限目：スポーツ運動学（カテゴリー論）
- 14 時限目：同（発達論・学習論）
- 15 時限目：日本のスポーツ（組織編・考え方）／まとめ

履修上の留意点

教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。教科書の内容は各自であらかじめ読んでおいてほしい。

成績評価の方法

ペーパーテストを基本とし、毎時間の出席を参考にする。

教科書

『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700円

参考書等

『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）
『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）

その他

講義形式を基本とし、ビデオや実技も加える。

保健体育

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

1 国 文 科

国
文
科

II. 専門教育科目

(1) 国文学科

上代文学	演習 I	〈佐原作美〉	175
中古文学	演習 I	〈鈴木裕子〉	175
中世文学	演習 I	〈坂口博規〉	176
中世文学	演習 I	〈藺部幹生〉	176
近世文学	演習 I	〈伴野英一〉	177
近代文学	演習 I	〈石割透〉	177
現代文学	演習 I	〈小林治〉	178
現代文学	演習 I	〈松田直行〉	178
国語	演習 I	〈片山晴賢〉	179
国語	演習 I	〈萩原義雄〉	180
上代文学	演習 II	〈佐原作美〉	181
中古文学	演習 II	〈鈴木裕子〉	181
中世文学	演習 II	〈坂口博規〉	182
中世文学	演習 II	〈藺部幹生〉	182
近世文学	演習 II	〈越後敬子〉	183
近代文学	演習 II	〈石割透〉	183
現代文学	演習 II	〈小林治〉	184
現代文学	演習 II	〈松田直行〉	184
国語	演習 II	〈片山晴賢〉	185
国語	演習 II	〈萩原義雄〉	186
卒業研究 (上代)		〈佐原作美〉	187
卒業研究 (中古)		〈鈴木裕子〉	187
卒業研究 (中世)		〈坂口博規〉	188
卒業研究 (中世)		〈藺部幹生〉	188
卒業研究 (近世)		〈坂口博規〉	189
卒業研究 (近代)		〈石割透〉	189
卒業研究 (現代)		〈小林治〉	190
卒業研究 (現代)		〈松田直行〉	190
卒業研究 (国語学)		〈片山晴賢〉	191
卒業研究 (国語学)		〈萩原義雄〉	191
国語学		〈片山晴賢〉	192
国語史		〈萩原義雄〉	193
日本語文法		〈奈部淑子〉	194
日本語教育		〈奥原淳子〉	194
表現法 (話すこと)		〈萩原義雄〉	195
表現法 (書くこと)		〈萩原義雄〉	196
テーマ研究 I		〈松田直行〉	196
テーマ研究 II		〈藺部幹生〉	197
テーマ研究 III		〈石割透〉	197
テーマ研究 IV		〈鈴木裕子〉	198
テーマ研究 V		〈藺部幹生〉	198
テーマ研究 VI		〈佐原作美〉	199
テーマ研究 VII		〈小林治〉	199
テーマ研究 VIII		〈小林治〉	200

異文化コミュニケーション	〈奥原淳子〉	201
情報言語学	〈片山晴賢・萩原義雄〉	202
国文学概論	〈佐原作美〉	203
国文学特殊研究	〈佐原作美・石割透・小林治・坂口博規〉	203
古典文学史	〈伴野英一〉	204
近・現代文学史	〈笹瀬王子〉	204
中国文学史	〈清水浩子〉	205
文献資料を読むⅠ	〈休講〉	
文献資料を読むⅡ	〈萩原義雄〉	206
古典文学を読むⅠ	〈休講〉	
古典文学を読むⅡ	〈佐原作美〉	207
古典文学を読むⅢ	〈佐藤知乃〉	207
古典文学を読むⅣ	〈休講〉	
近・現代文学を読むⅠ	〈石割透〉	208
近・現代文学を読むⅡ	〈休講〉	
中国文学講読	〈清水浩子〉	208
原典講読Ⅰ	〈佐原作美〉	209
原典講読Ⅱ	〈佐原作美〉	209
国歌謡Ⅰ	〈川上順子〉	210
国歌謡Ⅱ	〈休講〉	
和歌文学Ⅰ	〈坂口博規〉	211
和歌文学Ⅱ	〈休講〉	
物語文学Ⅰ	〈休講〉	
物語文学Ⅱ	〈鈴木裕子〉	211
物語文学Ⅲ	〈休講〉	
物語文学Ⅳ	〈鈴木裕子〉	212
日記文学Ⅰ	〈坂口博規〉	212
日記文学Ⅱ	〈休講〉	
随筆・評論Ⅰ	〈休講〉	
随筆・評論Ⅱ	〈鈴木裕子〉	213
歴史文学Ⅰ	〈休講〉	
歴史文学Ⅱ	〈菌部幹生〉	213
説話文学Ⅰ	〈休講〉	
説話文学Ⅱ	〈菌部幹生〉	214
軍記文学Ⅰ	〈休講〉	
軍記文学Ⅱ	〈田中伸作〉	214
連歌・俳諧Ⅰ	〈休講〉	
連歌・俳諧Ⅱ	〈越後敬子〉	215
短歌Ⅰ	〈笹瀬王子〉	215
短歌Ⅱ	〈休講〉	
俳句Ⅰ	〈笹瀬王子〉	216
俳句Ⅱ	〈休講〉	
近・現代詩Ⅰ	〈井上優〉	217
近・現代詩Ⅱ	〈休講〉	
現代小説Ⅰ	〈内藤寿子〉	218
現代小説Ⅱ	〈休講〉	
児童文学Ⅰ	〈休講〉	
児童文学Ⅱ	〈吉田司雄〉	219
比較文学	〈井上優〉	220

文	芸	創	作	〈松	田	直	行〉	221								
文	化	概	論	〈藺	部	幹	生・他〉	221								
有	職	故	実	〈近	藤	好	和〉	222								
話			芸	〈桂	右	團	治〉	223								
女		性	史	〈高	嶋	め	ぐみ〉	224								
女		性	学	〈藤	田	和	美〉	224								
女	性	と	業	〈藺	部	幹	生〉	225								
メ	デ	ィ	ア	と	表	現	〈松	田	直	行〉	225					
地	域	文	化	論	〈鈴	木	裕	子〉	226							
海	外	か	ら	見	た	日	本	〈石	割	透〉	226					
非	言	語	コ	ミュ	ニ	ケ	ー	シ	ョ	ン	(音楽)	〈土	井	晴	人〉	227
非	言	語	コ	ミュ	ニ	ケ	ー	シ	ョ	ン	(囲碁)	〈松	田	直	行〉	227
非	言	語	コ	ミュ	ニ	ケ	ー	シ	ョ	ン	(将棋)	〈藺	部	幹	生〉	228
映	画	と	文	学	〈小	林	治	228								
美	術	と	文	学	〈石	割	透	229								
映	像	論	〈石	割	透	229										
古	典	戯	曲	演	劇	〈佐	藤	知	乃	230						
近	代	戯	曲	演	劇	〈松	田	直	行	230						
現	代	演	劇	〈松	田	直	行	231								
芸	能	研	究	〈松	田	直	行	231								
服	飾	文	化	を	考	え	る	〈内	藤	寿	子	232				
食	文	化	を	考	え	る	〈休	講	232							
住	ま	い	の	文	化	を	考	え	る	〈内	藤	寿	子	233		
手	話	〈白	須	和	子	233										
点	字	〈金	子	昭	234											
書	道	実	習	I	〈那	須	隆	吉	234							
書	道	実	習	II	〈那	須	隆	吉	235							
編	集	実	務	〈長	谷	川	孝	235								
ジ	ャ	ー	ナ	リ	ズ	ム	研	究	〈箕	野	寿	雄	236			
ビ	ジ	ネ	ス	実	務	総	論	〈森	本	正	恵	237				
オ	フ	ィ	ス	実	務	演	習	〈森	本	正	恵	238				
情	報	処	理	〈谷	本	本	玲	大	239							
応	用	情	報	処	理	〈谷	本	本	玲	大	240					

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学演習Ⅰ	佐原 作美	短国1選必	4

講義のねらい

わが国で最古の和歌集である『万葉集』を対象に演習授業を行う。周知のように、『万葉集』には様々な階層の人々の手になる約4500首の作品が収められる世界に誇れる古典である。授業ではその作品に慣れ親しみつつ、上代人の生活と心のありようを探っていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

多くの作家作品の中から、特に女性とその作品を読んでいきたい。たとえば、
 第一期：鏡王女・倭太后
 第二期：大伯皇女・但馬皇女
 第三期：大伴坂上郎女
 第四期：孝謙天皇・笠郎女・狭野茅上娘子
 など、各期を代表するよく知られた歌人とその作品を鑑賞しつつ読んでいきたい。

履修上の留意点

演習授業であるので、受講生による調査発表を中心として進めていくので、積極的な学習意欲をもってのぞんでほしい。

成績評価の方法

出席状況や調査発表の内容、およびそれらへの姿勢や態度などを勘案して総合的に評価する。

教科書

土橋寛編『作者別万葉集』（おうふう）2,000円

参考書等

必要に応じて授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学演習Ⅰ	鈴木 裕子	短国1選必	4

講義のねらい

- この授業の主な目的は、次の三つです。
- (1) 古典文学、とくに和歌に親しむこと。
 - (2) 古典文学、とくに和歌を正確に読む力を養うこと。
 - (3) 自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。

講義の内容・授業スケジュール

一年間で、『古今和歌集』の全体像を把握できるように、精選した和歌を読みます。歌言葉や技巧などの知識を深めるだけでなく、歌の背後に広がる文化の豊かさも味わいたいと思います。以下の計画で、受講生の発表と批評を行う予定ですが、進行状況により柔軟に対応します。

(前期) 『古今和歌集』概説・春の歌(巻一・二)・夏の歌(巻三)・秋の歌(巻四・五)・冬の歌(巻六)・賀と旅の歌(巻七～九)
 (後期) 恋の歌(巻十一～十五)・哀傷の歌(巻十六)・雑の歌(巻十七・十八)・その他の歌(巻十九～二十)

履修上の留意点

授業は受講生の分担報告を中心として進めます。それぞれの担当者は、各自が作成したレジュメをもとに発表します。担当者はもちろん、発表を聞く者も、積極的にテキストを読み、調査し、考えて授業に臨むことを求めます。

成績評価の方法

授業中の発表内容、出席状況(欠席・遅刻をしないことは前提。自分の発表を欠席した場合は不可)、学年末提出のレポート(日時・論題等は授業時に提示)などから総合的にを行います。

教科書

小町谷照彦編『カラー版 古今和歌集』（おうふう）、参考書は授業中に指示します。

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学演習 I	坂口博規	短国1選必	4

講義のねらい

阿仏尼の若い日の失恋の記『うたたね』を読む。安嘉門院邦子に女房として仕えていた頃の身分のある男性との恋に破れた体験をもとにした物語的回想記で、自らを王朝物語のヒロインになぞらえる上で、先行文学を下敷きにした表現が多く見られる。後々歌人としても優れた才能を発揮する作者の、若き頃の古典文学への知識や表現能力の高さなどを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

開講当初に女流日記文学の流れを概説し(1)、作者阿仏の伝記(2・3)や『うたたね』の内容を紹介(4)する。テキストは、上段に本文が活字で、下段に伊東家本写本の影印が載っており、作品の冒頭部分を写本の草仮名の読みも含めて読解(5~7)し、以降順次受講者に作品を分担して、本文読解を中心に発表してもらう。

履修上の留意点

上記のように作品本文には先行文学の表現を借りた表現が多く見えるので読解にはその意図を十分に確認してほしい。写本の草仮名の読みも積極的に学んでほしい。

成績評価の方法

定期試験は行わない。演習なので各報告者の発表内容、及び出席状況や授業への取り組み姿勢を参考に評価する。

教科書

永井義憲校注『うたたね』(新典社)850円

参考書等

授業時に紹介する。

国文科

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学演習 I	その 園部 幹生	短国1選必	4

講義のねらい

今年度は、中世文学の代表的な文学ジャンルの一つである説話のなかから、受講生ひとりひとりが短い説話を一話ずつ担当し、1年間かけて、解釈・伝承経路・その説話に含まれた視点など、さまざまな面から掘り下げて研究・発表する。これを通して、基礎的な研究の方法を身につけるとともに、作品を味わい、説話のおもしろさを満喫してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

全受講者が、前・後期に、それぞれ1回ずつの発表と、その追加・訂正の発表を行なう。1 ガイダンス。2・3 調査・研究方法の講義。4~25発表とその検討・討議。26まとめ。

履修上の留意点

担当した説話についての研究・発表だけではなく、他の受講生の発表に対する問題意識も、たいせつな要件となる。また、各自が担当する話が異なるため、具体的な調査・研究の方法、および、鑑賞についての助言は、ひとりひとりに、授業時間外の空き時間を利用して行なう。

成績評価の方法

各自の発表を60点満点で評価し、他の受講生の発表に対する意見・質問を40点満点で評価する。必要に応じて、レポートを提出してもよいが、定期試験その他の筆記試験は一切行なわない。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じて、そのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学演習Ⅰ	ばん の ひで かず 伴 野 英 一	短国1選必	4

講義のねらい

日本近世における散文を扱う。
井原西鶴作『好色一代女』を読む。この作品を題材にし、各人が作品の部分を担当発表することで、実際の国文学研究に必要な作業の習得を目指す。

成績評価の方法

出席点と年度末試験を重視する。出席数が年間を通じての講義数の三分の二に達しないものは単位を認定しない。及び、年度末試験の得点が60点に満たないものも単位を認定しない。また、時に臨みレポートを課し、それも評価する。

教科書

テキストは『井原西鶴集 ①』（小学館 新編日本古典文学全集 66）を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学演習Ⅰ	いし かり とおる 石 割 透	短国1選必	4

講義のねらい

夏目漱石の小説『坊ちゃん』『それから』『門』を読みつつ、夏目漱石の文学の特徴や日露戦争後のわが国の文学傾向を検討していくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の発表、報告を中心にして、授業を進めていきたい。発表者は、報告内容をまとめたプリントを作成し、それを受講者全員に配布し、それを中心にして、問題点を明らかにしていきたい。発表、報告は各自2,3度行うことになるが、多様な視点から小説を読み、近代文学の研究の方法の基礎を受講者が身につけるべく、指導していきたい。

履修上の留意点

発表者は特にあらかじめ十分に作品を読み、その世界について考えをめぐらして授業にのぞむこと。とともに、発表者以外の受講者も作品を読み、いろいろな問題意識をもって授業にのぞんでほしい。発表者が発表時間に欠席すれば授業を進めることが不可能になるため、絶対に欠席することがないようにしてほしい。

成績評価の方法

2,3回にわたる発表の内容、またそれを更に深め、焦点をしばり、分析検討したレポートにより評価する。それに出席状況を考慮、更に普段の授業時の積極的な姿勢を加味する。

教科書

夏目漱石『坊つちやん』『それから』『門』（新潮文庫）各400円

参考書等

授業時に指示する。

その他

受講者が中心となって授業を進めていく時間。各自の積極的な姿勢、自覚を期待している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 文 学 演 習 I	こ ばやし おさむ 小 林 治	短国1選必	4

講義のねらい	宮澤賢治の散文作品、および、安部公房・村上春樹の短編小説を読み、作家について調査することを通じて、個々の作家における思想と実践（行動）と作品の関係の様相、ならびにそれぞれが抱えている問題点について考える。
講義の内容・授業スケジュール	上記の作家の作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導、助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。
履修上の留意点	受講者は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどりつきたいとは考えている。
成績評価の方法	それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。
教科書	開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。
参考書等	報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。
その他	報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問していただきたい。年間を通じて文学研究に必要な基本的手続きとその意義を知ることが当演習の目的である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 文 学 演 習 I	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1選必	4

講義のねらい	演劇ワークショップを行う。これは俳優になるための訓練ではなく、日常の自己表現に必要な声と体の使い方を学び、またシアター・ゲームと呼ばれるグループ活動によって集団のコミュニケーション形成を考えるものである。言葉と身体を使ったコミュニケーションによって成り立つ演劇という表現を、自分で実際に身体を動かして体験してほしい。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ワークショップとは何か (2) 漢字一字で自己紹介 (3) シアター・ゲームの実際 (4) 意識の分散とリズムの共感 (5) 集団の想像力ー音詩からシェアード・ストーリーへ (6) 身体表現ーミラー・ゲームと彫刻家 (7) 即興劇に向けてー「5年後のわたし」 (8) エチュードのいろいろ (9) 台本を使った演技
履修上の留意点	文字として書かれたテキストを対象としているわけではないので、授業の場でのコミュニケーションを通してしか学習できない。自主的、積極的、創造的な参加が必要となる。通常の教室以外で行う場合、また軽い運動ができる服装を必要とする場合がある。7月末に富浦セミナーハウスで2泊3日の合宿を行う予定があり、全員参加すること。
成績評価の方法	試験、レポートはない。通常授業での平常点で評価する。
教科書	指定しない。
参考書等	必要な資料はプリントで配布する。
その他	科目登録の前に履修許可が必要となるので、初回の授業に必ず出席すること。希望者が定員を越える場合は選抜を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語演習 I	かた やま ほる かた 片 山 晴 賢	短国1選必	4

講義のねらい

国語学研究的な基礎的な知識を養うことに主眼をおき、中世の資料を中心に検討していく。

講義の内容・
授業スケジュール

それぞれ、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担で発表を中心に進めるので、自らの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

参考書等

授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語演習 I	はぎ ばら よし お 萩原義雄	短国1選必	4

講義のねらい

明治時代の国語辞書である大槻文彦編『大言海』を読んでいく。読むというより、どのようなことばが収録されていて、どのように意味解説され、用例をどのように掲載しているのかを考察していくのである。この近代国語辞書を繙くとき、常に考えておきたいことは、近代から現代へと変遷する時代の流れのなかで古語と新語そして常語という多くのことばがどう生かされてきたのか文学資料・新聞、雑誌記事そして現代の国語辞書などへの影響をも見ていくことにある。ことばを常に意識していくことで、現実をもっともっと具現化できるに違いない。時には頭上高く舞い上がる鳥の目で見、ときには、地を這うような蟻の目で物事を考えていきたい。

国文科

講義の内容・授業スケジュール

- ① 編纂者大槻文彦と周囲の人々について
 - ② 辞書編纂における意図するところとは
 - ③ 辞書の凡例内容を分析する
 - ④ 見出し語項目別によることばの数量的統計化について
 - ⑤ 意義分類項目別によるおのおのことばの意味記述の特徴について
 - ⑥ 逆引きによることばの理解とその検索方法
 - ⑦ 品詞別項目によることばの意味理解とコード化分類
 - ⑧ シソーラス形式による類義語の効用
 - ⑨ 異名・別名・別称の記述の有無
 - ⑩ ことばの語源探求は、如何に解明されてきているか？
 - ⑪ 引用用例と典拠とした書籍について
 - ⑫ 『大言海』引用の研究論文資料の確認
- 以上、12項目について検討を重ねていく。

[検討作業にともなう計画表案]

- 4月 受講手続き確認
5月12日 受講再確認とカード表の入力締め切り
本格的に作業確立のための資料準備
分析「ことば」に基づく旅立ち調査とその方法
〈夏休みを大いに利用しよう〉
9月下旬 調査結果の報告書の作成
10月以降 結果報告を公開発表
1月 評価決定

成績評価の方法

月毎に辞書収載のことばを選択し、上記項目を常にふまえる形で提出発表していく。個人が分析することばの数を50語として、一語ずつ評価する。

教科書

私家版『大言海』〈情報言語学研究室“テキストデータ”にて公開中。FD4枚程度
URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>〉を使用する。

参考書等

大槻文彦『大言海』初版から現代版まで（富山房）他国語辞書。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学演習Ⅱ	佐原 作美	短国2選必	4

講義のねらい

奈良朝の社会と人々の生活を素材として成る、わが国最初の仏教説話集『日本霊異記』をもとに演習を行う。授業では、受講生による調査の発表を中心に進めるが、その狙いは、古代社会の底辺に生きる人々が何を求め、何を願って生きていたか・また、その願いは何に向けられていたかなど、その心的ありようを諸仏信仰の面から探っていくことにある。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的のために、授業では、観音菩薩・弥勒菩薩・阿弥陀如来・薬師如来・地藏菩薩・妙見菩薩、などへの信仰を主題とする説話を中心に見ていきたい。仏教美術や古代史などをも視野に入れながら、発表者を中心にして、受講者みんなでじっくりと読んでいきたい。それと同時に、後世の作品への影響など、その史的展開についてもあわせ見ていきたい。

履修上の留意点

仏教に関する事柄が濃厚な作品であるだけに、身近な親しみやすい内容の作品であるので、じっくりと腰をすえて読み、かつ調べていってほしい。作中に見られる苦しみや願いなど、それらを自分自身の問題として考えることも忘れないでほしいと思う。

成績評価の方法

出席状況や調査発表の内容などを勘案して総合的に評価する。

教科書

小泉道編『日本霊異記』（新潮日本古典集成）（新潮社）2,200円

参考書等

必要なものは授業の中でその都度紹介する。

国文科

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学演習Ⅱ	鈴木 裕子	短国2選必	4

講義のねらい

- この授業の主な目的は、次の三つです。
- (1) 古典文学、とくに歌物語を深く読み味わうこと。
 - (2) 古典文学、とくに歌物語を正確に読む力を養うこと。
 - (3) 自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。

講義の内容・授業スケジュール

『伊勢物語』を読みます。歌物語とは何か、和歌はどう機能しているかなど、作品理解のための基本的なことはもちろん、物語や注釈にみられる様々なジェンダーの問題についても考えてみたいと思います。以下の計画で、受講生の発表と批評を行う予定ですが、進行状況により柔軟に対応します。

- (前期) 『伊勢物語』概説
初段・第四十五段
第二段・第三段・第四段・第五段・第六段・第九段・第六十五段・第六十九段
- (後期) 第十六段・第八十二段
第二十一段・第二十三段・第二十四段・第六十段・第六十二段・第六十三段

履修上の留意点

授業は受講生の分担報告を中心として進めます。それぞれの担当者は、各自が作成したレジュメをもとに発表します。担当者はもちろん、発表を聞く者も、積極的にテキストを読み、調査し、考えて授業に臨むことを求めます。

成績評価の方法

授業中の発表内容、出席状況（欠席・遅刻をしないことは前提。自分の発表を欠席した場合は不可）、学年末提出のレポート（日時・論題等は授業時に提示）から総合的に行います。

教科書

片桐洋一編『異本対照 伊勢物語』（和泉書院）、参考書は授業中に指示します。

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学演習Ⅱ	さかぐちひろき 坂口博規	短国2選必	4

講義のねらい

紀行文学の代表的作品である鎌倉時代成立の阿仏尼作『十六夜日記』を読む。夫藤原為家より我が子為相に譲られた播磨国細川庄を為家長子為氏が所有権を主張、その訴訟のため京より鎌倉まで出かけた旅の記である。子を思う母性愛の強さ、歌道指南家の伝統を守ろうとする歌人阿仏の自恃、その行動的・意志的な阿仏には、特に新時代の女性像が指摘されている。そうした作者像を確認するとともに、旅の途次の歌枕の地での詠作の問題、鎌倉滞在中における都の知人、子供たちとの間で交わされた贈答歌の内より胸に迫る望郷の思いなどを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講当初（1～3）に、本作品の内容と文学史的意義を概説し、次いで冒頭部分の講読（4～7）した後に、作品に従って受講者に分担した本文を、読解を中心として分析したものを発表してもらう（8～26）。担当者は本文の語釈や口語訳や評解等をまとめたプリントを作成し、それを発表してもらう。

履修上の留意点

演習であり、出席重視。レポート発表の内容により評価するので、発表者は特に複数の注釈書を参照することに努め、単に語釈・口語訳の発表にとどまらず、他の受講者に作品理解を助けるよう各自の工夫がなされることを期待する。数次にわたり、テキスト以外の写本の影印を用いて、草仮名の読みを課題として与えるので、写本の読みの訓練をして欲しい。

成績評価の方法

担当者の発表内容、および出席序教や授業への取り組み（発表への関心度等）などをもとに評価する。

教科書

一瀬幸子・江口正弘・長崎健校注『十六夜日記』（新典社刊）1,030円

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学演習Ⅱ	そのべみき 菌部幹生	短国2選必	4

講義のねらい

中世文学における、代表的なジャンルの一つである説話文学を取り扱う。各自が、好きな説話を一話選び、1年かけて、その説話について、調査・研究し、演習形式で発表する。その実践を通じて、研究方法を身につけ、説話文学の本質を考え、他者に説明できるようにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期と後期にそれぞれ1回ずつの発表があるが、それぞれに追加・訂正の発表もおこなうので、年間の発表回数は一人5～6回程度となる。
1 ガイダンス。2 方法論講義。3～25発表とその検討・討議。26まとめ。

履修上の留意点

各自の調査・研究は当然のことであるが、他の受講生の発表に対して問題意識を持つことも、たいせつな学修の要件となる。なお、受講生がそれぞれ異なった説話を取り扱うので、具体的な研究方法については、ひとりひとりに、授業時間外の空き時間を利用して助言する。なお、履修希望者が定員より多い場合は、同じ担当者の「卒業研究（中世）」を合わせて履修する学生を優先して履修許可証を発行する。

成績評価の方法

各自の発表を60点満点で評価し、他の受講生の発表に対する意見・質問を30点満点で評価する。それ以上の成績を得たい場合は、レポートを提出する。定期試験を含めた筆記試験は一切行なわない。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じて、そのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学演習Ⅱ	越後敬子	短国2選必	4

講義のねらい

「古典文学は難しい」という先入観を捨てて、数百年前の日本人のありさまを、さまざまな方向から楽しんでほしい。この授業では江戸時代の代表的作家、井原西鶴の『日本永代蔵』を取り上げる。本書は、全三十話からなる短編小説集で、立身出世談や破滅談を通して、お金と町人との関わりを描いた作品である。古文を現代語訳するだけではなく、当時の人情・風俗・経済生活等にも触れ、本作品の面白さをレポートしてほしい。演習という科目の性質上、各自が調査・研究した上で自分の考えをまとめ、それを他の受講生にわかりやすく伝えることが必要である。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1～4) 近世文学・西鶴・『日本永代蔵』等に関する概説
(5～13) 演習発表
(後期) (1～13) 演習発表

履修上の留意点

受講者の分担発表を中心として進める。各自の担当箇所はもちろん、他の受講者の発表に対しても問題意識を持ち、積極的に議論に加わってほしい。

成績評価の方法

担当の発表内容に、出席状況を加味する。

教科書

授業時にプリントを配布する。

参考書等

新潮日本古典文学アルバム『井原西鶴』（新潮社）、日本古典文学大系『西鶴集 下』（岩波書店）、新潮日本古典集成『日本永代蔵』（新潮社）、新編日本古典文学全集『井原西鶴集 三』（小学館）、その他授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学演習Ⅱ	石割透	短国2選必	4

講義のねらい

自然主義のわが国の代表作といわれる作品をとりあげて、作品の構造を緻密に分析し、自然主義、私小説のあり方を、創作、享受など多様な側面をも検討し、同時代の文化状況を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

島崎藤村「破戒」「家」田山花袋「蒲団」「少女病」「田舎教師」をとりあげ、受講者の発表に基づいて、授業を進めていく。発表する者は、その時間に口頭で発表する内容を、まとめて受講者にコピーして配布すること。

履修上の留意点

発表者は、とりあげる作品を緻密に読み、問題点を考え、それを授業時に報告、その内容を中心にクラス全員で考えていくことになる。発表を予定していない者も全員、作品を緻密に読み、授業に臨むこと。

成績評価の方法

年に一、二度の発表、それを更に深めたレポートの提出に、授業態度、出席状況を考慮して評価する。

教科書

島崎藤村『破戒』『家』（新潮文庫）
田山花袋『蒲団』（新潮文庫）など。

参考書等

授業時に指示する。

その他

発表を中心にして、受講者が中心となって、授業を進めていく。発表者は特に、作品を充分に読み、担当する個所の重要性、問題点を、しっかりと把握して発表にのぞむこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 文 学 演 習 Ⅱ	こばやし 小 林 治	短国2選必	4

講義のねらい

安部公房、深沢七郎、村上龍、村上春樹などの第二次戦後派以降、現在に至るまでの作家の小説作品、あるいは宮沢賢治の散文作品を読み、日本文学の可能性と限界について考える。演習Ⅰからの積み重ねの科目として、個々に自分が文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むことを対象化して考えることを意識しながら、作品に向かってほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の作家たちの作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導・助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。

履修上の留意点

受講生は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどり着ければと考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参 考 書 等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

そ の 他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 文 学 演 習 Ⅱ	まつだ 松 田 直 行	短国2選必	4

講義のねらい

演劇ワークショップの応用編となる。舞台上で演劇を上演することを目的とするわけではなく、演技の訓練法とその応用により、身体表現とコミュニケーション能力の向上を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) ワークショップとは何か (2) スピーチ・ディスカッション・ディベート (3) エチュードの応用 (4) ステータス (5) 相互インタビュー など

履修上の留意点

文字として書かれたテキストを対象としているわけではないので、授業の場でのコミュニケーションを通してしか学習できない。また共同作業となるため、欠席すると他の学生に迷惑となるので、基本的に毎回出席することが必要になる。また夏休みに富浦セミナーハウスで2泊3日の合宿を予定している。

成績評価の方法

試験・レポート提出は行わないが、ワークショップの成果と個々の参加姿勢により評価する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

指定しない。

そ の 他

科目登録の前に履修許可が必要となるので、初回の授業に必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語演習Ⅱ	かた やま はる かた 片山晴賢	短国2選必	4

講義のねらい

1年次に修得した国語・国文学研究法をさらに発展させるのために、各自が好む題材を選び研究を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

国語資料をもとに、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担で発表を中心に進めるので、自らの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教科書

必要に応じてコピーを配付する。

参考書等

授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語演習Ⅱ	はぎ 原 義 雄	短国2選必	4

講義のねらい

百科辞書『塵袋』（鎌倉時代）と『鮮囊鈔』（室町時代）を読む。前記書物の書写者印融上人は、神奈川県横浜市に縁ある関東輩出の高野山の学僧である。この資料は現在、上野国立博物館の所蔵するところであり、1998年印融上人展が、横浜市歴史資料館で催された折にも公開展示されている。現存する唯一の古写本である。しかし、時を隔てず数十年の間に、高野山の他学僧による書写本（零本）などが知られていることもあり、原本『塵袋』の存在を窺わず根拠にも成っている。この書の成立について、本文記載内容から考察し、以下の課題項目について言及してみる。そして、多くの時代性豊かなことばについて考えてみるのも妙趣を感じることでもある。古人の知的関心度とは、如何なる物事であり、これを読み解くことで、受講者お一人おひとりにして、何か人生の糧となることを期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①『塵袋』『鮮囊鈔』という百科辞書をみんなでもっと知ろう。
- ②書写者、印融上人って、どんな人？行誉という人物は？
- ③項目内容の目次作成って、どういう作業なの？
- ④ことばの索引は、なぜ近代まで作成されなかったの？
- ⑤書写表記する文字に、なぜカタカナと漢字が使用されているの？
- ⑥問答体による記述方法って、質問応答する人物は複数なの？
- ⑦鎌倉時代の知識者というのは、この内容をどう受容していったの？
- ⑧この資料の公開理会の度合いは、どの程度なの？
- ⑨この書籍を見た人って、どのような身分階層人なの？
- ⑩この書籍に引用されている内外の典籍って、どこからどのように入手し、その内容をどの程度で抄録したの？
- ⑪この書籍の文章を音読するとき、どう読むの？
- ⑫読めない文字漢字って、どんな漢字？筆法は？
- ⑬特徴のある古語・古句って、どんなふうに使っているの？
- ⑭回答内容は、当代にあって蓋蓄のある解釈表現からなっているの？
- ⑮この辞書を編集するに、どの程度の年月をかけて着想してなったの？
- ⑯後世、この書籍がどのように影響を及ぼしているの？
- ⑰この書籍と発想を同じくする内容の書籍は、他に知られていないの？
- ⑱現代人の目からみて、どんな事柄が役立つの？
- ⑲現代語訳するとしたら、どんなふうに表示できるの？
- ⑳この内容を一枚の絵として仕上げることができるのかな……。

〈検討作業にともなう計画表案〉

- 4月 受講手続き確認
5月12日 受講再確認とカード表の入力締め切り
本格的に作業確立のための資料準備
分析「ことば」に基づく調査とその方法
〈夏休みに展示資料館を見に行こう〉
9月下旬 調査結果の報告書の作成
10月以降 結果報告を公開発表
1月 評価決定

成績評価の方法

月毎に辞書収載のことばを選択し、上記項目を常にふまえた上で、提出発表していく。個人が年間分析する事柄の数を35問答として、一問答ずつを単位として評価する。

教科書

私家版『塵袋』〈情報言語学研究室“テキストデータ”にて公開予定。FD2枚程度
URL <http://user.komazawa.com/hagi>〉を使用する。

参考書等

山崎 誠編『塵袋』の研究（勉誠社刊）。
佐竹昭広編『鮮囊抄』（臨川書店刊）。
原装影印版 増補 古辞書叢刊『鮮囊抄』（大東急記念文庫蔵・雄松堂出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究（上代）	佐原 作美 <small>さばら さくみ</small>	短国2選必	4

講義のねらい

『万葉集』や『古事記』、『風土記』あるいは『日本霊異記』など奈良朝から平安初期にかけての作品や作者を対象に、各自が選んだ研究テーマをもとに調査研究したその成果を論文にまとめることを目的としている。それに必要な基礎的な事項について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

四月から五月にかけて論文作成に必要な事項を講義し、その間に各自による研究テーマを決定して貰うと共にその作業を進めていく。かくして、12月の最終授業に提出して貰うことになる。

履修上の留意点

2年間の学修の決算としての性格をもつだけに自主的に取り組んでほしい。卒業論文を書くことはその後の人生に大きな喜びと影響をもたらすことであろう。それほどに意義深いことと思われるので最善をつくしてほしい。

成績評価の方法

論文作成に至るまでの取り組み方やその意欲や態度、その上での論文の内容などをあわせ、総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを使う。

参考書等

必要に応じて紹介する。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究（中古）	鈴木 裕子 <small>すずき ひろこ</small>	短国2選必	4

講義のねらい

中古文学を対象に、各自が決めた作品とテーマによって、研究論文を作成するための講座です。論文作成に必要な基礎的な事項について、個別に指導します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な資料や研究論文等を例示しながら、テーマの決め方、研究の方法、文献や資料の使い方等について助言します。

- ①テーマの決定……4月・5月
- ②資料収集と研究……6月～8月
- ③目次の提出・中間報告（随時）……9月
- ④研究・中間報告（随時）……10月～11月
- ⑤清書・提出……12月
- ⑥面接……1月

履修上の留意点

二年間の学修の総決算として、研究論文という形にすることはとても有意義なことです。是非意欲的に取り組んで欲しいと思います。なお、土曜4限に設定されていますが、実際の指導時間は、別に各自と相談の上定めますので、まず、直接担当者に面談に来てください。

成績評価の方法

作成された論文の内容によります。

教科書

特に指定しません。参考書等は指導中に指示します。

参考書等

指導中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒 業 研 究 (中世)	坂 口 博 規 <small>さか ぐち ひろ き</small>	短国2選必	4

講義のねらい

中世時代（鎌倉・室町時代）に成立した作品やその作家を取り挙げ、これを研究してレポートを作成する。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに中世文学を概観し、論文をまとめる準備として研究方法等を学び、各自のテーマを決定した後に準備に入る。各自の進度に応じて段階を決めてチェックする。レポート作成スケジュールは授業時に示す。

履修上の留意点

中世文学で研究レポートを作成する者は、出来る限り「古典文学史」の授業を履修して欲しい。また「中世文学演習Ⅱ」といづれかの受講となるので、出席状況もチェックする。

成績評価の方法

卒業研究のレポートの内容とその準備作業をもとに評価する。

教 科 書

授業時にプリント等で学ぶ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒 業 研 究 (中世)	蘭 部 幹 生 <small>その べ みき お</small>	短国2選必	4

講義のねらい

短期大学2年間の集大成として卒業論文を作成することは、卒業後の人生のためにも、たいへん意義深いものがある。この時間では、中世文学に関連した卒業論文（原稿用紙30枚以上）を作成するための助言・指導をおこなう。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は主として、卒業論文作成のためのテーマ設定や資料集めとその読解、後期は、卒業論文の構成と作成に関する助言・指導を行なう。

履修上の留意点

授業時間は、特曜日の6時間（時間表の土曜日の後）に設定されているが、実際には、各受講生と都合を合わせたくて、空き時間を利用した授業となるので、履修届を提出する前に、必ず相談に来ること。

卒業論文としてふさわしいテーマ性とストーリー性を持ったテレビゲームを研究対象とした学生は、この講義内容を読み次第、すぐに msonobe@komazawa-u.ac.jp に eメールで問合せ、履修登録してもよいかどうかの確認を取ること。

成績評価の方法

完成した卒業論文によって評価する。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

必要に応じてそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒 業 研 究 (近世)	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国2選必	4

講義のねらい

近世時代（江戸時代）に成立した作品や作家を取り挙げ、これを研究してレポートを作成する。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに近世文学の流れを概観し、論文をまとめる準備として研究法等を学び、各自のテーマを決定した後に準備に入る。各自の進度に応じてチェックする。レポート作成スケジュールは授業時に示す。

履修上の留意点

近世文学で研究レポートを作成するものは、「近世文学演習Ⅱ」を必ず受講してほしい。

成績評価の方法

研究レポートの内容と、その準備作業をもとに評価する。

教 科 書

授業時にプリント等で学ぶ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒 業 研 究 (近代)	いし かり とおる 石 割 透	短国2選必	4

講義のねらい

2年間の学習成果のまとめとして、各自が最も関心がある学習テーマについて研究し、400字詰原稿用紙30枚以上の論文を作成する授業。研究、調査していく過程で、また書くという営みを通して、学習し、考え、知ることの喜びが味わえることと思う。また、その中で、研究ということの深さ、知らない不明な点までも明らかになり、知らないこと不明なことを知ることが勉強することである、という実感が味わえる筈である。研究方法やそれに必要な文献、資料については、その都度示唆を与えるので、教員に質問する積極的な姿勢、意欲を見せてほしいと思う。書くことの意味をくみとるためにも、是非、分野を問わず（卒業研究）の授業をうけてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者の研究テーマを各自ができるだけ早い時期に決め、そのテーマに基づき、学習の方法、進行についての助言を与えていきたい。

履修上の留意点

不明な点があれば、いつでも質問をすること。テーマをできるだけ、しほり、それまでの研究成果を踏まえて、新しい何かをつけ加えるほどの意欲、熱意を見せてほしい。

成績評価の方法

年度末に提出する原稿用紙30枚以上の論文の内容によって評価する。

教 科 書

各自のテーマに従って、指示する。

参 考 書 等

各自のテーマに従って、指示する。

そ の 他

論文執筆を試みれば、完成までに、いろいろな疑問や不明なことが生じるはずである。そうした執筆過程でぶつかった疑問、不明な点、問題点は、自己のうちで追究するとともに、その都度教員に積極的に相談して欲しいと思う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究（現代）	こばやし おさむ 小林 治	短国2選必	4

講義のねらい

二年間継続してきた学習の成果として、各自が選んだテーマによって、研究論文を作成することを目的とする。そのために必要な基本的知識と方法論を学びつつ、論文作成のための実践的な指導を受けることになる。なお、この科目は、研究テーマを近・現代文学に関わるものの中から選ぶとする者が受講する科目である。

講義の内容・授業スケジュール

四月から五月は、論文の具体的テーマを各自が決める期間であり、研究の基本的な方法、関連する参考文献の調査方法、文学研究の方法論などを学びつつ、それぞれのテーマを検討し、決定していく。六月以降は、対象に選んだ作家、作品ごとに、指導を受けていく。そして、一月のはじめまでに四百字詰めの原稿用紙で三十枚以上の研究論文を完成、提出することになる。その間、逐次、進行状況、作成上の問題点等を検討し、指導する。

履修上の留意点

二年間、国文科の学生として学んできた成果をまとめ、それを形にして残すという意味で多くの学生に挑戦してほしい。自分が選んだテーマを、実際に一つの研究論文にまとめていくことは喜びであると同時に、途中いくつもの難問にぶつかって悩むことも多いだろうが、大きな手応えとして卒業後の自信につながることであろう。

成績評価の方法

完成した論文の内容による。また、研究意欲、取り組みへの積極性にも高い評価を与えたい。

教科書

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究（現代）	まつだ なおゆき 松田 直行	短国2選必	4

講義のねらい

1年間かけて、卒業論文、または論文にかわる卒業制作作品（小説など）を完成させる。内容に応じて個別に指導する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として近代以降の演劇・芸能関係で卒業論文を書く場合、また論文にかえて、それに相当する内容の文芸創作作品（小説や戯曲など）を提出する場合に、私が担当することになる。小説の場合、400字×200枚程度で構想する。

履修上の留意点

受講者は必ず科目登録の前に申し出ること。小説など卒業制作作品の提出は、原則として1年次で「文芸創作」を履修していることを条件とする。またその場合、個人指導のほかに、履修者全員によるグループ指導や合評会を行う。

成績評価の方法

提出された論文または作品により評価するが、完成に至るまでの過程も重視する。

教科書

指定しない。

参考書等

個別に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究(国語学)	かたやまはるかた 片山晴賢	短国2選必	4

講義のねらい

国語学についての研究論文を作成するための講座である。国語学研究上必要な方法論・資料収集等の方法について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な論文の例示をして、中世を中心とした音韻・文法・語彙・文字等の特質を概観し、各自の研究対象を確認し、助言した後でそのテーマにそった資料収集を進めてもらう。夏休みに主な資料のカードを作成してもらい、10月初めに論文作成にとりかかり、12月に各自点検の為の面談を行った後に提出してもらう。

履修上の留意点

各自の自主的な作業が進められるので、論文を作成するという意欲が必要となる。

成績評価の方法

論文作成過程の中の努力・意欲をみて、さらに論文を評価する。

教科書

面談の中で指示する。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究(国語学)	はぎはらよしお 萩原義雄	短国2選必	4

講義のねらい

日本語資料にみえることば

1. 時代背景は、現代語から古典語まで(小説・物語・詩歌・マンガ・史集)
2. 言語背景は、文書類 講演 TV ラジオ 方言(絵本類 辞典)
3. DBの利用

講義の内容・授業スケジュール

1. 資料作品の選定
2. 収集作業
3. 集めた資料を点検・整理
4. 整理方法の選択
5. はじめとおわりを考える
6. 内容を理解し、その資料内容が明確に示されているかを確認
7. 自身のまとめた資料内容をもって、解説文を作成する。
8. 作成した資料を推敲してみる。

履修上の留意点

定期点検を実施しますので、作業状況の進展を伝えてください。

成績評価の方法

作成過程をポイント制でみていく、最後に完成作品を公開できることがのぞましい。

教科書

多くの辞書類を使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	短国1・2選	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。
 私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。
 なお、概要は次の通りです。

- ・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか
 どのように声を作っているのか
 音声をどのように表記するのか
 アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷
 仮名遣いの諸問題
- ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します。
 春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	萩原 義雄	短国1・2選	4

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据える形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、古代から現代までに伝わる国語資料についての現状の把握が第一となります。そして、どう時代区分されているのかを知りましょう。そのうえで、将来どのように国語研究として重要性を持ち、どのように発展していくかを認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回の講義内容 『古事記』（国宝真福寺本）&最初に情報センターの使用手続きについて、再度説明
- 第2回の講義内容 『日本書紀』「卷子本、東洋文庫所蔵の巻第廿四・皇極期の参照画像写真」
- 第3回の講義内容 『万葉集』について（現存『万葉集』の最善本の内容、「万葉仮名」という文字表記）
- 第4回の講義内容 天女幻想『竹取物語』《32頁》
- 第5回の講義内容 『伊勢物語』（書名・作者そしてこの作品構成、真字本『伊勢物語』、大正時代に吉井作竹下夢二絵『新譯絵入伊勢物語』）について
- 第6回の講義内容 『土佐日記』（為家本と定家本との異なり）について
- 第7回の講義内容 『源氏物語』（人物系譜・京大付属図書館蔵中院本『源氏物語』漢字の頻度を考察）
- 第8回の講義内容 「大鏡」について
- 第9回の講義内容 『方丈記』鴨長明の自筆本についてその表記形式及び内容について
- 第10回の講義内容 『平家物語』について
- 第11回の講義内容 鎌倉時代の『吾妻鏡』について（源頼朝・頼家・実朝そとて北条政子とその一族）
- 第12回の講義内容 夏季課題の取扱いについて説明しました。
- 第13回の講義内容 夏季課題の提出日。
- 第14回の講義内容 『小倉百人一首』について
後期講義に向けてその方向性と準備として、どのような作品を考察したいのかを「掲示板」へ書込みすることを指示。これに基づき、後期作品の選択に入ります。
- 第15回の講義内容 体講
- 第16回の講義内容 『正法眼蔵』山は是れ山 水是水。〔山水経〕
- 第17回の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について
- 第18回の講義内容 『徒然草』について
- 第19回の講義内容 『義経記』判官びいき。〔192頁〕
- 第20回の講義内容 乱世庶民の夢『御伽草子』浦島太郎（浦島伝説・浦島太郎伝説の謎）・ものくさ太郎・鉢かづき・酒吞童子・一寸法師、一寸法師
- 第21回の講義内容 江戸上方 井原西鶴 元禄の英雄『好色一代男』
- 第22回の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』風雅のこゝろ。〔260頁〕
- 第23回の講義内容 庶民のサロン『浮世風呂』〔362頁〕
- 第24回の講義内容 勧善懲悪『南総里見八犬伝』
- 第25回の講義内容 近代への架け橋『航米日録』について

国文科

履修上の留意点

また、短期大学国文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させて、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご告知願います。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、画像処理についても要確認（著作権問題）願います。

教科書

インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語文法	奈部 淑子	短国1・2選	4

講義のねらい

普段、母語として自然に身につけて会話している現代日本語の疑問点を挙げ、現代日本語を分析し、文法を理解し、興味を抱いて現代日本語に対することを目的とします。日頃、何とも思っていなかったり、考えてもみなかったところに規則性（文法）が存在していたことを知り、文法について考える時間を持ち、現代日本語に対する意識を呼び起こし知識を養います。

前期では格助詞を中心に文法に対する理解を深めます。後期には文の持つモダリティについて考察していきます。必要に応じて古典文法との比較を行いながら講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 現代日本語文法についての概説・品詞の説明 (2～5) 主格と主題について (6～10) 受動文・使役文について (11～13) 文体(丁寧さ)について
(後期) (14～19) 現代日本語のテンス・アスペクトについて (20～25) モダリティについて (26) まとめ

履修上の留意点

現代日本語を分析的な目で捉え、興味を深めていくことを目的としますので、講義をあまり欠席しないことが希まれます。

成績評価の方法

学年末試験と受講生の提出物の内容に依拠して行います。

教科書

その時間のトピックスとなるプリントを毎回配布します。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語教育	奥原 淳子	短国1・2選	4

講義のねらい

目的は、二つあります。一つは「日本語教育とはどういうものを学ぶこと」、もう一つは「日本語を客観的に分析する態度を養うこと」です。

「国語教育」と「日本語教育」は違います。これまでみなさんが学んできたのは「国語教育」で、それは幼い頃から自然に無意識のうちに身に付けた言語知識を基に学ぶものでした。一方、「日本語教育」は、その自然に身に付けた日本語を、外国語としての日本語という視点から改めて捉えなおしていくものです。

本講義では、日本語教育に関する現況と基本的な理論を提示します。そして同時に、具体的に日本語を分析していくことで、問題発見能力、帰納的に考察していく力、相手に伝える力を養っていきたいと考えます。さらに、日本語を母語としない人たちが何をどうやって習得していくのか、その具体的な方法や直面する問題もさぐります。

講義の内容・授業スケジュール

- 日本語教育の概観：日本語教育とは何か／日本語学習者の周辺
- 日本語：音声／文法／文字・語彙／社会言語学／心理学
- 日本語教授法：いかに日本語を教えるか、その具体的な方法
- 日本語分析：我々はどんな日本語をどう使っているのか

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。グループ活動も多いので、自分の考えをしっかりと伝えるように心がけてください。

成績評価の方法

出席（毎回とります）・授業態度・発表・試験・レポート

教科書

プリント使用予定

参考書等

『はじめての日本語教育・1 [日本語教育の基礎知識]』高見澤孟 監修(アスク)1996年
『はじめての日本語教育・2 [日本語教授法入門]』高見澤孟 監修(アスク)1996年
『日本語教育演習シリーズ①教えるためのことばの整理 Vol. 1』丸山敬介(凡人社)1994年
『日本語教育演習シリーズ②教えるためのことばの整理 Vol. 2』丸山敬介(凡人社)1994年

科目名	担当者名	配当学科	単位
表現法(話すこと)(前期)	はぎ 原 義 雄 秋 原 義 雄	短国1・2選	2

講義のねらい

《パフォーマンス》

1. 話すこと

話し方には一対一で向かい合って特定の人と話す話し方と、複数の人に対して語りかけるように話す人前での話し方とがあります。このとき、同じ日本語でも標準語でなく自分の生まれ育った地域のことばで話すとしたら、この話し方はどう変貌するであろうか……。たとえば、青森出身の人と鹿児島出身の人が話しをしたら、どうでありましょう。また、言葉の豊富な多様性の高い人とまったくことばの知らない人とが会話したらどうなるでしょうか。さらに、話し手の発話テンポはどう影響するのでありましょうか、実際の話し方のパフォーマンス表現者たちを毎回授業時間にお招きし、その会話表現の奥義を掘み取って見ようではありませんか。このことから、その話し方の特性について解明を進めて見たいと考えています。話し方のパフォーマンス表現者をゲストに迎え、トーク・ディスカッションを交えながら、とっつきな乙なお話を聞かせていただくとともに、その会話の魅力に迫ってみたいと考えています。

2. よむこと

声にだして読む、これを“朗読”といいます。声に出さずして目でおって読む、これを“黙読”といいます。後者の“黙読”は、どの程度のスピードさで、どの程度理會して読んでいるのか第三者には定かではありません。ですが、前者の“朗読”については、声の質や抑揚で、ある読み上げのテンポ・リズムカルさなどから、朗読する側の伝達感覚状況をつぶさに知ることになります。ここでその読み方について「音曲・語り・落語」などの多種多様の観点から考察を試みてみたいと思います。

履修上の留意点

情報センター教室を使用のため、人数制限があります。

成績評価の方法

課題は、毎回お招きした方々からの貴重な意見やその洞察力を素に自らがどこまでそれらの話し方のパフォーマンスを習得しえたか、そこから得た実際の密度の高い能力を、最後に四分間スピーチとしてまとめて表現していただきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
表現法(書くこと)(後期)	はぎ 原 義 雄 萩 原 義 雄	短国1・2選	2

講義のねらい

《パフォーマンス》 次世代を超越して、人と人が出会うことのできる記憶媒体の形態として「書く」というパフォーマンスが存在します。何千年・何百年の過去の人物との出会える、いわば未来に残し、伝えようとするメッセージ作成システムでもあります。これを受信した人が、これをどう見つめ、どう捉え、どう表現しているのでしょうか。実際、書くことのシステム領域を認識し、その書きぶりを知り、次にあなた自身が次の世代へ伝えていくメッセンジャーとして書く技術をどう生かしていくかを含め、大いに考えてみたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

前期の最後に実施した話すパフォーマンスをこんどは画像と文字という形態を用いて活写していきます。多くの書く要素を私自身が皆さんに毎回問いかけ、これをキャッチしていただき電子の紙芝居を作っていくことを試みます。書くことの素晴らしさ、楽しさを存分に味わって見てください。

- 1 電子紙芝居とは、いったいどんなものか？ 実際、プレゼンテーションします
- 2 電子紙芝居（「パワーポイント」の操作と手順）の説明
- 3 画像面を最低十枚を設定構成してみます 画像面のファイル取り込みと加工
- 4 画像に併せてセリフ文章を収録します 複写→再編成
- 5 このなかに、名言名句・慣用句・四字熟語などをちりばめて調和の取れた文脈にしてみよう
- 6 接頭辞「御（お、み、ゴ、ギョ）」を用いた表現がどの程度反映されているかを知覚してみよう
- 7 象徴語表現（オノマトペア）を入力し、場面を引き立ててみましょう
- 8 二人称会話表現をとりいれ、会話表現がなされたものとしてみましょう
- 9 作品提出し、これを実際に動かして見よう

履修上の留意点

履修希望者は、前期開講の「表現法（話すこと）」の第1回目の授業に出席し、受講許可を受けること。

成績評価の方法

電子紙芝居による作品の提出をもって評価します。画像面は最低十画面とし、はじめと終わりまでが一続きのものとして仕上げてください。評価は、4から8までの講義課題を基準点としまして採点します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テーマ研究 I (前期)	まつ だ なお 直 行 松 田 直 行	短国1・2選	2

講義のねらい

国語の試験問題の解法について、現代文（評論・論説文）を中心に講義する。国語の試験問題では、本文の要旨を正確に読み取った上で、設問における出題者の意図を把握し、論理的な文章で簡潔な解答を書くことが要求される。実際に出題された問題を使って解法を講義することにより、単に試験で点数を取るだけでなく、論理的な思考力と記述力を身につけるための訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- (1-2) 論説文を読む (3-4) 論旨とは何か (5-6) 論理的な構成を読み解く
(7-8) 出題の意図を考える (9-10) 記述式問題の答え方 (11-12) 論述力の養成
(13) 模擬試験

履修上の留意点

履修希望者は初回の授業に出席し、ガイダンスを受けること。初回に出席できない場合は、登録前に直接相談に来ること。

成績評価の方法

教場試験と出席状況により採点する。

教科書

教科書・参考書は授業で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 Ⅱ (後 期)	<small>その</small> 園 <small>部</small> <small>みき</small> 幹 <small>お</small> 生	短国1・2選	2

講義のねらい

国語の試験問題の解法について、古文を中心に講義する。単なる出題文の読解ではなく、設問の意図をどのように理解すればよいか、限られた時間の中でいかに効率よく解答を作成するか、そのためにはどのような基礎的知識が必要か、試験問題として出題されやすい事項にはどのようなものがあるか、論述問題の解答作成上の留意点は何か等々、国語の試験問題の解法と関連したことがらについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1・2、呼応表現。3・4、助動詞。5・6、敬語。7・8、識別。9・10、修辞法。11・12、総合。13、時間内試験。

履修上の留意点

後期科目であるために、履修届の提出前に授業がないので、この科目についての説明は、同一時限に開講される「テーマ研究Ⅰ」の1回目の授業の中で行う。したがって、この科目を履修しようとする学生は、必ず「テーマ研究Ⅰ」の初回の授業に出席するか、もしくは、担当教員のところまで直接相談に来ること。

成績評価の方法

教場試験と出席状況を総合して評価する。

教科書

過去の編入学試験における国語の問題を中心としたプリントを配布する。

参考書等

必要に応じてそのつど紹介する。

国
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 Ⅲ (前 期)	<small>いし</small> 石 <small>わり</small> 割 <small>とおる</small> 透	短国1・2選	2

講義のねらい

文学研究の方法の一つとしての〈作家研究〉の方法を、サンプルとして提示してみたい。一人の作家のおりなした文学テキストを、制作（或いは発表）の時間的な順序に基づいてとりあげ、その分析を通して、一人の作家の、或いはその作家の生きた時代的特色を示し、同時代の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

この時間では、(1)に示した課題を検討するために、主に大正期に活躍した芥川龍之介の代表作とされるテキストを分析し、テキストの内容を検討していきたい。「羅生門」「鼻」「芋粥」「手巾」など、時間的な制約もあり、芥川のテキストの初期のものに限定されることになるが、それを通して、大正初期の文化の様相をも考えていきたい。

履修上の留意点

とりあげるテキストを、前もって受講生に授業時に指示するので、必ずそれを読んで授業に臨むこと。

成績評価の方法

半期にテキストを緻密に分析したレポートを一、二度提出。それを基に、授業態度、出席状況を考慮して評価する。

教科書

『芥川龍之介全集第一巻』『同第二巻』（ちくま文庫）

参考書等

授業時に指示する。

その他

主に講義の形式で、折々に資料などをコピーし配布して進めていく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 Ⅳ (後 期)	すずきひろこ 鈴 木 裕 子	短 国 1 ・ 2 選	2

講義のねらい

古典文学における「親子」をテーマに、複数の作品を取り上げて、その一節を読み、解説します。「日本霊異記」、「今昔物語集」などの説話文学や、平安時代の物語文学『源氏物語』を中心に、さまざまな親子関係の変遷・解体の諸相を見ていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 王朝文学における「親子」—『源氏物語』の父・母・子どもたち—
- ② 『日本霊異記』に見る家族の解体
- ③ 説話の世界に見る親と子

履修上の留意点

授業は主として講義形式ですが、頻繁に小作文などの課題を出題します。

成績評価の方法

期末（日時・論題等は授業時に提示）に提出するレポート、授業中の発言や課題、出席状況（欠席・遅刻しないことは前提）などから総合的に行います。

教 科 書

プリント教材。

参 考 書 等

参考書は、授業中に指示します。

国
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 Ⅴ (前 期)	そのべみきお 園 部 幹 生	短 国 1 ・ 2 選	2

講義のねらい

古典の文学世界における特徴的事項の一端を浮き彫りにすることによって、古代の日本人の考え方や、文学と関わる生活・習慣、あるいはそこに根ざした文学の展開などについての理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「歌徳説話」をテーマとする。古典の世界では、「徳」は「得」の意味で用いられ、「歌徳説話」とは、「歌によって得をした話」であるが、その特徴はどのような点にあるのか、起源はどこにあり、どのように展開したのか、などについて講義する。
スケジュールは、1 講座説明、2～5 歌徳説話の実相、6～7 歌徳説話の起源、8～11 歌徳説話の展開、12 まとめ、13 レポート提出

履修上の留意点

毎時限、意見文を書いて提出することを求めるので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時限の意見文によって50点、レポートによって50点を採点する。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

必要に応じてそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 VI (後期)	佐 原 作 美	短国1・2選	2

講義のねらい

奈良朝から平安朝頃にかけて成立した文学作品を通して「上代の日本人の精神生活を探求する」をテーマに見ていきたい。精神風土と文学のありようについて、作品の鑑賞をまじえながら授業をすすめていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

テーマ①上代人の呪的信仰について

はじめに「呪的信仰」とは何かについて、その概念規定を行ったのち、具体的な作品たとえば『古事記』上巻の「イザナギノミコトの黄泉国訪問」神話や『万葉集』『日本霊異記』等の作品を素材に検討を加えていく。

テーマ②上代人の言霊信仰について

「呪的信仰」とともに上代人にとって重要な事柄として言霊信仰がある。『万葉集』や『風土記』、あるいは『続日本紀』などの史書の中からそれに関する作品や記録をもとに考えていきたい。

テーマ③上代人の夢信仰について

上代人は「夢」をどうみていたかについて、『万葉集』や『風土記』や『日本霊異記』あるいはその他の文献をもとに見ていきたい。

履修上の留意点

教材はプリントを事前に配布したいと思うので、その時は予め目を通しておいてほしい。常に問題意識を呼び起すようにつとめて貰いたい。

成績評価の方法

出席状況や時々のレポートなどを見て総合的に判断する。

教科書

教科書を用いず、毎回プリントを配布する。

参考書等

必要に応じてその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 VII (前期)	小 林 治	短国1・2選	2

講義のねらい

宮澤賢治の童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわれてきた経緯があり、それゆえ、賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類なき想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。

講義の内容・授業スケジュール

上記の賢治作品の実相を、生前発表作品と、『ポラーノの広場』、『グスコブドリの伝記』、『風の又三郎』など、後に「少年小説」と名づけられた作品の初期形から最終形までの生成の中にみていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んでおいて授業に出席のこと。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出席状況を加味して評価する。

教科書

宮澤賢治『宮澤賢治全集第7巻、第8巻』（ちくま文庫）
その他、適宜プリントも配布する。

参考書等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 Ⅷ (後 期)	こ ばやし 小 林 治	短 国 1 ・ 2 選	2

講義のねらい

戦後日本において、その新たな可能性が追究されたアヴァンギャルド文学運動の渦中から登場した安部公房が遺した作品のほとんどは、現実を写そうとする旧来のリアリズムと対極にある。皮相なリアリズムによっては切り捨てられ、あるいは隠蔽されて、闇に葬られてきた生活者の身体感を露出させているという意味において、これほど現実を映している作品は稀有とあってよいだろう。そのような安部公房の作品を精読する。

講義の内容・
授業スケジュール

昭和20年代の初期短編作品から、『砂の女』以前の昭和30年代の長編作品まで順次取り上げていく。

履修上の留意点

新潮文庫、安部公房全作品、安部公房全集などを用意して、あらかじめ作品を読んでおいて授業に出席のこと。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

安部公房『R62号の発明・鉛の卵』（新潮文庫）552円
その他、適宜プリントも配布する。

参 考 書 等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
異文化コミュニケーション	おくはらじゅんこ 奥原淳子	短国1・2選	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下において、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- 「日本人」とは？
日本人というのは誰をさすのか。
日本にはどんな「日本人ではない人」がいるのか。
- 「コミュニケーション」とは？
それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- 「日本」と諸外国との関係は？
日本はどのようにメディアに映されているのか。
我々は諸外国をどう捉えているのか。
- 非言語コミュニケーションとは？
非言語コミュニケーションはどんなことを指すのか。
日本人の非言語コミュニケーションにはどのような特徴があるか。
- 異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるか？また、そのためにはどうしたらいいのか？

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。
尚、受講者の人数、能力などに応じて一部授業内容を変更する可能性があります。

成績評価の方法

出席（毎回とります）・授業態度・発表・試験・レポート

教科書

プリント使用。

参考書等

開講時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 言 語 学	かたやま 片山 晴賢・はきはら 萩原 義雄	短国1・2選	4

講義のねらい

「電腦国文学」ということばをあなたは理解できますか。まさに電腦システムに基づく国語・国文学研究をめざします。ネット上には、電子テキスト・写本原画像はたまた學術研究者の公開論文など多種多様な研究すべき素材とテーマがそれぞれのホームページに常時拡張しつづけています。これらのデータをパーソナル・コンピュータという電子の道具をもって利用し、かつ自身がもっとも必要とする情報収集・整理そして自らのレポート・論文作成まで学習していくものとなります。前期で基礎編、後期で応用編を学習していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

基礎編

I 情報収集

- ① URLの仕組み
- ② ブラウザの基本操作
- ③ 検索の方法
- ④ 役立つ情報資料
- ⑤ 周縁圏のガイドライン情報
- ⑥ 新聞記事を検索で読む
- ⑦ 展示会・催し物などの情報へのアクセス
- ⑧ 旅宿・地図・時刻表を読む
- ⑨ 就職情報へのアクセス
- ⑩ ネット交流→メール送受信・掲示板。著作権など

II 情報整理

- ① ことばのエディタ化とワープロ化（利便な機能習得）
- ② ことばのデータベース化（基礎データ作成）

応用編

発表用資料の組み立てを知りましょう
 自分の研究資料に基づく固有辞書の登録（歴史的假名遣い入力など）
 漢字（旧漢字や難字・難読漢字をどう理會し、どう活かすか）
 電子データのレポート原稿作成
 漢字索引・假名索引の製作

成績評価の方法

レポート、出席日数を考慮して評価する。

教科書

《前期分》

漢字文献情報処理研究会編『電腦国文学』CD-ROM付（好文出版）3,200円＋税

《後期分》

講義の際、追って指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学概論	佐原 作美	短国1・2選	4

講義のねらい

日本文学は文字による記録以前の口承時代を含めると実に長い歴史と伝統の上に成り立っている。その間、神話や物語や和歌をはじめ多種多様なジャンルのもとに数多くの作品が、その時代や社会情勢との関わりの中で創作され享受されて来た。そこでかかる日本文学とはいかなるものかを主なテーマとして、時代とその変遷の視点から考察を加えその何たるかを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、日本文学史の時代区分と文学上のジャンルを概観し、つぎに各時代別にそれぞれのジャンルの作品の一端にふれながら、作品と時代や社会などの背景との関係、あるいは後世の作品への影響、さらにはそれらを貫流する文学の理念等を見ていきたい。

履修上の留意点

テキストを用いるのでそれに添う形で授業を進めるので事前にテキストを購入し読んでおくこと。

成績評価の方法

学年末の定期試験あるいは時折課するレポートの提出、及び出席状況などを見て総合的に判断評価する。

教科書

阿部正路・上坂信男・神作光一・寺本直彦編著『日本文学概論』（右文書院刊）2,000円

参考書等

授業の中でその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	佐原 作美・石割 透 小林 治・坂口 博規	短国1・2選	4

講義のねらい

「子ども」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者からその都度指示があるのでそれに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は以下の通りである。

- ① 古代文学と子ども
〈4/14, 4/21, 4/28, 5/12, 5/19, 5/26, 6/2〉 佐原作美
- ② 西行と娘
〈6/9, 6/16, 6/23, 6/30, 7/7, 7/14〉 坂口博規
- ③ 近代の小説に見る子ども像
〈9/22, 9/29, 10/6, 10/13, 10/20, 10/27〉 石割 透
- ④ 近・現代文学の中の子ども
〈11/10, 11/17, 11/24, 12/1, 12/8, 12/15〉 小林 治

履修上の留意点

最初の授業時（4/14）にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。

教科書

担当者により指示する。

参考書等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
古 典 文 学 史	ばん の ひで かず 伴 野 英 一	短国1・2選	4

講義のねらい

日本における古典文学史を、概観的に把握できるよう学ぶ。
「古典文学史」ということで、概ね、上古より中世までの範囲を考えているが、いわゆる文学史を学ぶだけでなく、なるべく各時代の文章そのものに触れて味わいたい。また、現代に生きる我々の持っている感覚と、古典の中に広がる世界に溢る感覚との相違点にも思いを巡らせ、日本古典文学史をミームとして捉えてみたい。

成績評価の方法

出席点・受講態度と年度末試験を重視する。出席数が年間を通じての講義数の三分の二に達しないものは単位を認定しない。また、年度末試験の得点が60点に満たないものも単位を認定しない。また、時に臨みレポートを課し、それも評価する。

教 科 書

テキストは『日本古典文学を読む』（和泉書院）を使用する。

国
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 ・ 現 代 文 学 史	ささ せ おう し 笹 瀬 王 子	短国1・2選	4

講義のねらい

日本の近代は、江戸から明治へと改元された時から始まるとされる。文学の世界も同様である。旧来の文学を一新し、近代文学としての歩みを始め、自立し、その独自性を発揮するまでの道程を知り、確認することは文学研究の上からばかりでなく、今を生きる私達現代人にとっても自ら<近代>を問う意味で有意義となろう。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では、明治開化期の文学の考察を手始めとして、以降は時代の流れに沿って文芸思潮を中心にその時々の文学運動を参看しながら個々の作品の歴史的な意味について考えていく。

履修上の留意点

講義の性格上、ともすれば作品名の羅列になりがちであるが、可能な限り数多くの作品にじかにふれるようにしたい。扱う作品は、すべて名作ばかりである。先ずは、勉強するという意識に縛られず、それらと親しみ、その世界に遊んで欲しい。講義に積極的に参加する気持ちが何よりも大切である。従って、受講者は知識として作品名を覚えればよいというのではなく、あらかじめ課題となる作品を自主的に読み、考える姿勢を強くもって講義に臨むことを要望する。よく遊び、よく学ぶ。そこから得られる喜びがかけがえのないものであることを信じる。

成績評価の方法

受講態度、学習意欲等の平常点、レポート、試験によって総合的に評価する。

教 科 書

岡保生、大久保典夫編『現代日本文学史』（おうふう）
平林・長沢・八木・加藤編『近代の文学』（笠間書院）
教場配布のプリント。

参 考 書 等

講義の際、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国文学史	清水浩子	短国1・2選	4

講義のねらい

テキストにより周代の文学から現代までの文学について概観し、代表的な作品講読を行い、中国文学への理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

各時代を2～3時間で学び、できるだけ作品を鑑賞したい。作品は教授者がコピーを用意するが、時には各自で紹介してもらうこともある。

履修上の留意点

レポートの締め切りを守ること。

成績評価の方法

各時代の講義が終るごとに簡単なレポートを提出してもらうので、レポートの内容の評価と出席などを総合的に判断して行う。

教科書

佐藤一郎著『中国文学史』（慶應義塾大学通信教育部）

参考書等

授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文献資料を読むⅡ	はぎ 原 義 雄 萩原義雄	短国1・2選	4

国
文
科

講義のねらい

現代社会から見た「文化資源」資料としては、この2003年4月7日に誕生するという設定にした「鉄腕アトム」などの代表漫画作品がまず注目されている。この傾向は異文化西洋フランス国における日本学を研究する多くの研究者にその文化資源として受け入れられていることから知られよう。この漫画がもたらした世界的な「漫画のことは文化」を生みだした背景を考えながら、その代表者である手塚治虫さんにスポットをあてて、考察を深めてみたいと考える。この漫画も紙の世界からスティル撮影による動画すなわちアニメーションへと変遷していき、生き生きとした活写の中核を画像に併せて語る声優さんたちがその裏方を努めてきた。また、歌謡曲という分野にあっても、シンガー・ソングライターと称せられる多くの歌人（うたびと）・歌姫（うたひめ）により、うたことばによる交り紡ぎがなされてきている。こうした地球上に刻まれつづけている人類の文字言語資料は、夜蒼穹の星の煌めきのごとく数知れない。この日本という風土に見合った形態内容に置換し、発展させてきたこれらのことばの群を過去に向かって問い返してみようではないか。文化融合利用の適合性。漢字仮名混じり文が織り成す文化土壌をここに知り、少しく見つめ直すことで、日本語の文化資源である漫画という分野から世界的視野で学習してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 手書きの妙味と活字化した文字との違いとは何か
- 2 日本漫画の資料そのものを収集してみよう
- 3 日本漫画の資料としての手塚治虫とその作品群『鉄腕アトム』『リボンの騎士』など
和語漢語外来語混種語による会話表現・文字としての漢字、かな、カナの使用（変字法など）・符号、記号の使用・名言、名句の語表現。修辞技巧表現。画と文字の融合対話度合いなどを分析してみる
- 4 海外での日本漫画資料作品としては、どのようなものが主流にあるのかをここに検証する
- 5 漫画作家の真髄ともいえる漫画の原点とチームワーク漫画づくり（プロダクション化）を見つめてみる
- 6 書かための道具とその作業工程には多くの発見は、あったのだろうか
- 7 アニメーション漫画作品群におけるその断ち切れと継続化を探る
- 8 現実社会に直面した事件文書などを追う新聞漫画性から明治・江戸の瓦版へタイムスリップ
- 9 写真記録では果たせない世界とは何か
- 10 歌謡曲の歌詞表現にみる世相とことば、アジア圏をつなぐ歌人とそのこゝろ
- 11 シンガー・ソングライターとは、いかなる言語詩表現をなしてきているのかを知る

履修上の留意点

日本語をもって記録された多種多様の文化情報資源を現代そして未来へどう伝えていくのか。その情報量が膨大な宝庫として認定されるまでの時間と空間のなかにあっては安易に捨てられ、安易に生み出され、また安易作られてきた。だがこの世に成った一まとめの文化資源資料を体系的に掌握することで、いままで気が付かなかった世界を知ることになる。無用のように見えて無用ではないことばの集結を知り、これらの文献資料を正確に読みとる力を身につけることを第一義の目的とする。見る目・読む目・わかる目といった個人レベルの次元から一歩踏み出し、異文化領域からの疑問、なぜそう読めるの？いつそのように用いるようになったの？どこに行けばもっと詳しいことがわかるの？などといった実用質問に自信をもって対応できる日本語文化資源情報能力を養うことを目的とする。必要な資料は、その多くをネット公開資料を随時活用しつつ、実際の作品を利用し、毎回それぞれのテーマに見合う課題を提示し、考察を深めていくことにしたい。

成績評価の方法

随時テーマ課題レポートを提出して、話題と質問とを常時提供していただき、その発信と受信度数をもっとも重視し、これに評価点を最大100まで用意し、加点評価を継続していく。途中、参加不可能な状況に落ちいた場合には、評価点は現状維持とし、これを韶華することに努めてもらう。

参考書等

手塚治虫著『手塚治虫マンガ全集』（他数種）

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典文学を読むⅡ	佐原 作美	短国1・2選	4

講義のねらい

授業では『万葉集』の講読を中心にすすめる。『万葉集』は承知の如くわが国最古の大和歌集であり、約4500首もの和歌を取める国民的古典である。授業ではその中から特に特色ある歌人として知られる山上憶良の作品を中心に読んでいくと共に、作者憶良の人間像を探求することを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール

憶良を理解するにはその作品を精読することが第一であり、それにあわせその時代や社会などとの関わりをも視野に入れる必要がある。授業では、憶良の全作品を創作年代順に追いつながりながら学生と共に読んでいきたい。

履修上の留意点

授業は単に出席して講義を聞けばいいというものではない。自ら積極的に作品を読み、考え、味わうことが大切である。作品は人間から生れた文学芸術であることを忘れず、意欲的に立ち向かうようにしてほしい。

成績評価の方法

出席状況や質疑、およびレポートなどの提出物などを見て総合的に評価する。

教科書

土橋 寛編『作者別万葉集』（おうふう）2,000円

参考書等

授業時に必要に応じてその都度紹介する。

国文科

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典文学を読むⅢ	佐藤 知乃	短国1・2選	4

講義のねらい

テーマ：江戸時代の文学作品を知る
江戸時代には、それまで寺院や限られた貴顕のためにあった印刷技術が一般に普及し、商業目的の出版が行われるようになります。多くの書籍が出版され、浮世草子、黄表紙、洒落本、滑稽本など、新しい文学が生まれました。この講義では、江戸時代の文学作品に触れ、今日まで「日本文化」といえば常套的に挙げられる浮世絵などの江戸時代の文化に親しむことを第一の目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

仮名草子、浮世草子、読本、黄表紙、滑稽本など、ジャンルごとに紹介をしていきます。また、折に触れて、江戸時代の版本（印刷された本）について、図版等を通し、学んでいきます。親しみやすい作品を通して、内容を把握すると同時に、描かれた生活文化への理解を深めましょう。

履修上の留意点

基本的には講義の形式をとりますが、討議も行いたいと考えていますので、授業への積極的な参加が求められます。

成績評価の方法

前期および後期の最後の授業において、筆記試験（記述式）を行います。また、授業中に小レポートを課することがあり、これらを総合的に勘案します。

教科書

講読テキストはコピーを配布します。

参考書等

教場において指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近・現代文学を読むⅠ	いし かり 石 割 透	短国1・2選	4

講義のねらい

近代の小説、この時間は特にわが国の1910年代から20年代にかけての代表的な小説、作家をとりあげて、この時代の文学的傾向、文化的な諸問題を検討していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげる作家、小説は大体次の通りです。志賀直哉「清兵衛と瓢箪」「雨蛙」「十一月三日午後の事」「焚火」「小僧の神様」、谷崎潤一郎「刺青」「痴人の愛」「小さな王国」「春琴抄」、芥川龍之介「鼻」「芋粥」「秋」「奉教人の死」、江戸川乱歩「二銭銅貨」「屋根裏の散歩者」「人間椅子」など。

履修上の留意点

授業でとりあげる作品は、短編小説が中心である。前もって必ず緻密に読んでおいて下さい。

成績評価の方法

年度に2、3回、作品について論じたレポートを提出。原稿用紙7枚以上のレポートとともに、出席状況、授業時の態度によって評価する。

教 科 書

プリントを随時配布。年表の会編『近代文学年表』（双文社出版）を常に手もとに備えておくこと。とりあげる作品の多くは、文庫本で読めます。

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

講義形式で授業を進める予定。

国
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国文学講読	し みず ひろ こ 清 水 浩 子	短国1・2選	4

講義のねらい

中国最古の詩集『詩経』から唐・宋までの詩文を中心に学び、漢文に親しみ、中国文学への理解を深め、日本文学への影響についても考える。

講義の内容・
授業スケジュール

4月から5月にかけての授業は日本人のよく知っている漢詩文を用いて、漢文の読み方の基礎を学ぶ。それ以降はテキストにそって、講義を行い、10月から11月には受講生各位に好きな唐詩の発表をしてもらう。まとめとして、中国文学の日本文学への影響を考える。

履修上の留意点

毎回の出席を心がけて欲しい。

成績評価の方法

年間数回の試験の結果や授業中の発言、出席状況等によって総合的に判定する。

教 科 書

中村璋八編『中国思想文学通史』（明治書院）、及びプリント。

参 考 書 等

授業時に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 典 講 読 I (前期)	佐 原 作 美	短国1・2選	2

講義のねらい

文学は読む作業を通して享受するものであるが、ここでは「活字」ではなく手書きされたものを読んでいく。活字以前の古典のこもす雰囲気、変体仮名（で味わいつつ）独特の書体に読み慣れることを目指していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

作品として、複製の『竹取物語』を扱うのであるが、時間的に全文は無理なので要所を選んで読んでいきたい。

履修上の留意点

大切なのは問題意識や関心を寄せることであることを肝に銘じて取り組んでほしい。

成績評価の方法

出席状況や授業中の質疑やレポートなどを見て総合的に判断する。

教 科 書

片桐洋一編『竹取物語』（新典社）1,000円
神戸平安文学会編『仮名手引』（和泉書院）400円

参 考 書 等

必要に応じて授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原 典 講 読 II (後期)	佐 原 作 美	短国1・2選	2

講義のねらい

古典和歌の中から秀歌百首をもって撰集された「小倉百人一首」をテキストとして、一首一首味読していきたい。いわゆる活字体のものではなく、変体仮名で書かれた写本の複製本を用いて読む。写本や変体仮名に慣れると共に、古典のもつ雰囲気をも味わいたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、その配列順に従って一首ずつ、学生と共に読んでいきたい。また、和歌には様々な逸話や伝承がついているので、そうした和歌にまつわる伝承や史話などをもあわせ読んでいきたい。それと共に、日本人にとっての和歌のもつ意味などをも含め、広い視野から見ていきたい。

履修上の留意点

和歌はあまりなじみがない学生も多いかと思うが、和歌は日本人にとって大きな精神的要素を形成し、担って来た一大国民的文学の柱でもあった。単に和歌を解釈する以上に、出来るだけ深く読み取ろうとする態度、意欲的な姿勢をもって取り組むことが望まれる。

成績評価の方法

出席状況や授業中の質疑、及びレポートなどの提出物などを見て、総合的に評価する。

教 科 書

有吉保他編『影印本百人一首』（新典社）750円
神戸平安文学会編『仮名手引』（和泉書院）400円

参 考 書 等

必要に応じて授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歌謡 I	かわ 川 上 順 子	短国1・2選	4

講義のねらい

今年度は歌謡の発生の問題を中心に、古事記歌謡をテキストとして講義を行う。古事記中巻のヤマトタケル物語や応神記歌謡が中心となる。また日本書紀歌謡・風土記歌謡等も講義の対象となる。

講義の内容・
授業スケジュール

- ㉑ 最古の歌謡
- ㉒ 八千矛の歌
- ㉓ 久米歌
- ㉔ 歌垣
- ㉕ 童謡（ワザウタ）
- ㉖ ヤマトタケル物語と歌謡
- ㉗ 酒宴（サカホガイ）
- ㉘ 矢河枝比売物語と歌謡
- ㉙ 髪長比売物語と歌謡
- ㉚ 服属儀礼の歌

履修上の留意点

- ㉑ 出席を必ずとる。
- ㉒ 講義ノートにもとづく小テストを数回行うので、教室へは専用ノートを必ず持参すること。

成績評価の方法

- ㉑ 出席回数
- ㉒ 小テストの点数
- ㉓ 夏休みレポートの評価点
- ㉔ 期末レポート試験の評価点（上記のものを総合して成績を評価する）

教科書

- ・西宮一民編『古事記』（おうふう）1,900円
- ・日本書紀歌謡・風土記歌謡・続日本紀歌謡はプリントを配布する。

参考書等

参考書等はそのつど指示する。

その他

授業は講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
和歌文学Ⅰ	坂口博規	短国1・2選	4

講義のねらい

鎌倉時代初期に成立した私家集（＝個人歌集）『建礼門院右京大夫集』を読む。平家一門全盛の世、高倉天皇中宮となった平清盛娘徳子（安徳天皇母）の宮廷に女房として仕えた、「右京大夫」と称した女性の歌集である。他人詠も含めて361首の歌が、全体ほぼ年代順に配列されており、その半生の回想の記の体を示していることから、日記文学に指摘される自照精神を問うこともできる。徳子の宮廷に仕えていた折に、平清盛の孫に当たる貴公子資盛と恋に陥り、以後平家一門の都落ちに伴う資盛の流転、壇の浦での死去を体験し、その追想の日々を過ごす。その戦乱期に運命を翻弄された作者の人生を、散文（＝詞書）と韻文（＝和歌）が見事に融合したと評価される作品を通して考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時（1・2）は、女性の手になる自照文学の流れを概観し『平家物語』の裏面史とも言べき本作品を理解するため『平家物語』の女人哀話を紹介（3）、前期は平資盛との交渉を中心に作品を講読する（4～13）。後期は似絵（肖像画）の名手であり歌人でもあった藤原隆信との稔らぬ恋に苦悩するが、その交渉を伝える和歌を中心に作品を読み進め（14～25）、和歌文学の魅力を考える（26）。作品研究という形で本文を読みたい。

履修上の留意点

和歌の魅力を感じてもらうように、いくつかの作品を分析的に読解してみるが、まず作品の成立した平家全盛の時代、そしてその滅亡の歴史的背景について研究してほしい。なお宮廷社会について考察してほしい。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績に、平素の出席状況や授業への取組みを参考にして評価する。

教科書

久徳高文編『建礼門院右京大夫集』（おうふう）1,890円

科目名	担当者名	配当学科	単位
物語文学Ⅱ	鈴木裕子	短国1・2選	4

講義のねらい

『源氏物語』を原文で読みます。少しずつでも、自分で作品に取り組み、理解し、考えながら精読し、古典の面白さを味わえるようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、以下の計画で、『源氏物語』第三部を中心に読む予定ですが、進行状況により柔軟に対応します。

- （前期）『源氏物語』概説
 匂宮三帖を読む―光源氏亡き都世界の物語―
- （後期）橋姫巻を読む―父と娘の物語―

履修上の留意点

授業はテキストやプリント教材を用いての講義形式を基本としますが、頻繁に小作文などの課題を出題します。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験（論題等は授業時に提示）・授業態度（欠席・遅刻をしないことは前提）・課題などから総合的に行います。

教科書

『源氏物語 第十二巻 匂兵部卿・紅梅・竹河・橋姫』（小学館 古典セレクション）
その他プリント教材。

参考書等

参考書は、授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物語文学Ⅳ	すずき ひろこ 鈴木裕子	短国1・2選	4

講義のねらい

『落窪物語』を読みます。この作品は、いわゆる「継子いじめの物語」と言われるもので、シンデレラ物語の日本古典版です。本文解釈のための基礎知識・古典文法の知識についても復習しながら、古典作品が楽しく「読める」ようになることを目指したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

一年で作品総てを通読するのは不可能なので、作品世界全体の概説をしながら、選別した場面について精読していくつもりです。進行状況により柔軟に対応します。

(前期) 概説・物語世界への招待

巻一・巻二の世界を読む。

(後期) 巻三・巻四の世界を読む。

履修上の留意点

作品講読なので、講義形式を基本としますが、頻繁に課題を出題します。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験(日時・論題等は授業時に提示)・授業態度(欠席・遅刻をしないことは前提)・課題などから総合的に行います。

教科書

室城秀之訳注『新版落窪物語上・下』(角川ソフィア文庫)
必ず上・下とも購入すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日記文学Ⅰ	さかぐち ひろき 坂口博規	短国1・2選	4

講義のねらい

日記文学の文学性の本質は「自照(=自己観照)精神」に見る。自己の内面に向き合う作者の自己省察の姿勢や精神を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時(1・2)に日記文学の歴史や文学性を概観し、特に『土佐日記』と『蜻蛉日記』の果たした意義を考える(3~5)。5月中旬頃より、中世の女流日記文学を考察(6)、鎌倉時代後期、後深草院の後宮に出仕した二条という女性の回想記『とはずがたり』の紹介をする(7)。以後前期のうちに巻一のうちより主要部分を講読(8~13)、後期に入って巻二・巻三より主要部分を取り上げて講読する(14~25)。作者二条の波乱に豊んだ人生を総括する(26)。

作者は後深草上皇に愛されると同時に、他に二人の男性からも愛され交渉をもつ。その愛憎の苦悩からのちに出家、理想と仰ぐ西行法師にならって諸国行脚の修行の旅をした。その特異な人生体験の回想の記より、作者二条の自照精神を考えてもらう。

履修上の留意点

作品の講読を主とするが、作品全体を味読することは叶わないので、取り上げた以外のところも、是非目を通してほしい。授業時注釈書等参考資料を紹介する。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、出席状況等を参考にして評価する。

教科書

次田香澄校注『とはずがたり』(明治書院)2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
随 筆 ・ 評 論 Ⅱ	鈴 木 裕 子 <small>すず き ひろ こ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

『無名草子』を読みます。この作品には、『源氏物語』をはじめとして様々な文学作品の批評が展開されています。女性が語る「評論」というユニークな形式の作品のおもしろさを味わいましょう。

講義の内容・授業スケジュール

『無名草子』の批評の中心は、『源氏物語』におかれています。その他にも散逸物語などさまざまな作品が取り上げられ、貴重な物語史となっています。取り上げられている作品を検討しながら、『無名草子』作者の批評精神を理解しましょう。周辺の資料もあわせて読みながら、以下のように読み進めていく予定。

(前期) ①『無名草子』概説

②序

③物語の批評

(後期) ④歌集の批評

⑤女性の批評

履修上の留意点

授業は主としてテキストやプリント教材を用いての講義形式ですが、頻繁に小作文などの課題を課します。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験(日時・論題等は授業時に提示)・授業態度(欠席・遅刻をしないことは前提)・課題などから総合的に行います。

教科書

『無名草子-注釈と資料-』(和泉書院)1,995円(本体1,900円)
その他プリント教材。

参考書等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 文 学 Ⅱ	園 部 幹 生 <small>その べ みき お</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

歴史文学のなかから、代表的な歴史物語である『大鏡』をとりあげる。昨年度の「歴史文学Ⅰ」の講座のなかで、『大鏡』を読み、序文および道長伝の途中を取り扱ったので、今年度は、道長伝の続きに当たる部分を講読する。ただし、道長伝の他に、『栄花物語』のような関連のある歴史物語や、日記・説話の類も読むことになる。それらを通じて、歴史の事象を多面的に捉え、立場による視点の違いを知ることで、歴史文学についての理解を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通して『大鏡』道長伝や関連作品を読み進める。

1 講座説明。2 歴史文学概説。3～4 大鏡概説。5～24 道長伝および関連作品の講読。25 教場試験。26 まとめ。

履修上の留意点

毎時間、授業の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文によって50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の試験を行う。試験には、ノート・テキスト・参考書・辞書など、何でも持ち込んで参照してよい。なお、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡(該当者・テーマ・提出期限・提出場所など)を行なうので、必ず出席すること。

教科書

『大鏡』の全文が載っているものであれば、何でもよい。むしろ、各受講者が異なる出版社の『大鏡』を持って授業に臨み、比較・検討できれば、その方がよい。

参考書等

必要に応じて、授業時間内にそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
説 話 文 学 II	その 菌 部 みき お 生	短国1・2選	4

講義のねらい

説話文学のなかから、代表的な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、家集・歌学書・物語・歴史書・日記等々、あらゆるジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通して、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1 ガイダンス。2 説話とは。3・4 説話文学史。5 序文講読。6・7 宇治拾遺物語の特徴。8～10 編者論。11～24 作品論。25 教場試験。26 まとめ。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込んで参照してよい)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教 科 書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』(角川文庫)

参 考 書 等

『駒澤短大国文』35号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
軍 記 文 学 II	た 田 中 なか しん さく 伸 作	短国1・2選	4

講義のねらい

軍記文学の代表である『平家物語』を流布本によって読む。『平家物語』の諸伝本は語り本系統と読み本系統に大別されるが(流布本は前者に属する)、諸伝本による記事の異同等にも留意しながら物語を読み進め、『平家物語』の抱える諸問題について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

本文講読が中心。本年度は巻五から読み始める。なるべく多くの句を講読し、内容と特色を把握する。また、作品論、時代背景、文化史的な問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教 科 書

野村宗朔『昭和校訂平家物語』(武蔵野書院)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
連 歌 ・ 俳 諧 II	越 後 敬 子 <small>えちご けいこ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

元禄二(1689)年に「おくのほそ道」の旅を終えた芭蕉は、翌三年、四年としばらく各地を転々とする。そのような漂泊の旅の中で企画・編集の進められた『猿蓑』は、蕉風俳諧のあり方を明確に示した撰集であるといわれている。本書にはこれまでいくつかの注釈書が刊行されているが、それらを参考に各句を鑑賞し、蕉風俳諧の魅力に触れてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1～2) 俳文学・芭蕉・『猿蓑』等に関する概説
(3～13) 『猿蓑』発句 注釈・鑑賞
(後期) (1～13) 『猿蓑』連句 注釈・鑑賞

履修上の留意点

毎回出席の確認を行ない、年間授業回数^の三分の一以上欠席した者は失格とする。

成績評価の方法

前・後期末の試験に、平常点(出席、授業への貢献度)を加味する。

教科書

雲英末雄・佐藤勝明編『影印本 元禄版猿蓑』(新典社)1,800円

参考書等

新日本古典文学大系『芭蕉七部集』(岩波書店)
幸田露伴『評釈猿蓑』(岩波書店)
荻野清『猿蓑俳句研究』(赤尾照天堂)
森田蘭『猿蓑発句鑑賞』(永田書房)
堀切実編注『蕉門名家句選』
等、その他授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
短 歌 I (前期)	笹 瀬 王 子 <small>ささ せ おう じ</small>	短国1・2選	2

講義のねらい

近代短歌を考える。短歌は、世界に誇る日本固有の文学表現として長らく愛され続けている。伝統芸術の方がそれを可能にしたのである。しかし、かつて明治期に存亡の危機を迎えたことがある。近代という時代に合った短歌が必要とされたからである。そうした危難を乗り越え、先人達によって新たにどのように歌い継がれて来たかを、短歌史の流れに沿って見て行くこととする。

講義の内容・授業スケジュール

対象が広範にわたるので、明治・大正期の作家作品を中心に講義を進めることとなる。時間が許せば、現代短歌についても触れたい。講義の進め方は、明治期の正岡子規や与謝野鉄幹、晶子らによって推進された近代短歌革新を起点とし、後続の代表的な歌人達の作品を鑑賞して行くこととする。テキストを中心に、なるべくわかりやすい歌を選び、丁寧な鑑賞を通じて少しでも短歌の世界に親しめるようにしたいと思う。

履修上の留意点

短歌は三十一文字という短詩型のスタイルを持つ。よって、その作品数は他の文学とは比較にならないほど多い。歌ならではの、難解な言葉遣いも目立つ。学生はただ受動的に講義を聴くだけでなく、各自が前もって扱う歌人の作品を一首でも多く読み、その独特な表現にあらかじめ接しておく必要がある。そうすることで、より高度な鑑賞力が身につくと信じます。高い意欲と向上心を望む。

成績評価の方法

平常点、レポート、試験等を総合的に評価。

教科書

安森・末竹編『近代短歌と現代短歌』(双文社出版)2,100円
教場配布のプリント

参考書等

必要に応じて教場にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
俳 句 I (後期)	ささ せ おう じ 笹 瀬 王 子	短国1・2選	2

講義のねらい

近代俳句の検証ならびに鑑賞。俳句は江戸時代以降、特に庶民によって強い支持を得てきた文学表現の一つである。伝統的でありながら、大衆性をも具える俳句の魅力はどんなところにあるのかを考えてみたい。また、俳句における〈近代〉を探ることにより、今なお近い存在である俳句の本質を見定められればと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

近代俳句の成立と展開を考える際、欠かせぬ存在として正岡子規と高浜虚子がいる。彼らの活動があったからこそ、他の文学同様に明治期に〈近代〉の洗礼を受けながらも、その伝統的な固有のスタイルを現代に伝えることが出来たといつてよい。よって、講義では当初、子規による俳句革新運動を概観する。続いて、彼の後継者である虚子の俳句入門書『俳句はかく解しかく味う』を中心に現代俳句への道程を探る。また、可能な限り、彼ら二人以外の俳人の作品についても触れるようにしたい。時に実際の作句の機会を設け、俳句の世界に少しでも親しめられたらと考える。

履修上の留意点

俳句は様々な文学ジャンルの中で、もっとも手軽で親しみやすい五七五の短詩型のスタイルを持つ。従って、最初から難解な表現であるとの先入観をもつことなく、気軽にかつ自由な姿勢で名句と接して欲しい。そのためにも、各自が率先して一句でも多くの俳句を自主的に味わうようにしてもらいたい。

成績評価の方法

平常点、課題、試験等を総合的に評価する。

教 科 書

高浜虚子『俳句はかく解しかく味う』(岩波文庫)
教場にて配布する各種プリント。

参 考 書 等

必要に応じて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近・現代詩 I	井上優 <small>いのうえ まさる</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

普段わたしたちは「文学的」という範疇を「詩的」という言葉で覆うように想定している。シクロフスキーは、「日常的に見慣れた事物を奇異なものとして表現する《非日常化》の方法が芸術の方法」といった。これを文学に引き付ければ、「文学」と「非文学」との違いは、「文学」とは日常の見慣れ使い古された言葉を《非日常化》したものということになる。しかし、「非文学」とされる日常語自体が性別、出身地、現在地、階層、宗教、職業などによって人それぞれ多様で、皆が同じ日常語を共有していると考えるのは幻想であり、「文学的言語」「詩的言語」が何であるのかは容易に括ってしまえない。そこで、詩の言語とは何かを問いかけて行くことは、言語・記号と人間との関わりを考え直して行くうえで、大切なことになるのだ。文学や世界との接し方を一新するための手法を手に入れたい人のための講義である。

講義の内容・授業スケジュール

現代の文学理論の初歩的な事柄を学びながら明治期以降の詩作品を読む。詩を読むうえで文学理論を踏まえることで何が可能となるのか、ある理論に立つと詩作品から何が見え、また同時に何が見えないままになってしまうのか考察する。前期は、Ⅰ虚構の言語とは何か、Ⅱリアリズムについて、Ⅲ詩的言語の境界線、後期は、Ⅳ愛を囁く言葉の受難、Ⅴ〈私〉と〈物語〉の解体といったテーマを据えて、理論と作品読解の相互作用を試みる。

履修上の留意点

毎時間が論理的にものを考える連続となるので、辛抱強い学習態度が要求される。短いレポートを書いたり、考えを口述してもらい討議したりもするので、科目登録はそうした努力を継続する意志が強固かよく内省して行うこと。授業中に私語や携帯電話の使用などをした者は以降の出席を許可しない。

成績評価の方法

学年末に教場筆記試験の予定だが、出欠状況や学習態度なども合わせて総合的に評価する。

教科書

主にプリントを配布して使用するが、文庫本で入手できるものは各自購入してもらう。

参考書等

授業の中でその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代小説 I	ないとうひさこ 内藤 寿子	短国1・2選	4

講義のねらい

大手出版取次会社の発表によると、2004年の年間「ベストセラー」総合1位は『ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団』だそうです。毎日、新しい出版物が送りだされているなかで、この小説を多くのひとびとが手に取った理由はどこにあるのでしょうか。「ベストセラー」とは、簡単に言えば「売れた本」という意味ですが、出版された年に圧倒的な部数を誇った作品でも、それが何年も「売れ」つづける「ロングセラー」になるとはかぎりません。小説をはじめとし、あらゆるメディアには「寿命」があります。講義では、「ベストセラー」「ロングセラー」という現象を多角的にとらえ、メディアの「寿命」について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) (1～3) 「ベストセラー」とは何か? (出版流通の問題ほか)
(4～6) 「ロングセラー」とは何か? (絵本『ぐりとぐら』ほか)
(9～13) 「ベストセラー」と「ロングセラー」の相違を考える
(後期) (1～3) 「ベストセラー」から「私の生まれた時代」を再現する
(4～8) 活字メディア・映像メディアから「時代」を再現する
(9～12) 現代の読者・視聴者は何を求めているのか?
(13) まとめ

履修上の留意点

授業は講義形式ですが、映像資料も使用する予定です。また、教師の一方的な講義にならないよう、みなさんにも課題に取り組んでもらいます。現代小説(メディア)を「読む」という行為に、積極的に参加する態度を求めます。

成績評価の方法

授業では、ほぼ毎回課題に取り組んでもらいます。授業への参加度および提出物(60%)と出席状況(40%)をあわせて、総合的に評価をおこないます。内容や提出方法については授業中に指示します。

教科書

適宜プリントを配布します。

参考書等

岡野宏文・岡崎由美『百年の誤読』(ぴあ) 1600円
塩沢実信『定本ベストセラー昭和史』(展望社) 2200円
このほか授業中にも指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 文 学 Ⅱ	よし だ もり お 吉 田 司 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

本年度は以下の二つを柱としたいと思う。一つは、実際に童話の創作にチャレンジしてもらうこと。と言っても、プロをめざすような創作指導を行うのではなく、自ら童話を書いてみることで、自分の中の児童文学観を見直すきっかけをつかんでほしいと考えている。もう一つは、アンデルセン童話や『ピーターパン』など、誰もが知っている童話を読み直し、その作品が書かれた背景について学ぶこと。子どものイメージは時代と共に変化し、児童文学の在り方も変わってゆく。とするならば、いま読まれ、いま書かれるべきなのは、どんな作品なのだろうか。固定的な「子ども」や「童話」のイメージから自らを解放し、そうしたことをきちんと考えられるようになってほしいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

まずは実際に童話の冒頭だけでも書いてもらう。次に有名な作品を読んで見る。作品の構造や背景について講義をする。その上で子供のために書くとはどういうことなのか考えてゆく。こうした書くことと読むこととの往還が授業の中心となる。最終的には10枚程度の短編童話を書いてもらおうと思っている。

履修上の留意点

子供のための文学を取り上げるからと言って、授業自体がやさしい訳ではない。また、子供のための童話だからと言って、誰でも簡単に書けるものでもない。何でも見てやろう読んでやろう書いてやろうという、旺盛な好奇心と読書意欲とチャレンジ精神をもって授業に臨むこと。

成績評価の方法

創作童話の習作や読書レポートの提出を幾度か求める他、夏休みに児童文学作品の批評レポート、11月末くらいをめどに10枚程度の創作童話を書いてもらう予定。場合によっては試験も行うかも知れない。出席は大事。遅刻もしないように。

教 科 書

牧野節子『童話を書こう！ 実践篇』（青弓社）1,600円

参 考 書 等

児童文学関係に限らず、多様な資料や参考書を教場で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較文学	いのうえ まさる 井 上 優	短国1・2選	4

講義のねらい

森鷗外は小説家であるのみならず、翻訳者、詩人、劇作者、批評家、美学者、考証家、医学者でもあって、その業績は多岐に及ぶ。このような多面的な文学者であったがゆえに、その作品にはさまざまな観点から比較文学的考察が可能である。現在鷗外を読もうという人の数は多くなく、ともすれば敬遠されがちでもあるが、逆にいえばそうした状況だからこそ多くの新たな発見の可能性に満ちているといえる。これまで既に彼の作品に触れた人もいるだろうが、一般に流通する鷗外像とその作品についての偏向した固定的理解にくらまされることなく、鷗外文学を通して、日本近代文学の抱える問題の諸相や文学作品の読み方の可能性を探求してみよう。常識の殻を脱ぎすて、世界の新たな見えを獲得したい人のための講義である。

国
文
科

講義の内容・
授業スケジュール

鷗外の明治期の文学を、彼が読み翻訳した外国作品との照合から始め、更には視野を広げ、文学作品同士の比較にとどまらず、それ以外のさまざまな領域の同時代言説とアクセスさせつつ考察して行く。前期は、Ⅰ鷗外の文学活動とその時代とについての概観、Ⅱ『舞姫』と英仏露の文学および法制度、後期はⅢ『半日』と精神病学、Ⅳ『キタ・セクスアリス』と近代セクシュアリティなどを予定しているが、受講生の学習状況を見ながら若干の変更があるかもしれない。

履修上の留意点

指定された作品を読まないで来た者や、授業中の私語、携帯電話の使用をした者については、以降の出席を許可しない。授業中に短いレポートを書いてもらったり、感想を口述してもらったりするし、様々な資料を緻密に解読していく粘りが必要なので、科目登録はそうした努力を継続出来る意志が強固かどうかよく自省したうえで行うこと。

成績評価の方法

学年末の教場筆記試験の予定だが、他の課題、出席遅刻や授業態度を総合して判断する。

教科書

『森鷗外全集』1（ちくま文庫）を各自が書店で購入のこと。他にプリントを配布する。

参考書等

授業の中で具体的に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文芸創作	まつだ なおゆき 松田直行	短国1・2選	4

講義のねらい

小説、詩、シナリオ、歌詞など（ジャンルは問わない）の作品を、自分で実際に創作する。いわゆる「小説の書き方」といった技術の問題よりも、各自が表現する動機を発見し、自分自身のスタイルで表現できるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は各自にとって身近な表現から始める。授業の中で順次課題を出すので、その中から自分が書きたいと思うものを選んで作品を提出する。携帯メールのやりとりを表現形式としてとらえた創作演習も予定している。後期は自分の選んだジャンル（形式は自由）のまとまった作品を完成させることを目指す。提出された作品は、授業でプリントして全員に配り、お互いの作品を読んで批評しあう。

履修上の留意点

前期・後期あわせて数回の作品提出が課せられる。実際に作品を書くのは、授業時間ではないので、各自で創作のための時間を十分に取り、自分で納得できる作品を提出してほしい。また授業時間を使って年間数回ずつ個人面接を行い、個別の指導を行う。日程については、受講者の人数や創作の進行状況にもよるので、様子を見て順次発表する。

成績評価の方法

文章の技巧的な巧拙よりも、それぞれが自分自身の表現をどこまで見つけ出すことができたかを重視した評価をしたい。出席回数と授業での提出物による平常点も加味して成績を評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

指定しない。

その他

小説など作品の創作で2年次の卒業研究を履修したい者は、1年次でこの授業を履修しておくことが望ましい。

国文科

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化概論	ののべ かんせい いのうえ すぐる さとう のりあき ないとう ひさこ ふじた かずみ 藤田 和美	短国1・2選	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月13日(水) オリエンテーション

①文学とタブー《4/20、4/27、5/11、5/18、5/25、6/1(6回)》

②タブーと宗教《6/8、6/15、6/22、6/29、7/6、7/13(6回)》

③メディアとタブー《9/21、9/28、10/5、10/12、10/19(5回)》

④慣習のタブー《10/26、11/2、11/9、11/16、11/30、12/6(6回)》

◎12月15日 まとめ

◎1月8日 レポート提出(資料室)

藪部幹生
井上 優
佐藤憲昭
内藤寿子
藤田和美
藪部幹生

履修上の留意点

最初の授業時(4/13)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有 職 故 実	近 藤 好 和 <small>こん どう よし かず</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事（朝廷の儀式・政務）のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家男子・武家男子の装束を中心に講義する。特に公家男子の装束は、ファッションではなく、厳しい規制や慣習のもとでの身分や職掌の象徴でもあることを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、有職故実の歴史を概観したうえで、装束の基本である束帯について、肌着から上着・装身具個々についての概説をする。後期では、前期で理解したことを基礎に、束帯以外の公家男子装束と武家男子装束について、同様に概説する。さらに女子の装束として宮中の女房装束を概説する。

履修上の留意点

前・後期各一回のレポートを予定。

成績評価の方法

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

教科書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
話 芸 (後期)	かつら 桂 うだんじ 右團治	短国1・2選	2

講義のねらい

話芸の中の、講談・落語・浪曲それぞれの特徴をおさえ、その後落語の構成と面白さを探る。

講義の内容・
授業スケジュール

話芸の成り立ち、構成を解説する。
落語の登場人物とその背景を分析する。

履修上の留意点

日常の生活の中で、周りの人物を観察・分析してみてください。

成績評価の方法

話芸・落語に関する知識を択一・短答試験で問う等

教 科 書

必要に応じてプリント配布をいたします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 史	たかしま 高 嶋 めぐみ	短国1・2選	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・
授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけないこと。

成績評価の方法

総合評価（（1）出席、受講の状況（2）レポートまたは試験）

教 科 書

特に指定はしない。

参 考 書 等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

そ の 他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 学	ふじ た かず み 藤 田 和 美	短国1・2選	4

講義のねらい

「女性学」とは既存の知や文化をジェンダー（性別）の視点から読み直し、読みかえるものである。近代以降の女性解放運動から現代の女性学研究まで「女性学」という学問の成立の歴史的経緯とその成果をふまえ、法律や制度、家族関係、性、暴力、労働、教育、表現など現代の女性をめぐる諸問題を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、現代の女性学研究までの近代の女性解放運動の歴史を学び、前期は近代社会における家族関係、女性労働、教育、性と生殖の問題など、それぞれの変遷を追いながら、女性の主体的な性と性のあり方をさぐる。後期は女性と表現の問題を中心にすすめる。文学、美術、漫画、音楽、映画など女性芸術家の作品を鑑賞しながら、女性が何を表現してきたのか、どのように女性が表現活動に参入してきたのか、性による参加と排除のシステムを検討する。

履修上の留意点

あらゆることに広く関心をもち、主体的に取り組むこと。

成績評価の方法

年2回のレポートと授業時に毎回提出する感想文、出席などで総合的に判断する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義開始時に文献リストを配布する。

そ の 他

講義を中心とする。テーマによってはビデオなどの視聴覚教材を用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 と 職 業 (後 期)	<small>その</small> 菌 部 <small>みき</small> 幹 生 <small>お</small>	短 国 1 ・ 2 選	2

講義のねらい

最近では就職がたいへん困難な社会状況にあり、ようやく就職したとしても、転職やリストラ、あるいは企業の倒産などが待ち構えていることも少なくない。そうした時代にあっては、働くことの意味を考えることの重要性が増してくるが、同時に、実際の労働とはどのようなものであるか、女性が働くうえで問題点にはどういったことがあるかなど、現実に即したテーマをしっかりと認識して、考えを深めておくことが必要であり、そこに本講座のねらいがある。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ毎時間、さまざまな職業に就いて活躍している女性をゲストに迎え、職業の内容や、豊富な体験、職業意識や考え方、等々についてお話していただく。講演形式の場合もあり、ゲストと担当教員との対談形式の場合もあり、学生も交えた討議形式のディスカッションの場合もある。

1 ガイダンス。2～12ゲスト講師による講義および討論。13まとめ。レポート課題説明。

履修上の留意点

科目名の「女性と職業」は、受講生が全員女性であるところから命名したもので、職業に関して女性を差別化あるいは特化しようとするものではない。ただし、女性であるためにおこる職業上の問題が存在することも事実であり、そうした点については取りあげていく必要がある。

成績評価の方法

レポート・時間中の発言・出席状況などを総合的に判断して評価する。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

必要があればそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
メ デ ィ ア と 表 現	<small>まつ</small> 松 <small>だ</small> 田 <small>なお</small> 直 <small>ゆき</small> 行	短 国 1 ・ 2 選	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくレポートによって採点する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

教場で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化論(前期)	すずき ひろこ 鈴木裕子	短国1・2選	2

講義のねらい

ある限定された空間(ひとつの地域)に視点を定めて、そこでの歴史的文化的な展開の様相を(時間軸により)たどってみようというのが、この授業のねらいです。具体的には、「東国・陸奥」を取り上げます。古代の文学作品や基本的な史料(「都」=中央の立場からの記述)が、どのようにこの地域を把握してきたかを読み取っていききたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

『日本書紀』『続日本書紀』などといった歴史書の記述の他、和歌や説話・紀行文など、多くの作品に「東国・陸奥」は取り上げられています。それらの一節を実際に読み解きながら、古代における「東国・陸奥」を概観し、内在する様々な問題について多角的な視点から考えてみたいと思います。

- ①古代・都世界から見た「あづま・みちのく」概説……律令国家の東北支配という視座 4月
- ②王朝物語……『伊勢物語』・『源氏物語』を中心に5月
- ③伝説・説話……『更級日記』の竹芝伝説・『宇治拾遺物語』を中心に6月
- ④御伽草子……『田村の草子』を中心に6月・7月

履修上の留意点

授業は主として講義形式ですが、頻繁に小作文などの課題を出題します。

成績評価の方法

前期授業の終わり(日時・論題等は授業時に提示)に提出するレポート、授業中の発言や課題、出席状況(欠席・遅刻しないことは前提)などから総合的に行います。

教科書

プリント教材。参考書は、授業中に指示します。

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
海外から見た日本(後期)	いしわり とおろ 石割透	短国1・2選	2

講義のねらい

近代に入り、多くの外国の人々が日本を訪れ、日本の文化、人々について記してきた。また、日本の文学者、美術家も海外にわたり、その文化から大きな影響を受けた。この時間は、特に、西洋と日本との関係をめぐって、外国の人たちの記した日本観、わが国の文学者、美術家の西洋体験による影響をテーマにして、国際化、グローバル化が問題となっている現代を生き、考える契機を与えたい。

講義の内容・授業スケジュール

この時間は特にラフカディオ・ハーン(小泉八雲)、ピエール・ロチ、ギメ、モラエス、日本側として、永井荷風、島崎藤村、高村光太郎、古くは久米邦武らを取りあげて、検討していく材料としたい。

履修上の留意点

ラフカディオ・ハーンなどは、容易に文庫本などを通して、その日本観に触れることができる。受講を契機に、彼らの文章に接してほしく思います。

成績評価の方法

1, 2度のレポートを提出。その内容と出席状況、授業態度によって評価する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

その他

ほとんど講義の形で進めていく予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
非言語コミュニケーション (音楽) (前期)	土 井 晴 人	短国1・2選	2

講義のねらい

音楽をコミュニケーションツールとしての側面から考察する。言葉は伝えたいコトを正しく伝えるために記号化、定義化している言語であるが、伝えたい内容を自分の言葉で明確化できない感情を伝えるにはとても不自由な言語でもある。音楽が言語としてどのように有効なのかを現代のモバイルコミュニケーションとともに推考する。

講義の内容・
授業スケジュール

音楽の学術面よりも文化性に着目する。記号化された言語で正しい情報を伝達するためには、その言語の持つ定義を共有していなければならないように、感情などのあいまいさを正しくコミュニケーションするためには価値観を共有していなければならない。受け手が自由に価値観を創造してしまう聴覚表現は映像や絵画、文字などの視覚表現と比べるとミスコミュニケーションやディスコミュニケーションのリスクが高くなる事例を検証する。音楽が持つある一定のルールや法則がどのように琴線に触れるのかを紹介しながら、同じ価値観を共有することとはどういうことなのかを考える。また、コミュニケーションツールとしての携帯電話端末における着メロなども自己表現例として分析する。

履修上の留意点

授業に出席することが前提。

成績評価の方法

出席状況と最後の授業で提出していただくレポートにより評価する。

教 科 書

教科書、参考書は指定しない。資料はプリントして授業で配付する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
非言語コミュニケーション (囲碁) (前期)	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	2

講義のねらい

囲碁は「手談」と呼ばれる。言葉で会話するのではなく、手で碁石を並べることだけで互いの意図を察し、自分の考えを表現し、また相手の着手によって常に変わる新たな状況へ対応し続けることが必要になる。言語を使わないコミュニケーションとして日本の伝統文化に深く根ざした囲碁を、実際の対局を通して体験的に学び、言語によるコミュニケーションである国文学に対する視座をさらに広げてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

まったくの初心者を対象として囲碁のルールを講義し、実際に対局を行う。最初は9路盤(通常の19×19の碁盤より小さい9×9の初心者用)から始め、途中から13路盤を使用する。すでにルールを知っている者は、初心者の指導にあたってもらう。基本的な考え方や上達するためのヒントとともに、囲碁の文化史に関する講義もあわせて行う。(1)ガイダンス (2-3)基本ルール (4-5) 囲碁の文化史 (6-7) 対局の実際 (8) 石の取り方 (9) 死活 (10-12) 実戦対局 (13) 教場試験

履修上の留意点

授業での対局が主になるので、毎回出席することが前提となる。碁石と碁盤は、こちらで用意するので、購入の必要はない。

成績評価の方法

囲碁の基本と文化史に関する教場試験を実施し、出席状況ともあわせて評価する。

教 科 書

梅沢由香里著『すぐに打てる9路盤』(日本放送出版協会) 税別1,000円を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
非言語コミュニケーション (将棋) (前期)	その べ み き 園 部 幹 生	短国1・2選	2

- 講義のねらい** 将棋の対局は、指し手を通した相手とのコミュニケーションによって成り立っている。本講座では、国文学の関連科目として、その中にある「言語によらないコミュニケーション性」を考えることを第一の目的とする。合わせて、将棋の文化史的な側面も講義したい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 将棋のルール、棋譜のつけ方等について講義し、時間中の実戦をもとにレポートを書くことで、言語によらないコミュニケーション性について考える。おりに触れて、将棋の歴史、将棋に関する格言等についても講義し、将棋の文化史的な側面についての理解も深める。
1 ガイダンス。2 ルール。3 実戦。4 棋譜。5 実戦。6 戦術。7 実戦。8 多面指し。9 実戦。10 戦術。11 実戦。12 レポート。13 教場試験。
- 履修上の留意点** 時間中に実際に対局し、また、その実戦を基にレポートを書くので、遅刻をしないこと、また、出席をすること。
- 成績評価の方法** 提出されたレポートとしての棋譜および自戦記による評価（勝敗によるものではなく、指し手についてのコミュニケーション性をどのように理解し表現してあるかをポイントに評価する）と、出席状況を総合して判断する。
- 教科書** テキストは必要に応じてプリントを配布するが、用具として、各自、将棋の駒（どのようなものでもよい）・盤（折り盤・紙盤・マグネット盤など、何でもよい）を用意すること。
- 参考書等** 必要があればそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
映 画 と 文 学	こ ばやし おさむ 小 林 治	短国1・2選	4

- 講義のねらい** 現代文学の作家と映画との関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を中心にいくつか取り上げて、どのように関わっているか考えてみたい。
- 講義の内容・授業スケジュール** 代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房についてと、昭和50年代にデビュー作『限りなく透明に近いブルー』を監督として映画化して以来、数多くの映画を制作した村上龍の二人について順次みていく予定である。
- 履修上の留意点** 授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と併行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。
- 成績評価の方法** 数回のレポートの内容に、出欠状況を加味して評価する。
- 教科書** 安部公房『砂の女』（新潮文庫）400円
安部公房『他人の顔』（新潮文庫）450円
その他、適宜プリントを配布する。
- 参考書等** 授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
美術と文学	いしわりとある 石割透	短国1・2選	4

講義のねらい

幕末頃よりわが国に新しく移入された西洋画の手法は、伝統的なわが国の絵画の様式、方法に影響を与えるとともに、わが国に新たにもたらされたノヴェル（小説）、ポエトリー（詩）、それに従来の和歌、俳句の表現に大きな影響を与えた。この時間は西洋画の手法、方法がわが国に移入された過程、状況の概観を示すとともに、1900年代初めまでの文学の表現に、西洋の美術がいかに影響を与えてきたかを検討していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず洋画の受容の歴史のあらましを示すとともに、それがわが国の伝統的な日本画、浮世絵、錦絵の方法といかに異なっているかを検討し、あわせて他のこの時期の文化現象と重ねて、「近代」とは、いかなる時代なのかを考える契機を与えたいと思う。

履修上の留意点

美術の、特に近代の代表的な作品には度々触れることになる。常に美術全集、展示会図録を眺め、美術館などに赴いて鑑賞してほしい。

成績評価の方法

年に2回ほどのレポート提出。その内容と出席状況、授業時の態度、学習にとりくむ姿勢を加味して評価する。

教科書

年表の会編『近代文学年表』（双文社出版）など。他は授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

その他

ほとんど講義形式によって授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
映像論	いしわりとある 石割透	短国1・2選	4

講義のねらい

フランスの画家、ダゲールが〈現像〉の技術を発展させ、〈写真術〉を発明したのは1839年、〈実〉をうつす写真は、折からの科学的、実証的精神の浸透、産業の進展によって急速に進歩し、普及する。こうした写真の構図は、絵画の影響を強く受けつつ、一方では絵画からの影響を離れ、独自のジャンルを獲得するにいたる。一方、絵画も〈写真〉の出現によって、大きくその役割の転換を余儀なくされ、絵画独自の美の追求に向かう。絵画と〈写真〉は、このように互いの強い影響関係のもとに、その歴史を展開させていく。この時間は、絵画とは異なる写真の独自性とは何か、というテーマを、絵画の展開と関らせながら考えていきたい。またエジソンがキネトスコープを完成したのは1889年、フランスのルミエール兄弟がシネマトグラフを発表したのは1895年、以後映画も急激に20世紀に入り、普及浸透し、急速な進歩発展をとげた。この時間は、後期には、簡単に、わが国の映画の歴史を説明しながら、とりあえずは、映画の技法を知るための映画用語を、実際に小津安二郎、溝口健二の映画を見ながら、確認していきたい。

履修上の留意点

写真や映画の歴史を知るために、古い写真、映画にできるだけ接してほしいと思う。

成績評価の方法

年間に2度ほど課題を与え、レポートを提出。その書かれた内容によって、評価する。それに出席状況、授業での態度などを考慮する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義により進行する。劇映画のビデオなどを実際に見ながら進める形式を、後期には時折採る予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典戯曲演劇	佐藤知乃	短国1・2選	4

講義のねらい

現代の日本には、さまざまな古典演劇が共存しています。その戯曲のあり方もさまざまです。この講義では、能・狂言や歌舞伎、人形浄瑠璃といった、日本の古典演劇といわれるパフォーマンスにおける、戯曲のあり方を考察します。履修者に対するいわゆる古典演劇へのガイダンスではありませんが、古典演劇を高尚な趣味として鑑賞するのではなく、現代演劇との比較等として、分析、批判的に考察することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

歌舞伎や能・狂言、文楽の「戯曲」を講読し、関連する舞台のビデオ鑑賞などを行います。具体的には、種々の古典演劇のなかから、同じ題材を用いた作品を選び、ビデオおよび戯曲を通して比較を行っていきます。理解を深めた上で、テーマを決め、討議も行います。

履修上の留意点

5月に渋谷のNHKホールにて開催されるNHK古典芸能鑑賞会の見学を予定しています。昨年は、最終金曜日の午後5時開演、9時半終演、学生料金は500円でした。今年度の予定はわかり次第告知し、最初の授業において説明します。見学後、レポートの提出を求め、必ず参加すること。

成績評価の方法

前期および後期の最後の授業において、筆記試験（記述式）を行います。また、古典芸能鑑賞レポートを提出していただきます（履修上の留意点参照）。そのほか、授業中に小レポートを課し、これらを総合的に勘案します。

教科書

授業中にコピーを配布します。

参考書等

教場において指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代戯曲演劇（前期）	松田直行	短国1・2選	2

講義のねらい

日本における近代演劇の成立と展開を中心とした演劇史の講義を進めながら、近代戯曲を読む。戯曲のテキスト研究だけでなく、パフォーマンスという表現＝コミュニケーションの一形態に関する総合的な論考としたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) カイダンス (2) 歌舞伎開化 (3) 近代リアリズム演劇 (4) イブセンとチェーホフ (5) 壮士芝居と新派 (6) 文芸協会と新劇の誕生 (7) 帝国劇場と女優の誕生 (8) 宝塚少女歌劇 (9) 浅草オペラ (10) 自由劇場と大正戯曲時代 (11) 築地小劇場 (12) 教場試験 (13) レポート提出

履修上の留意点

授業で実際に戯曲の一部を読み、またビデオを使って上演の一部を見ることもあるが、作品を通読する時間はないので、残りは各自で読んでおくことが必要になる。

成績評価の方法

近代戯曲を読んで書くレポート1つと、近代演劇史に関する教場試験を行い、その合計で評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

演劇史についてはすべてプリントを配布する。読んでもらう戯曲や参考書は、適宜授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代演劇(後期)	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	2

講義のねらい

様々なメディアに囲まれた現代社会において、生身の俳優の演技を観客が目の前で見る演劇という表現形式が持つ意義と役割を考える。現代演劇を鑑賞するための基礎知識としての現代演劇史を講義し、「演劇におけるリアル」とは何かを考えるが、その上で実際の舞台を見に行つてほしい。授業でVTRを使い上演の一部を見ることもあるが、演劇はその場に行つて体験しなければ作品に触れたことにはならないので。

講義の内容・授業スケジュール

講義では鴻上尚史作・演出の『天使は瞳を閉じて』と『リンダリンダ』を主に取り上げる。

履修上の留意点

授業期間内(後期)に上演される演劇作品を、自分で実際に見に行くことが必要になる(授業で随時公演の案内を配布する)。

成績評価の方法

実際の上演を見に行つた上で書いていただくレポートを最後に提出し、それに出席回数による平常点を加えて評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

平田オリザ『演劇入門』(講談社現代新書1422) 税別660円を参考書として指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸能研究(前期)	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	2

講義のねらい

芸能とは何か。人間は、生物としての存続に必要な衣・食・住とは直接関係のない、芸能という行為をなぜか必要としている。現代生活における芸能は、一見「趣味」とか「遊び」といった余剰生産的なものに思われるが、その本質は人間社会の成立に不可欠な表現行為である。本講では、いわゆる「演劇」の範疇に入らない「芸能」について、古代から現代に至るまでの、様々な形式の芸能を広く視野に入れることにより、現代社会においては見えなくなりがちな芸能の本質を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

古代の呪術や神事と芸能の関係から説き始め、現在でも各地に伝わる風習や伝説、相撲、民俗芸能、大道芸などを素材として近代以前の芸能に触れるが、それをあくまで現代社会とつながる心性としてとらえたい。授業のスケジュールは、(1) 芸能を検索する (2-3) 相撲の起源と呪術 (4-5) 異界と異人 (6-7) 通過儀礼と境界の時間 (8) 花伝書を読む (9-10) 大道芸と放浪芸 (11) 漫才と喜劇 (12) 遊園地と博覧会 (13) 教場レポート作成

履修上の留意点

情報センターの教場で、パソコンを使用する。ログインするのにIDとパスワードが必要になる。キーボード入力とホームページを見る程度の初歩的な操作ができればよいので、特にパソコン操作に詳しくなくても問題はない。

成績評価の方法

出席と小レポートによる平常点に加え、最後に教場レポートを課す。レポートはすべてパソコンのワープロで作成し、メールで提出する。

教科書

指定しない。

参考書等

指定しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
服飾文化を考える(後期)	ないとうひまこ 内藤 寿子	短国1・2選	2

講義のねらい

わたくしたちは「洋服」を着て日常生活を送り、この言葉を当たり前のものように使っていますが、「洋服」とは「西洋服」のことであり、「民族服としての和服」に対して生まれた言葉でした。性別を問わず、日本の服飾文化の中心が「洋服」となったのは、敗戦直後（1945年以降）から現在にいたるまでのおよそ60年間におこった変化なのです。講義では、「ジーンズ」など具体的なファッションを切り口に「装う」という行為が持つ意味や、そのような意味づけがなされるようになった歴史について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1～3) 「洋服」はどこから来たのか？（「制服」の意味ほか）
- (4～8) わたくしたちはどんな「洋服」を着ているのか？（「モンペからジーンズへ」の歴史ほか）
- (9～12) ファッションに関わるメディアについて考える（『装苑』ほか）
- (13) まとめ

履修上の留意点

教師の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈聞く〉〈書く〉〈調べる〉といった形でみなさんに参加してもらいます。第1週目に具体的な説明をしますが、授業時間をふりかえてフィールドワーク（実地調査や見学）をおこなってもらおう予定です。日程は調整しますが、フィールドワークをおこなうことが履修の条件です。

成績評価の方法

授業では、ほぼ毎回課題に取り組んでもらいます。授業への参加度および提出物（60％）と出席状況（40％）をあわせて、総合的に評価をおこないます。内容や提出方法については授業中に指示します。

教 科 書

適宜プリントを配布します。

参 考 書 等

鷺田清一『ちぐはぐな身体』（筑摩書房）1,200円
 世相風俗観察会編『現代風俗史年表』（河出書房新社）3,900円
 このほか授業中にも指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
住まいの文化を考える(前期)	ないとう ひさこ 内藤 寿子	短国1・2選	2

講義のねらい

最近、「廃虚」をたどることを趣味にしている人が増えてきたようですが、ある地域や建物が「廃虚」となってしまったことにはさまざまな背景があります。もちろん、「廃虚」が生み出された直接の原因は「バブル経済の崩壊」でしょうが、住まいに対するわたくしたちの考え方が急速にかわってきたことも大きな影響を与えているのです。講義では、「台所」や「団地」といった具体的な例から、住まいの文化の歴史を考えます。住まいの文化の歴史から、わたくしたちじしんの生活スタイルを問いなおすことが主眼です。

講義の内容・授業スケジュール

- (1～3)「住まい」が持つ影響力とは何か? (「間取り」の意味ほか)
- (4～8) わたくしたちはどんな「住まい」に住んでいるのか? (「団地」の歴史ほか)
- (9～12)「住まい」に関わるメディアについて考える (『暮らしの手帖』ほか)
- (13) まとめ

履修上の留意点

教師の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈聞く〉〈書く〉〈調べる〉といった形でみなさんに参加してもらいます。第1週目に具体的な説明をしますが、授業時間をふりかえてフィールドワーク(実地調査や見学)をおこなってもらう予定です。日程は調整しますが、フィールドワークをおこなうことが履修の条件です。

成績評価の方法

授業では、ほぼ毎回課題に取り組んでもらいます。授業への参加度および提出物(60%)と出席状況(40%)をあわせて、総合的に評価をおこないます。内容や提出方法については授業中に指示します。

教科書

適宜プリントを配布します。

参考書等

かこさとし『あなたのいえ わたしのいえ』(福音館書店) 838円
世相風俗観察会編『現代風俗史年表』(河出書房新社) 3900円
このほか授業中にも指示します。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
手話(前期)	しらす かずこ 白須 和子	短国1・2選	2

講義のねらい

言語としての手話の特徴を学び豊かに表現できるまでの基礎学習と日常会話ができるまでの学習。理論では聴覚障害とは何かを理解すること。

1. 聴覚障害者の障害理解
2. 様々なコミュニケーション手段
3. 手話による基本会話
 - ①あいさつ ②自己紹介 ③指文字・数 ④日常会話入門

講義の内容・授業スケジュール

手話技術の学習と聴覚障害に関連する諸問題についての講義。(カリキュラムは別途)

履修上の留意点

受講した内容については復習すること。予習は独断で学習するとまちがって覚える恐れがあるのでしない事。聴覚障害者も含め福祉関係の本、資料等目を通しておく事。

成績評価の方法

前期終了時に期末テスト。内容は講義内容のまとめの文章問題と手話表現の技術試験。
①筆記 ②手話による基本会話実技チェック

教科書

『手話教室』入門(財団法人全日本ろうあ連盟出版) 850円
申し込み先 〒162-0801 新宿区山吹町130SKビル8階
Tel3268-8847

参考書等

随時、講義のときに紹介。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
点 字 (後期)	かね こ あきら 金 子 昭	短国1・2選	2

講義のねらい	日本点字の習得
講義の内容・ 授業スケジュール	①～②50音 ③濁音・半濁音 ④拗音・拗濁音 ⑤数字、アルファベット ⑥～⑦かなづかい ⑧数を含む言葉、外字符 ⑨一つづきを書く言葉 ⑩～⑬分かち書き ⑭～⑮符号など
履修上の留意点	教室での静粛、積極的参加
成績評価の方法	テスト
教 科 書	田辺淳也(たなべ・じゅんや)著『点字練習帳』(東京ヘレンケラー協会点字出版所業務課 Tel: 3200-1310) 900円+消費税 「点字器」点字器 N632 (オレンジ/ブルー/グリーン/ピンク/グレーの5色スケルトン カラー) 1,030円 (非課税) 20面以上単価980円 (非課税) 「点字用紙」90キロ厚 寸長サイズ (一人50枚) 約110円～115円 (税込み) ※点字器と点字用紙は、日本点字図書館用具事業課 (Tel: 3209-0751)
参 考 書 等	当山啓(とうやま・ひらく)著『改訂版点字点訳基本入門』1,890円 (本体価格)
そ の 他	視覚障害者の教育、生活、福祉等を毎時短時間、講義に含める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 実 習 I	な す たか よし 那 須 隆 吉	短国1・2選	2

講義のねらい	芸術全体の中で書道が東洋独自の芸術として、どんな特質を持つのかを考察しながら、書道の基礎的知識と技法を習得すると共に鑑賞力を養う。
講義の内容・ 授業スケジュール	執筆法、用筆法、運筆法及び用具用材とその取り扱い方について学ぶ。 ・書体とその変遷を理解する。 ・初歩的な楷書、行書、草書の書法を習得する。 ・仮名の単体、連綿体を学び、平仮名、片仮名の成立、及びいろは歌、五十音図について理解する。
履修上の留意点	遅刻をしないように、又道具を忘れないように。
成績評価の方法	出席、清書の提出(又、随時レポートの提出)等を総合して評価する。
教 科 書	『大学書写書道教育』(第一法規出版)
参 考 書 等	随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習Ⅱ	那須隆吉	短国1・2選	2

講義のねらい

漢字仮名の代表的古典を学び、書道についての理解と鑑賞力を高め、書道文化の素晴らしさを味わいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・古典の解説と臨書により、楷書法、行書法、草書法、仮名書法の習熟をはかる。
- ・変体仮名、及び代表的古筆について理解を深める。
- ・実社会で役立つ実用書道（手紙文、宛名書き、のし紙等の書き方）を学び、一層書道に親しめるようにしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出（又、随時レポートの提出）等を総合して評価する。

教科書

『大学書写書道教育』（第一法規出版）〈書道実習Ⅰ、Ⅱ併用〉

参考書等

随時紹介する。

国文科

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	長谷川孝	短国1・2選	4

講義のねらい

編集とは、〈誰かに——何かを——伝える〉過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、再構成して、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で、「どう」伝えるかに必要な知識・技能とともに、「何を・なぜ」伝えるのかを考える力、いわば“知的基礎体力”が必要です。そのための自分なりの「目のつけどころ」（視点・視角・視野）をつくることを目指します。また、編集のはたらきは生活の中で誰もが日常的に行っていることなので、それを意識的に適用してみることで「編集力」を育てたいと思います。情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」であるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆や読み取り・整理、レイアウトなど、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や編集をする上での意思や責任などについて考えます。とくに、ものごと・できごと・文章やデータなどから「何か」（そのテーマと意味）をよみとり、感じとり、問い返し、取捨選択して、自分の表現をつくり出す力を養えるよう考えます。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また、授業で「取材」した「自分なりに感じ気づき考えた」こと（つまり「編集」したこと）を、毎時、短い文章にして提出してもらいます（「イケン文」と呼びます）。授業を受け止めるという過程そのものが、編集作業をたくさん含んだプロセスですから、こういう姿勢は「編集の実践」でもあると考えています。

成績評価の方法

自己評価点を重視します。それと、課題作品（B4版2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と、授業で書いた「イケン文」など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

必要により、授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ジャーナリズム研究	はたのとしお 旗野寿雄	短国1・2選	4

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースの取材方法や報道のあり方を实例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材（マスメディア志望者）、あるいは、情報をうのみにせず、冷静に解説・判断できる人間（読者）を育成する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。

記者やアメリカ生活などの経験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、アメリカの新聞記事の読解や日米ジャーナリズムの比較なども試みる。新聞社や新聞博物館の見学も行う。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、学習結果を応用したレポート、記事スタイルの簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して点数をつける。

教科書

使用しない。毎日の新聞を教科書として欲しい。

参考書等

その都度指示する。

その他

私語厳禁、公語（意見発表）歓迎。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネス実務総論（前期）	もりもとまさえ 森本正恵	短国1・2選	2

講義のねらい

高度情報化社会にともない、社会のグローバル化、少子・高齢化など私たちを取り巻く社会環境の変化は著しいものがあります。

このような中で求められているのは、自律した個性ある創造性豊かな人材であり、働き方も営利・非営利を問わず多様化しています。

ビジネス社会において求められる能力とは何か、ビジネス実務について理解を深め、知識・技能だけでなく人間を知り、文化の違いを感じとって、社会に広がるビジネス実務の「実践の知（知恵・知識・技術）」を創りだす人間としての基本を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. ビジネス実務とは何か 1
3. ビジネス実務とは何か 2
4. 個人業務とマネジメント
5. 協働業務とマネジメント
6. ビジネス実務を支える基本1
7. ビジネス実務を支える基本2
8. ビジネス実務を支える基本3
9. これからのビジネスワーカー
10. これからのビジネスとビジネスワーカー

国
文
科

履修上の留意点

講義と演習問題によるグループ討議など参加型学習で授業を進めます。各自の個別学習（予習）と全員での学習を効率よくかみ合わせ、発表の機会などを設け自分の考えが表現できるように創造的学習を行います。

欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心掛けること。

止むを得ず欠席した場合、課題などを確認し自己学習によってカバーしておくこと。

成績評価の方法

出席およびレポート提出を重視します。毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識を持ち、自分で考え、自分の言葉で表現できるようになることを望みます。

課題は、指定された提出日に必ず出すこと。期限の遅れたものは評価しない。

2年生は就職活動で欠席を余儀なくされることもあります。欠席の届を出したうえ「就職活動の報告」を翌週に発表してもらい、欠席分を補えるものとします。

教科書

森脇 道子編著『ビジネス実務総論』（実教出版）2000年刊 2,200円

参考書等

授業のなかで適宜、示します。

その他

1. オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと
2. 出席を重視するので、止むを得ず欠席する場合は、必ず届を提出すること
3. 授業中私語が多かったり、遅刻して他人の迷惑になるような行動は慎むこと
4. 授業中は、大人の女性としての意識を持ち行動するように心掛けること

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オフィス実務演習（後期）	もりもと まさえ 森 本 正 恵	短国1・2選	2

講義のねらい

急激なビジネス社会の変化に気づき、理解し、対応できる能力を身につけることを目指します。『ビジネス実務概論』で学んだことを基礎に、企業で働くために必要とする実務能力を修得します。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. ビジネス実務とは
3. 仕事の流れと進め方
4. タイムマネジメント
5. 職場のコミュニケーションと人間関係
6. ドキュメントコミュニケーション
7. 会議とコミュニケーション
8. 社交コミュニケーション
9. キャリアプランニング
10. IT時代の働き方

履修上の留意点

グループ別で進めることが多いため欠席してメンバーに迷惑をかけること。基本的事項については個別学習（予習）により理解をしておくこと。クラスでは、創造的学習を目標とする。
 ・課題に対して自分の考えを人に伝えられるようになること。
 ・疑問や質問は積極的に発言すること。
 『ビジネス実務総論』をベースに授業を組み立てていますので、共に受講することを勧めます。
 また、就職対策にもなるので1年次で受講するのが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席を重視します
2. 筆記テスト
3. レポート提出
4. その他：検定取得、授業への参画意欲等の総合的評価

教 科 書

鎌田和江・大津洋子編著『新ビジネス実務の基本』（嵯峨野書院） 2001年刊 2,400円

参 考 書 等

プリントの他、授業で示します

そ の 他

出席、レポート提出を自己管理できること。
 欠席の場合、必ず理由を明記した届を提出すること。
 連絡先：morimom@komazawa-u.ac.jp
 TEL; FAX: 0467-33-1631

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理	谷本 玲大	短国1・2選	4

講義のねらい

本講座では、人文学分野と情報処理技術の両方にまたがる課題実習を重視して、その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

更に「情報をどのように利用し、どのように発信するか」、また、「ネットワーク上で他者とのように付き合うか」(電子メール、文章表現、著作権問題、プライバシーの問題など)についても考えてゆくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 1 教師紹介/講義内容解説/履修許可/アンケート
- 2 情報倫理概説 (パスワードとIDについて) / 起動～ログオン～終了/FDD 初期化/検索エンジンと WWW 体験
- 3 インターネット上で就職自己診断/情報サイトに登録/進学情報/資格取得/パソコンが欲しい人へのアドバイス
- 4 電子メールのマナー/電子メール実習/URL の仕組み
- 5 パスワードの管理/タイピング練習
- 6 DOS コマンド (FDD のフォーマット)、バックアップのための FDD 同士のコピー、ファイルとフォルダの操作
- 7 解凍ツールの使い方/ファイルの種類と拡張子/メモ帳の利用/Word の基本操作
- 8 Word の基本操作 (クリップボードの使用/ショートカット/縦書き/段組み/段区切り/脚注/ルビ/改ページ/ページ設定/印刷プレビュー/ヘッダーとフッター/印刷)
- 9 Word の基本操作 (ワードアート/クリップアート/図形の調整/順序/グループ化/描画キャンバス/オートシェイプ/テキストボックス/図形描画ツールバー/テキストの折り返し/罫線と表の挿入/行や列の挿入と削除/セルの大きさの設定/罫線の種類/網掛け)
- 10 Word 実習、IME と難しい字の入力・漢字の旧字体と変体仮名講座
- 11・12 Word 実習 入力課題
- 13 背景設定・スクリーンショットの活用
- 14 ペイントによる描画・画像処理・画像フォーマット変換と拡張子・メールと添付ファイル
- 15 予備

後期

- 16 Excel 基礎講座 (日付・曜日・等差数列のオートフィル、書式設定)
- 17 Excel 基礎講座 (セル・行・列の操作/Sort/ワークシートの操作)
- 18 Excel 基礎講座 (数式の基本/簡単な計算/相対参照と絶対参照)
- 19 Excel 応用講座 (基本統計量・関数の利用 AVERAGE,SUM,MIN,MAX)
- 20 Excel 応用講座 (グラフ作成)
- 21 Excel 応用講座 (関数の作成・関数の利用 COUNTIF,IF,NOW,DATE)
- 22 Excel 応用講座 (財務関数 FV,PMT の使用)
- 23 素材と著作権/ハイパーリンク/相対パス・絶対パス/HTML のタグ
- 24~28 My ホームページを作ろう
- 29 コンピュータを活かす方法 (一年間のまとめ)
- 30 予備

*ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初心者～初・中級向け。受講希望者多数の場合は1年生を優先する。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

成績評価の方法

受講態度や出席状況等の平常点 (40%)、課題・レポート (60%)。通年で6時間 (6回) 以上の欠席は、評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。

パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。

講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教科書

プリント、電子データを用いての実演などを適宜組み合わせる。

参考書等

講義中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用情報処理	谷本 玲大 <small>たに もと さち ひろ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

本講座では、人文学分野と情報処理技術の両方にまたがる課題実習を重視して、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。
特に「情報活用」と「表現技術」について、就職・進学活動の視点も考慮に入れてアプローチしてゆくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 1 教師紹介／講義内容解説／履修許可／アンケート
- 2 情報倫理概説（パスワードとIDについて）／起動～ログオン～終了／FDD 初期化／検索エンジンと WWW 体験
- 3 インターネットで就職自己診断／情報サイトに登録／進学情報／資格取得／パソコンが欲しい人へのアドバイス
- 4 電子メールのマナー／電子メール実習／URL の仕組み
- 5 パスワードの管理／タイピング練習
- 6 DOS コマンド（FDD のフォーマット）、バックアップのための FDD 同士のコピー、ファイルとフォルダの操作
- 7 解凍ツールの使い方／ファイルの種類と拡張子／メモ帳の利用／Word の基本操作
- 8 Word の基本操作（クリップボードの使用／ショートカット／縦書き／段組み／段区切り／脚注／ルビ／改ページ／ページ設定／印刷プレビュー／ヘッダーとフッター／印刷）
- 9 Word の基本操作（ワードアート／クリップアート／図形の調整／順序／グループ化／描画キャンバス／オートシェイプ／テキストボックス／図形描画ツールバー／テキストの折り返し／罫線と表の挿入／行や列の挿入と削除／セルの大きさの設定／罫線の種類／網掛け）
- 10 Word 実習、IME と難しい字の入力・漢字の旧字体と変体仮名講座
- 11・12 Word 実習 入力課題
- 13 背景設定・スクリーンショットの活用
- 14 画像処理・画像フォーマット変換と拡張子・メールと添付ファイル
- 15 予備

後期

- 16 Excel 基礎講座（日付・曜日・等差数列のオートフィル、書式設定）
- 17 Excel 基礎講座（セル・行・列の操作／Sort／ワークシートの操作）
- 18 Excel 基礎講座（数式の基本／簡単な計算／相対参照と絶対参照）
- 19 Excel 応用講座（基本統計量・関数の利用 AVERAGE,SUM,MIN,MAX）
- 20 Excel 応用講座（グラフ作成）
- 21 Excel 応用講座（関数の作成・関数の利用 COUNTIF,IF,NOW,DATE）
- 22 Excel 応用講座（財務関数 FV,PMT の使用）
- 23 PowerPoint 基礎講座（素材と著作権／新規スライドの作成、スタイルとデザインの適用、文字列の入力、保存、新しいスライドの挿入、書式設定、箇条書き、テキストボックス）
- 24・25 PowerPoint 実習 マナー研究
- 26～28 PowerPoint 発表会
- 29 コンピュータを活かす方法（一年間のまとめ）
- 30 予備

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初級～中・上級向け。受講希望者多数の場合は2年生を優先する。実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

成績評価の方法

受講態度や出席状況等の平常点（40%）、課題・レポート（60%）。通年で6時間（6回）以上の欠席は、評価対象外。遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。

パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。

講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合は、履修許可を取り消すことがある。

教科書

プリント、電子データを用いての実演などを適宜組み合わせる。

参考書等

講義中に紹介する。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

2 英 文 科

英
文
科

英
文
科

II. 専門教育科目

(2) 英 文 科

英 米 文 学 概 論 〈高野 秀 夫〉	245
英 語 講 読 I 〈ランドルフ, M.〉	245
英 語 講 読 I 〈ブラック, A.〉	246
英 語 講 読 I 〈内 山 浩 道〉	246
Oral Communication I 〈トランブリー, J.〉	247
Oral Communication I 〈キーズ, P.〉	247
英 文 学 史 〈永 田 喜 文〉	248
英 語 講 読 II 〈梅 原 敏 弘〉	248
英 語 講 読 II 〈高野 秀 夫〉	249
英 語 講 読 II 〈ランドルフ, M.〉	249
Oral Communication II 〈トランブリー, J.〉	249
Oral Communication II 〈キーズ, P.〉	250
Intensive English I	
〈モエ, R. A. ・オーラ, B. ・トランブリー, J. ・ハードグレーブ, B.〉	251
Intensive English II	
〈サリバン, C. ・ハードグレーブ, B. ・ランドルフ, M. ・ロルフ, M. F.〉	252
Intensive English III 〈ギャリソン, J. G. ・デンドウ, G. ・ランドルフ, M.〉	253
Intensive English IV	
〈サリバン, C. ・オーラ, B. ・ロルフ, M. F. ・トランブリー, J. ・レオーネ, J. V.〉	254
Intensive English V	
〈モエ, R. A. ・オーラ, B. ・トランブリー, J. ・ハードグレーブ, B.〉	255
Intensive English VI	
〈アシュウエル, T. ・サリバン, C. ・ハードグレーブ, B. ・ランドルフ, M.〉	256
Intensive English VII 〈ギャリソン, J. G. ・デンドウ, G. ・ランドルフ, M.〉	257
Intensive English VIII	
〈アシュウエル, T. ・オーラ, B. ・ロルフ, M. F. ・トランブリー, J. ・レオーネ, J. V.〉	258
英 語 学 概 論 〈岡 本 誠〉	259
言 語 と 文 化 〈岡 本 誠〉	260
日 英 語 比 較 〈梅 原 敏 弘〉	261
英 文 法 論 〈梅 原 敏 弘〉	261
英 語 音 声 学 〈モエ, R. A.〉	262
作品作家研究〔イギリス文学と映画〕 〈広 川 治〉	263
作品作家研究〔19世紀英文学〕 〈高野 秀 夫〉	264
作品作家研究〔アメリカ20世紀文学〕 〈湯 浅 陽 子〉	265
米 文 学 演 習 〈ギャリソン, J. G.〉	266
20世紀イギリス文学 〈高野 秀 夫〉	266
ア メ リ カ 演 劇 〈休 講〉	
20世紀アメリカ文学 〈ギャリソン, J. G.〉	267
戯 曲 研 究 〈広 川 治〉	268
英 米 文 学 講 読 〈ブラック, A.〉	269
英 米 文 学 講 読 〈高野 秀 夫〉	269
英 米 文 学 講 読 〈湯 浅 陽 子〉	270
聖 書 研 究 〈水 島 陽 子〉	271
西 洋 古 典 文 学 〈水 島 陽 子〉	272
イ ギ リ ス 史 〈アシュウエル, T.〉	272

イギリス文化事情〈休講〉		
アメリカ史〈休講〉		
アメリカ文化事情〈モエ, R. A.〉	273
時事英語〈岡本誠〉	274
英語演習〔英語音声の基礎〕	〈岡本誠〉	274
英語演習	〈内山浩道〉	275
英語演習〔ボキャビュラリービルディング〕	〈梅原敏弘〉	276
英語演習〔時事英語へのアプローチ〕	〈吉沢栄治郎〉	276
英語演習〔センテンスの構造〕	〈ブラック, A.〉	277
英語演習〔英語表現〕	〈ブラック, A.〉	278
英語表現	〈梅原敏弘〉	279
英語表現	〈岡本誠〉	279
英語表現	〈高野秀夫〉	280
英語表現	〈吉沢栄治郎〉	280
英語表現	〈内山浩道〉	281
英語翻訳法	〈梅原敏弘〉	281
通訳法 I	〈内山浩道〉	282
通訳法 II	〈内山浩道〉	282
Advanced English A	〈オーラ, B.〉	283
Advanced English A	〈サリバン, C.〉	283
Advanced English A	〈トランブリー, J.〉	283
Advanced English A	〈モエ, R. A.〉	284
Advanced English A	〈レオーネ, J. V.〉	284
Advanced English A	〈ロルフ, M. F.〉	285
Advanced English B	〈サリバン, C.〉	285
Advanced English B	〈アシュウェル, T.〉	286
Advanced English B	〈トランブリー, J.〉	286
Advanced English B	〈モエ, R. A.〉	287
Advanced English B	〈レオーネ, J. V.〉	287
Advanced English B	〈ロルフ, M. F.〉	288
News English	〈ハードグレーブ, B.〉	289
English through Movies	〈岡本誠〉	290
英語とコンピュータ I	〈ブラック, A.〉	291
英語とコンピュータ II	〈ブラック, A.〉	292
同時通訳入門	〈モエ, R. A.〉	293
コンピュータ I	〈野崎芳秀〉	294
コンピュータ I	〈湯浅陽子〉	295
コンピュータ II	〈野崎芳秀〉	296
コンピュータ II	〈湯浅陽子〉	297
ビジネス実務総論	〈森本正恵〉	298
オフィス実務演習	〈森本正恵〉	299
オフィス・マナーズ	〈森本正恵〉	300
プレゼンテーション・スキルズ	〈湯浅陽子〉	301
ジャーナリズム研究	〈旗野寿雄〉	302
ビジネスイングリッシュ	〈町井靖〉	302
日本語教育法 A	〈新谷涼子〉	303
日本語教育法 B	〈新谷涼子〉	303
表現法 (話すこと)	〈萩原義雄〉	304
表現法 (書くこと)	〈萩原義雄〉	305

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学概論(前期)	たかのひでおの野秀夫	短英1必(一類) 短英1・2選必(二類)	4

講義のねらい

中世(古英語650-1150、中世英語1150-1500)からいろいろな時代を辿り、最後にロマン派時代を経て来た19世紀英文学と、アメリカ入植のピューリタニズムからネオ・クラシズムを経て来た19世紀米文学とは、互いに係わり合いながら独自性を発揮し現代に至る。それぞれの英米文学の流れを概観する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前半
1. 19世紀までの英文学
 2. ヴィクトリア女王朝(The Victoria Age) 1837-1901
 3. 19世紀末および20世紀初頭
 4. 現代
- 後半
1. ロマンティズムの時代(1830-南北戦争)
 2. リアリズムの時代(南北戦争後-第1次世界大戦)
 3. モダニズムの時代(第1次世界大戦-第2次世界大戦)
 4. ポストモダニズムの時代(第2次世界大戦-現在)

履修上の留意点

19、20世紀英米文学の作品を読み、文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

成績評価の方法

中間、期末テストと出席代わりのレポート。

教科書

教場にて指示。

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語講読 I (前期)	ランドルフ, M.	短英1必(一類)	2

講義の内容・授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

試験および出席日数により評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読 I (前期)	ブラック, A.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

The central aim of this course is to help students improve their reading comprehension and to expand their functional vocabulary, yet we will also learn to translate and to write summaries of the works read.

We will practice the following types of reading in class:

1. Skimming (speedreading and reading aloud without any tools)
2. Reading for Comprehension (using dictionaries and grammar books)
3. Interpretation and Analysis
4. Translating
5. Reading for Pronunciation

講義の内容・授業スケジュール

A broad range of materials will be covered, consisting of short stories, essays, poetry and perhaps song lyrics. We will focus on reading well-known fairy tales.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. Additionally, since the reading assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

成績評価の方法

Attendance	25%
In-class Participation (Answering Questions, Reading Assignments)	25%
Notebook Folders (Vocabulary lists, Summaries, etc.)	25%
Final Test	25%

教科書

No textbook will be used in this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.

参考書等

Students are required to bring both a bilingual dictionary and their notebook folders with them to each class.

その他

The class will be conducted bilingually.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読 I (前期)	うちやまひろみち 内山浩道	短英1必(一類)	2

講義のねらい

英字新聞の読解能力の育成を図る。海外でも自然に英字新聞に目が通せるようにいろいろな種類の記事を読む。内容の要点把握を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

天気予報、漫画、社説、求人広告、スポーツ、報道記事、社説などいろいろな内容の資料を扱う。インターネット等で課題内容の資料収集をして、それを授業で報告する。教材と同じ内容の視聴覚資料(テレビやラジオの関連報道)を、導入か仕上げの段階で、紹介する。

履修上の留意点

最新情報の内容を取り扱うので、課題指示や資料配布のために毎回の出席が重要である。

成績評価の方法

学期中に行われる課題内容の報告(口頭及びレポートによる)の評価の合計点で判定する。

教科書

教科書は使用しない。プリント等を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
Oral Communication I (前期)	トランブリー, J.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

This course will concentrate on developing basic speaking skills in every day situations. Emphasis will be on pronunciation and intonation as well as building English ability in situations students may encounter when traveling abroad or doing a home stay in a foreign country. Students will master basic expressions through pair practice and role plays. Homework will consist of weekly pair taping, the content of which will be decided by the students. Quizzes based on actual errors taken from pair-taping homework will be given frequently throughout the semester.

履修上の留意点

Students will be allowed three un-excused absences throughout the semester. After three un-excused absences, 5 points will be deducted from the student's final grade for each subsequent absence. Eight un-excused absences during the semester will result in automatic failure in the course.

成績評価の方法

Final Oral Exam : 25%
Midterm Written Exam : 25%
Quizzes : 25%
Homework (pair taping) : 25%

教科書

All text materials will be provided by the teacher.
Students will need a walkman tape recorder and 2 cassette tapes.

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
Oral Communication I (前期)	キーズ, P.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

講義の内容・授業スケジュール

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The main text covers seven skill areas. These are communications, business, socializing, travel, hotels, money, and food and drink. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation reviewing what has been learnt

成績評価の方法

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

教科書

The text will be announced later.
Supplementary Material will be handed out by the teacher.
Although the text will be announced later the students will require the following : - An A 4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).
An English Japanese dictionary.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文学史(後期)	なが た よし ふみ 永田喜文	短英1必(一類)	4

講義のねらい

イギリス文学の流れを、時間にそって概観する。各時代の社会的背景とともに、代表的な作家や作品を紹介・説明することで講義を進める。教科書を使用しないので、ノートを取ることに。

講義の内容・授業スケジュール

詳しくは講義初日に説明するが、簡略的な講義の流れは以下のとおりである。
授業の最初にイギリスや英語の歴史に関する基礎知識をおさえ、その上で、古英語によるイギリス文学誕生をみる。続いて中英語による文学、ルネッサンス期のエリザベス朝の演劇、清教徒革命から王政復古期の詩、18世紀の小説やロマン主義復興などを経て、近代・現代の文学までの流れを追う。

履修上の留意点

出欠はとる。レポート提出あり。レポートに関しては提出期日を必ず守ること。正当な理由なくして期日を守らない場合は、受け取らない。

成績評価の方法

出欠とレポートで平常点を出す。平常点と学期末試験で評価をつける。

教科書

使用しない

参考書等

単に文学史の流れを眺めるだけに終わらないように、主要な作品はさわりだけでも読んでほしい。イギリス文学史に関する参考書は教場で説明する。

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読Ⅱ(後期)	うめ はら とし ひろ 梅原敏弘	短英1必(一類)	2

講義のねらい

正確な英文読書力の養成を主眼とします。

講義の内容・授業スケジュール

まず、文型を中心とした構文の知識の整理と再確認を主眼としたハンドアウトを配り、例文を読みながら構文力の基礎の充実を図ります。その後で、雑誌や新聞の記事をハンドアウトにして配布し、読んでいくことにします。

履修上の留意点

受講者は必ず、毎回予習をしてくること。アットランダムにあてていくので、口頭での訳が困難な場合、訳をノートに書いてくること。

成績評価の方法

平常の授業時に行うテスト(3-4回を予定)の結果により成績判定をします。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、及び予習をしてくれなかった場合、減点します。

教科書

使用しない

参考書等

出来れば、学習者用の英英辞書(Longman Dictionary of Contemporary EnglishやOxford Advanced Learner's Dictionary of Current English等の)を購入し、利用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読Ⅱ(後期)	高野秀夫 <small>たかのひでお</small>	短英1必(一類)	2

講義のねらい

- (1) Natural Speedで、テープの英語を聞き取る。英語の質疑応答で教科書の内容を把握し、英語の基本構文を理解する。
- (2) 教科書『クリスマス・キャロル』はいわゆるクリスマスの読物のなかでとりわけ有名な作品である。特に、冷酷な主人公が、亡霊に導かれてやさしい人間に生まれ変わる心の動きに注目しながら読み進め、様々な視点からディケンズ文学の理解を図り、英文学の面白さに迫る。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) テープの英語
- (2) 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、英国文学の知識を広げる。

履修上の留意点

英語の質疑応答があるので予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

期末筆記試験、平常点(発表、出席、レポート)

教科書

- (1) Charles Dickens: *A Christmas Carol*
- (2) プリント

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読Ⅱ(後期)	ランドルフ, M.	短英1必(一類)	2

講義の内容・授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

試験および出席日数により評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
Oral CommunicationⅡ (後期)	トランブリー, J.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

This course will increase oral communication skills and prepare students for taking the TOEIC test. Students will learn more sophisticated English expressions and vocabulary by preparing for the TOEIC test and will then apply this knowledge in real communicative contexts. Students will be given frequent TOEIC practice tests and they will be expected to draw on these tests to create original dialogues and conversations. Improvement in TOEIC test scores and increased conversational proficiency are the goals of this course.

履修上の留意点

Students will be allowed three un-excused absences throughout the semester. After three un-excused absences, 5 points will be deducted from the student's final grade for each absence. Eight un-excused absences during the semester will result in automatic failure in the course.

成績評価の方法

Final Exam : 50%
Homework (vocabulary and grammar notebook) : 25%
In class activities : 25%

教科書

Frank Graziani, *Starter TOEIC, Building TOEIC Test-taking Skills*, (Compass)
A vocabulary notebook

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Oral Communication II (後期)	キース, P.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners.

The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The course will cover a variety of skill areas – such as communications, business, socializing, travel, hotels, money, and hobbies and interests. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation and reviewing what has been learnt.

成績評価の方法

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

教 科 書

The text will be announced later.

Supplementary Material will be handed out by the teacher.

Although the text will be announced later the students will require the following:—An A 4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class).

An English Japanese dictionary.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English I (前期)	モエ, R. A・オーラ, B. トランブリー, J. ハードグレーブ, B	短英1必(二類)	2

講義のねらい

To develop and improve English conversational skills.

講義の内容・授業スケジュール

Timed Paired Practice (TPP) exercises. Students are randomly paired and they then converse in English. Their conversations are timed. The conversation is stopped if a mistake is not corrected by either of them. Students are paired together twice. After that, students can volunteer to converse with the teacher. A student may converse up to 10 times in one class. TPP will be conducted in every class and in the same way.

履修上の留意点

This is a course in which the students are expected to actually use the English they know in conversational situations. In other words, they should try to use what they have studied and are studying in other courses. Mistakes are any unnatural English usage. That includes grammatical errors, pronunciation errors, delivery errors, and also if the content is considered odd, that is an error. Pauses of more than half a second are also considered to be errors. Not speaking loudly enough will also be an error. If a student repeats a word, that also is an error. If a student realizes she has made a mistake, she may correct it by first saying, "Excuse me," and then repeating the corrected phrase. If a student thinks that her partner has made a mistake or if she cannot understand what her partner says, then she should say, "Pardon?" The other person must then repeat from the beginning, being careful to speak correctly.

成績評価の方法

Essentially the grades are based on the average length of a conversation, the number of conversations, and attendance. This data is put into the following formulae to determine the Current Grade:

$$\frac{\text{Time Avg} * (\text{Tries Avg} / (5 - (\text{gEnrolled} * (\text{Lesson Period} / 90) * 1))) + (60 - (\text{Current TPP No.} * 3))}{3}$$

Time Avg = the average length of all conversations

Tries Avg = the average number of conversations per class period

gEnrolled = the number of students enrolled in the class

Lesson Period = the length of a class period

Current TPP No. = the number of TPP exercises performed

$$((100 - (\text{Late} * 5) - (\text{Absent} * 10)) + (2 * \text{Score Avg})) / 3 = \text{Current Grade}$$

Late = number of unexcused times tardy

Absent = number of unexcused times absent

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The Current Grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教科書

ありません。

参考書等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

その他

Students should either talk to their teacher or to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Students will be kept informed of the Current Grades. It is therefore very important that they fully understand the method of evaluation.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English II (前期)	サリバン, C・ハードグレーブ, B. ランドルフ, M.・ロルフ, M. F.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

In this course students will read a large quantity of graded English material (graded readers) in order to develop confidence and fluency in reading. This approach, which is broadly called 'extensive reading', has been shown to be an effective way of helping learners to gradually improve their ability to comprehend more and more complex extended texts. The intention is to make reading English an everyday activity through which students cultivate a reading habit.

講義の内容・
授業スケジュール

In the first class of the course, students will take a test to determine their reading level. Students will then start reading books at the appropriate starting level by borrowing them from the Book Bags which are brought to class or by borrowing them from the university library. Students are only allowed to borrow one book at a time from the Book Bags. After a student has read 5 to 7 books at her beginning level, she will move up one level and read the same number of books again at this new level. The target number of pages to be read over 12 weeks is 600 pages. Students will probably, therefore, move up two levels during the course of the semester. They will have to read 50 pages on average each week. In the penultimate week of classes in July a second test will be given to ascertain which level the students are reading at by this stage. In addition, students write reports (Reaction Reports) on every book they read. These are checked by the teacher and then returned to the student who then sticks the report into her notebook.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Below is an explanation of how the course is graded:

50% = pages read

601 and over	= 50%
551 - 600	= 40%
501 - 550	= 30%
0 - 500	= 0%

25% = improvement in level between the first and second reading tests

25% = quality of Reaction Reports

+ attendance
+ effort shown

+ α [to be determined by individual teachers]

教 科 書

All graded readers are provided. [Individual teachers may ask students to buy a textbook to supplement the graded readers].

そ の 他

Students will need a B5 (or slightly bigger) notebook to stick their Reaction Reports into.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English Ⅲ (前期)	ギャリソン, J. G. ・デンドウ, G. ランドルフ, M.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

Designed to expose students to authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. Primary emphasis on comprehension of video materials selected by the instructor from American television; secondary emphasis on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. All material and instruction in English.

講義の内容・
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to view the appropriate material, outside class, watching it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script.

During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced.

Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Grades will be based on the results of tests given after each lesson is completed - normally 3 to 4.

教 科 書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参 考 書 等

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English IV (前期)	サリバン, C.・オーラ, B. ロルフ, M. F.・トランブリー, J. レオーネ, J. V.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

- (1) By the end of the course students will be able to speak English with improved confidence in situation they are likely to encounter when travelling abroad or when in a home stay;
- (2) Students will increase their general fluency in spoken English.

講義の内容・
授業スケジュール

The emphasis in this course is on spoken English. Students will be judged on how functionally communicative they become in the set situations and on the improvements they make in their general conversational fluency. Starting with the English students have at their disposal, situations and the language needed to survive in those situations will gradually be built up in each class.

Students will take Entrance and Exit Tests at the beginning and at the end of the course. Improvement between the Entrance and Exit Tests is worth about a third of the final grade. Students will also take up to 5 Mini Tests through the semester to check on progress on material covered in class. Students will do 'Partner Taping' each week for homework.

履修上の留意点

This course is being provided in the new curriculum in part as an antidote to the years of "examination English" students have had to endure at high school and partly in response to the call for more conversation classes from students who have passed through Komazawa Junior College in previous years. It is imperative that students take an active part in this class for this course to be successful. Any student who does not speak English or who does not become proficient in the expressions needed for the different situations covered will not pass this course.

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Students will be assessed on their English oral ability at the beginning and at the end of the semester. They will also have up to five mini tests on the material covered. Grades will be based on:

1. improvement in speaking ability over the semester based on the Entrance and Exit Test results (= 30%);
2. performance on mini tests;
3. completion of homework partner taping;
4. effort shown in class;
5. attendance.

教 科 書

None. All materials will be provided by the teacher.

そ の 他

Students will need a mini cassette recorder and a B5 notebook.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English V (後期)	モエ, R. A.・オーラ, B. トランブリー, J. ハードグレイブ, B	短英1必(二類)	2

講義のねらい

To develop and improve English conversational skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will build upon the skills developed in Intensive English I. Students will be randomly paired to practice extemporaneous conversations using the TPP Exercise in every other class. Unlike Intensive English I, there is no volunteer phase; students will be paired as often as time permits. On alternate days, students will divide into pairs to practice specific conversational skills with the teacher providing individual instruction and advice.

履修上の留意点

Practice outside of class will be essential in order to make the progress necessary in class to receive a passing grade. Students should make an effort to develop longer conversations of greater depth.

成績評価の方法

Essentially the grades are based on the average length of a conversation, the number of conversations, and attendance. This data is put into the following formulae to determine the Current Grade:

$$\frac{(Time\ Avg * (Tries\ Avg / (5 - (gEnrolled * (Lesson\ Period / 90) * .1))))}{((100 - (Late * 5) - (Absent * 10)) + (2 * Score\ Avg)) / 3} = Current\ Grade$$

Time Avg = the average length of all conversations
Tries Avg = the average number of conversations per class period
gEnrolled = the number of students enrolled in the class
Lesson Period = the length of a class period
Late = number of unexcused times tardy
Absent = number of unexcused times absent

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The Current Grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教 科 書

ありません。

参 考 書 等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

そ の 他

Students should either talk to their teacher or to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Students will be kept informed of the Current Grades. It is therefore very important that they fully understand the method of evaluation.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VI (後期)	アッシュウェル, T.・サリバン, C ハードグレーブ, B.・ランドルフ, M.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

In this course students will develop their ability to write longer texts in English. The main aim is for students to produce three 500-word assignments. These may be essays or formal reports. Students will also keep journals in order to develop greater fluency and greater belief in using English as a means of communication and as a way of expressing themselves.

講義の内容・
授業スケジュール

Students are required to produce three essays or reports which need to be researched and drafted. These pieces of writing will involve the students in synthesizing information they have found through discussion or research and in presenting a point of view on a topic using evidence to support their position. Organising the writing so that it becomes a clear and reasoned statement of the student's own position will be a principle focus of the class. Each week students will also be asked to make entries of a particular length in their journals.

英
文
科

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Students are graded as follows:

1). Three Assignments = 75% (Assn. 1, 2, and 3 = 25% each).

Each assignment receives one of five grades:

Very good	(5 points)
Good	(4 points)
OK	(3 points)
Poor	(2 points)
Weak	(1 point).

To pass this course students need to have accumulated 11 points from the three assignments. If students are concerned that they are not accumulating enough points, they can re-submit assignments any number of times until a final deadline in December.

2). Journal assignments = 25% (10 × 2.5)

教 科 書

No textbook will be used.

参 考 書 等

Students should bring an English-Japanese dictionary to each class. Students will be advised about buying a good English-English dictionary in the first class.

そ の 他

Students will need a B5 notebook.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive EnglishⅦ (後期)	ギャリソン, J. G. ・デンドウ, G. ランドルフ, M.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

Continuation of Intensive English III. Designed to further develop students' ability to understand authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. As with IE III, primary emphasis will remain on comprehension of video materials while secondary emphasis will once again be on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. The material selected for inclusion in this class will be more advanced than that of IE III.

講義の内容・
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to go to the Language Laboratory, borrow the appropriate video, take it home overnight or to the L. L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script. During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced. Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Grades will be based on class participation (25%) and the results of tests given after each lesson is completed - normally 3 to 4 (75%).

教 科 書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参 考 書 等

None.

そ の 他

Class conducted in the language laboratory. All material and instruction in English.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive EnglishⅧ (後期)	アシュウェル, T.・オーラ, B. ロルフ, M. F.・トランブリー, J. レオーネ, J. V.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

In this class we will work on improving your TOEIC score. At the same time you will practise speaking English so that your speaking ability continues to improve.

講義の内容・
授業スケジュール

Initial and final mock TOEIC tests and two practice tests will be taken and training in effective test taking strategies will form the backbone of this course.

履修上の留意点

You will not be graded on scores on the real TOEIC test, but are encouraged to take this test either during the course or soon after its completion. A good score on the real test can be used to obtain credits within the Eibunka curriculum.

成績評価の方法

Your grade in this class will be calculated in the following way:
 25%Final TOEIC Test score compared to score on Initial TOEIC Test. (70points higher = 25% ; 50points higher = 20% ; 30points higher = 15% ; 10points higher = 10% ; no change = 5% ; a drop = 0%)
 25%Scores on two Practice Tests. (Practice Test : Much better than previous Test = 12% ; a little better than previous Test = 9% ; no better than previous Test = 6% ; a little worse than previous Test = 3% ; much worse than previous Test = 0%)
 25%Completion of 10self-set TOEIC Homework tasks. (To be written in notebooks clearly labelled with the date. To be handed in every other Tuesday)
 25%Performance in class.

教 科 書

You will be expected to buy a Japanese TOEIC taking book of your own choosing and to work through this as your homework for the course.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語学概論(前期)	岡本 誠 <small>おがもと まこと</small>	短英1・2選必	4

講義のねらい

英語は言うまでもなく、まずイギリスの言語であったわけで、それは現在でもそうであるわけだが、アメリカを代表とする若い国々の言語ともなり、さらに世界各地で使われるようになってきた。英語を母語とはしていない人までも国際的な場でのコミュニケーションの手段として英語に頼る。分かりやすく言えば、日本と韓国の人でさえ英語でなら話し合えるのだ。つまり、非英語圏での外国語教育のナンバーワンは英語である。言ってみれば、英語という言語は非常に出世したのである。

どうして英語はこのように出世したのであろうか。中学校以来、英語の学習をつい当たり前のようになってしまっているのかもしれないが、なぜだろう、即ち、なぜ英語はかくも世界中で使われるようになったのか、考えてみることは意味のあることであろう。

ところで、その世界のあちこちで使われているという英語がどれもびったり同じというわけではない。ご先祖のイギリスの地を離れて各々いささか趣を変えている。このことは、社会が言語に影響を与えるという普遍的な側面を窺い知ることができる。

この講義では、上に記した趣旨に従って、国際的な視野で英語という言語を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

英語の歴史的区分。インド・ヨーロッパ語と英語の関係。英語が影響を受けることになったブリテン島の対外関係。ノルマン人によるフランス語の影響。ルネサンスと英語との関係。17世紀の英語の自己発見。大英帝国を背景とした英語。アメリカの台頭とその英語。世界各地の英語。英語の方言ならびにその変異種。

履修上の留意点

教科書を使用することもあるが、その際は事前に次のところを読んでおくこと。ケータイは切っておくこと。

成績評価の方法

筆記試験、レポート、小テスト、出席状況等を総合的に勘案して行う。

教科書

必要の際に指示する。

参考書等

適宜プリントを配布するが、お金があまっっていてどうしても欲しい、という際は次のものが最も網羅的である。

ポー／ケイブル著・永嶋大典他訳『英語史概説』(研究者) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
言 語 と 文 化 (後 期)	おがもと まこと 岡 本 誠	短英1・2選必	4

講義のねらい

日本は高 context 文化であると言われる。つまり特定の場面で発話する際、全部を言わずともあとは状況で察してほしいということである。電車をおりた人が駅から電話をかけてきて「今着いたんだけど」と言う。電話を受けた人は「だからなんなのさ？」などとは応じない。「じゃ待ってて。今車で迎えに行くから」などと言う。これが我々の住んでいる文化である。英語圏で、日本語あるいは日本人の発想で “I’m here at the station” と電話すればそれこそ “What do you mean?” と言われかねない。つまり我々は状況に頼っていてストレートにものを言わない文化の中にいる。

この文化の特徴は直接的に言わずにほのめかして、あとは相手に察してほしい、というわけであるから、必然的に目立とうとしないことを多とする。目立つ人は出しゃばりになるのである。ところが欧米ではいい意味で目立つ人が評価されるわけで、ユニークであることはいいことである。他の人と違うからである。出しゃばらない文化では先輩をさしおいてなどという行動はありえない。先輩はたてまつるのである。悲しいかな中学校の部活で既に「先輩」「後輩」の意識はできあがってしまうようだ。しかるに、こういう言い方が英語にはない。彼らはファーストネームで呼び合う You and I are equal の世界にいる。従って英語には敬語がないとよく言われるが、「へりくだり」の言い方はもったない。「愚妻」だとか「豚児」などの語はないのである。

本講義では異文化間コミュニケーションとも相通じる、言語と文化の関係を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

この趣旨にそった話題を新聞や雑誌に求め、ディスカッションの場とする。

履修上の留意点

事前に問題点を吟味してくる。英文のテキストを事前に配布した際には読みこなしておくように。

成績評価の方法

出席状況、発表状況、レポート提出、小テスト等を総合的に勘案して行う。

教 科 書

特定の教科書は使わない。

参 考 書 等

適宜教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日英語比較(後期)	梅原敏弘	短英1・2選必	4

講義のねらい

日本語と英語を比較・対照させることによって、両語の特徴と差異を探る。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の「腰」という言葉と英語の“hip”とは同じであろうか、何故 hips と複数でいうのであろうか、というような語彙レベルでの問題、英語圏の国に手紙を書くとき、どうして番地を先に書いて、町名、国名などを後に書くのか、また英語では主語の次に動詞がきてその後に目的語が来るのに対して、日本語では動詞が目的語の後に来るのはどうしてなのか、というような語順の問題、日本語の敬語に相当するような表現が英語にあるのだろうか、という待遇表現の問題等、様々な「違い」が日英両語の間には存在する。それらを順次取り上げ、両語の特徴を探りながら、英語の表現上の特徴を明らかにしていく。授業は講義形式で行うが、完全な一方通行ではなく、日英両語の特徴と差異について、受講者自らに様々な具体的な例をあげてもらい、ディスカッションもしていく予定。

履修上の留意点

言葉に興味をもっている受講者が望ましい。履修希望者は必ず履修届を出す前に、授業に出て受講許可を受けること。コンピュータを利用するので、受講者は最低限のコンピュータの操作ができることが望ましい。コンピュータの操作ができない受講者は必ず英文科のコンピュータの授業を合わせ受講すること。

成績評価の方法

学期末の試験、レポートの出来映え、特にその独自性、と授業への積極的参加と貢献度を勘案して決める。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教科書

使用せず。

参考書等

小島義郎 著『日本語の意味 英語の意味』(南雲堂)
 国広 編 『日英語比較講座』全5巻(大修館)
 国広哲哉 著『日英語の比較』(現代英語教育-8)(研究社)
 楳垣 実 著『日英比較表現論』(大修館)
 中右 実 編『日英語比較選書』全10巻(研究社)

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文法論(前期)	梅原敏弘	短英1・2選必	4

講義のねらい

基本的な文構造の知識の再確認と日本人が特に苦手とする文法項目の克服を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

ハンドアウトに従って、5文型を中心とした基本的な文構造の批判的再確認を先ず行う。次いで、指定の教科書の中から、時制、アスペクト(完了相、進行相)、法助動詞と仮定法、不定詞、冠詞、前置詞等の重要な文法項目もしくは日本人に難しい文法項目を順次取り上げ、解説をし、練習問題をこなしていくことにする。

履修上の留意点

数多くの問題練習をやりながら、各文法項目の理解を確実なものにするという方法をとるので、各自、問題練習は全て自分でやってみること。

成績評価の方法

平常の授業時間内に2-3回テストを行い、その平均点に基づいて成績評価をする。

教科書

Raymond Murphy 著 *Grammar in Use* (Cambridge University Press)

参考書等

クワーク著『現代英語文法』(紀伊国屋書店)
 松波 有編『英文法』(大修館)
 正保富三著『英語の冠詞がわかる本』(研究社)
 江川泰一郎著『英文法解説』(金子書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 音 声 学 (後 期)	モ 工, R.A.	短 英 1・2 選 必	4

講義のねらい

To introduce and teach students how to recognize and correctly produce English sounds through phonemic exercises based on the principles of Phonetics.

講義の内容・
授業スケジュール

In class, students will be introduced to the principles of Phonetics through exercises which are designed to improve their aural recognition and oral production skills. Rather than teach the theory of Phonetics, key aspects will be introduced by example and pointed out when they occur. Prerecorded native English materials will be used in class. The course will begin with an introduction of the basic phonetic symbols to be used in the course. Students will be expected to memorize them and be able to write them from memory.

履修上の留意点

In addition to class lectures introducing Phonetics, students will be required to study individually outside of class using a computer program ("Sound Studies") designed specifically for that. The students can use any Windows system computer for this practice. In addition to individual study and practice, students will be required to periodically test their proficiency and progress at the college for grading purposes. Proficiency in recognizing and writing the phonetic symbols is very important and will directly affect grades. Students are expected to use these phonetic symbols to represent English sounds they hear rather than katakana. The "Sound Studies" program is comprised of five levels: Phonetic Sounds and four levels of vocabulary. The more than 3,500 words in the database correspond in level from easy to difficult. To go from one level to the next, students must have an accuracy of 95% or better. 20 points is given for successfully passing a level.

成績評価の方法

Grades will be based on ability and attendance. Ability is based on two factors: one is the level in Sound Studies which they have passed and the other is the average of any tests given in class. Attendance will then be factored into to obtain a Final Grade using the following formula:

$$((100 - 10X - 5Y) + (SS + CTA)) / 3 = \text{Final Grade}$$

X = number of unexcused absences

Y = number of unexcused times tardy

SS = Sound Studies score

CTA = average of tests given in class

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher.

教 科 書

Students who wish to have their own copy of Sound Studies may purchase a CD-ROM of it from the teacher. The price is ¥5,250 (tax included).

参 考 書 等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

そ の 他

Students should talk to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Students will be kept informed of their current grades.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品作家研究(後期) 〔イギリス文学と映画〕	ひろ かわ おさむ 広 川 治	短英1・2選必	4

講義のねらい

イギリス文学の作品とその映画化を1～3作ほど取り上げ、原文、翻訳、シナリオ、ビデオなどを活用して、その作家作品についての知識を深め、多角的に考察していく。作品は受講者の知識、興味等を初回の授業で確認した上で、映画化作品のビデオ、DVDの入手状況も考慮した後に決定する。文学作品(小説または劇)がいかに映像化されているか、原作と映画化の比較を中心に授業を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

(9月) アンケート、レポート等説明
(10月) 作品研究Ⅰ
(11月) 作品研究Ⅱ
(12月) テスト・発表・まとめなど

履修上の留意点

授業への参加を重視するので、遅刻(欠席と同じ扱いにする)、欠席、居眠等は厳禁。大幅なマイナス点になるので注意。予習や復習よりも、まず授業中の集中度が勝負の授業。

成績評価の方法

出席などの平常点に課題レポートや小テストなどの点数を加えた総合評価となる。

教 科 書

プリント配布の予定。

参 考 書 等

野町二、荒井良雄(著)、広川治、逢見明久(増補)『イギリス文学案内』(朝日出版社)
4,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作品作家研究(前期) 〔19世紀英文学〕	たかのひでお 高野秀夫	短英1・2選必	4

講義のねらい

英国では英文学の入門書となっている「サイラス・マーナー」の作品を読む。その著者、ジョージ・エリオットがなぜ19世紀英文学において特異な存在になったのかを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書

神への信仰を失い、親友、恋人そして仲間にも裏切られた主人公、サイラス・マーナーは、住み慣れた都会からラヴィロー村に移る。金を貯めることが人生の唯一の楽しみになり、ついに、天涯孤独な守銭奴となる。16年後その金が盗まれ、再び絶望の淵をさ迷う。その時、たまたま、迷い児、エッピーが家に転がり込んで来る。サイラスはその児を育てながら、美しい自然のなかで暮らす村人の温かな心に触れ、生きることの素晴らしさを知る。そして可愛い娘に成長したエッピーと幸せに暮らす。

この物語を原書で読み、他の作品の物語も言及する。登場人物の様々な問題点(孤独、神、偶然等)を採り挙げ、ジョージ・エリオット文学への扉を開く。

口頭発表

各自が課題を決めて20分程度でまとめる。

履修上の留意点

主要な19世紀英国作家の作品に触れ、絶えず文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

成績評価の方法

(1) 口頭発表 (2) レポート (3) 7枚程度の論文

教 科 書

(1) George Eliot: Silas Marner
(2) プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究(前期) [アメリカ20世紀文学]	湯浅陽子	短英1・2選必	4

講義のねらい

今から100年前にアメリカのミネソタ州セントポール市に生まれ、1920年～1930年代に活躍した Francis Scott Key Fitzgerald の『The Great Gatsby』を読む。フィッツジェラルドは44歳で死んだ短命な作家である。

第一次世界大戦後の狂騒的な好況の1920年代とあまりにも密着していたところに、この作家の華々しいスタートと成功の、ひいては1929年の大恐慌を経た後の30年代における閑却と不遇の原因を求めるのが今日のほぼ通説と見てよいかもしれない。正味10年程の短い活動期を自分の夢を追いかけて駆け抜けていった男に「アメリカの夢」を重ね合わせる人も多い。

若い女性に人気のある村上春樹氏も実は相当フィッツジェラルドに傾倒していることを知っている人も少なくないことだろう。また、某男性化粧品会社の化粧品の名前もたしか“Gatsby”だった。不景気な世の中だからこそ、この名前には彷彿としたものを感じさせる何かがあるのだろうか。作品を通してそれが何であるかを感じてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

4月 映画に描かれている” The Great Gatsby”鑑賞

レポートの書き方について (文献検索、引用表記等)

5月 第1章 19ページ 第2章 14ページ

第3章 19ページ 第4 & 5章 33ページ

6月 第6章 13ページ 第7章 31ページ

第8章 15ページ 第9章 17ページ

7月 レポート提出 Fitzgerald とこの作品および家族の関係、あるいはこの作品のテーマ、作者の人生観や女性観について等、論文の書き方の練習も兼ねて、Microsoft Word を使用して作成し、提出してもらう。なお、場合によっては授業中に小テストもある。

英
文
科

履修上の留意点

テキストに入る前に受講者をグループに分け、章ごとに分担して発表してもらう。この授業はいわば「プレゼンテーション」の実践の場である。発表は前に立ち、コンピュータや書画カメラを駆使して資料を提示しながら、次の要領で行う：

1. 担当した部分の一部を Reading し、担当部分の要約をする。【文章が把握できているかどうか、単語の意味を辞書で調べたかどうかを Reading で判るので重視する。また、全体の把握ができているかどうかは、自分の言葉で語る要約ができているか否かで判る。訳本をそのまま読むようなことをすると大幅な減点になる。】

2. 辞書で調べた注目すべき単語、英語表現、文法等について発表する。その部分に関係する作家のエピソード等、調べてわかった周辺の事柄、その他自分の感想等は、最終授業日に改めてプレゼンテーションする機会を設ける。

万が一自分の発表の日に欠席すると、所属するグループ全体の責任となり、他のメンバーがその部分の穴埋めをすることになる。発表者はメンバーに迷惑をかけないように注意しなければならない。そのため、グループ間の連絡を密にしておく必要があることは言うまでもない。万が一の場合に備えて、自分の担当の前後についても一応準備しておくことよい。なお、発表日に休むと本人の大きな減点になるだけでなく、その部分をメンバーがカバーできなかった場合はメンバーも減点になる。その意味で発表はグループの連帯責任となる。

発表以外の人は担当者の発表をよく聴き、発表終了後に発表に関する評価をコンピュータ上の所定ファイルに記入し提出する。発表に関するこのコメントの記入内容が、発表者以外の人の授業への参加度点として、評価の対象になる。

発表者でないからといって気を抜かず、私語を謹んでもらいたい。聴く側の最低のルールである。また、テキストを持参せずに教場に入った場合は退出させられるので注意すること。

成績評価の方法

毎回の出席 (50%)、発表評価表への記入姿勢や必需品を忘れないなどに見られる授業への参加度点 (20%)、発表平均点 (20%)、その他 (10%) の総合点で評価する。

教科書

F. Scott Fitzgerald: The Great Gatsby (Arrow 社またはその他の会社のものでも可)

参考書等

野崎孝編『20世紀英米文学案内-7-F. Scott Fitzgerald』(研究社)

小堀用一朗著『スコット・フィッツジェラルド-人と作品-』(弓書房)

ナンシー・ミルフォード著 大橋吉之輔訳『ゼルダ-愛と狂気の生涯』(新潮社)

Fitzgerald's The Great Gatsby-The Novel, The Critics, The Background Henry Dan Piper 著 (Charles Scribners)

その他

最良の学習環境を確保するために、場合によっては人数制限を行う。その際は第1回目の授業時に抽選して受講者を決定し、受講許可書を発行する。受講許可書を受理した者のみ、履修登録をすることができる。★受講許可書は必須条件である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
米 文 学 演 習 (後 期)	ギャリソン, J.G.	短英1・2選必	4

講義のねらい

The literature, art and music of the Harlem Renaissance during the 1920s, how they reflect the social changes brought about by World War I, Industrialization, the Great Migration and the search by Black Americans for their African roots. The poetry, novels and short stories of Langston Hughes, Claude McKay, Countee Cullen, Jean Toomer and James Weldon Johnson will be introduced in order to present an overview of prevailing literary and social trends in America and encourage a deeper understanding of the forces at work forging racial identity and pride among African-Americans during the period.

講義の内容・
授業スケジュール

Introductory comments on American culture and slavery, followed by discussion of the social, cultural and literary trends in America during the early 1900s. Reading, discussion and analysis of selected authors, both Black and White, whose works are available in Japanese translation. Limited reading in English. Participation in seminar discussions and scheduled group and individual presentations on subjects and authors assigned upon consultation with instructor.

履修上の留意点

There will be no retests; term papers, however, may be rewritten within certain time limits. Computer and internet skills required.

成績評価の方法

Completion of assignments, class participation and presentations (50%) and either one 7-10 page research paper (50%) on an author or artist selected by the student in consultation with the instructor or a final Exam (50%).

教 科 書

Steven Watson 著 The Harlem Renaissance: Hub of African-American Culture, 1920-1930, (Pantheon Books, New York) 1995

参 考 書 等

None

そ の 他

Sophomores will be given preference in admission.
Completion of 20世紀アメリカ文学 or アメリカ演劇 required.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
20世紀イギリス文学(後期)	たかのひでお 高野秀夫	短英1・2選必	4

講義のねらい

- (1) Natural Speedで英語の聞く能力を高める。
- (2) 教科書:

19世紀には、偉大な女流作家が英文学史上に次々に登場した。男性優位の甚だしい社会の陰で、女性弱者の立場から自らの文学をこつこつ築き上げて、英文学をより一層豊かなものにした。その伝統をしっかり受け継いで、現代に生きる人の心を魅了し続けている20世紀の新しいタイプの女流小説家、20世紀英国文壇の旗手ヴァージニア・ウルフの作品を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) テープの英語
- (2) 20世紀英国小説の“意識の流れ”の作家、ウルフの作品理解に努める。

履修上の留意点

英語の質疑応答があるので予習は欠かせないこと。

成績評価の方法

研究発表、筆記試験、平常点(出席、レポート等)

教 科 書

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
20世紀アメリカ文学(後期)	ギャリソン, J.G.	短英1・2選必	4

講義のねらい

A survey course introducing the student to American literature in the 20th Century and the problems, approaches and styles characteristic of each age and genre from the early 1900s to the late 1990s.

講義の内容・
授業スケジュール

[Lesson content may vary somewhat from scheduled lesson plan as result of holidays, class cancellations and the need to spend more or less time on certain subjects.]

20世紀アメリカ文学の展望を講義しながら自然主義やリアリズムからエスニック文学、そしてミニマリズムまで代表的な作品を翻訳文で読んでディスカッションを行う。

- 4月 2週 Introduction and explanation of syllabus.
3週 Naturalism and Realism Part I: Stephen Crane's "The Open Boat" & Jack London's "To Build a Fire"
4週 Naturalism and Realism Part II: Theodore Dreiser's *An American Tragedy* (Film)
- 5月 2週 The Roaring Twenties: Riot and Riches, Scott Fitzgerald's *The Great Gatsby* (Film)
3週 The "Other America" The Harlem Renaissance: Langston Hughes, Claude McKay & Countee Cullen
4週 William Faulkner's "A Rose for Emily"
- 6月 1週 The Lost Generation: Ernest Hemingway's "The Killers, " & *Old Man and the Sea*
2週 The Great Depression: John Steinbeck's *Of Mice and Men* (Film)
3週 Language, Sex and Censorship: Henry Miller's *Tropic of Cancer* (exerpts); The Beats: Allen Ginsberg's "Howl" & Jack Kerouac's *On the Road*
4週 Black Women Writers: Alice Walker's *The Color Purple* (Film)
- 7月 1週 Post Modernism and Minimalism: short stories by Raymond Carver and Richard Ford
2週 スケジュール調整 (or Test)
3週 スケジュール調整 (or Test)

英
文
科

履修上の留意点

There will be no retests.

成績評価の方法

Grades will be based on one in-class presentation on the works of an author selected in consultation with the instructor (30%), one short (3-5 page) paper on a subject assigned by the instructor (40%) and class participation (20%).

教科書

Selected novels, collections of poetry and short stories in translation (to be announced).

参考書等

None

その他

Nothing

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
戯 曲 研 究 (前 期)	ひろ かわ おさむ 広 川 治	短英1・2選必	4

講義のねらい

Shakespeareを中心に他の英米の劇作家の作品を1～3作ほど取り上げ、原文、翻訳、研究書ばかりでなく、上演、録音、ビデオなども活用して、その作家作品についての知識を深め、多角的に考察していく。作品は受講者の知識、興味等を初回の授業で確認した上で、劇場での英米演劇上演予定も考慮してから決定する。授業では、セリフを聞き取るリスニングを行ったり、セリフを読む練習もすることもあるので、英会話の練習になる部分もあるだろう。単なる読む「戯曲」としてでなく、あくまでも「演劇」の台本としてテキストをとらえ、上演面や映画化の問題も研究していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (4月) アンケート、上演予定、レポート等説明
- (5月) 作品研究Ⅰ
- (6月) 作品研究Ⅱ
- (7月) テスト・発表・まとめなど

履修上の留意点

授業への参加を重視するので、遅刻(欠席と同じ扱いにする)、欠席、居眠等は厳禁。大幅なマイナス点となるので注意。予習復習よりもまず授業中の集中度が勝負の授業。

成績評価の方法

出席、授業内の発表などの平常点に、観劇レポート(配布するリストの公演より数本の舞台を選んで、各自がチケットを購入して[1500～8000程度必要]観劇後、レポートにまとめる)やセリフの暗記、英訳のテストなどの点数を加えた総合評価で成績をつける。

教 科 書

プリント配布の予定。

参 考 書 等

野町二、荒井良雄(著)、広川治、逢見明久(増補)、『イギリス文学案内』(朝日出版社4800円)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学講読 (後期)	ブラック, A.	短英1・2選必	2

講義のねらい

The central aim of this course is to help students improve their reading comprehension and to expand their functional vocabulary, yet we will also learn to translate and to write summaries of the works read.

We will practice the following types of reading in class:

1. Skimming (speedreading and reading aloud without any tools)
2. Reading for Comprehension (using dictionaries and grammar books)
3. Interpretation and Analysis
4. Translating
5. Reading for Pronunciation

講義の内容・授業スケジュール

Although we will mainly read selections from the Harry Potter books, I hope to cover a broad range of materials, consisting of short stories, essays, poetry and perhaps song lyrics dependent on student ability. I would like to welcome both continuing students as well as those beginning to read the Harry Potter series.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. Additionally, since the reading assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

成績評価の方法

Attendance	25%
Participation (Answering Questions, Reading Assignments)	25%
Notebook Folders (Vocabulary lists, Summaries, etc.)	25%
Final Test	25%

教科書

No textbook will be used in this course.

参考書等

Students are required to bring both a bilingual dictionary and their notebook folders with them to each class.

その他

The class will be conducted bilingually.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学講読 (前期)	たかのひでお 高野秀夫	短英1・2選必	2

講義のねらい

Natural Speed の英語の読みと聞き取り、平易な英文の作成、作品の内容の理解に努める。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) Natural Speed で英語の読み、聞く能力を高める。
- (2) 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家 Thomas Hardy は、運命論者として知られ、「この宇宙には Immanent Will (内在された意志) があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

履修上の留意点

教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

中間、期末筆記試験、平常点 (出席点、レポート等)

教科書

- (1) *To Please His Wife and Other Stories* (成美堂)
- (2) プリント

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米文学講読(後期)	湯浅陽子 <small>あさ よう こ</small>	短英1・2選必	2

講義のねらい

“Lost Generation”という単語を聞いたことがあるだろうか。これは、アーネスト・ヘミングウェイ(1899~1961)が、最初の長編 The Sun Also Rises の扉にガートルード・スタイン(1874~1946)の言葉として掲げた「あなた方はみんな失われた世代よ」という一句から取られたものである。そして、これはスタインが第一次世界大戦後のパリで、自分の周辺に集まってきた若い芸術家たちに向かって言った文句と考えられ、失われた世代とは戦後の社会的混乱の中で生活の指針を失ってさ迷っている若い世代を表す言葉と解釈されている。“Lost Generation”は、文学史上ではその世代に属する F・スコット・フィッツジェラルド(1896~1940)、ジョン・ドス・パソス(1896~1970)、ウィリアム・フォークナー(1897~1962)、ヘミングウェイといった、第一次世界大戦後に輩出した一群の作家たちを総称する言葉とされている。

その世代の中から、ヘミングウェイの A Farewell to Arms (武器よさらば)を読む。ヘミングウェイは、フォークナーとならんで、20世紀アメリカ文学界の巨星であった。アメリカを代表する偉大な作家でありながら、必ずしもアメリカを描いた作家とは言えず、むしろヨーロッパを、スペインをそしてアフリカを書いた。そうした所を舞台に、彼は暴力に打ちひしがれ、絶望する人間を書いた。そして、その絶望から立ち上がるうと必死にもがきながらも、絶望を見事に克服し、忍耐と勇気を持つ逞しい人間を描いた。人一倍生きることで死ぬことを直視したヘミングウェイの作品に触れてみて欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

- 9月 映画に描かれている“A Farewell to Arms”を鑑賞し、どのような内容かを把握する。ただし、原作と異なる部分も多々あるので要注意。
- 10月 Book One 第1章~第12章
- 11月 Book Two 第13章~第24章
時間の関係で Book Three 第25章~第32章は省略するが、その部分は簡単なテストをして確認する予定。
- 11月 Book Four 第33章~第37章
- 12月 Book Five 第38章~第41章

履修上の留意点

テキストに入る前に受講者をグループに分け、章ごとに分担して発表してもらおう。この授業はいわば「プレゼンテーション」の実践の場である。発表は前に立ち、コンピュータや書画カメラを駆使して資料を提示しながら、次の要領で行う：

1. 担当した部分の一部を Reading し、担当部分の要約をする。【文章が把握できているかどうか、単語の意味を辞書で調べたかどうかが Reading で判るので重視する。また、全体の把握ができているかどうかは、自分の言葉で語る要約ができているか否かで判る。訳本そのまま読むようなことをすると大幅な減点になる。】
2. 辞書で調べた注目すべき単語、英語表現、文法等について発表する。その部分に関係する作家のエピソード等、調べてわかった周辺の事柄、その他自分の感想等は、Power Point にまとめ、後日プレゼンテーションする機会がある。

万が一自分の発表の日に欠席すると、所属するグループ全体の責任となり、他のメンバーがその部分の穴埋めをすることになる。発表者はメンバーに迷惑をかけないように注意しなければならない。そのため、グループ間の連絡を密にしておく必要があることは言うまでもない。万が一の場合に備えて、自分の担当の前後についても一応準備しておくことよ。なお、発表日に休むと本人の大きな減点になるだけでなく、その部分をメンバーがカバーできなかった場合はメンバーも減点になる。その意味で発表はグループの連帯責任となる。

発表以外の人は担当者の発表をよく聴き、発表終了後に発表に関する評価をコンピュータ上の所定ファイルに記入し提出する。発表に関するこのコメントの記入内容が、発表者以外の人の授業への参加度点として、評価の対象になる。

発表者でないからといって気を抜かず、私語を謹んでもらいたい。聴く側の最低のルールである。また、テキストを持参せずに教場に入った場合は退出させられるので注意すること。

成績評価の方法

毎回の出席(50%)、発表評価表への記入姿勢や必需品を忘れないなどに見られる授業への参加度点(20%)、発表平均点(20%)、その他(10%)の総合点で評価する。

教科書

Ernest Hemingway: A Farewell to Arms (Arrow社またはその他の会社のものでも可)

参考書等

- 佐伯彰一編『20世紀英米文学案内-15-Ernest Hemingway』(研究社)
 石一郎著『アーネスト・ヘミングウェイ研究』(南雲堂)
 中島顕治著『ヘミングウェイの考え方と生き方』(弓書房)
 E.L. アレン著 藤久ミネ訳『オンリー・イェスタデー-1920年代・アメリカ』(研究社叢書)

そ の 他

前期科目の「作品作家研究」の第1回目授業時に、併せてこの「英米文学講読」について「受講許可願」を提出してもらう。その時間に他の科目に出席していて、「英米文学講読」の教場に来れない場合は、授業後に、短大英文科事務室まで来て、「受講許可願」を提出してもらいたい。

受講を許可されると引き換えに、「受講許可書」を受け取る。それが無いと、履修登録しても無効となる。★受講許可書は必須条件である。★

また、受講予定していたが、後期になって受講を取り消す場合もあり得るであろう。その際は、後期授業開始時に短大英文科事務室に来て、その旨を科目担当者に伝え、「受講許可書」を返還していただきたい。そうしないと、予め予定していたグループ分けに支障を来してしまうからである。これは最低限のルールである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
聖 書 研 究	みず しま よう こ 水 島 陽 子	短英1・2選必(一類) 短英1・2選(二類)	4

講義のねらい

言うまでもなく、聖書をぬきにして西洋文明は語れず、また、日本を含む様々な非キリスト教文化圏においてもその影響は多大かつ複雑である。永遠のベストセラーと呼ばれるこの書物は、ありとあらゆる言語に翻訳され、人々の信仰を支えると同時に、キリスト教とキリスト教文化を知るための最も有効な手掛りのひとつとなっている。ここでは日本語訳聖書を実際に読み進めながら、その意味、構造、歴史的背景などを理解し、さらに、英文学をはじめとする数々の文学、音楽、美術などに親しく触れながら、それらの中に聖書との関係を確認していきたい。

英
文
科

講義の内容・
授業スケジュール

前期……主として旧約聖書について
(天地創造、アダムとイヴ、ノア、アブラハム、モーセ、ダビデ、ソロモン、詩篇、預言書など)
後期……主として新約聖書について
(福音書とたとえ話、イエスの生涯、パウロ書簡など)

履修上の留意点

1限の授業なので、年間を通して遅刻・欠席のないように。
いかにベストセラーといえども、聖書を「読む」のは骨が折れる。授業でも紹介するが、いわゆる「聖書物語」を読むことで予備知識をつけておくとわかりやすいであろう。何より望まれるのは授業への積極的な参加である。各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、意見・感想を述べたりコメントを書いたりしてもらう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

レポート・または筆記試験・出席重視

教 科 書

『新共同訳聖書』(日本聖書協会編)

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋古典文学	水島陽子	短英1・2選必(一類) 短英1・2選(二類)	4

講義のねらい

二千年をはるかに超える昔、ギリシアに花開いた文化は西洋文化の源流の一端となって、今もなお多様な形でその消息をたどることができる。文学・哲学・歴史、その他人間のあらゆる文化的営みの原型がギリシアにあると言っても、過言ではないだろう。

そのギリシアの、自他ともに認める後継者となったのは、古代ローマ人であった。本講義では、ギリシア文化とローマ文化の差異に留意しつつ、両文化の神話の集大成である、ローマ人オウィディウスの『変身物語』を読む。その中で、数々のエピソードの原型と、後代への影響を確認していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期……神話と詩人
『変身物語』(上)
後期……ギリシア文化とローマ文化
『変身物語』(下)

履修上の留意点

テキストに必ず目を通しておくこと。受講人数によっては個々に発表してもらおうかもしれない。また、各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、コメントを書いてもらう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

発表・筆記試験及びレポート

教科書

オウィディウス『変身物語』(上・下)(岩波文庫)

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス史(後期)	アシュウエル, T.	短英1・2選必(一類) 短英1・2選(二類)	4

講義のねらい

In this class you will study recent British history to give you an insight into modern UK society.

講義の内容・授業スケジュール

The course will be structured around five films made in the UK in the second half of the twentieth century which reflect different aspects of society and the ways in which it has changed over the past 60 years. Each film will be studied for 3 or 4 classes and students will produce assignments for each film some in written form and some as presentations.

履修上の留意点

As this is not a language course, but rather a content course, your willingness to participate and engage in the subject matter in both English and Japanese is of paramount importance. It is also important that you are genuinely interested in the UK and come to the course with a desire to find out more about this country.

成績評価の方法

Assignments (essays and presentations) will be the main part of the evaluation for this course, but attendance and class participation will also be carefully monitored.

教科書

No textbook.

参考書等

To be announced.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文化事情(前期)	モエ, R.A.	短英1・2選必(一類)	4
		短英1・2選(二類)	

講義のねらい

To provide a comprehensive understanding of American culture by examining major components and influences that determine it.

講義の内容・授業スケジュール

The course will begin with an examination and discussion of "culture" and then using the definition obtained from that discussion, elements of American culture will be analyzed and discussed, and comparisons will also be made to Japan.

履修上の留意点

The course will be conducted as a discussion so it will be imperative that students participate actively.

成績評価の方法

The following formula will be used to determine the final grade.

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{final grade}$$

X = number of unexcused absences

Y = number of unexcused times tardy

Z = average of tests and reports

α = adjustments made by teacher

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教科書

There is no specified textbook for this class so students are free to use any reference materials and resources at their disposal. Use of the Internet is especially encouraged.

参考書等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

その他

Students should talk to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Students will be kept informed of their current grades.

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語(前期)	おがもと まこと 岡本 誠	短英2選必	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でして言えば“Current English”ということになるのか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journales に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表、小テスト、出席情况等を総合的に勘案する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』(研究社) 他学部履修科目フレA開講第1部第1部フレA開講他学部履修科目

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習(後期) [英語音声の基礎]	おがもと まこと 岡本 誠	短英2選必	4

講義のねらい

英語音声の認識をディクテーションの手法で行なう。英語を聴いて、それを正確に書き上げるという作業はその人の実力をずばりと表す。例の“r”音と“l”音の認識といったレベルにとどまらず、ここで文が完結したな、じゃここでピリオドを打って次が文頭になるな、などといったイントネーションのレベルに至るまで幅広く力量が要求されるからである。TOEFL500点以上(従来の方法での場合)、TOEIC600点以上を達成したい人はどうぞ。

講義の内容・授業スケジュール

聴く英語の内容は慣用語句の成立背景を説明したもの。同じ聴いて書くならば、面白くてためになるものがある。例えば、アメリカでは「近所の人と生活振りを張りあう、世間に遅れをとらないようにする」ということを“to keep up with the Joneses”と言う。また、もともとは人物の名前(実在の市長さん)であったのだが“maverick”は「一匹狼」の意味で現在は用いられている。こういう表現の成立をついでに知って、自分達も使いこなそう、という意図でもある。

履修上の留意点

遅刻して物音をたてながら入ってくるは迷惑至極。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。そういう授業なのである。

成績評価の方法

小テスト。発表情況。出席情況。

教科書

教科書は使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習(後期)	内山浩道 <small>うち やま ひろ みち</small>	短英2選必	4

講義のねらい

日本文には英語に“直訳”できない表現が多い。辞書に出ている訳語をそのまま使ったり、原文に現れた品詞やシンタックスに合わせて訳出しようとする、訳文の意味が不明瞭になるのである。独特の文化背景に根ざす日本語の表現は言外のメッセージを汲み取って理解しなければならない。日本語の特質を概観しながら正しい伝達内容の訳出を演習する。

講義の内容・授業スケジュール

1回～11回：日英訳出の方法を次の項目で演習する；待遇表現（敬意表現や敬語）、授受表現（やる・あげる、くれる・くださる、もらう・いただく）、判断、意志、感情の主体、程度副詞（ほど、くらい、ばかり）、時間指定（こんど、つぎ）、「た」の時制、「は」と「が」の働き、受身文中の「を」と「が」の働き。

12回～最後：英日訳出の方法を次の項目で演習する：英文中の無生物主語、連体修飾、形容詞、分詞。

履修上の留意点

例文提示が多いのでノートの整理を要領よくすること。

成績評価の方法

プレゼンテーション：上記の演習項目に関連のある英日対訳文を探してきて、それを解説する。

教科書

教科書は使用しない。プリント等を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習(前期) [ボキャビュラービルディング]	梅原敏弘 <small>うめ はら とし ひろ</small>	短英2選必	4

講義のねらい

英文読解の基礎は単語と文法と文脈を読む力にある。文法は高校までの文法がしっかりしていれば日常の読書には殆ど問題はない。文脈を読む力は単語力に左右される。要するに問題は単語である。辞書を引き引き1時間かけて1ページ読むというのでは、実用的な読書にはほど遠い。こうした読書をせざるをえないのは単語を知らないからである。実用的な読書をするためには、単語力の増強が不可欠である。とはいっても、英語の単語の数は膨大であるし、覚えなくてはいけない単語の数は気が遠くなるほど多い。特に読書の際に必要な長音節語は、会話の際頻出する基本語に比べて出現頻度も高くなく、読書をしなが覚えしていくにしても、あまり効率よく覚えられない。そこでどうしたら効率よく単語を覚えるかが問題となる。本演習では、効果的単語力増強の一方法として語源を利用することとし、実際に語源を使って語彙を増やしながら、語源を使った単語力増強法を身につけてもらう。また、単語力の増強を図りながら、一言一句細かく英文を読みながら正確に英文を読み取ることを目標とする。

英
文
科

講義の内容・
授業スケジュール

新聞や雑誌の記事、ちょっとしたストーリーや逸話など、異なった種類の英文を取り上げ、まずそれらを綿密に読む。その後で、その中で使われている単語の中から語源的に興味ある単語を抽出して、語根、接頭語、接尾語を中心とした語源的観点から当該単語の意味を解説する。次いで同じ語根、接頭語、接尾語を持つ関連語を教師が受講生に提示し、それらの意味・用法を説明する。時には受講生自ら辞書を使い、教師のヒントをもとに関連語を探し出し、簡単な語源的記述をして、教師の用意した例文を読んで、実際に文の中でどのように当該単語が使われるかを観察することもある。一つの記事もしくはストーリーが終わるごとに小テストをして、扱った単語の記憶を図る。

履修上の留意点

単語力をつけるためには普段からの努力の積み重ねが必要である。そうした努力を厭わない受講者が望ましい。授業ではパソコンを使うので、受講者はコンピュータの授業を履修するか、履修はしなくてもワープロソフトを使えることが必要となります。パソコンの台数に限りがあるので、受講希望者は必ず第1回目の授業に出席すること。

成績評価の方法

主に、授業時間中に頻繁に行う小テストの合計点で成績判定をする。

教科書

使用しない。ハンドアウトを配る。

参考書等

小川芳男 編『ハンディ語源英和辞典』(有精堂)
渡部昇一 著『英語の語源』(講談社現代新書)
梅田修 著『英語の語源物語』(大修館書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習(前期) [時事英語へのアプローチ]	吉沢栄治郎 <small>よし ざわ えいじろう</small>	短英2選必	4

講義のねらい

さまざまな話題を追って一般時事文に接していきます。術語や新語等、あるいは背景がわからない場合も多々あるかとおもいますが、まずは全体の要旨をとらえることを心掛けつつ、いちど訳文をまとめてみるとよいでしょう。さらに情報事典を使って周辺の事柄を知るように努めることが望ましい。授業時には英文を筆写してからよんでいくという方法を取ります。スプレッドには気をつけて、ていねいに書き取っていくことです。

履修上の留意点

授業時には辞典を携帯して、随時、引いてみることです。確認しながら読み進めていくことが大切です。

成績評価の方法

テストは2回行います。出席状況をみて総合評価とします。

教科書

とくに使用しません。

参考書等

『新現代英和辞典』(研究社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 (後期) [センテンスの構造]	ブラック, A.	短英2選必	4

講義のねらい

The aim of this class is improve students' ability to express themselves in writing. We will learn three types of composition: 1) personal—keeping a diary and writing letters; 2) formal—writing reports and opinion papers; and 3) creative—short stories and poetry. We will make use of audio - visual materials to gather themes for writing.

講義の内容・
授業スケジュール

Taking up the themes of “Life as it should be” and creativity, innocence and wisdom, etc., students will watch the assigned movies on a weekly basis and write their reactions in a journal. After learning the characteristics and elements of the three types of composition, students will be expected to develop their writing journal over the entire semester.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade.

成績評価の方法

Attendance	25%
In - class Participation and Writing Journals	25%
Final Report	50%

教 科 書

No textbook will be used in this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.

参 考 書 等

Students are required to bring their writing journals with them to each class and a bilingual dictionary is recommended.

そ の 他

Almost all graded writing assignments will be handed in via e - mail. Your notebook folders should consist of print - outs from your work on the computer. This will improve your typing ability and allow me to distribute your work to other students for correcting.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 (前期) 〔英語表現〕	ブラック, A.	短英2選必	4

講義のねらい

The aim of this course is to improve not only the students' listening ability but improve their understanding of different ways of life as well as different means of expression. We will make use of both audio-visual and written materials in this class. I invite each student to express her opinions and understandings.

講義の内容・
授業スケジュール

Taking up various themes such as ideas of love and respect, dreams and courage, racial discrimination, etc., students will watch the assigned movies both in class and out of class on a weekly basis, fill out listening worksheets, write short essays based on their reactions and then we will cover the themes in forum discussion. We will study each movie in detail to better understand the language and concepts involved.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. Additionally, since the reading assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

成績評価の方法

Attendance	25%
In-class Participation (Listening Worksheets, Plot Summaries, Character Trees, Questions, Discussion)	25%
Homework (Writing and Listening Assignments, Opinion Papers)	25%
Final Test	25%

教 科 書

No textbook will be used in this course.

参 考 書 等

Students are recommended to bring a bilingual dictionary and prepare notes for discussion.

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現(前期)	梅原敏弘	短英2選必	4

講義のねらい

英語で自分の意志を表現するための基礎力の養成を目指します。具体的には、まず第一に基本的な英語表現をセンテンス単位で完全に覚え込み、表現力の基礎を作る。第二にはテープを反復練習することによって英語の音声に慣れ、基礎的な英語聴解力を養うと同時に、英語の音声・特にリズムの基礎を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

一週に15センテンスずつものにしていきます。テープに録音されたセンテンスをディクテーションし、答え合わせをしたあと、Shadowing, Repeating の練習をし、よどみなくすべてのセンテンスを言えるよう訓練します。その際、英語のリズムに最大限の注意を払います。正しい英語のリズムでセンテンスを言わないと、よどみなく言えないからです。またリズムだけではなく、個々の単語の発音も、コンピュータに組み込んである辞書ソフトの発音機能を使って、発音練習します。

よどみなくセンテンスを言えるようになったら、各センテンスの役立ちそうな表現を選んで表現練習をします。

履修上の留意点

コンピュータを利用するので、受講者は最低限のコンピュータの操作ができることが望ましい。コンピュータの操作が出来ない受講者は必ず英文科のコンピュータの授業を合わせ受講すること。受講希望者は第1回目の授業に出席し、説明を聞き、第2回目の授業の時に履修するかどうかをはっきりさせてください。講義の説明を受けないで、履修届を出すことはやめること。

成績評価の方法

毎回授業の最初におこなうテープを使った再現練習の出来具合、学期の半ば及び終了時におこなう試験の結果及び出席を総合的に勘案して成績評価をする。出欠席は重視する。

教科書

テキストは使わない。

参考書等

東後勝明『英会話のリズムとイントネーション』（金星堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現(前期)	岡本誠	短英2選必	4

講義のねらい

英語が話せるようになりたいと願う人は多い。しかし、いきなり話せるようになるものではない。聴く力がまず備わることが前提になっている。つまり listening comprehension の力なくして話せるようにはならない。これは真理である。この講義ではリスニングの力を養い、それをいかに発話に結びつけていくか、つまり、いかに英語で表現してみるか、ということに重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

聴く対象としてはアメリカに関する面白そうな話題を用意している。例えば

- ・アメリカへの移民の歴史
- ・入植者と先住民の対立
- ・黒人の苦勞
- ・Fast food の文化と健康の問題
- ・Walt Disney とその事業
- ・Hawaii の歴史
- etc.

履修上の留意点

こういった話題のテープをダビングし、まず自分で下見ならぬ下聴きをし、授業に臨む。話の展開に応じての英語による質問に英語で答えることが要求される。遅刻は物音をたてるので減点の対象。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。

成績評価の方法

発表力。出席情況。

教科書

教科書の類は使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 (後期)	たかのひでお 高野秀夫	短英2選必	4

講義のねらい

英作文の教科書と英語ニュースで英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意思を伝えることができるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 各授業時間一つのニュースを Natural Speed の英語で聞き、その役立つ英語表現で自由に英文を作る練習を重ねる。
- (2) 教科書に従って授業計画を立てているので、教科書参照。
- (3) A Short Speech は身近な話題を自分の英語で表現する。

履修上の留意点

- (1) 出来るだけ Natural Speed の生の英語に慣れ親しむこと。
- (2) 一日30分間でよいから自分の思ったことを英語で書き表してみること。

成績評価の方法

- (1) レポート
- (2) 中間・期末各1回テスト
 - (a) 英語ニュース
 - (b) 教科書の英作文
 - (c) 自由英作文
- (3) 平常点

教 科 書

- (1) Unique English Composition (Vol I・II)
- (2) TV News Watching・21Approaches

英
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 (後期)	よしのざわえいじろう 吉沢栄治郎	短英2選必	4

講義のねらい

日常使われる表現をできるだけ数多く英訳していきます。1つの和文についていろいろな訳例がありますが、覚えるときは、ごく一般的に使われる言い方ひとつにかぎって確実に身につけておくことを実践するとよいのではないのでしょうか。そうしてからしだいに他の言い方も覚えていくという方法を取るのが得策だろうと思います。

履修上の留意点

授業時には必ず和英辞典を持参して活用するように。

成績評価の方法

テストは2回行ないます。出席状況を見て総合評価とします。

教 科 書

初回の授業時に指示します。

参 考 書 等

『新和英中辞典』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現(前期)	うちやまひろみち 内山浩道	短英2選必	4

講義のねらい

①パブリック・スピーチにおける英語表現法を学ぶ。②会議で使われる英語表現法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

送迎の挨拶や人物紹介などの式辞、祝辞など、英語によるパブリック・スピーチの表現法を学ぶ。待遇表現についての適切さを重視する。これらの習得状況を見て、議事進行等のために使われる英語表現法の学習に移行する。

履修上の留意点

学期中に英語で挨拶のスピーチ・プレゼンテーションや会議場面のロール・プレイをする。

成績評価の方法

学期中に行われる英語によるスピーチ・プレゼンテーションおよびロール・プレイの評価の合計点で判定する。

教科書

教科書は使用しない。プリント等を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語翻訳法(後期)	うめはらとしひろ 梅原敏弘	短英2選必	4

講義のねらい

「A translator is a traitor」(翻訳者は反逆者である)とはよく言われる。これは、完全な翻訳がいかにかに難しいかを指摘するためにしばしば引き合いに出される言葉である。確かに、翻訳は難しいし、所謂「名訳」は一流の翻訳家の「名人芸」によってしか、生み出されないのかもしれない。勿論、この講義で目指すのはそうした「名人芸」の修得ではない。授業やテストの際お目にかかる、妙な、理解に苦しむ直訳からいかに脱し、出来るだけ自然な訳文に近づけるにはどうしたらよいか、その方法を勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

「直訳という名の誤訳」という本が出版されたことがある。直訳が全て誤訳というわけではないが、この本の指摘する通り、英文を正しく理解していなくても、直訳によって、英文を日本語にすることは出来る。しかし、こうした直訳では、正しい意味や微妙なニュアンスを伝えることが殆ど不可能であると言ってよい。意味不明の訳文には、えてして直訳によるものが多い。こうした事態に陥るのは、一つには、英語と日本語の構造の違いを無視して、英語の構文に訳語をあてはめて、英文の構文はほぼそのままにし、語順だけを日本語にするからである。そこで本講義では、直訳を避け、出来る限り自然な日本語訳にするための一つの大きな要素として、英語の構文をいかに日本語の構文に移し変えるかという点を取りあげ、それを重点に講義を進めていくことにする。

授業を3段階に分け、学生の翻訳実習と添削を中心に授業を進める。

第1段階：翻訳の基礎練習。(読み下し練習、辞書の訳語と“定訳”、代名詞と省略、漢語と和語、無生物主語、その他)

第2段階：文法項目を中心とした翻訳練習。(名詞構文と動詞構文、所有格、時制、関係代名詞、形容詞・副詞、仮定法、話法、その他)

第3段階：総合練習。(長文翻訳練習)

履修上の留意点

授業はコンピュータを使って行うので、受講者はワープロ・ソフトを使いこなせるようにしておくこと。

成績評価の方法

学期の中間および後半にそれぞれ試験を行い、成績を評価します。課題をやってこなかったり、正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教科書

使用しません。

参考書等

別宮貞徳著『翻訳を学ぶ』(八潮出版社)
別宮貞徳著『翻訳読本』(講談社)
河野一郎著『翻訳上達法』(講談社)
東田千秋著『直訳という名の誤訳』(南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
通 訳 法 I (前期)	うち やま ひろ みち 内 山 浩 道	短英2選必	4

講義のねらい

通訳の技術を身につけるための基本訓練の理論と方法について講義し、その後で基本訓練の実践にはいる。テキストは和文テキストと英文テキストの両方。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1回～3回：シャドウイングの理論と訓練－聞こえてくるテキストを、そのまま同じ言語の同じ言葉で繰り返す－
4回～最後：ノートテイキングの理論と訓練（リテンションとリプロダクション）－ノートを取りながら原文テキストを再生する－

履修上の留意点

ペヤー・ワークの訓練が多い。

成績評価の方法

課題のプレゼンテーションおよび通訳基本技術の実技を評価する。

教 科 書

『通訳理論研究』論集』（日本通訳学会『通訳理論研究』論集委員会）2004

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
通 訳 法 II (後期)	うち やま ひろ みち 内 山 浩 道	短英2選必	4

講義のねらい

ノートテイキングの技能を基に行う逐次通訳理論の紹介と実践を目標とする。一分間以上で複数のトピックを含み、構造の入り込んだ談話を通訳する訓練である。日英、英日、両方向の通訳。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1回～13回：式辞の挨拶、地理、医療、ビジネス関連の談話、意見交換等の逐次通訳訓練。
14回～最後：サイトトランスレーションの理論と訓練。テキストを見ながら順送りの訳出法で処理する。

履修上の留意点

「通訳法 I」を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

課題のプレゼンテーションおよび通訳基本技術の実技を評価する。

教 科 書

『通訳理論研究』論集』（日本通訳学会『通訳理論研究』論集委員会）2004

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	オーラ, B.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' all-round abilities in English in a small group environment.

講義の内容・授業スケジュール

The content of this course will largely be decided by the teacher and the students as we go along. It will depend on students' interests and goals, but it is anticipated that, in addition to a great deal of free conversation practice, students will read and discuss books and will make formal presentations about films.

履修上の留意点

Students will be expected to have a strong commitment to improving their English abilities.

Only a small number of students who can demonstrate a real determination to get better at English will be admitted to this class.

成績評価の方法

開講時に指示します。

教科書

なし

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	サリバン, C.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The goal of this class is to improve students' speaking. During the lesson, students will practice their speaking skills by asking and answering questions from the textbook, as well as using free conversation. Students will also spend some of the lesson practicing listening skills. Once a week students will record a ten minute free conversation with a partner.

成績評価の方法

Grades will be based on three tests (33%), weekly recorded conversations (33%), and classroom participation and attendance (33%).

教科書

Leo Jones, "Let's Talk", Cambridge University Press.

その他

Cassette Recorder

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	トランブリー, J.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

This course will prepare students for job-hunting by concentrating on further building test-taking skills for the TOEIC test. Students will take practice tests throughout the semester in order to discern their strengths and weaknesses as well as to track their progress.

履修上の留意点

Students will be allowed three un-excused absences throughout the semester. After three un-excused absences, 5 points will be deducted from the student's final grade for each subsequent absence. Eight un-excused absences during the semester will result in automatic failure in the course.

成績評価の方法

Final Exam : 50%
Mid-term : 25%
Homework (vocabulary notebook) : 25%

教科書

The textbook will be chosen based on the level of students enrolled in the course.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A (前期)	モエ, R.A.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

Developing conversational skills is the aim of this course.

講義の内容・
授業スケジュール

The method of instruction and course content will be determined by the number of students enrolled in the class and their level of ability. Students will be expected to develop conversations with emphasis placed on discussion of specific topics of the students' choosing.

履修上の留意点

The course will be conducted as a discussion so it will be imperative that students participate actively.

成績評価の方法

The following formula will be used to determine the final grade.

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{final grade}$$

X = number of unexcused absences

Y = number of unexcused times tardy

Z = average of tests and reports

α = adjustments made by teacher

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教科書

There is no specified textbook for this class so students are free to use any reference materials and resources at their disposal. Use of the Internet is especially encouraged.

参考書等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

その他

Students should talk to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Students will be kept informed of their current grades.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A (前期)	レオーネ, J.V.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The purpose of this class is to help students improve their overall English ability with special emphasis on listening and speaking skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will work in pairs and groups. They should be active in class and participate by using English as much as possible with the teacher and with each other. There will be a variety of speaking activities including role-plays, group discussions, and information gap type interviews. There will also be extensive listening activities and vocabulary work.

履修上の留意点

In this class students should:

- be willing to work and cooperate with others in class.
- be prepared and always have pens, notebooks, texts, dictionaries, etc. with them.
- attend a minimum of 80% of classes.
- provide explanations for all valid absences and tardiness.

成績評価の方法

Students' grades will be based on scores on tests and quizzes (50%) and class participation (50%). Class participation means homework, class exercises, speaking English in class, and attendance...

教科書

To be announced.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A (前期)	ロルフ, M.F.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

This class is a chance for you to show your creative side in English. This class is also your chance to have your written work published!

講義の内容・
授業スケジュール

- A) Each student will write, design and make their own original children's book.
B) As a class, we will design and publish 1 class newspaper or magazine.

Monday classes: You will learn about various forms of children's books. You will also have the chance to write your original children's story. For your final project you will make your own children's book.

Wednesday classes: You will learn about newspaper articles and how they are written. You will also have the chance to write your own newspaper articles. For our final project, each student will contribute at least 1 article to our class newspaper. The class newspaper will be printed and made available to all Komazawa Junior College students.

(There will be some use of computers.)

履修上の留意点

Regular attendance is mandatory.

成績評価の方法

Regular attendance is mandatory in order to get a passing grade in this class. Students are also required to meet the goals (stated above). Higher grades will be given to students who are ambitious and productive in this class.

教科書

none

参考書等

to be announced

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English B (後期)	サリバン, C.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The goal of this class is to introduce different types of written English to students. During the course, students will study the English used in e-mail, songs, advertisements, the Internet, poems, etc. Students will spend the lesson reading, writing, and talking about these different types of English.

成績評価の方法

Grades will be based on three tests (33%), weekly homework assignments (33%), and classroom participation and attendance (33%).

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (後期)	アシュウエル, T.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

This is a course for those second year students who wish to continue to improve their all-round abilities in English, but with an emphasis on oral/aural skills. This is usually a course run with small classes where students get intensive exposure to a native speaker teacher and where there is nowhere to hide for the students!

講義の内容・
授業スケジュール

This will depend on the number of students enrolling for this class. In past years, studying a piece of literature in translation and discussing the book in English has been the normal set-up. However, organising the course around group film presentations or other project work is also possible.

履修上の留意点

Attendance and punctuality are, as ever, important.

成績評価の方法

Participation in class discussion, performance on group tasks, and completion of an assignment will all be assessed.

教 科 書

None (although if we study a novel, you will be expected to buy a Japanese translation).

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (後期)	トランブリー, J.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

This course will teach students useful skills for job hunting. The course will examine topics such as interviewing, speech and presentation making and basic discussion and debate. Students will also take tests in order to discern their strengths and weaknesses as well as their own career and life goals.

履修上の留意点

Students will be allowed three un-excused absences throughout the semester. After three un-excused absences, 5 points will be deducted from the student's final grade for each subsequent absence. Eight un-excused absences during the semester will result in automatic failure in the course.

成績評価の方法

Presentations : 25%
Final : 25%
Mid-term exam : 25%
Class participation : 25%

教 科 書

All materials will be provided by the teacher.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English B (後期)	モエ, R.A.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

Developing conversational skills is the aim of this course.

講義の内容・授業スケジュール

The method of instruction and course content will be determined by the number of students enrolled in the class and their level of ability. Students will be expected to develop conversations with emphasis placed on discussion of specific topics of the students' choosing.

履修上の留意点

The course will be conducted as a discussion so it will be imperative that students participate actively.

成績評価の方法

The following formula will be used to determine the final grade.

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{final grade}$$

X = number of unexcused absences

Y = number of unexcused times tardy

Z = average of tests and reports

α = adjustments made by teacher

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教科書

There is no specified textbook for this class so students are free to use any reference materials and resources at their disposal. Use of the Internet is especially encouraged.

参考書等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

その他

Students should talk to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Students will be kept informed of their current grades.

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English B (後期)	レオーネ, J.V.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The purpose of this class is to help students improve their overall English ability with special emphasis on listening and speaking skills. There will also be a strong focus on increasing practical English vocabulary.

講義の内容・授業スケジュール

Students will work in pairs and groups. They should be active in class and participate by using English as much as possible with the teacher and with each other. There will be a variety of speaking activities including role-plays, group discussions, and information gap type interviews. There will also be extensive listening activities and vocabulary work.

履修上の留意点

In this class students should:

- be willing to work and cooperate with others in class.
- be prepared and always have pens, notebook texts, dictionaries, etc. with them.
- attend a minimum of 80% of classes.
- prove explanations for all valid absences and tardiness.

成績評価の方法

Students' grades will be based on scores on tests and quizzes (50%) and class participation (50%). Class participation means homework, class exercises, speaking English in class, and attendance...

教科書

To be announced.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (後期)	ロルフ, M.F.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

This class is a chance for you to show your creative side in English. This class is also your chance to have your written and spoken work published!

講義の内容・
授業スケジュール

A) Each student will write, design and make their own original book.
(The students may choose the theme of their book.)

B) As a class, we will create and publish 1 spoken word CD.

Monday classes: You will learn about various forms of creative writing. You will also have the chance to write your own short story, poem or essay. For your final project, you will actually make your own book on a theme of your choice.

Wednesday classes: You will learn how to be a dynamic reader. You will have the chance to record what you choose to read. For our final project each student will contribute 1 recorded track for our class CD. The class CD will be produced by the students of this class on a computer and made available to many Komazawa Junior College students.

履修上の留意点

Regular attendance is mandatory.

成績評価の方法

Regular attendance is mandatory in order to get a passing grade in this class. Students are also required to meet the goals (stated above). Higher grades will be given to students who are ambitious and productive in this class.

教 科 書

none

そ の 他

a standard size tape recorder

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
News English (後期)	ハードグレイブ, B.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

The overall goal of this course is for the students to attain a higher level of awareness of current events in the news, both domestic and international, and perhaps get a different perspective on certain issues from that provided by the Japanese news media. Students will be looking at current news, mainly in English, but also in Japanese (e. g. bilingual newspapers), from a variety of sources, such as the internet, the radio, newspapers and magazines. Students will learn that even though they live in Japan, they have ample access to English news sources.

講義の内容・授業スケジュール

Of the four main language skills, that is listening, reading, writing and speaking; we will be focusing on listening and reading, as these two skills are the most vital when attaining news in English. Initially in the course, students will be very dependant on the teacher for guidance, but they will eventually develop independence such that they are able to navigate their way through various English news media to get the information they want. Students will also be encouraged to develop their English vocabulary according to their areas of interest, whether it is business, society, entertainment, politics or sport, etc.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and be punctual. According to department policy, if the students miss a third or more of the classes (approximately 7 per semester), they will fail the course. If students either miss a class, or are late, and can not give a legitimate reason, their Attendance Score will be lowered.

成績評価の方法

Students will receive two separate scores, an Attendance Score worth 25% and an Assessment Score worth 75%, outlined below:

1. Listening Assessment (internet video news) 15%
2. Reading Assessment (online & print Newspapers) 15%
3. Group Research (domestic & international topics) 25%
4. Media Sources (lists of media sources) 10%
5. Vocabulary Booster (vocabulary notebooks) 10%

教科書

No textbook is required for this course. Photocopies will be provided by the teacher. A floppy disk will be necessary for saving some research assignments.

参考書等

Students will be instructed to purchase certain bilingual and English newspapers (e. g. the 週刊 ST and The Daily Yomiuri) during the course. Students will also be required to visit the library magazine room—'zashishitsu', to access foreign newspapers (e. g. The Washington Post). And access to the following is advisable; a bilingual TV (for *NHK bilingual news*), a radio which receives *IntrFM FM76. 1* and *AFN AM810*, and an online computer.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
English through Movies (後期)	おがもと まこと 岡 本 誠	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

映画が嫌いだという人はまずいない。邦画でなければ、世界を席捲しているハリウッドものになってしまい、いきおい英語が飛び交うことになる。その映画を手段にして英語を勉強しよう、というのが本講義のねらいとするところで、「エーガでエーゴ」というのがモットーである。

講義の内容・
授業スケジュール

しかし、いわゆる「アクションもの」というか「刑事もの」というか、カーチェイスがあったりとかいう「ドカン!バキューン!」の類は我々英語を外国語とする者にとっては勉強にならない。勉強するのにわざわざ“汚ない英語”を目標とすることはないのである。外国語を勉強するときは、その国の王様や大統領とも話せるような言葉を身につけるべきだ。そこで、担当者の好みのせいもあるが、落ち着いた雰囲気のものいい作品を対象とする。

また逆に、邦画を観て、登場人物の台詞をいかに要領のいい英語に訳すか、ということも行ないたい。つまり、逆トグ・ナツコをやるのである。どちらにしても、事前にシナリオをこちらから提供する。

履修上の留意点

シナリオを事前に自分で吟味し、対訳を考えてみること。ケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

発表状況。小テスト。出席情況。

教 科 書

教科書の類は使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語とコンピュータ I (前期)	ブラック, A.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The central aim of this course is to help students overcome any anxiety they may have with computers and the Internet, to expand their understanding of and confidence in using the computer as a tool for their studies, and to improve their English proficiency, especially concerning writing.

講義の内容・ 授業スケジュール

A broad range of fun and informative activities will be completed during the course of this class. Students will gather information from the Internet and write reports, keep a key-pal journal and learn how to produce their own homepage. Each student will receive as much personal attention as possible and assignments will be tailored to each student's ability.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. As a rule, six or more unexcused absences will result in a failing grade. Additionally, since assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

成績評価の方法

Attendance	25%
In-class Participation, Homework Assignments & Notebook Folders	50%
Final Activity	25%

教 科 書

No textbook will be used in this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.

参 考 書 等

Students are required to bring both a Japanese-English dictionary and their notebook folders with them to each class.

そ の 他

Due to the small number of computers present in the classroom, the number of students allowed to enroll in the class will be limited. If the number of interested students exceeds the number of computers available, a computer proficiency test will be administered and students will be selected based on the results. Thus, if you are interested in taking this class, be sure not to miss the first class. The class will be conducted bilingually and we will make use of Windows computers primarily.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語とコンピュータⅡ (後期)	ブラック, A.	短英2選(一類)	2
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

The central aim of this course is to help students gain more confidence in their computer proficiency, to train students in the use of business applications, specifically Microsoft Office, and to improve their English business skills, such as writing business letters and resumes as well as preparing presentations.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will improve their facility with word processing software and various business applications such as Excel, Word, PowerPoint, and FileMaker (as time allows) through completing weekly assignments. By the end of the class, students should have gained confidence in data processing, word processing and the production of business presentations. Each student will receive as much personal attention as possible and assignments will be tailored to each student's ability.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. As a rule, six or more unexcused absences will result in a failing grade. Additionally, since assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

成績評価の方法

Attendance	25%
In-class Participation, Homework Assignments & Notebook Folders	50%
Final Activity	25%

教 科 書

No textbook will be used in this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.

参 考 書 等

Students are required to bring both a Japanese-English dictionary and their notebook folders with them to each class.

そ の 他

Due to the small number of computers present in the classroom, the number of students allowed to enroll in the class will be limited. If the number of interested students exceeds the number of computers available, a computer proficiency test will be administered and students will be selected based on the results. Thus, if you are interested in taking this class, be sure not to miss the first class. The class will be conducted bilingually and we will make use of Windows computers primarily.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
同 時 通 訳 入 門 (後期)	モ工, R.A.	短英2選(一類)	4
		短英2選必(二類)	

講義のねらい

To introduce and teach students basic simultaneous interpreting skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will be taught the principle and method of interpreting simultaneously through actual interpreting exercises. Interpreting exercises will first be English to Japanese and then later Japanese to English. Two students will be randomly selected; one will speak naturally without pause and the other will simultaneously interpret.

履修上の留意点

The ability to speak smoothly, loudly, clearly and correctly is essential to this course. Students, therefore, are expected to prepare adequately before class. This means being able to present a 30-second talk in either Japanese or English without error. Failure to adequately prepare before class will result in low grades. This course is devoted to interpreting skills, so students with English language problems should work on those problems in other classes and outside of class.

成績評価の方法

Students will be evaluated on the accuracy of their interpretation, their delivery, pronunciation, grammar, and modulation. Each of these is evaluated on a scale of 0 - 5, with 5 being the highest, and then the total multiplied by 4. This provides a Score for one paired interpreting effort. Normally, students will be paired twice for two interpreting evaluations. The two scores, ST 1 and ST2, are used in the following formula to determine the Current Grade:

The following formula will be used to determine the Current Grade:

$$((100 - 10X - 5Y) + (ST 1 + ST 2)) / 3 = \text{Current Grade}$$

X = number of unexcused absences

Y = number of unexcused times tardy

ST 1 = evaluation for first interpreting effort average

ST 2 = evaluation for second interpreting effort average

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The Current Grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教 科 書

There is no specified textbook for this class so students are free to use any reference materials and resources at their disposal. Use of the Internet is especially encouraged.

参 考 書 等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

そ の 他

Students should talk to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Students will be kept informed of their current grades.

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ I (前期)	野崎芳秀 <small>の ぎき よし ひで</small>	短英1選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております。実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています。今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。情報処理の業務には、必ず第一にデータの入力、すなわちコンピュータの入力装置（マウス、キーボード）を使って正確で敏速な入力技能が必要です。次にコンピュータの心臓部である OS〔Operating System〕（アプリケーションソフトは OS の基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です）の基本操作、次に代表的なアプリケーションソフトの基本操作等、以上基本操作を中心にパーソナルコンピュータを使用して繰り返し操作を行う事により、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

- 4～5月 入力装置（マウス、キーボード）の操作練習
ハードウェアの基本的な操作
電子メールの送受信
- 6～7月 OSの基本操作、
ワープロソフト（Word）を使用して文書の作成及び編集
表計算ソフト（Excel）を使用して表の作成及び機能習得

履修上の留意点

操作を繰り返す事で技能を身につけるため、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多くつくってください。基本操作の積み重ねですから、授業を欠席した場合等は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は4号館の自習室を利用しましょう。ただし、自習室は使用登録申請が必要です。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教科書

正式の教科書は特に有りません。
データ保存用フロッピーディスク（3.5インチ2HD）を2枚が必要です。
駒澤大学発行（KOMAnet）の電子メールアドレスが必要です。

参考書等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ I (前期)	湯浅陽子 <small>ゆあさ ようこ</small>	短英1選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータが普及し、実社会では職種に関係なくコンピュータを扱えることが就職の基本条件となっています。コンピュータ、そしてネットワークを道具として使いこなすための知識と技術(=情報リテラシ)を身につけることは、「読み・書き・そろばん=計算」技術を身につけることと同様に、現代人にとって必須と言えます。

この授業は、高校までの間にコンピュータに触ったことが無い、または触ったことはあるが、どのように使えばよいのか分からない人など、基本的に初心者を対象とします。

パソコンを使いこなすには、タッチタイピング技能(=手元を見ないで打つ技能)が必須となります。まずこれを短期間に集中練習し、そのうえで、情報リテラシを各自が身につけることを目標とします。授業は一人1台のパソコンを使つての実習を中心に、講義を適宜交えて進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は次のような三部構成で進めます。

パート1：その日に扱うテーマを説明します。続くパート2での実習の予備知識を得、必要に応じてテキストを確認します。主なテーマは次のとおりです。

タッチタイピングの練習方法

パソコンの基本操作

簡単な文書作成

ファイルとフォルダの管理

効率の良い文書の編集

インターネット、WWW

電子メールの基礎知識(添付ファイル)

レポート・論文の書き方(参考文献の引用のルール)

ワードのヘッダーとフッター、脚注の挿入

簡単な表の作成とグラフ

数式を使用した表の作成

エクセルのヘッダーとフッター

ウィンドウの分割

パート2：テキストにしたがって、実習をしながらコンピュータの知識と技術の定着をはかります。授業スケジュールに関する詳細については、KOMSYの詳細情報画面をご覧ください。

パート3：タッチタイピング技能習得(Typequickの自習)の進捗を、レッスン結果印刷を提出することで確認します。

履修上の留意点

入学式後に行なわれる総合情報センターのオリエンテーションに出席して、コンピュータのユーザー登録を行わないIDを必ず取得してください。IDが無いとパソコンを使う権利がありません。このオリエンテーションを受けないとID発行が遅れ、授業の進行に支障をきたしますので、授業開始時にIDを取得していない方の受講はお断りします。オリエンテーションを受けてIDが発行されますと、同時にメールアドレスを取得することになり、大学のパソコンでEメールを受発信できるようになります。

コンピュータを使いこなせるようになりたいければ、授業を欠席しないことが肝要です。病気等でどうしても都合がつかない場合は、KOMSYの詳細画面で欠席日の課題を確認し、自習で補ってください。テキストや必要なプリントを忘れないこと。必需品を忘れた場合は授業前に友人にコピーさせてもらうなどの手当てをして授業に臨みましょう。教場内での飲食物摂取は禁止です。

コンピュータ1修了に見合う技能を、すでに高校までの間で習得してきた学生は、担当教員と相談のうえ、1を免除し後期のコンピュータ2を受講できるように配慮しますが、それ以外の学生は、コンピュータ1を受講していなければ2を受講することはできません。

成績評価の方法

出席を重視します。また、10分間の入力スコア結果も重要なポイントになります。この他、タッチタイピング習得のために自習した練習時間の合計、指示に従って作成した提出物の良否、必需品を忘れないなどに顕れる授業への参加度などによって総合評価を行います

教科書

授業開始時に指示します。

参考書等

適宜、授業中に指示します。

その他

「基本が大切」とは、よく言われることですが、パソコン操作も基本が大切なことになりはなりません。パソコン操作の基本とは、すなわちキーボード操作です。Windowsの出現以

来、専門家や一部の愛好者ばかりでなく、誰もが触れるようになったパソコンですが、マウスの操作だけではパソコンの機能のうち、ほんのわずかなことしかできません。

ワープロによる文書作成も電子メールもキーボードによる文字入力を中心であり、現在専門家としてパソコンを操作している人も初めはキーボードの入力から覚えていったのです。初心者にとっては、大きなハードルとなるキーボードですが、情報化がすすむ社会では不可欠の技能と言えます。

最良の学習環境を確保するために、場合によっては人数制限を行います。その場合は、第1回目の授業時に抽選して受講者を決定し、受講許可書を発行します。どのコンピュータ1&2の授業も、承諾無しに履修登録をすることはできませんので注意してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コ ン ピ ュ ー タ Ⅱ (後期)	野 崎 芳 秀	短英1選	2

英
文
科

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております。実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています。今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。コンピュータの心臓部であるOS〔Operating System〕(アプリケーションソフトはOSの基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です)の操作を学び、良く使われているアプリケーションソフト(ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーション等)の豊富な機能を習得し、幅広い実務に使えるように、パーソナルコンピュータを使用して、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

なお、本講義を受講するためには、コンピュータⅠを受講済みであるか、もしくはそれと同等の操作が出来ることが必要です。

講義の内容・
授業スケジュール

9～10月 OSの基本操作の修得
ワープロソフト(Word)を使用して表現力のある文書の作成及び編集を学ぶ
10～11月 表計算ソフト(Excel)を使用して表の作成、グラフの作成及びデータベース機能を修得し、実戦的な資料を作成して学ぶ
12～1月 プレゼンテーションソフト(PowerPoint)やホームページ作成ソフトを使用してパソコンを使つての表現力を学ぶ

履修上の留意点

授業に入る前にその日の資料を配布しますので、遅刻をしない事。アプリケーションソフトは多くの機能を学びます、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多くつくってください。授業中に作品が完成出来なかつたり、授業を欠席した場合等は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は4号館の自習室を利用しましょう。

ただし、自習室は使用登録申請が必要です。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教 科 書

正式の教科書は特に有りません。

データ保存用フロッピーディスク(3.5インチ2HD)を1枚が必要です。

駒澤大学発行(KOMAnet)のメールアドレスが必要です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータⅡ (後期)	湯 浅 陽 子 <small>あさ よう こ</small>	短英1選	2

講義のねらい

コンピュータは問題解決のための道具です。この授業では、コンピュータⅠに引き続き、パソコンを利用して自己表現したり、問題を解決したりするための知識・技術を身につけることを目標に、現在一般的に使われているパソコンの基本的なソフトウェアについて学びます。授業はパソコンを使つての実習を中心に、講義を適宜交えて進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業は次のような三部構成で進めます。
 パート1：その日に扱うテーマを説明します。続くパート2での実習の予備知識を得、必要に応じてテキストで確認します。主なテーマは次のとおりです。
 タッチタイピングの練習成果確認
 エクセルのデータベース機能
 実例で学ぶエクセル（見積書の作成等）
 関数を使用する表の作成
 数学／三角関数、統計関数、検索／行列関数、データベース関数
 実例で学ぶビジネス文書（社内文書／社外文書）
 電子メールにおけるビジネス文書
 レポート・論文の書き方の確認
 参考文献の引用のルール、添付ファイルでレポート提出の方法（圧縮ファイル）
 パート2：テキストにしたがって、実習をしながらコンピュータの知識と技術の定着をはかります。授業スケジュールに関する詳細については、KOMSYの詳細情報画面をご覧ください。
 パート3：タッチタイピング技能習得（Typequick／ビジネスキーボードトレーニング等）の進捗を確認します。

英
文
科

履修上の留意点

この授業を受けるには、5つあるうちのどれかのコンピュータ1を受講、もしくは高校生の時に既にタッチタイピングの習得やWord、Excelの基本的技能を習得済みであることが必要です。コンピュータの台数の関係で場合によっては人数制限があります。この授業の履修登録も、コンピュータ1同様、あらかじめ担当教員の許可を得ることが必要です。前期に行う同時限のコンピュータ1に続いて、同じ時限の2を希望する場合は2の受講許可書も同時にもらってください。

同時限に前期は他の科目を履修希望する場合には、最初の時間は先にそちらの授業に出て、その後必ず短大英文科事務室に行き、後期にこの授業を履修できるか否かを確認してください。例えば、コンピュータ1を野崎先生の授業を履修し、後期は湯浅のこの授業を履修することもあり得ます。その場合は必ず双方の科目担当者にその旨を伝えてください。

入学式後に行なわれるオリエンテーション期間中の総合情報センターの説明会に出席して、コンピュータのユーザー登録を行ないIDを必ず取得してください。IDが無いとパソコンを使うことができません。このオリエンテーションを受けないとID発行が遅れ、授業の進行に支障をきたします。授業開始時にIDを取得していない方の受講はその時点で受け付けられませんので、気をつけてください。オリエンテーションを受けてIDが発行されますと、同時にメールアドレスを取得することになり、大学のパソコンでEメールを受発信できるようになります。

成績評価の方法

出席を重視します。また、10分間の入力スコア結果も重要なポイントになります。この他、指示に従って作成した提出物の良否、必需品を忘れないなどに頭れる授業への参加度・熱心さなどによって総合評価を行います。

教科書

適宜、授業中に指示します。

参考書等

適宜、授業中に指示します。

その他

コンピュータを使いこなせるようになりたければ、授業を欠席しないことが肝要です。病気等でどうしても都合がつかない場合は、KOMSYの詳細画面で欠席日の課題を確認し、自習で補ってください。テキストや必要なプリントを忘れないこと。必需品を忘れた場合は授業前に友人にコピーさせてもらうなどの手当てをして授業に臨みましょう。教場内での飲食物摂取は禁止です。

受講予定していたけれども、後期になって受講を取り消す場合もあり得るでしょうが、キャンセルを決めた時点で、短大英文科事務室に行つて、その旨を伝えてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネス実務総論 (前期)	もりもと まさえ 森 本 正 恵	短英1・2選	2

講義のねらい

高度情報化社会にともない、社会のグローバル化、少子・高齢化など私たちを取り巻く社会環境の変化は著しいものがあります。

このような中で求められているのは、自律した個性ある創造性豊かな人材であり、働き方も営利・非営利を問わず多様化しています。

ビジネス社会において求められる能力とは何か、ビジネス実務について理解を深め、知識・技能だけでなく人間を知り、文化の違いを感じとって、社会に広がるビジネス実務の「実践の知（知恵・知識・技術）」を創り出す人間としての基本を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. ビジネス実務とは何か 1
3. ビジネス実務とは何か 2
4. 個人業務とマネジメント
5. 協働業務とマネジメント
6. ビジネス実務を支える基本1
7. ビジネス実務を支える基本2
8. ビジネス実務を支える基本3
9. これからのビジネスワーカー
10. これからのビジネスとビジネスワーカー

履修上の留意点

講義と演習問題によるグループ討議など参加型学習で授業を進めます。各自の個別学習（予習）と全員での学習を効率よくかみ合わせ、発表の機会などを設け自分の考えが表現できるように創造的学習を行います。

欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心掛けること。

止むを得ず欠席した場合、課題などを確認し自己学習によってカバーしておくこと。

成績評価の方法

出席およびレポート提出を重視します。毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識を持ち、自分で考え、自分の言葉で表現できるようになることを望みます。

課題は、指定された提出日に必ず出すこと。期限の遅れたものは評価しない。

2年生は就職活動で欠席を余儀なくされることもありますが、欠席の届を出したうえ「就職活動の報告」を翌週に発表してもらい、欠席分を補えるものとします。

教科書

森脇 道子 編著『ビジネス実務総論』（実教出版）2000年刊 2,200円

参考書等

授業のなかで適宜、示します。

その他

1. オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと
2. 出席を重視するので、止むを得ず欠席する場合は、必ず届を提出すること
3. 授業中私語が多かったり、遅刻して他人の迷惑になるような行動は慎むこと
4. 授業中は、大人の女性としての意識を持ち行動するように心掛けること

科目名	担当者名	配当学科	単 位
オフィス実務演習 (後期)	もり もと まさ え 森 本 正 恵	短英1・2選	2

講義のねらい

急激なビジネス社会の変化に気づき、理解し、対応できる能力を身につけることを目指します。『ビジネス実務概論』で学んだことを基礎に、企業で働くために必要とする実務能力を修得します。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
2. ビジネス実務とは
3. 仕事の流れと進め方
4. タイムマネジメント
5. 職場のコミュニケーションと人間関係
6. ドキュメントコミュニケーション
7. 会議とコミュニケーション
8. 社交コミュニケーション
9. キャリアプランニング
10. IT時代の働き方

履修上の留意点

グループ別で進めることが多いため欠席してメンバーに迷惑をかけないこと。
基本的事項については個別学習(予習)により理解をしておくこと。
クラスでは、創造的学習を目標とする。
・課題に対して自分の考えを人に伝えられるようになること。
・疑問や質問は積極的に発言すること。
『ビジネス実務総論』をベースに授業を組み立てていますので、共に受講することを勧めます。
また、就職対策にもなるので1年次で受講するのが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席を重視します
2. 筆記テスト
3. レポート提出
4. その他：検定取得、授業への参画意欲等の総合的評価

教科書

鎌田和江・大津洋子編著『新ビジネス実務の基本』(嵯峨野書院) 2001年刊 2,400円

参考書等

プリントの他、授業で示します

その他

出席、レポート提出を自己管理できること。
欠席の場合、必ず理由を明記した届を提出すること。
連絡先：morimom@komazawa-u.ac.jp
TEL&FAX：0467-33-1631

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オフィス・マナーズ (前期)	もり もと まさ え 森 本 正 恵	短英1・2選	2

講義のねらい

ビジネス社会で組織を構成している人たちの世代は、学生時代とは異なっている。顧客、上司、先輩、後輩と多種であり、しかも、それぞれの年代も異なる。オフィス・マナーは、このような世代を超えて、人と人との人間関係を良好に結ぶために、お互いを尊重し好印象を与えて業務を推進するための基本的な心得である。オフィス・マナーを心得ていることは、自分も相手も大切にす人間としての基本であるといえる。

社会人となって活躍するためには、オフィス・マナーズの習得と実践が不可欠である。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方、評価について：第1章 ビジネス社会の常識)
2. ビジネス社会での人間関係
3. 第2章 仕事をするための基礎知識：好感をもたれる服装、挨拶、言葉づかい
4. 仕事のすすめ方：仕事への取り組み方と確実な仕事の基本
5. 第3章 ビジネスマナーの基本：敬語の種類と使い分け
6. 電話応対の基本と応用：電話のかけ方と受け方、取次ぎ電話、伝言を受ける場合
7. 来客応対の基本：訪問のマナー－訪問の心得、名刺の扱い
来客応対－心構え
8. 来客応対の応用：受付、取次ぎ、案内、接待、見送り
9. 社会人としてのつきあい：冠婚葬祭の知識とマナー
10. 慶弔のマナー
11. 贈答と交際業務：中元・歳暮、お見舞い、接待・食事のマナー
12. テスト

履修上の留意点

グループワークによる実習を主体に進める。遅刻、居眠り、欠席などメンバーに迷惑をかける人の受講は望まない。受講者数を50名に制限するので、受講希望者は、第1回目の授業に必ず出席すること。授業に積極的な学生の参加を主体とするので、当日、受講希望についてレポート(400字程度、連絡先明記)を作成するので提出すること。結果は2、3日中に連絡する。

成績評価の方法

出席及びレポート提出もテストと同様に重視する。期限の送れた提出物は評価しない。予習、復習を自分できちんとしておくこと。ロールプレイングの実技テストも課する。

教 科 書

青木テル著『ビジネス・マナー』(早稲田教育出版) 1995 1,262円

そ の 他

欠席の届は、必ずしておくこと。やむを得ず事後の場合も下記へ届けること。

連絡先：miki.morimoto@nifty.com
morinom - 228@ezweb.ne.jp
0467 - 33 - 1631 (tel&fax)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
プレゼンテーション・スキルズ (後期)	湯 浅 陽 子 <small>あさ よう こ</small>	短英1・2選	2

講義のねらい

これからのオフィスワーカーに求められる、最も基本的で重要な能力はプレゼンテーション能力である、ということがILOのレポートや厚生労働省の調査結果などにより明白になっています。IT化が進みグローバル時代になった今、これまで日本人には不得手とされていた、積極的な自己表現力が求められるようになってきているのです。

本講義では、実社会で求められるプレゼンテーションの仕方と、効果的な「表現力」について学び、学生時代に授業の中でそれを実践できるスキルを養成します。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 プレゼンテーション入門
- 第2回 プレゼンテーションへの準備
- 第3回 プレゼンテーションを成功させる話し方の基本
- 第4回 構成が命—話の構成を作る技法
- 第5回 自己紹介
- 第6回 フリートーク
- 第7回 パブリック・スピーキング
- 第8回 ゼミ発表
- 第9回 効果的な資料の作成：「学生生活」を語る準備（1）
- 第10回 効果的な資料の作成：「学生生活」を語る準備（2）
- 第11回 資料を使ったプレゼンテーションの実践（1）
- 第12回 資料を使ったプレゼンテーションの実践（2）
- 第13回 授業全体のまとめ／学生アンケート

履修上の留意点

この授業はコンピュータ室で行います。コンピュータの台数の関係で人数制限があります。後期の授業ですが、前期の履修登録日に登録しておかなければなりません。ただし、この授業の履修登録も、コンピュータ1&2同様、あらかじめ担当教員の許可を得ることが必要です。受講許可書は、前期授業開始日から履修登録前日までの間に、短大英文科事務室にて「先着順」に発行します。定員になり次第締め切ります。

成績評価の方法

毎回の出席（25%）、ワークシートの提出（25%）、プレゼンテーション発表点：構成&表現力（30%）、ビジュアル資料作成点（20%）の総合点で評価します。

教科書

福永弘之監修『プレゼンテーション演習1：キャンパスライフとプレゼンテーション』（樹村房）2002

参考書等

「効果的な資料作り」の回で、Microsoft社のPower Pointを使用します。使い方は口頭で説明しますが、詳細を知りたい方は、Power Pointの解説をしている本（どこの出版社でもよい）をご用意ください。

その他

コンピュータを起動するためにIDが必要です。入学式後のオリエンテーション期間中に行なわれる総合情報センターの説明会に必ず出席して、コンピュータのユーザー登録を行なってIDを取得してください。授業開始時にIDを取得していないことが判明した学生の受講は、その時点で取り消されますので、気をつけてください。

この授業は Semester制では無いので、週1回の授業です。回数の少ない授業ですので、病気以外の欠席は認めません。病気でどうしても欠席せざるを得なかった場合は、KOMSYの詳細画面で欠席日の課題を確認し、自習で補ってください。2年生の就職活動時に授業で習ったことを活かしたいので、1年次での履修をお勧めします。

テキストや必要なプリントを忘れないこと。必需品を忘れた場合は授業前に友人にコピーさせてもらうなどの手当てをして授業に臨みましょう。教場内での飲食物摂取は禁止です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ジャーナリズム研究	はたの 旗野 寿雄	短英1・2選	4

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースの取材方法や報道のあり方を実際に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材（マスメディア志望者）、あるいは、情報をうのみにせず、冷静に解説・判断できる人間（読者）を育成する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。

記者やアメリカ生活などの経験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、アメリカの新聞記事の読解や日米ジャーナリズムの比較なども試みる。新聞社や新聞博物館の見学も行う。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、学習結果を応用したレポート、記事スタイルの簡単なレポート、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して点数をつける。

教科書

使用しない。毎日の新聞を教科書として欲しい。

参考書等

その都度指示する。

その他

私語厳禁、公語（意見発表）歓迎。

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネスイングリッシュ	まちい やすし 町井 靖	短英1・2選	4

講義のねらい

『商品の輸出入に関する英文の手紙』を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オフア、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階でよく使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるので、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語教育法 A (前期)	新谷涼子 <small>しん たに りょう こ</small>	短英1・2選	4

講義のねらい

外国人が日本語を学ぶ際に、どのようなことが問題になるのかを見ていくことによって「ことば」というもの、そして外国語を学ぶということを改めて捉えなおすことが第一のねらいです。具体的には、現代日本語（以下日本語）を客観的に観察し分析する、異文化コミュニケーションにおける諸問題に目を向け考察する、ということに取り組んでいきます。これらの問題を自ら考え、表現していくという作業を通して各自が日頃使用している日本語の再検討および日本語によるコミュニケーション能力の向上、そして日々の英語学習への有効活用をしてほしいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1、2) オリエンテーション、概論
- (3、4) 日本語の音声
- (5、6) 日本語の文法
- (7、8) 日本語の語彙
- (9、10) 言語行動
- (11、12) 異文化コミュニケーション (13) まとめ

履修上の留意点

毎週、次回の課題を出すので必ずそれについて自分なりの答えを用意した上で授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

出席状況も含めた授業への参加態度及び提出物の内容、学期末試験の結果によって総合的に評価します。

教科書

随時プリントを配布します。

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語教育法 B (後期)	新谷涼子 <small>しん たに りょう こ</small>	短英1・2選	4

講義のねらい

日本語教育法 A の講義内容を発展させた形で行います。引き続き日本語を客観的に見る目を養うことを目的としますが、本講義では各自が関心のある事象をとりあげ、より深く分析し観察する場を設けていきます。また日本語教育、ひいては語学教育が具体的にどのような手順で行われているかにも目を向け、それを実際に体験する機会も作っていきます。人と人が直に触れ合う「教える」という作業の基本はコミュニケーションのとりかたにあると思います。受講者の皆さんには本講義の活動を通して自分のコミュニケーションパターンを見直し、さらにコミュニケーション能力を高めてほしいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

- (予定、一部変更の可能性あり)
- (1、2) オリエンテーション
日本語教育の全体的な流れ
- (3～6) コースデザイン
- (7～10) 授業の組み立て、準備
- (11～12) 模擬授業 (13) まとめ

履修上の留意点

毎週、次回の課題を出すので必ずそれについて自分なりの答えを用意した上で授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

出席状況も含めた授業への参加態度及び提出物の内容、学期末試験の結果によって総合的に評価します。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
表現法（話すこと） （前期）	はぎ 原 よし お 秋 原 義 雄	短英1・2選	2

講義のねらい

《パフォーマンス》

1. 話すこと

話し方には一対一で向かい合って特定の人と話す話し方と、複数の人に対して語りかけるように話す人前での話し方とがあります。このとき、同じ日本語でも標準語でなく自分の生まれ育った地域のことばで話すとしたら、この話し方はどう変貌するであろうか……。たとえば、青森出身の人と鹿児島出身の人が話しをしたら、どうでありましょう。また、言葉の豊富な多様性の高い人とまったくことばの知らない人とが会話したらどうなるでしょうか。さらに、話し手の発話テンポはどう影響するのでありましょうか、実際の話し方のパフォーマンス表現者たちを毎回授業時間にお招きし、その会話表現の奥義を掴み取って見ようではありませんか。このことから、その話し方の特性について解明を進めて見たいと考えています。話し方のパフォーマンス表現者をゲストに迎え、トーク・ディスカッションを交えながら、とっときな乙なお話を聞かせていただくとともに、その会話の魅力に迫ってみたいと考えています。

2. よむこと

声にだして読む、これを“朗読”といいます。声に出さずして目でおって読む、これを“黙読”といいます。後者の“黙読”は、どの程度のスピードで、どの程度理會して読んでいるのか第三者には定かではありません。ですが、前者の“朗読”については、声の質や抑揚で、ある読み上げのテンポ・リズムカルさなどから、朗読する側の伝達感覚状況をつぶさに知ることになります。ここでその読み方について「音曲・語り・落語」などの多種多様の観点から考察を試みてみたいと思います。

履修上の留意点

情報センター教室を使用のため、人数制限があります。

成績評価の方法

課題は、毎回お招きした方々からの貴重な意見やその洞察力を素に自らがどこまでそれらの話し方のパフォーマンスを習得しえたか、そこから得た実際の密度の高い能力を、最後に四分間スピーチとしてまとめて表現していただきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
表現法（書くこと） （後期）	ほぎ 原 義 雄 萩原 義雄	短英1・2選	2

講義のねらい

《パフォーマンス》 次世代を超越して、人と人が出会うことのできる記憶媒体の形態として「書く」というパフォーマンスが存在します。何千年・何百年の過去の人物との出会える、いわば未来に残し、伝えようとするメッセージ作成システムでもあります。これを受信した人が、これをどう見つめ、どう捉え、どう表現しているものでありましょうか。実際、書くことのシステム領域を認識し、その書きぶりを知り、次にあなた自身が次の世代へ伝えていくメッセンジャーとして書く技術をどう生かしていくかを含め、大いに考えてみたいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

前期の最後に実施した話すパフォーマンスをこんどは画像と文字という形態を用いて活写していきます。多くの書く要素を私自身が皆さんに毎回問いかけ、これをキャッチしていただき電子の紙芝居を作っていくを試みます。書くことの素晴らしさ、楽しさを存分に味わって見てください。

- 1 電子紙芝居とは、いったいどんなものか？ 実際、プレゼンテーションします
- 2 電子紙芝居（「パワーポイント」の操作と手順）の説明
- 3 画像面を最低十枚を設定構成してみます 画像面のファイル取り込みと加工
- 4 画像に併せてセリフ文章を収録します 複写→再編成
- 5 このなかに、名言名句・慣用句・四字熟語などをちりばめて調和の取れた文脈にしてみましよう
- 6 接頭辞「御（お、み、ゴ、ギョ）」を用いた表現がどの程度反映されているかを知覚してみましよう
- 7 象徴語表現（オノマトペア）を入力し、場面を引き立ててみましよう
- 8 二人称会話表現をとりいれ、会話表現がなされたものとしてみましよう
- 9 作品提出し、これを実際に動かして見ましよう

履修上の留意点

履修希望者は、前期開講の「表現法（話すこと）」の第1回目の授業に出席し、受講許可を受けること。

成績評価の方法

電子紙芝居による作品の提出をもって評価します。画像面は最低十画面とし、はじめと終わりまでが一続きのものとして仕上げてください。評価は、4から8までの講義課題を基準点としまして採点します。

英文科

II 專 門 教 育 科 目

3 放 射 線 科

放射線科

II. 専門教育科目

(3) 放射線科

原子核物理学	〈永井喜則〉	311
放射線機器工学	〈奥山康男〉	311
放射線学演習	〈西尾誠示〉	312
医学英語	〈吉川宏起〉	312
情報工学	〈近藤啓介〉	313
応用計測学	〈小山正希〉	313
放射線学基礎演習	〈氏家盛通〉	314
放射線学基礎演習	〈熊坂さつき〉	314
放射線学基礎演習	〈佐藤昌憲〉	315
放射線学基礎演習	〈近藤啓介〉	315
放射線学基礎演習	〈山本裕右〉	316
放射線学基礎演習	〈吉川宏起〉	316

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
原子核物理学	ながい よしのり 永井喜則	短放2必	2

講義のねらい

放射線物理学で学習した内容を基礎とし、原子核と放射線に関する講義を行う。特に α ・ β 壊変と γ 線放射は、今後、放射性同位元素の応用を考える上での基礎となるものである。正確な理解をすると共に、他の科目との関連を意識しながら受講すること。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子核の性質（構成粒子、質量、結合エネルギー、核力、核模型、磁気モーメント）
2. 放射性壊変（放射能、 α ・ β ・ γ 線、壊変図）
3. α 壊変（ α 線のエネルギー、ガイガーヌッタルの法則、トンネル効果）
4. β 壊変（ β -壊変、 β +壊変、 β 線のエネルギー、電子捕獲、カリブプロット）
5. γ 線放射（ γ 線の角運動量、核異性体、内部転換、メスbauer効果）
6. 核反応（核反応の種類、Q値、しきい値、核反応断面積、複合核、光核反応）
7. 中性子（中性子の性質、中性子発生源、エネルギーによる分類）
8. 原子炉（核分裂と放出エネルギー、中性子の減速、原子炉の構造、中性子捕捉療法）

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするように心がけてほしい。講義の後には、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験以外に中間試験を2回行い、その結果から成績を評価する。出席は重視する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

上原周三著『放射線物理学』（南山堂） 田島英三著『原子核物理概論』（地人書館）
鷲見義雄著『原子核物理入門』（裳華房）

その他

授業の中では演習問題を解くこともする。電卓を用意しておくこと。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線機器工学	おく やま やす お 奥山康男	短放2必	2

講義のねらい

診断用X線発生装置をはじめとする各画像診断装置の基本原理解、構造、特性などについて学び、装置を取り扱うための基礎知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、X線管装置から単相、三相全波整流式X線装置について。後期は、インバータ式、コンデンサ式、自己整流式X線装置やX線TV装置ならびに他の画像診断装置についての概要を講義する。

履修上の留意点

放射線機器工学を理解するには、電気工学、電子工学、物理学などを併せて履修する。基本的事項を理解して身につけることが必須であるため重視したい内容となる。

成績評価の方法

出席状況、学内定期試験により評価。

教科書

青柳泰司ほか編『新版 放射線機器学（I）』（コロナ社）4,935円

参考書等

岡部哲夫ほか編『放射線診断機器工学』第2版（医歯薬出版株式会社）5,250円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学演習	にし おせい じ 西尾誠示	短放3必	2

講義のねらい

放射線科の課程全科目の理解を深めることを目的とし、総合的な評価が行われる。即ち学生が診療放射線技師として最低限必要な知識を習得し、日常業務を遂行するに耐えうる能力、学力を身につけることをこの授業の目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

専門科目に応じてそれぞれ担当教員が講義を行うが、学生が主体となって教員支援のもとに国家試験対策を強化してゆく。ゼミ形式の学習体制をつくり、学生の能力、到達度に応じた指導を行う。

履修上の留意点

到達点に達しない学生は特別講義の受講と学内自習を課す。

成績評価の方法

1月、2月に行う定期試験を基準にする。

教科書

『診療放射線技師国家試験対策全科（17年度用）』（金芳堂）8,500円

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
医学英語	よし かわ こう き 吉川宏起	短放2選	1

講義のねらい

医学領域では診療情報の伝達に英語が頻繁に用いられている。また英語圏におけるインターネットのホームページから得られる医学知識は膨大である。このように医療チームの一員として活躍する診療放射線技師にとって英語学習は必要不可欠なものとなっている。本講義では臨床の場に役立つ基本的な単語および診療録の慣用句を中心に学び、診療の場で実践に役立つ医学英語の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. 代表的な解剖用語、病名などの医学用語の習得。
2. 診療の場で用いられる代表的な英会話の習得。
3. インターネットのホームページ上の慣用句の習得。
4. 英文論文の抄読法の習得。

成績評価の方法

授業時間内の小テスト、定期の筆記試験。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報工学	近藤啓介 <small>こん どう けい すけ</small>	短放3選	1

講義のねらい

今日、病院で取り扱われている医用画像の多くは、デジタル信号化され画像処理されている。画像処理を行うためには、画像処理ソフトを利用する方法もあるが、新しい方法で処理する場合や、開発をするためには、自らプログラミングする必要がある。この授業では、プログラミングのための基本的な知識を習得する。プログラミング言語はC言語を利用します。

講義の内容・授業スケジュール

変数とは
変数による計算
繰り返し文
分岐文
サブルーチン
出力
Σの計算
ソートプログラム

履修上の留意点

画像処理言語論の受講にあたっては、この授業にてC言語の知識を習得している必要があるので、画像処理言語論の受講予定者は必ず受講すること。授業の半分は演習を行います。積極的に受講すること。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価する。

教科書

プリントを配布する。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用計測学	小山正希 <small>こ やま まさ き</small>	短放3選	1

講義のねらい

照射線量、吸収線量、等価線量などを決めるための測定ではまず各線量概念を明確にすることが必要である。次にこれらの線量概念を実測するための測定装置について、現時点での対応とその問題点について明らかにし、これら問題点を解決するための方針について考える。国際勧告で提示される線量概念とその同定法に関する指針に準拠し、かつ在来の測定法に必ずしもとらわれずに計測系を構成することを考えてゆく。又、同一条件下で異なる検出系、例えば電離箱型と半導体検出器との測定結果を比較することで測定対象をより明らかにするなどの手法を考えてみる。

成績評価の方法

中間テストによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習	うじ いえ ちり みち 氏 家 盛 通	短放1選	1

講義のねらい

将来診療放射線技師として医療に従事する者にとって、これから放射線関連の多くの専門科目を履修しなければならない。そこで放射線や放射能に関連する文献を選び、具体的な事例をもとに講述する。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

いままでは

- 1、生活の中の放射線（植物と放射線、食品中の放射性物質、食生活と人工放射能、海洋の放射能、病院での放射線など）
- 2、21世紀を迎えて放射線診療の未来（IT革命が医療現場をどう変えていくのか？）
- 3、医療被曝を考える（JCOの事故が及ぼした医療界への影響は？）
- 4、企業に活躍の場を求める診療放射線技師（東芝メディカル、日本メジフィジックス、タイコ・ヘルスケア・ジャパン、GE横河メディカルシステム、シーメンス旭メディテック）
- 5、スーパーテクノロジスト（放射線治療認定技師と医学物理士、マンモグラフィー検診制度中央委員会認定技師、X線CT検診専門技師など）についての資料を使用してきたが、これら中かより新しいものを用いて行ない、放射線の種類や単位または人・団体・施設・機器・医療や診療放射線業務に関して講述する。

履修上の留意点

講義の内容などで分からないことがあれば気軽に質問をして、診療放射線技術学に親しみを持てるようになること。

成績評価の方法

小論文・学習状況・出席などにより評価する。

教科書

授業に使用する資料は、毎回配布する。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習	くま さか 熊 坂 さつき	短放1選	1

講義のねらい

放射線技術者になるために、第1歩をふみ出した人達に、これからの指針の1つの手がかりになるような学習を行う。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・スライドやビデオを用いて医療現場と医者、スタッフの役割について学ぶ。
- ・スライドやビデオを用いて、研究者とは何かについて学ぶ。
- ・X線写真を用いて、それをトレースし、X線解剖学について学ぶ。

履修上の留意点

小テストなど授業時間内の学習状況により評価する。

成績評価の方法

レポート

教科書

使用しない
プリントを配布する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習	佐藤昌憲 <small>まさのり</small>	短放1選	1

講義のねらい

学生諸君が今後の学習や学問の研究、進路、自己形成のために役に立つテーマを提供しようというのが基本的なねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

少人数のゼミ方式で、テーマの参考文献や資料の集め方、分析の仕方、論理的な考え方パソコンの使い方などを具体的に教え、学生自身が理工学の専門分野をどの様に学んでいくか、そのプロセスを学習する。

具体的には、レポート作成と討論を行う。その際に

1. 分類方法、
2. 過程の表現方法、
3. 対比・比較の仕方、
4. 原因・影響の関係について、
5. 主題の相互作用の書き方等を体系的に学習する。

履修上の留意点

問題意識とやる気のある学生を望む。

成績評価の方法

学習状況とレポートと出席などにより評価する。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学基礎演習	近藤啓介 <small>けいすけ</small>	短放1選	1

講義のねらい

新入生諸君の多くは受身による知識を蓄積する学習をしてきた。大学においても、より高度な知識を習得することは重要である。将来医療人としての道を進むことになるが、単に言われた仕事を淡々とこなすだけの人間ではなく、医療チームの一員として積極的に取り組むための知識と論理的な考察力を養ってほしい。
この授業では、未知なる現象や問題を提示しながら、今までの知識を駆使して、課題に取り組み、創造力を発揮して問題を解決してもらおう。単なる結果だけでなく結果を導く過程である「論理的な考え方」を中心に学習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

テーマを与え、それに関する自分の考えをまとめ、発表・討論を行う。

履修上の留意点

テーマには答えが複数あるものや、答えのないものもある。結果が正しいか否かではなく、結果を導くための過程を大事にして、何故その結果に至ったのか自分なりの考え方をまとめ討論すること。

成績評価の方法

レポートや討論の参加状況により評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習	山本裕右 <small>やまもと ゆうすけ</small>	短放1選	1

講義のねらい

自然科学においては物事をどのように捉え、解釈し、理解するのか。また未知の事柄に対してどのように取り組むのか。これらの一端を覗くことをしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

原子および放射線、放射能、原子力についての基礎的事項をいくつか限定して取り上げ、少し深くまで探ることをする。具体的には以下のようなテーマを取り上げ、ゼミ形式で進める。また、パソコンを使つての数値計算も随所で行う。

1. 原子とは
2. 原子の中の電子
3. 安定同位体と放射性同位体
4. 放射能とは
5. 放射線とは
6. エネルギー問題と原子力

履修上の留意点

ただ座っていたのでは何も与えられません。自ら積極的に調べ、発表し、疑問な点は遠慮なく質問してください。そして、自分にとって未知の物事がはっきり見え出したときの喜びを味わってください。

成績評価の方法

平常点

教科書

その都度プリントを配布する

参考書等

授業時間中に指示する

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習	吉川宏起 <small>よしかわ こうき</small>	短放1選	1

講義のねらい

1. 科学的思考の基礎を身につける。2. 生活習慣病を中心としたヒトの疾病(疾患)の原因とその治療法を通じてエビデンスに基づいた医療の成り立ちを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 科学論文の引用の仕方、読み方、書き方の基礎的事項について概説する。2. 糖尿病や虚血性心疾患、脳血管障害などの生活習慣病の成り立ちとその予防法や治療法を通じて、医療におけるエビデンスの重要性について概説する。

履修上の留意点

科学論文の重要性と医療におけるエビデンスを導く臨床研究法を理解する。

成績評価の方法

出席率・授業時間内テストにより評価。

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

フレックスBで開講される他学部履修科目は、短大
仏教科の頁を参照してください。(→P.493)

履修科目
他学部

Ⅲ. 他学部履修科目

禅	学	概	論	〈石井修道〉	321
中	国	禅宗	史	〈石井修道〉	321
日	本	禅宗	史	〈佐藤秀孝〉	322
禅	籍	講読	I	〈佐藤秀孝〉	322
禅	籍	講読	Ⅲ	〈岩永正晴〉	323
仏	教	概	論	〈池田練太郎〉	323
イ	ン	ド	史	〈金沢篤〉	324
中	国	仏教	史	〈永井政之〉	324
日	本	仏教	史	〈袴谷憲昭〉	325
中	国	古典	初級	〈吉村誠〉	326
中	国	哲学	史	〈前川亨〉	327
上	代	文学	I	〈中嶋真也〉	328
中	古	文学	I	〈松岡智之〉	328
中	世	文学	I	〈櫻井陽子〉	329
近	世	文学	I	〈近衛典子〉	329
近	代	文学	I	〈榎本正樹〉	330
比	較	文	学	〈満谷マーガレット〉	331
西	洋	思想	史	〈柴野博子〉	332
演	劇	概	論	〈森井直子〉	332
日	本	民俗	学	〈谷口貢〉	333
イ	ギ	リス	I	〈石原孝哉〉	333
イ	ギ	リス	Ⅱ	〈高野正夫〉	334
イ	ギ	リス	Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	334
イ	ギ	リス	Ⅳ	〈休講〉	
イ	ギ	リス	V	〈富士川義之〉	335
イ	ギ	リス	Ⅵ	〈丸小哲雄〉	335
ア	メ	リカ	I	〈東雄一郎〉	336
ア	メ	リカ	Ⅲ	〈足田和人〉	336
演	劇	特講	Ⅲ	〈落合和昭〉	337
時	事	英	語	〈サンダース, L. P.〉	337
地	理	思想	史	〈休講〉	
地	理	思想	学	〈小池一之〉	338
日	本	仏教	史	〈松本信道〉	338
日	本	史特講	Ⅶ〔近代〕	〈熊本史雄〉	339
哲	学	学	史	〈山口祐弘〉	339
東	洋	史特講	Ⅲ〔近代史〕	〈杉山清彦〉	340
西	洋	文化	史	〈石田恵子〉	340
考	古	学特講	Ⅲ	〈休講〉	
産	業	・職業	学	〈休講〉	
マ	ス	・コミュニケーション	論	〈川本勝〉	341
社	会	福祉	史	〈林千代〉	341
日	本	経	史	〈渡邊恵一〉	342
農	業	政	策	〈溝手芳計〉	343
日	本	経	論	〈小林正人〉	344
中	国	経	論	〈休講〉	

ア	メ	リ	カ	經	濟	論	〈瀬戸岡	紘	345	
E	U	西	統	合	論	〈清	水	卓	346	
現	代	シ	歐	經	論	〈清	水	卓	347	
口	ア	・	東	計	論	〈山	縣	弘	志	
財	務		会	査	論	〈小	栗	崇	資	
会	計		監	計	論	〈森	田	佳	宏	
管	理		会	査	論	〈石	川	祐	二	
貿	政		易	各	論	〈古	沢	紘	造	
行	較		法	憲	論	〈金	子	昇	平	
比			統	制	法	〈西		修		
相	洋		法		法	〈竹	中	智	香	
西			米		史	〈北	野	か	ほる	
英			濟		法	〈北	野	か	ほる	
経			パ		法	〈若	林	亜	里	砂
ヨ	ロ	ッ	バ	治	論	(1) 〈中	野	裕	二	
ヨ	ロ	ッ	バ	治	論	(2) 〈中	野	裕	二	
国	際		政	治	学	〈小	堀	訓	男	
地	方		自	治	学	〈富	井	幸	雄	
比	較		政	治	学	〈三	竹	直	哉	
現	代		国	治	論	〈大	塚	桂		
比	較		憲		法	〈休	講			
経	営		勞	務	論	〈鹿	嶋	秀	晃	
国	際		業	營	論	〈茂	垣	広	志	
商			經	營	史	〈休	講			
保	險		會	計	論	〈石	名	坂	邦	昭
財	務		分	析	論	〈渡	邊	惠	一	郎
経	営		會	計	論	〈片	桐	伸	夫	
税	務		情	報	論	〈高	木	克	己	
経	営		理	報	論	〈休	講			
情	報		統		論	〈西	村	和	夫	
経	営		教		計	〈長	国	強		
医	療		濟		学	〈田	上	太	秀	
医	療		宗		学	〈永	山	く	に	子
異	文	コ	ユ	ミ	学	〈奥	原	淳	子	
国	語	ニ	ケ	ー	学	〈片	山	晴	賢	
女	語	性	史		史	〈萩	原	義	雄	
文	性		史		史	〈高	嶋	め	ぐ	み
国	性		論		論	〈蘭	部	幹	生	他
文	学		概	殊	学	〈佐	原	作	美	他
古	典		曲	演	劇	〈佐	藤	知	乃	
メ	デ		と	表	現	〈松	田	直	行	
時	事		英		語	〈岡	本		誠	

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	石井修道	短国・短英	4

講義のねらい

この禅学概論の講義は禅とは何かを概観するものである。その場合、禅とは「学」の対象として成立しうるか。成立しうるとすれば、いかなる性格なのかを常に問題意識として持ち続けたい。禅学に取り組む勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、まず、「禅」の語の意味、インドの禅と中国で成立した禅宗について述べ、中国語のもつ性格と禅思想の関係を問題にしたい。つづいて、禅の研究の工具書の紹介や禅籍概論を踏まえて、圭峰宗密の『禅源詮集都序』の禅の分類の分析、禅と「心・身」、禅と「人」、禅と言葉、禅と教育、禅と生活に及び、禅と文化について幅広く言及したい。禅と禅宗の歴史は、講義の中で織り交ぜながら進めるが、講義内容としては、この講義では省略し、その専門の履修科目があるのでそれに譲る。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。禅学概論の講義は、当然のこととして、禅宗の歴史を含むものであるが、この講義は教科書を読んで既に中国禅宗史の基礎知識を身につけたものと見なして講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,369円

『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円

『禅学大辞典』（大修館書店）

入矢義高等『禪語辞典』（思文閣出版）

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	石井修道	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文（400字詰め5枚程度）のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）、入矢義高等『禪語辞典』（思文閣書店）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤秀孝	短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
 その他、日本禅宗に関する諸文献

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅰ	佐藤秀孝	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗でも初期の禅籍（禅宗文献）を講読するものである。中国禅宗は南北朝期（梁・北魏）に渡来した菩提達磨（達摩とも）に始まり、唐・宋代に開花・隆盛しているが、本講義では唐末五代以前に成立した禅籍をその対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

対象となる禅籍は『二入四行論』『無心論』『絶観論』『六祖壇経』『証道歌』『参同契』『宝鏡三昧』などであり、さらに『祖堂集』からも特徴的な祖師の事跡を学んでいきたい。はじめは講義方式で行い、後半は禅籍の具体的講読へと進みたい。

履修上の留意点

漢文の禅語録であるので、読解力を増すよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表の態度）と年度末の定期試験による。

教科書

授業の折に当該のものをコピーなどにて配布する。

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）
 『禅語辞典』（思文閣書店）
 筑摩書房『禅の語録』シリーズの『達摩の語録』『初期の禅史Ⅰ』『初期の禅史Ⅱ』『六祖壇経』『頓悟要門』『龐居士語録』『伝心法要・宛陵録』『禅源諸詮集都序』『臨済録』『趙州録』『寒山詩』など。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 Ⅲ	岩 永 正 晴 <small>いわたながしやうせい</small>	短国・短英	4

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度も、前年度と同様に、道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められており、曹洞宗旨を学ぶためには必須の基本的な典籍とみなされてきた。この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に臨んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験の他に、数回のレポート（または小テスト）によって成績評価を行う。出席点は採らない。

教 科 書

コピーし製本したものを配布する。

参 考 書 等

『道元禅師全集』第7巻（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、大本山永平寺編『学道用心集の参究』（国書刊行会）、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』（大東出版）等。その他は講義で適宜紹介する。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	池 田 練 太 郎 <small>いけだ れんたろう</small>	短国・短英	4

講義のねらい

本講義は「概論」という性格上、仏教に関する細かい問題を掘り下げるのではなく、常に「仏教とは何か」という基本的な問題を意識しながら、大きな視点で仏教の輪郭を捉えることを目指したい。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第に準じて、おおむね以下のように講義を進める。
a, 仏教とは何か b, ブッタの生涯 c, 仏について d, 法について e, 輪廻と業・煩惱
f, 心について g, 修行について h, 戒律と教団 i, 仏教の歴史

履修上の留意点

講義を一つの材料として、自分自身で「仏教」について考える姿勢を持ってほしい。

成績評価の方法

基本的には年度末におこなう筆記試験によって評価する。

教 科 書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かな さわ あつし 金 沢 篤	短国・短英	4

講義のねらい	インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。
履修上の留意点	仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。
成績評価の方法	年度末試験などで総合的に判断する。
教科書	渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円
参考書等	教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさし 永 井 政 之	短国・短英	4

履修科目
他学部

講義のねらい	この授業は、中国仏教を教理から理解しようとするものではありません。むしろ表に現れることの少ない部分に焦点を当てようとするものです。歴史に現れた「仏教」は、いずれの時代にあっても、資料に書き残された世界を出るものではなく、資料を書き残せるような、ごく一握りの文化人の理解の範囲を出ることはありません。そのような文化の伝承を否定するものではありませんが、その部分にのみ力点を置きますと、中国社会を構成した大半の人々——多分、彼らはその日の食べ物にも事欠くことが少なくなかったように想像できます——が、どのように仏教を捉え、関わっていったかという部分を捨象してしまうことになりはしないでしょうか。 この授業では、そのような中国の民衆にとって、仏教はいかなる意味を持って受け入れられたかを、さまざまな仏菩薩、あるいは個人への信仰を通して考えてみたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	当面は中国の禅僧への信仰をとりあげたいと思います。六祖慧能のミイラへの信仰から入りましょう。
履修上の留意点	少し角度を変えての授業ですが、だからといって「資料に残された表の顔」を知らないで済まされるものではありません。表の顔を知っているから対比の面白さも出てきます。両方兼ね知ってみようという意欲をもって下さい。
成績評価の方法	期末に出席を加味して評価します。
教科書	教科書は特に使いません。必要な資料はコピーして配布し、また授業中に指示します。
参考書等	永井政之『中国禅宗教団と民衆』（内山書店） その他、適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	ほかき 袴 谷 憲 昭	短国・短英	4

講義のねらい

仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における文化の実態を検討する。その検討課題を章節仕立てで示せば、次のとおりである。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 仏教伝来以前の文化
- 1 古代文化の解釈 2 日本古来の文化
- 第1章 中国朝鮮の影響下の仏教文化
 - 1 呉音漢音と文化 2 美術中の仏教観
 - 3 自利利他の問題 4 太子信仰の背景
- 第2章 南部の学問仏教と民衆の文化
 - 1 大仏建立の理念 2 学問仏教の実際
 - 3 修験道と聖俗観 4 勸進聖と浄穢観
- 第3章 日本独自の文化形成と仏教観
 - 1 大乘戒壇の設立 2 一乗三乗の論争
 - 3 祈禱仏教と密教 4 本覚思想の定着
- 第4章 中世の仏教信仰の確立と変様
 - 1 浄土信仰の諸相 2 法華信仰の諸相
 - 3 禪宗と五山文学 4 神仏習合の諸相
- 第5章 近世と近代の社会文化と仏教
 - 1 鉄砲と吉利支丹 2 幕府の宗教政策
 - 3 江戸文化と仏教 4 維新と排仏毀釈
- 結 現代社会と仏教文化
 - 1 戦前より戦後へ 2 仏教と民主主義

履修上の留意点

講義ではあるが、参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。必要な資料については教場で配布するが、その再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変化もありうる。

教科書

袴谷憲昭『仏教入門』（大蔵出版）

参考書等

渡辺照宏『日本の仏教』（岩波新書）
家永三郎『日本文化史』第2版（岩波新書）

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語初級	よしむら まこと 吉村 誠	短国・短英	4

講義のねらい

中国の神話や伝説を読みながら、漢文訓読の基本をマスターします。話の面白さにつられて読むうちに、自然と漢文が読めるようになる授業です。また、中国の歴史や文化、儒教・仏教・道教の思想など、適宜講義を加えます。
前期は、六朝時代の志怪小説から数篇を選んで講読します。志怪とは現世や異界の不思議を記録した怪異談です。後期は、唐代の伝奇小説である「杜子春伝」を講読します。伝奇とは作者が創作意図に基づいて作り上げたフィクションです。
講読を通じて、中国人の死生観や世界観が、仏教や道教の影響によって次第に変化してゆく過程を知ることになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 牽牛と織女 (漢文の読み方) (2) 孝行息子と天女 (3) 太陽を射た男 (助辞・再読文字) (4) 月世界に住む女 (5) 天地開闢 (否定形・比較形)
(6) 人類創生 (7) 生き返った恋人 (使役形・受身形) (8) 引き裂かれた夫婦
(9) 死人の名簿 (疑問形・反語形) (10) 中国の幽霊 (11) 仙界を訪ねた男
(12) もう一人の自分 (13) 男と女の騙しあい
(後期) (1) 志怪小説から伝奇小説へ (2～5) 趙泰の地獄めぐり (6～7) 観音菩薩の靈験 (8～13) 杜子春伝

履修上の留意点

初歩から丁寧に指導しますので、漢文の学習歴がなくても心配はいりません。ただし、語学の習得には学習の継続が不可欠です。毎回予習をして、休まず出席すること。

成績評価の方法

出席や予習の状況、レポートなどを総合して評価します。

教科書

プリントを使用しますが、漢和辞典は必ず用意してください。『新字源』(角川書店)、『漢語林』(大修館書店)、『漢辞海』(三省堂)を推奨します。その他、文法書の購入も指示します。

参考書等

授業中に随時紹介します。

他履修
学部科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国哲学史	前川亨 <small>まえ かわ とおる</small>	短国・短英	4

講義のねらい

中国の思想・哲学・宗教の歴史について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、宋代から始めて、清末・民国に至るまでの思想史を扱う予定である。まず中国思想史の概要を解説したうえで、前期には、唐宋変革の意義、道学運動の展開、朱子学の思想を、後期には陽明学の出現、王学左派の思想、更に清朝考証学の成立と近代思想・中国革命の思想の登場をとり扱うことになるであろう。宋代を風靡した禅宗の思想や、民間信仰の問題にも言及することができる筈である。いずれについても、断代史的ではなく、問題史的に検討を加える所存である。その際、東アジア世界の中の中国思想という観点を忘れないようにしようと思う。

履修上の留意点

当然ながら、中国の思想・哲学・宗教・社会・文化などに関心のある学生の受講のみを歓迎する。継続して出席し、積極的に授業に参加する意志と意欲をもたない学生の受講は固く禁止する。中国語を履修していなくても構わないが、中国語（古典・現代）の履修も並行することが望ましい。

成績評価の方法

受講者数を見て最初の回に伝達する。原則として、受講者30人以下の場合にはレポート、それ以上の場合には試験を行なう予定である。出席が絶対に必要な要件であることはいうまでもない。レポートにせよ、試験にせよ、出席していない学生には提出／受験の資格がない。

教科書

特になし。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

受講者にできるだけ多くの知識を提供するため、講義形式をとるが、受講者諸君の意見を聞きながら、内容を深めていくようにしたいと思うので受講者諸君の主体的なとりくみに期待する。なお、遅刻、途中退出、授業時間における携帯電話の操作、私語、その他授業に非協力的な行為は断固排除するので、そのつもりで受講すること。教室内では、男女とも、当然、脱帽すること。

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上代文学研究Ⅰ	なか じま しん や 中 嶋 真 也	短国・短英2年	4

講義のねらい

現存、日本最古の歌集『万葉集』は、類歌・類句と称される、似かよった表現を持つ歌がいくつも見られる。近代的な独創を重視する見方からすれば、批判の対象になるわけだが、それらを豊富に収める『万葉集』の現状はそうではないことを認識しなければならない。また、類歌・類句と位置付けたところで、時に考察は止まり、似ていながら、先行する表現を享受しながら、新たな表現を試みている場合もある。

本講義では、そのような類歌・類句の存在に留意しながら、『万葉集』を精読し、古代の歌の様相を探求する。具体的には、「桜」や「月」といった、現在にもほぼ同じものを指すと考えられる植物や天象などの景物を取り上げ、それらが万葉歌の中で、どのようなことばとともに用いられ、どのような表現をなしているのかを見ていく。また、万葉の作歌の時期区分にも常に配慮し、『万葉集』中での表現史を明瞭にすることにも心がける。

講義の内容・授業スケジュール

最初は、『万葉集』の概説を行う。全二十巻に及ぶ『万葉集』の歌の所収状況や、現在四つの区分で説明される作歌の時期などの説明を丁寧に行う。

その上で、景物に即して詠まれた歌を表現に留意しながら、検証していく。具体的に取り上げる景物として、桜、月、萩などを考えている。また、歌人としては、第二期の柿本人麻呂と第四期の大神家持といった、万葉のみならず、日本文学史上の代表歌人に特に留意していく。

履修上の留意点

毎回の授業で、できるだけ多くの歌を取り上げ、かつ精読していくつもりだが、各人が一層の興味を持って、さまざま読みを深めてほしい。また、そのような熱心な学生の意見や要望は、積極的に授業に取り込んでいきたい。主体的な受講を、特に期待する。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、学期末の試験などを軸に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中古文学研究Ⅰ	まつ おか とも ゆき 松 岡 智 之	短国・短英	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学研究 I	さくら い よう こ 櫻 井 陽 子	短国・短英2年	4

講義のねらい

軍記物語における源頼朝と源義経について考える。頼朝は軍記物語には表だって登場しないが、主な軍記物語が鎌倉時代に成立したことを考えると、作品の背後に考えなくてはならない人物である。一方、義経は室町時代の芸能において華々しく活躍するが、頼朝によって排斥された人物である。この二人の造型を考えることは、軍記物語の本質を考えることにもなる。

講義の内容・授業スケジュール

具体的に作品に触れながら進める。
 1～3 軍記物語にどのような特徴があるか。
 4～6 頼朝（『平治物語』）
 7～9 頼朝（『平家物語』）
 10～12 頼朝（芸能における）
 13～15 義経（『平家物語』）
 16～18 義経（『吾妻鏡』）
 19～21 義経（『義経記』）
 22～24 頼朝と義経
 25～30 まとめ

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に適宜プリントを用意する。

参考書等

授業時に指示する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学研究 I	この え のり こ 近 衛 典 子	短国・短英2年	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説や日本の古典作品の精読、本文との比較検討などを通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鷺山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

その他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究 I	榎本正樹	短国・短英2年	4

講義のねらい

村上龍と村上春樹、いわゆる W 村上の登場以後、八〇年代にデビューした作家たち（笹野頼子、島田雅彦、高橋源一郎、辻仁成、松浦理英子、山田詠美、吉本ばなな）の後を受けて、九〇年代以降にデビューした新しい作家・作品について網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマやモチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの方、周辺メディアとの関連性などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、SF&ファンタジー、ミステリなど、現代文学のあらゆるジャンルを対象とします。

参考までに授業で取りあげる可能性の高い作家を以下にあげておきます。阿部和重、江國香織、角田光代、川上弘美、重松清、平野啓一郎、町田康、柳美里、長野まゆみ、柴崎友香、金城一紀、伊坂幸太郎、大道珠貴、嶽本野ばら、長嶋有、吉田修一、綿矢りさ、金原ひとみ、瀬尾まいこ、石田衣良、村山由佳、絲山秋子、舞城王太郎、D[di:]など。また2004年に映画化された『ジョゼと虎と魚たち』『きょうのできごと』『世界の中心で愛をさけぶ』『69』『インストール』について、原作と映画を比較対照した分析を行う予定です。

榎本は研究活動の一環として作家へのインタビューを積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報や現場のエピソードなども盛り込んでいきます。

履修上の留意点

現代日本文学、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらったレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

教科書

特に使用しません。

参考書等

必要な資料はプリントで配付します。参考文献等は、教室で指示します。

その他

履修に際しては、榎本のサイト (www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/) も参考にしてください。

他履修
学部
科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較文学	<small>みつたに</small> 満谷マーガレット	短英	4

講義のねらい

比較文学は欧米各国における「国文学」・「国文学史」が成立した以後、国と国との間の「横の関係」をみるために作られた学問である。近代国家の成立とともに発展した「国文学」があまりにも重視された反省から、国家同士の文学がどのように影響しあって、関係しあってきたかを研究することが比較文学のそもそものねらいであった。フランス、ドイツ、そしていわゆる「新世界」（アメリカ、オーストラリアなど）においてそれぞれ異なる比較文学が成立したが、20世紀前半までには近代文学を中心に「影響関係」を追及することが比較文学者の主な仕事だとされるようになった。しかし作家同士の影響関係を見る前に、文学作品、あるいは文化そのものが越境したとき、それがどのように姿を変えるかを見る必要があるだろう。受け入れる側ではそれがどのように理解され、あるいは誤解されるかも重要な問題だろう。それを見るために本授業では「翻訳」という概念を焦点に、日本と欧米の文学がどのように関係してきたかを見てみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では日本側で欧米の文学・文化がどのようにして受け入れられたかを見て、後期で日本（東洋）の文学・文化が西洋側でどのように受け入れられてきたかを見てみたい。横道にそれる余裕を持ちたいのだが、だいたい次のようなテーマに触れたいと思っている。

前期：

- 1) イントロ：比較文学の背景と「国文学」。
- 2) 翻訳の背景。
- 3) 近代日本における「翻訳語」。近代の日本語がいかにして翻訳によって出来上がったのか。
- 4) 演劇改良運動とシェークスピアの『ハムレット』の導入。
- 5) 苦悩する翻訳者たち——森田思軒、二葉亭四迷など
- 6) 若松賤子と児童文学の導入

後期：

- 1) 西洋人の見た日本女性——「マダム・バタフライ」を中心に
- 2) アーネスト・フェノロサと「漢字」の発見
- 3) エズラ・パウンドとイマジズム
- 4) アーサー・ウェイリーの英訳を通して「小説」となった源氏物語
- 5) 英米における漢詩の導入
- 6) アメリカ文化における「ハイク」

履修上の留意点

この授業では出席はとらない。従って、出席するかどうかは学生が責任をもって決めることだが、出席しなくても簡単に単位が取れると思ってもらっては困る。また、比較文学の授業は、横文字（英語、フランス語など）を一切使わないでやるのは難しい。英文、仏文の資料を使うとき、必ず日本語訳をつけるので、外国語に堪能である必要はない。しかし横文字を見ただけでアレルギー反応を起こす学生には、この授業は辛いだろう。

成績評価の方法

前期、後期一回ずつエッセイ形式の試験を行う。各試験は50点満点だから、二つの試験の成績を合わせて一年の成績を出す。

教科書

プリント

参考書等

最初の授業で話す。

その他

この授業は講義となっているが、例年の受講生が少ない。講義形式で進めるが、学生からの質問、コメントなどは大歓迎。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	柴野博子	短国・短英	4

講義のねらい

カント以後の西洋思想の流れをたどりながら、よりよく生きるための話題を提供したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに古代と中世思想を概観し(4・5月)、その後カントに入ります。前期は、カントの思想を中心に、ドイツ観念論までお話する予定です。

後期は、ショーペンハウアー、ニーチェ(9・10月)、ベルクソン、デイルタイ(11月)など、生の哲学者の思想を見ていきます。そして最後に、現代の西洋思想を代表するガダマーの解釈学的一端にも触れたいと思っています(12月)。

成績評価の方法

年2回の試験と出席状況、学習態度などを総合して評価します。

教科書

久保陽一・河合淳『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇概論	森井直子	短国・短英	4

講義のねらい

明治時代以来、日本の演劇は同時代の社会の空気を呼吸し、それに反応して何度も大きな変容を遂げてきた。それらの変遷は、現在上演される演劇作品にも、演劇を取り巻く状況にも刻印されている。

演劇と文学との関わり、演劇と政治との関わりなど、明治以降の演劇の歴史を辿る。同時に、それぞれの時代、それぞれの問題意識の中から生まれた戯曲作品の鑑賞も行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- 1、日本近代演劇の黎明(2回)
 - 2、明治40年代の演劇(2回)
 - 3、日本近代戯曲の模索(2回)
 - 4、大正戯曲の時代(2回)
 - 5、築地小劇場(2回)
 - 6、政治と演劇(2回)
 - 7、まとめ(1回)
- 後期
- 1、戦後新劇の活動(2回)
 - 2、小劇場運動の隆盛(2回)
 - 3、80年代—私さがしとメタシアター(2回)
 - 4、静かな演劇(2回)
 - 5、今日の演劇—上演(2回)
 - 6、今日の演劇—戯曲(2回)

履修上の留意点

授業の進行に従い、5、6本の戯曲作品をとりあげます。その戯曲については、あらかじめ読んでから出席することが必要。(扱う作品は、授業の中で指示する。)また、1年のうちに2度、劇場へ行って観劇してもらうので、留意されたい。

成績評価の方法

前期末、後期末のレポートと観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義形式の授業。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢	短国・短英2年	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 I	石原 孝哉	短国・短英2年	4

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton などとも取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

最初の授業で説明します。

履修上の留意点

この時代に関心のある意欲的な学生の受講を望みます。

成績評価の方法

成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピアを読む』（三修社）2,800円、配布プリント

参考書等

『同一性の寓話』（法政大学出版局）

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	高野正夫	短国・短英2年	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版されたLyrical Balladsという、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	岡崎寿一郎	短国・短英2年	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出版として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅴ	富士川 義之	短国・短英2年	4

講義のねらい

英国文化史についての講義。イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの特質と歴史、王室と宗教、カントリー・ハウスと風景式庭園、鉄道と旅、ジャーナリズムの誕生、子供の文化史などの話題について述べる予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 4つの文化圏
- 2 王室と宗教
- 3 貴族の城館とカントリー・ハウス
- 4 シェイクスピアと劇場
- 5 産業革命の影響
- 6 ジャーナリズムと出版の進展
- 7 子供の文化史
- 8 騎士道からジェントルマン教育へ
- 9 女性と文学
- 10 大英帝国の光と影
- 11 パラダイム・シフト

履修上の留意点

授業に積極的に取り組んでもらいたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説 イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

教材コピーを随時配布する予定。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄	短国・短英2年	4

講義のねらい

本講義は、作品の紹介とオリジナル・テキストの演習を行い、テキストの印象や感想を客観化するために文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの価値評価に向けて演習・講義を行います。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 自然言語・科学言語・論理的言語・文学言語の差異について
 - 2) 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
 - 3) 文学テキストの機能と力について
 - 4) さまざまな批評方法について
- ・伝統批評、伝記批評、ロシア・フォルマリズム（ニュー・クリティシズム）、受容理論、精神分析批評、構造主義、記号論、ポスト構造主義、ニュー・ヒストリシズム、ポストコロニアル批評

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- 1) Elements of fiction by R.Scholes（英宝社）
- 2) Roman Selden A Reader's Guide to Contemporary Literary Theory
The Harvester Press（ ）
- 3) プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

参考書等

随時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま 東 ゆいちろう 雄一郎	短国・短英2年	4

講義のねらい

アメリカ文学・文化を貫く根本的な問いは、「アメリカ人とは一体何者なのか」、「アメリカとは一体何か（どんな国なのか）」であり、こうした自意識の強さは新奇さや独自性の強調を生みだす。アメリカ文学の（アメリカ芸術一般の）根源的な特徴（根源的衝動に近いもの）は、アメリカ的なものの必要以上の定義と強調である。国民的な叙事詩の欠落、これは逆に、ホイットマンの『草の葉』に始まる叙事詩的な文学への強い憧れを生み出してきた。つまり、ハート・クレイン、ウィリアムズ、ビートのギンズバーグらのアメリカと自分（詩人）の自我を高らかに歌う詩人たち（預言者的詩人）を生み出してきたのである。この講義では、アメリカの詩、映画、音楽などを取り上げ、アメリカの自意識について多様な考察を試みる。アメリカの詩は、口誦的な詩のジャンルから自然発生的に出発したものではなく、本来が実用的な文学なのである。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、数人の詩人とその作品を取り上げ、精読します。時には作品に関する小レポートを授業内に書いてもらいます。

履修上の留意点

毎回、出欠をとりますので、遅刻をしないように（遅刻者は出席カードに記入できません）。

成績評価の方法

年間2回のレポート（2000字程度）、小レポート、出席点などで総合的に評価します。

教 科 書

新倉俊一著『アメリカ詩入門』（研究社）2,000円程度

参 考 書 等

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし 足 だ 田 かず 和 ひと 人	短国・短英2年	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めるときも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

必要に応じて配布・紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おちろ あい かず あき 落合和昭	短国・短英2年	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。

アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Eugene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-), Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-), Sam Shepard (1943-), David Mamet (1947-), アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Peter Shaffer (1926-), Harold Pinter (1930-), 等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』(ミネルヴァ書房)
- 2) プリント

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	サンダース, L. P.	短国2年	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア(ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど)で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池一之	短国・短英2年	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く輩出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事象（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

前期

地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、

地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形）

後期

種々の河成地形、組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しないが、時に応じて簡単なテストや課題を課す。

教科書

小池一之ほか（1998）『地表環境の地学－地形と土壌』（東海大学出版会）2,500円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税

小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

貝塚爽平（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	松本信道	短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本の受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ 〔近代〕	くまもと ふみお 熊本史雄	短国・短英2年	4

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	やまぐち まさひろ 山口祐弘	短国・短英2年	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

成績評価の方法

定期試験は行なわない。小論文を課し、評価する。平常点も加味する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅲ 〔近代史〕	すぎやまきよひこ 杉山清彦	短国・短英2年	4

講義のねらい

現代中国の統治領域・民族構成は、18世紀までに形成された清帝国の領域に淵源しており、その領域形成過程と支配構造の解明は、前近代史のみならず近現代史、ひいては現代世界の理解にも不可欠である。このような観点から、17～18世紀における清帝国の形成過程と支配の構造、19世紀以降のその変容・再編について説く。

講義の内容・授業スケジュール

前期：清帝国の形成と支配構造
 ・現代中国の統治空間
 ・清帝国の形成・発展過程
 ・清帝国の統治領域と支配構造
 ・満洲皇帝とモンゴル＝チベット仏教世界
 ・海域アジア世界と朝貢システム
 後期：ユーラシアの大清帝国から東アジアの「中国」へ
 ・近代における清支配の変容・再編
 ・「中国」の出現と内陸アジア
 ・今日の諸問題：未完の「中国」創出と国家統合の諸矛盾

履修上の留意点

講義形式で進め、一方通行にならないよう随時アンケート等を実施して受講生との疎通を図る。高校世界史程度の知識を前提として進めるが、特に条件とはしない。講義中随時参考文献を紹介するので、自分で広く読書してほしい。

成績評価の方法

年2回、長期休業時に課すレポートを基本とし、平常点を参考とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義中随時紹介する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋文化史	いしだけいこ 石田恵子	短国・短英2年	4

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート、試験

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと まさる 川 本 勝	短国・短英2年	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能、効果、影響過程を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションの関連を考える。私たちの社会生活は、コミュニケーション活動による他者との相互作用によって成り立っている。現代社会におけるメディア状況を整理し、メディア環境の変容とそれらを利用してどのようなコミュニケーション活動が営まれているかを考察する。パーソナル・コミュニケーション、マス・コミュニケーションなど社会的コミュニケーションの特質を講義する。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人びとに対してどのようなインパクトや社会的機能を果たしているか、問題点は何かについて論じる。特に、マス・コミュニケーションの受容過程研究を扱いながらその効果、影響について考える。

履修上の留意点

他学部・学科履修ができる科目ですが、他学部・学科の学生は、社会学の科目をすでに履修しているなど社会学の基礎知識を修得しておくことが望ましい。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を配慮し、試験によって行う。

教科書

特に使用しない。

参考書等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし ちよ代 林 千代	短国・短英2年	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本的特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。

参考書等

その都度紹介する予定である。

その他

特に無し。

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	わた なべ けい いち 渡 邊 恵 一	短国・短仏	4

講義のねらい

本講義の目的は、日本経済を歴史的な視点から理解することである。各時代における個別具体的な問題については、研究史上の論争、最新の実証研究などをわかりやすく紹介しながら、検証・考察を進めていく。現代の問題とのかかわりにも随時触れ、日本経済をより広い視野から見ることのできる力を養いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

序. 日本経済史の課題と方法
 1. 幕藩制下の経済発展
 2. 幕末開港の歴史的意義
 3. 明治前期の経済政策
 4. 日本産業革命の展開
 5. 両大戦間期の日本経済
 6. 戦時から戦後へ
 終. まとめと展望

履修上の留意点

出席は取らないが、ストーリー性のある内容なので、欠席すればその分だけ話の前後がなくなってしまう。

成績評価の方法

期末試験で評価するが、必要に応じて小テスト等の結果を加味する。

教 科 書

老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史—太閤検地から戦後復興まで—』（税務経理協会）2002年
 その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する予定。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参 考 書 等

上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

そ の 他

日本史の知識不問（挫折者歓迎）。

他履修
学部
科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	溝 手 芳 計	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO 農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（5回程度）
3. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
4. 農業の特質と現代農業（4回程度）
5. 戦後日本の農業問題と農業政策－農業構造問題を中心に－（6回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教 科 書

田代洋一『新版農業問題入門』（大月書店）
※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

参 考 書 等

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』（有斐閣）
F. マグドフ他編（中野一新監訳）『利潤への渴望』第5章（大月書店）
梶井功『新基本法と日本農業』（家の光協会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	短国・短英2年 短仏	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」――とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高――をのりこえてきた。しかし長年の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむために、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- 日本の経済発展とイノベーション
イノベーションと産業構造の変化
主要産業の歴史と現状：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本的経営システム／経済システム（欧米諸国との比較）
製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
IT革命のインパクト

履修上の留意点

講義資料をひんばんに配布する。一度しか配布しないので確実に収集し、保管しておいて、定期試験にそなえることが必要である。教場の前面のスクリーンに講義資料を表示しながら講義をすすめるので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。なお、ほとんどの講義資料は「小林研究室」のウェブサイト (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>) の「講義」の「日本経済論」のサイトにもできるだけ載せるようにしている。

成績評価の方法

定期試験の成績と、講義の節目に実施する数回の小テストとの総合評価による。試験は主に論述式である。再試験は実施しない。

教科書

なし

参考書等

適時紹介する。なお、経済学の概念や経済用語に関する辞典あるいは事典を一つは用意しておきたい（有斐閣、岩波書店、東洋経済新報社などから出版されている）。

その他

講義についての質問や成績質疑応答への参加を歓迎します。ただしそのときは、関連する講義資料を持参することが必要です（有意義な回答のため）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	<small>せとおか</small> 瀬戸岡 <small>ひろし</small> 紘	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇
 ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学
 技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリ
 ティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、
 ◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリ
 カとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、
 つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとりいれ
 た授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえか
 ら、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験
 も実施しません。

教 科 書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随
 時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカ
 ものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、
 グリーンバグ『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店）1994年
 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年
 をおすすめします。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
EU 統合論 (前期)	しみず たかし 清水 卓	短国・短英・短仏	2

講義のねらい

EU 統合論 (前期)

この講義では、EU の目的、政策、制度の形成プロセスと現状について解説します。1952年にその基礎となった欧州石炭鉄鋼共同体が生まれた時には6カ国に過ぎなかったですが、2004年には新たに10カ国の新規加盟国を迎え現在は25カ国、人口4億5000万人へと拡大してきました。今年にはEU 憲法制定が各国での国会審議や国民投票にかけられます。2001年に流通が始まった通貨ユーロは存在感を増しています。このようなEU を知らずして世界の動きは理解できません。民主主義と資本主義経済の生誕地であり成熟した福祉制度など市民社会を実現したEU 諸国から学ぶべきことは依然として多いのです。

講義の内容・
授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります) I. 欧州統合の拡大と深化 II. 経済統合 (1) 石炭鉄鋼共同体からEECへ (2) 市場統合の完成 (3) 通貨統合 III.EU の制度 (1) 権力構造 (2) 民主主義の欠陥 (3) EU 憲法 IV.EU の政策 (1) 環境政策 (2) 地域政策 (3) e-EUROPE (4) 共通農業政策

履修上の留意点

EU は25の国の上に立つもう一つの国家(超国家)といえる大きな存在ですから、その全体像を理解するには、授業だけでは不十分です。授業ではEU の骨格を解説するだけです。日々変化するEU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にあるEU 情報にアクセスしてください。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 田中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2,500円

その他

選択科目ですからEU に関心を持っている学生の皆さんのみ歓迎。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代西欧経済論 (後期)	清水 ^{しみず} 卓 ^{たくし}	短国・短英・短仏	2

講義のねらい

第2次世界大戦の結果作られたアメリカ中心の世界システムが、その後、いくつかの挑戦を受けながら、今日なお、イラク戦争という単独行動主義のかたちで世界的覇権を維持していることは否定できません。独・仏など大陸 EU 諸国は国際連合中心の国際協調主義の立場からアメリカの単独行動主義に距離を置いています。その背景には市場統合や通貨統合を達成し、さらに政治統合まで踏み込むに至った戦後の欧州統合の発展があります。欧州を戦場とした20世紀の大戦による疲弊から立ち直った欧州各国の戦後の経済発展と社会の変容を解明し、そこから、わが国の将来を構想する際の教訓を導きます。

講義の内容・授業スケジュール

(大きな項目は次の通りですが、項目や順序が変更されることもあります)

- I. 世界大戦の歴史的意義
- II. 戦後復興の課題 (1) 戦後西欧資本主義の危機 (2) マーシャル援助 (3) 西欧経済の「近代化」
- III. 経済成長の「限界」 (1) 経済成長 (2) 欧州通貨危機 (3) スタグフレーション (4) 経済政策の転換
- IV. EU 統合の現段階と各国経済 (1) 福祉国家 vs グローバル化 (2) 「ポスト工業化段階」の経済・社会的課題

履修上の留意点

履修上の留意点 授業ではアメリカ中心の戦後国際経済の中での欧州諸国経済の発展過程を跡付けし、今日の経済社会の課題を歴史的視点か位置付けることを学びますが、現状をどう見るといことが出発点です。日々変化する EU 諸国の動向に注意を払いながら授業に臨めば知識も増え、理解も深まります。新聞・雑誌・インターネット・TV 特集番組など身近にある EU 情報にアクセスしてください。

成績評価の方法

学期末の試験と中間に提出を求める宿題を基本に評価します。出席状況も考慮します。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

- (1) 中友義・久保広正「ヨーロッパ経済論」ミネルヴァ書房、2004年刊、3,200円
- (2) 田中素香・長部重康・久保広正・岩田健治「現代ヨーロッパ経済論」有斐閣、2001年刊、2,500円

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア・東欧経済論	山 縣 弘 志 <small>やま がた ひろ し</small>	短仏	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることとはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・
授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。取って挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。
再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	お ぐり たか し 小 栗 崇 資	短国・短英2年	4
		短仏	

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・
授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会计学総論・会计学基礎」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教 科 書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

山浦久司『会計監査論（第3版）』（中央経済社）
加藤恭彦、友杉芳正、津田秀雄編著『監査論講義（第5版）』（中央経済社）
石田三郎編著『監査論の基礎知識（4訂版）』（東京経済情報出版）
（財）財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管 理 会 計 論	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論・会計学基礎」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜指示する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デットな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	金子昇平	短仏	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	西修	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるという点で非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。(1) 比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）(2) 主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、(3) アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、(4) 項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

- (1) 開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと
- (2) 日本国憲法との関連で問題意識をもつこと (3) 私語は絶対に慎むこと
- (4) 途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

- (1) 出席・レポート 30点 (2) 前期試験 30点 (3) 後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- (1) 西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくに PART 3 「世界の憲法はこうなっている！」
- (2) アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- (3) 西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	たけ なか ち か 竹 中 智 香	短国・短仏	4

講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と深く関連していることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・ 授業スケジュール

[前期]

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

[後期]

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

履修科目 他学部

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法(8) 親族 [第4版増補補訂版]』(有斐閣) 1,600円
有斐閣双書『民法(9) 相続 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円

参考書等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第6版]』(有斐閣) 2,200円
『法律学小辞典』(有斐閣) 4,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋法制史	きたの 北野 かほる	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般の特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

他
学
部
履
修
科
目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの 北野 かほる	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1章 法系

第1節 近代法の法系

- (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
(4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系

第2節 イギリス法の特徴

- (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴

第3節 英米法の分類

- (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー

第2章 英米法の特徴

第1節 法内容の歴史性

- (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴

第2節 法観念の社会性

- (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利

第3節 法思考の実務性

- (1) 総論 (2) 法曹一元

第3章 判例法の理論

第1節 判例法

- (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察

第2節 判例法の理論

- (1) 外棹 (2) 内実 (3) 先例性の判断

第3節 制定法の解釈

- (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な文理解釈の理論

第4章 裁判所制度

第1節 イギリスの裁判所制度

第2節 アメリカ合衆国の裁判所制度

履修科目
他学部

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	わかばやしありさ 若林 亜理紗	短仏	4

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持にいうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	なかのゆうじ 中野 裕二	短国・短英	2

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」「ヨーロッパ政治論(2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論(1)」では「フランスにおける移民・外国人問題」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。国民の「外部者」たる移民・外国人の抱える問題、国や政治勢力の対応・施策を通して、「国民とは何か?」、「国とは何か?」を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・外国人労働者から移民へ
- ・1990年代以降の新しい移民
- ・移民・外国人の直面する諸問題
- ・移民・外国人排斥勢力とその論理
- ・移民・外国人に対する施策

履修上の留意点

「政治制度論」を受講済みであることを前提として講義します。フランスを直接の対象としますが、「日本の移民・外国人問題は?」という問題関心をつねに持って受講してください。時間が許せば、日本の状況を紹介し、比較します。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	なかのゆうじ 中野裕二	短国・短英	2

講義のねらい

本年度の「ヨーロッパ政治論(1)」「ヨーロッパ政治論(2)」はともにフランスを対象とします。そのうち、「ヨーロッパ政治論(2)」では「フランスにおける新しい共和制像の模索」と題して講義します。

基礎となる学問的傾向は政治社会学です。文化的・宗教的・民族的に多様なフランスで、各個人が自らの多様性を享受しながら、フランス社会が一つの社会としてまとまる原理は何か?ということの問題関心とします。

講義の内容・
授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

- ・伝統的「共和制モデル」 ・移民問題の衝撃 ・ヨーロッパ統合の衝撃
- ・フランス型多文化主義 ・寛容の共和主義 ・新しい共和制像の模索

履修上の留意点

「政治制度論」を受講済みであることを前提として講義します。なお、講義の内容上、「ヨーロッパ政治論(1)」の授業内容を前提とすることもありますので、連続して受講することが望ましいです。

フランスを直接の対象としますが、「多民族社会・多文化社会=日本」における社会統合の原理は何か?という問題関心をつねに持って受講してください。

成績評価の方法

期末試験と授業時間中の小テストを評価します。学生に期待される到達レベルを初回の授業で示し、それをもって評価基準とします。なお、授業中の意見・質問などの授業への積極的参加は、補助的に評価します。

教科書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	こぼりのお 小堀訓男	短国・短英	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富井 幸雄	短国	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	み たけ なお や 三 竹 直 哉	短国・短英	4

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

この文章は2004年12月の時点で書いています。授業には、現在世界や日本で起きている出来事を反映させたいです。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたいと考えています。

そうしたことから、2004年12月の時点で詳細な授業スケジュールは出せません。

基本的には、はじめに方法論を扱い、その後、民主化、民族問題、移民政策と言ったテーマで授業を進めていきたいと思っています。

授業のやり方は、人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのような雰囲気でもやることもあり得ます。

履修上の留意点

基本的事項は自分できちんと調べることが前提です。

文献を読む課題がたくさん出ますが、読まなければ単位を取れません。

中学校の社会科レベルのことが身につけていない人には単位を出せません。新聞を読んでいない人も同様です。(テストでチェックします。)

また、高校の社会科レベルのことで、授業に関連することは自分で学習することが前提です。

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。

教 科 書

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書。
他にも指定する可能性はあります。

そ の 他

この文章は2004年12月時点に書いています。変更もあり得ることを了承のうえ、読んでください。詳しい授業案内・スケジュールは、2005年4月に授業用ホームページに掲載します。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

URLが変更になる可能性があります。その場合、Googleなどで三竹直哉と入れて検索してみてください。見つからなければ、下記までメールでご連絡ください。
mitake@komazawa-u.ac.jp

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	おおつか かつら 大塚 桂	短国・短英	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒嚴（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

- 受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
- A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
- B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
- ※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）ならびに、『明治国家と岩倉具視』（信山社）

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 労 務 論	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	短 仏	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのではないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。

教 科 書

テキストは特に指定しない。

参 考 書 等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3,000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995（定価2,600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992（定価3,500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

そ の 他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。次のURLを参照。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志	短仏	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

根本孝・茂垣広志・池田芳彦『国際経営を学ぶ人のために』（世界思想社）

その他

プロジェクターを用いて授業を進行する。また、授業には教科書を携帯のこと。必要に応じて資料を配布する。
この科目は、再試験を実施しません。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
保険経営論	いしなごか くに あき 石名坂 邦 昭	短仏	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的な事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わた なべ 恵 一郎 渡 邊 恵 一郎	短仏	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- (1) 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- (2) 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- (3) 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- (4) 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。この科目は、再試験を実施しません。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かた ぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	短 仏	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

開講時、指示します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
税務会計論	高木克己	短仏	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

他
学
部
履
修
科
目

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむらかずお 西村和夫	短国・短仏	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C.E.Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修科目
他学部

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	なが 国 <small>きょう</small> 強	短仏	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データ的具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
この科目は、再試験を実施しません。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
医 療 宗 教 学 (前期)	た が み たい しゅう 田 上 太 秀	短国・短英	2

講義のねらい

人の生涯は生・老・病・死の四つで見ることができ、それらのいずれにも医療、あるいは医学が関わらないことはない。人間の歴史が始まって以来、医療は密接であった。一方、医療以上に宗教も関わっていることが知られた。それは、医療と結びついていたのである。今日、医学、あるいは医療は宗教とは無関係のように考えられているが、人間の歴史を見ると、二つの関係は車の両輪のようであった。本講義は医療と宗教との関わりについて、とくに古代インドを中心に解説することをねらいにしている。

講義の内容・
授業スケジュール

わずかに半期の講義であるので、ほとんど概要を述べることになるので、次のような内容となる。

1. 医学の歴史に関するもの（はじめに）
2. インド医学の思想的背景
3. アーユル・ヴェエダと歴史背景
4. アーユル・ヴェエダから終末期医療まで
（最初期の仏教との関連）
5. 仏教医学に関するもの

履修上の留意点

出席カードを配布し、自分で出欠を記入させる。過半数（授業時数の）以上の出欠が必須である。

成績評価の方法

期末のテストによって成績評価する。

教 科 書

作成したプリントを使用。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
医療経済学 (前期)	ながやま くにこ 永山 くにこ	短国・短英	2

講義のねらい

日本の医療制度を基軸とした病院マネジメントを科学する

講義の内容・
授業スケジュール

SBOs

- ① 国民医療費とは何か説明でき、日本における課題が理解できる
 - ② 日本および海外の医療制度が理解でき日本における課題が説明できる
 - ③ 医療サービス生産の特性と病院組織が説明できる
 - ④ 病院組織はどうすれば活性化するかについて考えることができる
 - ⑤ どうして病院マーケティングが必要かについて説明できる
 - ⑥ 医療の財政的な側面を理解する
 - ⑦ 病院のリスクマネジメントについて医療事故・医療過誤の側面から理解する
- ①～⑦は2回の授業で実施する。尚、⑤は試験とする

履修上の留意点

一方的な講義ではなく、実践に即した内容にするために参加型の授業にしますので、積極的な参加を求めます。

成績評価の方法

- (ア) 出席
(イ) レポート
(ウ) グループワークへの参加度

教科書

特に指定はしませんが、授業の際に紹介します。

参考書等

- ① 鴫田忠彦『日本の医療経済』（東洋経済新報社） 3,296円
- ② 川渕孝一『進化する病院マネジメント』（医学書院） 3,000円
- ③ 池上直己『日本の医療』（中公新書） 720円
- ④ 厚生統計協会『国民衛生の動向2004年版』

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
異文化コミュニケーション	おく はら じゅん こ 奥 原 淳 子	短英	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下において、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- 「日本人」とは？
日本人というのは誰をさすのか。
日本にはどんな「日本人ではない人」がいるのか。
- 「コミュニケーション」とは？
それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- 「日本」と諸外国との関係は？
日本はどのようにメディアに映されているのか。
我々は諸外国をどう捉えているのか。
- 非言語コミュニケーションとは？
非言語コミュニケーションはどんなことを指すのか。
日本人の非言語コミュニケーションにはどのような特徴があるか。
- 異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるか？また、そのためにはどうしたらいいのか？

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心となる活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

尚、受講者の人数、能力などに応じて一部授業内容を変更する可能性があります。

成績評価の方法

出席（毎回とります）・授業態度・発表・試験・レポート

教科書

プリント使用。

参考書等

開講時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学	かた やま ほる かた 片 山 晴 賢	短英	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。
 私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。
 なお、概要は次の通りです。

- ・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか
 どのように声を作っているのか
 音声をどのように表記するのか
 アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷
 仮名遣いの諸問題
- ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教 科 書

適宜プリントを配布します。
 春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参 考 書 等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	萩原義雄	短英	4

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据える形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、古代から現代までに伝わる国語資料についての現状の把握が第一となります。そして、どう時代区分されているのかを知りましょう。そのうえで、将来どのように国語研究として重要性を持ち、どのように発展していくかを認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回の講義内容 『古事記』（国宝真福寺本）&最初に情報センターの使用手続きについて、再度説明
- 第2回の講義内容 『日本書紀』「卷子本、東洋文庫所蔵の卷第廿四・皇極期の参照画像写真」
- 第3回の講義内容 『万葉集』について（現存『万葉集』の最善本の内容、「万葉仮名」という文字表記）
- 第4回の講義内容 天女幻想『竹取物語』《32頁》
- 第5回の講義内容 『伊勢物語』（書名・作者そしてこの作品構成、真字本『伊勢物語』、大正時代に吉井作竹下夢二絵【新譯絵入伊勢物語】）について
- 第6回の講義内容 『土佐日記』（為家本と定家本との異なり）について
- 第7回の講義内容 『源氏物語』（人物系譜・京大付属図書館蔵中院本『源氏物語』漢字の頻度を考察）
- 第8回の講義内容 『大鏡』について
- 第9回の講義内容 『方丈記』鴨長明の自筆本についてその表記形式及び内容について
- 第10回の講義内容 『平家物語』について
- 第11回の講義内容 鎌倉時代の『吾妻鏡』について（源頼朝・頼家・実朝そして北条政子とその一族）
- 第12回の講義内容 夏季課題の取扱いについて説明しました。
- 第13回の講義内容 夏季課題の提出日。
- 第14回の講義内容 『小倉百人一首』について
後期講義に向けてその方向性と準備として、どのような作品を考察したいのかを「掲示板」へ書込みすることを指示。これに基づき、後期作品の選択に入ります。
- 第15回の講義内容 休講
- 第16回の講義内容 『正法眼蔵』山は是れ山 水是水。〔山水経〕
- 第17回の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について
- 第18回の講義内容 『徒然草』について
- 第19回の講義内容 『義経記』判官びいき。〔192頁〕
- 第20回の講義内容 乱世庶民の夢『御伽草子』浦島太郎（浦島伝説・浦島太郎伝説の謎）・ものくさ太郎・鉢かづき・酒吞童子・一寸法師、一寸法師
- 第21回の講義内容 江戸上方 井原西鶴 元禄の英雄『好色一代男』
- 第22回の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』風雅のころ。〔260頁〕
- 第23回の講義内容 庶民のサロン『浮世風呂』〔362頁〕
- 第24回の講義内容 勧善懲悪『南総里見八犬伝』
- 第25回の講義内容 近代への架け橋「航米日録」について

履修科目
他学部

履修上の留意点

また、短期大学国文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させて、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。ご自分が調査した関連語句（書名・人名・用語など）の記入とそれに関わるネットリンク、画像処理についても要確認（著作権問題）願います。

教科書

インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazqwa-u.ac.jp/~hagi>]

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性史	高嶋めぐみ	短英	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。

成績評価の方法

総合評価（（1）出席、受講の状況（2）レポートまたは試験）

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化概論	菌部幹生・井上優 佐藤憲昭・内藤寿子 藤田和美	短英	4

他学部
履修科目

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月13日（水）オリエンテーション

①文学とタブー《4/20、4/27、5/11、5/18、5/25、6/1（6回）》

②タブーと宗教《6/8、6/15、6/22、6/29、7/6、7/13（6回）》

③メディアとタブー《9/21、9/28、10/5、10/12、10/19（5回）》

④慣習のタブー《10/26、11/2、11/9、11/16、11/30、12/6（6回）》

◎12月15日 まとめ

◎1月8日 レポート提出（資料室）

菌部幹生
井上 優
佐藤憲昭
内藤寿子
藤田和美
菌部幹生

履修上の留意点

最初の授業時（4/13）にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	佐原 作美・石割 透 小林 治・坂口 博規	短英	4

講義のねらい

「子ども」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者からその都度指示があるのでそれに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は以下の通りである。

- ① 古代文学と子ども
〈4/14, 4/21, 4/28, 5/12, 5/19, 5/26, 6/2〉 佐原作美
- ② 西行と娘
〈6/9, 6/16, 6/23, 6/30, 7/7, 7/14〉 坂口博規
- ③ 近代の小説に見る子ども像
〈9/22, 9/29, 10/6, 10/13, 10/20, 10/27〉 石割 透
- ④ 近・現代文学の中の子ども
〈11/10, 11/17, 11/24, 12/1, 12/8, 12/15〉 小林 治

履修上の留意点

最初の授業時(4/14)にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。

教科書

担当者により指示する。

参考書等

授業時に指示する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典戯曲演劇	佐藤 知乃	短英	4

講義のねらい

現代の日本には、さまざまな古典演劇が共存しています。その戯曲のあり方もさまざまです。この講義では、能・狂言や歌舞伎、人形浄瑠璃といった、日本の古典演劇といわれるパフォーマンスにおける、戯曲のあり方を考察します。履修者に対するいわゆる古典演劇へのガイダンスではありますが、古典演劇を高尚な趣味として鑑賞するのではなく、現代演劇との比較等とおして、分析、批判的に考察することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

歌舞伎や能・狂言、文楽の「戯曲」を講読し、関連する舞台のビデオ鑑賞などを行います。具体的には、種々の古典演劇のなかから、同じ題材を用いた作品を選び、ビデオおよび戯曲を通して比較を行っていきます。理解を深めた上で、テーマを決め、討議も行います。

履修上の留意点

5月に渋谷のNHKホールにて開催されるNHK古典芸能鑑賞会の見学を予定しています。昨年は、最終金曜日の午後5時開演、9時半終演、学生料金は500円でした。今年度の予定はわかり次第告知し、最初の授業において説明します。見学後、レポートの提出を求め、必ず参加すること。

成績評価の方法

前期および後期の最後の授業において、筆記試験(記述式)を行います。また、古典芸能鑑賞レポートを提出していただきます(履修上の留意点参照)。そのほか、授業中に小レポートを課し、これらを総合的に勘案します。

教科書

授業中にコピーを配布します。

参考書等

教場において指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	まつ 松 だ なお 直 行	短英	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくレポートによって採点する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語 (前期)	おか もと まこと 岡 本 誠	短国	4

他学部
履修科目

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば“Current English”ということになるのか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalesse に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表、小テスト、出席情况等を総合的に勘案する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

他
学
部
履
修
科
目

Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目

「日本事情」
「日本語」

IV. 日本語・日本事情科目

《日本語科目》

日本語入門 I a	〈吉田 露子〉	383
日本語入門 I b	〈吉田 露子〉	383
日本語入門 II a	〈吉田 露子〉	384
日本語入門 II b	〈吉田 露子〉	384
日本語 I a · I b	〈佐野 典子〉	384
日本語 I a	〈多田羅 哲子〉	385
日本語 I b	〈多田羅 哲子〉	385
日本語 II a · II b	〈佐野 典子〉	385
日本語 II a	〈多田羅 哲子〉	386
日本語 II b	〈多田羅 哲子〉	386
日本語 III a	〈多田羅 哲子〉	386
日本語 III a · III b	〈湯村 礼子〉	387
日本語 III b	〈多田羅 哲子〉	387
日本語 IV a	〈石川 守〉	387
日本語 IV a	〈湯村 礼子〉	388
日本語 IV b	〈石川 守〉	388
日本語 IV b	〈湯村 礼子〉	389
日本語 V a	〈石川 守〉	389
日本語 V a	〈多田羅 哲子〉	389
日本語 V b	〈石川 守〉	390
日本語 V b	〈多田羅 哲子〉	390
日本語 VI a	〈石川 守〉	390
日本語 VI a	〈多田羅 哲子〉	391
日本語 VI b	〈石川 守〉	391
日本語 VI b	〈多田羅 哲子〉	391

「日本語
日本事情」

《日本事情科目》

日本事情 I [地理]	(後期)	〈高橋 健太郎〉	392
日本事情 II [自然]	(前期)	〈清水 善和〉	393
日本事情 III [歴史]	(後期)	〈浅倉 直美〉	394
日本事情 IV [思想]	(前期)	〈赤羽 由規子〉	394
日本事情 V [社会]	(前期)	〈坪井 健〉	395
日本事情 VI [政治・法律]	(後期)	〈中野 裕二〉	396
日本事情 VII [文学]	(後期)	〈相澤 貴之〉	396
日本事情 VIII [文化・芸術]	(後期)	〈赤羽 由規子〉	396
日本事情 IX [経済]	(前期)	〈吉田 敬一〉	397
日本事情 X [経営]	(前期)	〈宮城 徹〉	397

日本事情
日本語

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門 I a (前期)	吉田 落子	短国・短英	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活に必要な日本語の基本語彙、文型から各学生の足りない部分を補いながら、基礎的な日本語を用いて、必要な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の復習
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活において行う発話とその文章化の訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門 I b (後期)	吉田 落子	短国・短英	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、授業や生活で出会う日本語の基本語彙、文型の中で、各学生にとって使用語彙、文型の幅を広げていく。基礎的な日本語を用いて、有用な言語活動ができるようになることを目指す。教室活動の説明において、必要であれば、英語による解説をまじえる場合もある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・基本語彙、文型の確認
- ・ビデオや印刷物から有用な情報の取得
- ・授業や生活における発話に自信を持たせ、平易な文章表現が容易にできるような訓練

履修上の留意点

基本事項は積み重ねが大切なので、毎週の授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、授業参加態度を重視

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門Ⅱ a (前期)	よしだふきこ 吉田 落子	短国・短英	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも大学生活で戸惑うことがないように、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・日本の学年暦を追って日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化、習慣と学生自身のものの比較を交えて理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語入門Ⅱ b (後期)	よしだふきこ 吉田 落子	短国・短英	1

講義のねらい

非漢字圏出身者を対象に、来日間もない学生でも有意義な大学生活が体験できるよう、日本文化、習慣の紹介を取り入れた教室活動を通して、日本語の受容能力（聴く、読む）と、産出能力（話す、書く）をバランスよく伸ばしていく。学習対象者および授業内容の性質上、英語による学習ツールを使用する場合がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・固有の文化に外来のものを適度に織り交ぜて発展してきた日本文化や習慣を紹介
- ・日本の文化や習慣、日本人の考え方と、各学生の出身地のものの比較を交えて相互理解を深める
- ・学生主導によるコースワーク、発表

履修上の留意点

授業は話し合い、学生共同のコースワークによって進行するので、毎週必ず出席すること。

成績評価の方法

出席および平常点、コースワーク

教科書

必要に応じてコピーを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I a (前期)	さののりこ 佐野 典子	短国・短英	1
日本語 I b (後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 I a (前期)	たたら あき こ子 多田羅 哲子	短国・短英	1

講義のねらい

語彙表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

衣・食・住・学生生活など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 I b (後期)	たたら あき こ子 多田羅 哲子	短国・短英	1

講義のねらい

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

政治・経済・文化・社会問題などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高めるより深く理解できるようにする。

成績評価の方法

出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 II a (前期)	さ の のり こ子 佐野 典子	短国・短英	1
日本語 II b (後期)			

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ a (前期)	多田羅 哲 子 <small>たたら あき こ</small>	短国・短英	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ b (後期)	多田羅 哲 子 <small>たたら あき こ</small>	短国・短英	1

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
言いたいことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

意見表明や提案のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・検討を行い、自分の意見とその根拠を文章にまとめる。話し言葉と書き言葉の違いを知る。
テープで、自分が話した日本語を聞く。

履修上の留意点

授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ a (前期)	多田羅 哲 子 <small>たたら あき こ</small>	短国・短英	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
聞き取った内容を把握すると共に、相手や立場、場面を考えてそれにふさわしい言葉で話せるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

ビデオでドラマ・映画・ドキュメンタリーなどを聞き取り、自然な話しかたに慣れる。どんな敬語を使うのか、くだけた言い方がいいのか、どういえば自然かなど、相手や立場などによって使い分けられるよう練習をする。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ a (前期)	湯村礼子	短国・短英	1
日本語Ⅲ b (後期)			

講義のねらい

これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること。さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。国語辞典を持参すること。調べてくる宿題が出る。

成績評価の方法

期末試験、小レポート、授業での発表、授業活動、授業態度などを総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ b (後期)	多田羅哲子	短国・短英	1

講義のねらい

聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
ビデオの内容を把握すると共に、文章力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容、自分の感想、意見とその根拠を話し合い、文章に書き表す。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

「日本語
日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ a (前期)	石川守	短国・短英	1

講義のねらい

日本語の基礎を振り返り、よりしっかりした日本語の基礎を身につけるため日本語Ⅴ・Ⅵの続きの部分をやっていきます。内容は日本語の基礎文法の最終部分です。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎を日本語Ⅴ・Ⅵに引き続いて深くじっくりやっていきます。同時にことわざを毎時間のはじめにやっていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅴ・Ⅵを履修した上で取るのが理想的です。なお、基礎能力をしっかりつけるため、基礎をゆっくりやっていきます。はやくたくさんやりたい人は他の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から、受講態度を厳しくチェックしていきます。私語など授業態度が悪いときは、授業中でも、欠席措置の上退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳa(前期)	湯村礼子 <small>ゆむら れいこ</small>	短国・短英	1

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

要約文、報告文を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

課題作文(3回)
提出物
授業活動(授業での発言、授業態度など)

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳb(後期)	石川守 <small>いしかわ まもる</small>	短国・短英	1

講義のねらい

日本語の中上級文法を中心にその使い方について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Ⅳaの続きの部分を行っていきます。同時にことわざを毎時間授業のはじめにやっていくつもりです。

履修上の留意点

日本語Ⅳaの続きの内容を行います。

成績評価の方法

試験の成績50%、授業態度、出席などで50%をつけていきます。評価は厳しいので、要注意。

教科書

特になし。授業中に自作のプリントを配ります。

参考書等

辞書を持参してください。

その他

授業中の私語など、授業態度の悪いものは欠席処置の上、退室を命ずることもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳb(後期)	湯村礼子 <small>ゆむら れいこ</small>	短国・短英	1

講義のねらい

読解と文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

説明文、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。

履修上の留意点

授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文(3回)
提出物
授業活動(授業での発言、授業態度など)

教科書

教科書は授業時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅴa(前期)	石川守 <small>いしかわ まもる</small>	短国・短英	1

講義のねらい

日本語の文法の基礎を呼称や指示詞などはじめからやり、しっかりとした日本語の基礎を作ることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の基礎文法の前半部分をやっていきます。

履修上の留意点

主に1年生向き。日本語の基礎をもう一度振り返り、しっかりした基礎を作るため、より深くやっていきます。その関係で進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたい場合は、他の先生の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験の成績50%、平常点(受講態度、出席など)50%の合計でつけます。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

その他

今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたうえ、退室を命ずることもあります。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅴa(前期)	多田羅哲子 <small>ただら あさこ</small>	短国・短英	1

講義のねらい

読むことを中心に日本語の表現力も高める。
レポートを書くための基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

各種の新聞記事など時事問題を中心に自分で調べながら読み、内容について説明したり、意見発表を行う。
それらを文章にまとめる。

成績評価の方法

平常点(小テスト・提出物・授業の参加度)を重視する。

教科書

プリント配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V b (後期)	いし かわ まもる 石川 守	短国・短英	1

講義のねらい	日本語の文法の、しっかりした基礎をつくることを目標にしています。
講義の内容・授業スケジュール	日本語 Va の続きをやっていきます。
履修上の留意点	主に1年生中心の内容を考えています。しっかりした基礎を作るために、じっくりとやっていきます。速く、たくさんやりたい人は、他にも、日本語 V があるので、そちらを取って下さい。
成績評価の方法	試験の成績50%、平常点（受講態度、出席など）50%。
教科書	特になし。授業中にプリントなどを配ります。
参考書等	辞書を持ってきて下さい。
その他	今年から、受講態度も厳しくチェックしていくことにしました。授業中の私語など欠席にしたうえ、退室を命ずることがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V b (後期)	たたら あき こ 多田羅 哲子	短国・短英	1

講義のねらい	読むことを中心に日本語の表現力も高める。 レポートを書くための基礎を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	各自関心のある内容の文章を集めて読み、内容を発表する。その内容について話し合い、文章にまとめる。
成績評価の方法	平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI a (前期)	いし かわ まもる 石川 守	短国・短英	1

講義のねらい	日本語の基礎文法を日本語 V に引き続き行い、正確な日本語文法の基礎を作ることを目標としています。
講義の内容・授業スケジュール	日本語 V で行った日本語の後の部分をやっていきます。
履修上の留意点	この授業は日本語 V の続きの内容なので、日本語 V を履修してから取るのが理想的です。授業はじっくりやっていきますので、進度はあまり速くありません。速くやりたい人は他の先生の授業を取ることをお勧めします。
成績評価の方法	試験50%、平常点（出席点、授業態度）50%の合計で出します。
教科書	特になし。授業中にプリントを配ります。
参考書等	辞書を持ってきてください。
その他	今年から受講態度を重視していきます。受講態度が悪いときは、授業中でも欠席にした上で退室を命じます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 VI a (前期)	たたら あき こ 多田羅 哲 子	短国・短英	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 VI b (後期)	いし がわ まもろ 石 川 守	短国・短英	1

講義のねらい

日本語のVIaの続きを行い、しっかりした日本語文法の基礎を作ります。

講義の内容・
授業スケジュール

日本語VIaの残りの部分を行っていきます。
授業のはじめに「ことわざ」をやっていきます。

履修上の留意点

この授業は、日本語VIaの次の部分をやっていきます。じっくりやっていくため、進度はあまり速くありません。速くたくさんやりたいときには他の先生の授業を取ってください。

成績評価の方法

試験50%、平常点（出席、受講態度）50%。

教科書

特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等

辞書を持ってきてください。

そ の 他

今年から受講態度を厳しくチェックしていきます。私語をするなど態度の悪いものは授業中でも欠席にした上で、退室を命じます。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語 VI b (後期)	たたら あき こ 多田羅 哲 子	短国・短英	1

講義のねらい

文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・
授業スケジュール

雑誌・小説等さまざまな文章を速読し、その内容・感想・意見を発表する。
漢字の読み、語句の意味や使い方、文法事項等についても各自調べ、確認する。

成績評価の方法

平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 I 〔地理〕(後期)	たか はし けん たろう 高 橋 健太郎	短国・短英	2

講義のねらい

人々の生活や地域社会の特徴と変化などを、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に次の項目について検討する。
(1) 日本の地域性、(2) 都市の構造と変容、(3) 農山村の生活と地域振興、(4) 観光開発、(5) 地図と地名。

日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。また、大学の外に出て、特徴のある地域や施設の見学も行う。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法

ほぼ毎回教場で作成してもらう小レポートと学期末のレポートで評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 Ⅱ 〔自然〕(前期)	し みず よし かず 清 水 善 和	短国・短英	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や環境保全のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・ 授業スケジュール

第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

第Ⅱ章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の流れ
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

第Ⅴ章 環境保全の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

成績評価の方法

教科書

講義の内容を日本語の文章で著わした「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。また、それを英語に翻訳した英語版教科書も用意する。これらは清水のHPから自由にダウンロードできる。

参考書等

「web版教科書」で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

講義に必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 Ⅲ 〔歴史〕(後期)	あさ くら なお み 浅 倉 直 美	短国・短英	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下統一
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大手と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教 科 書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 Ⅳ 〔思想〕(前期)	あか ぼ ゆき こ 赤 羽 由 規 子	短国・短英	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

そ の 他

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 V 〔社会〕(前期)	つば い つよし 坪 井 健	短国・短英	2

講義のねらい

この講義は、外国人留学生、日本人帰国子女学生等を対象に、日本社会の現状について理解を深めてもらうことを目的に実施します。具体的には、日本人の生活者の視点から、敗戦後の復興期、高度成長期などを経て現在に至る生活変動の概略をビデオ等で紹介し、その後、地域社会、学校教育、高齢社会の現実などを現地見学やビデオを使いながら、視覚的・体験的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに－講義の仕方と注意事項－
2. 戦後民衆の生活変動1－講義－
3. 戦後民衆の生活変動2－ビデオと討論－
4. 地域社会の実情1－講義－
5. 地域社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
6. 地域社会の実情3－討議とまとめ－
7. 学校教育の実情1－講義－
8. 学校教育の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
9. 学校教育の実情3－討議とまとめ－
10. 高齢社会の実情1－講義－
11. 高齢社会の実情2－見地見学またはビデオ視聴－
12. 高齢社会の実情3－討議とまとめ－
13. 日本社会事情－全体のまとめ－

履修上の留意点

この授業は、講義だけでなく、現地見学やビデオ機器などを利用して、体験的・視覚的理解を深めることを目的としています。従って、積極的に参加し、体験と感動を共有してもらい、楽しい授業になることを期待しています。現地見学は、なるべく近隣の施設を利用し、正規授業時間内に収まるよう工夫する予定です。他の授業時間に影響しないようにしますので、安心してください。

成績評価の方法

参加度(60%) + 課題レポート(40%)

教科書

特定の教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。

参考書等

授業中に指示する。

その他

特に、英語や他の外国語での補足説明はしませんが、日本語能力に不足する学生にも十分配慮して進める予定です。講義内容は詳細なプリントで説明し、事例の内容はビデオや現地見学など視覚教材や体験学習を通して理解できるよう配慮する予定です。日本語能力に関係なく十分楽しめる授業になるはずですよ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 VI 〔政治・法律〕(後期)	なか の ゆえ し 二 中 野 裕 二	短国・短英	2

講義のねらい

この講義の目標は次の二点にあります。第一は、日本の政治制度の概要を理解すること。第二は、日本の今の政治状況を自分なりに説明できること。

講義の内容・
授業スケジュール

現時点では正確な授業スケジュールは固まっていません。しかし、次のような項目を扱う予定です。

・国会 ・内閣 ・裁判制度 ・政党制 ・国際社会の中の日本

履修上の留意点

日本の政治制度に関する基礎知識を前提とはしません。しかし、毎日のニュースをチェックするなど、日本政治に興味を持っていることを前提とします。

成績評価の方法

毎回の出席、期末試験と授業中の発言などを総合的に判断し、成績評価とします。

教 科 書

教科書は使用しません。毎回プリントを配布し、その内容にそって講義を進める予定です。参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 VII 〔文学〕(後期)	あい ざわ たか ゆき 相 澤 貴 之	短国・短英	2

講義のねらい

本講義は、日本語・日本文学を通して、日本の文化や他の国の文化への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は、日本の小説・詩歌・演劇・食文化等について、その特徴を説明する。受講する学生は、その講義の内容に基づいて他の国の小説・詩歌・演劇・食文化等を日本の文化と比較し、毎月レポートを提出する。

履修上の留意点

講義をよく聞き、その後討議をするので、活発な発言を期待する。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席状況を特に重視し、提出したレポートと授業態度等によって評価する。

教 科 書

必要に応じてプリントを用意する。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 事 情 VIII 〔文化・芸術〕(後期)	あか ば ゆき こ 赤 羽 由 規 子	短国・短英	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅸ 〔経済〕(前期)	よし 吉 田 敬 一 よし 吉 田 敬 一	短国・短英	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No.1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

レポートと平常点・出席点で評価します。再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

参考書等

講義中に必要に応じて紹介します。

その他

本講義は受講生の日本語能力向上を目的の一つとしていますので、講義はすべて日本語で行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	みや 宮 城 徹 みや 宮 城 徹	短国・短英	2

「日本語」
「日本事情」

講義のねらい

日本企業の特徴と問題点について講義する。日本語で分かりにくいということになれば、英語で講義する。当然、受講生は英語で発言してよい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、講義の初日に指定する。また、必要な資料・文献はコピーして配布し、講義を進める。

成績評価の方法

出席を重視する。成績評価は、論述式である試験の結果による。

参考書等

参考文献は随時指定する。

「日本事情」
「日本語」

專 攻 科

(放射線技術科学専攻)

科学專攻
放射線技術

専攻科（放射線技術科学専攻）

応用医療生物学	〈日下部 正宏〉	403
放射線の生物影響	〈日下部 正宏〉	403
放射線生物学研究	〈休 講〉	
放射線生物学特別実験	〈休 講〉	
疾病と画像	〈蜂屋 順一〉	404
放射線治療効果	〈吉川 宏起〉	404
画像医学研究	〈蜂屋順一・氏家盛通・奥山康男・西尾誠示・吉川宏起〉	404
画像医学特別実験	〈蜂屋順一・吉川宏起〉	405
線量計測工学	〈小山 正希〉	405
放射線検出器工学	〈北 沢 日出男〉	405
放射線計測工学研究	〈小山正希・青木 清・佐藤昌憲・杉田 徹〉	406
放射線計測工学特別実験	〈小山 正希〉	406
放射線感光化学	〈山本 裕 右〉	406
放射線化学特論	〈山本 裕 右〉	407
応用放射線化学研究	〈山本裕右・原田和正〉	407
応用放射線化学特別実験	〈山本 裕 右〉	408
放射線リスク評価学	〈羽 生 毅〉	408
最新放射線治療技術	〈久保田 進〉	409
診療機器工学研究	〈休 講〉	
診療機器工学特別実験	〈休 講〉	
診療機器システム基礎工学	〈休 講〉	
診療機器材料・デバイス工学	〈休 講〉	
放射線画像工学研究	〈高野正雄・熊坂さつき・近藤啓介〉	409
放射線画像工学特別実験	〈高野正雄・野口 勝〉	409
放射線画像解析工学	〈近 藤 啓 介〉	410
放射線画像処理工学	〈近 藤 啓 介〉	410

科学専攻
放射線技術

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用医療生物学	くさかべ まさひろ 日下部 正 宏	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

生物に共通する現象や法則性と生物学（生体工学、生命工学）の全体像について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・細胞の構造と機能
- ・遺伝子工学
DNA二重らせん構造、遺伝情報の流れ、組み替え技術
- ・タンパク質
構造、機能、細胞内のタンパク質の相互作用
- ・免疫システム
仕組み、抗体、抗原
- ・生体材料
- ・医用工学
医療への工学技術の応用

成績評価の方法

出席点およびレポート

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線の生物影響	くさかべ まさひろ 日下部 正 宏	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

1. 放射線作用の特徴、放射線の分子・細胞レベルにおける作用機構、放射線が臓器・個体に与える影響について講義する。
2. 最近の医用機器や医学領域の話題について適宜講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 放射線の生物影響について
 - ・放射線生物学の概説
 - ・線量概念と単位
 - ・分子レベルの影響
 - ・細胞レベルの影響
 - ・臓器・組織レベルの影響
 - ・個体レベルの影響
 - ・遺伝的影響
 - ・胎児影響
 - ・放射線影響の修飾要因
 - ・放射線治療における生物学
 - ・体内被ばく
 - ・放射線防護
2. 最近の話題（高速コンビーム X 線 CT、PET-CT など）

成績評価の方法

出席点およびレポート

参 考 書 等

杉浦紳之著『放射線生物学』（通商産業研究社刊）2,520円
館野之男著『放射線と健康』（岩波新書）780円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
疾 病 と 画 像	はち 蜂 や 屋 じゅん 順 いち 一	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線診断の対象となる各種疾患の中から、比較的頻度の高いものをえらび、その臨床的背景を十分に理解した上で各種画像診断の役割と意義を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

中枢神経系、頭頸部、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、骨関節系の主要疾患を対象とし、その疫学、病理、臨床像について解説したあと画像診断のすすめ方、画像所見とその解釈、鑑別診断、治療法と成績などを示す。

履修上の留意点

医療チームの一員として診療に参加するために要求される総合的な医学常識を身につけること。

成績評価の方法

定期試験

教 科 書

使用しない

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 治 療 効 果	よし 吉 かわ 川 こう 宏 き 起	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線治療は、放射線診断とともに医学における電離放射線利用の柱であり、現在も大きく進歩している領域である。本講義では各臓器における悪性腫瘍の病期決定に必要な画像情報とその検査法、放射線治療法について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

中枢神経系、頭頸部、肺・縦隔、腹部、男性生殖器、女性生殖器、乳腺、骨軟部、血液・骨髄の各領域における悪性腫瘍の特徴、画像検査法と特徴的所見および放射線治療法について概説する。

履修上の留意点

放射線治療計画を行う上で必要な画像情報とそれを得るための撮影技術を理解する。

成績評価の方法

出席率・授業時間内テストにより評価。

放射線技術
科学専攻

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 医 学 研 究	はち 蜂 や 屋 じゅん 順 いち 一 氏家 盛通 おくやま 奥山 やすお やすお にしお 西尾 せいじ 誠示 よしかわ 吉川 こうき 宏起	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各種の画像診断の技術は日々発展し続けている。各画像診断法の基礎的研究と臨床への応用と発展に対応できる知識を身につけるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本語による文献による討論、さらに欧米の文献による知識を得ることも心がける。自分が選んだ論文を発表すること、また指定した論文のこともあり得る。

成績評価の方法

授業時間内テストの成績によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像医学特別実験	はちや じゅんいち よしかわ こうき 蜂屋 順一・吉川 宏起	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

現在すでに利用されている診断法でもさらに新しい撮像法が実行されている。例えばヘリカルCTは一般的なものとなり、3Dイメージ、マルチスライスCTは日常の検査法である。したがって適切な診断を行うための適切な撮影法と条件の設定は診療放射線技師の判断に負うところが多い。そのために十分な医学的知識と実戦力を養うための実験を行う。

成績評価の方法

出席率・授業時間内テストにより評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
線量計測工学	こ やま まさ き 小山 正 希	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

照射線量、吸収線量、等価線量などを決めるための測定ではまず各線量概念を明確にすることが必要である。次にこれらの線量概念を実測するための測定装置について、現時点での対応とその問題点について明らかにし、これら問題点を解決するための方針について考える。国際勧告で提示される線量概念とその同定法に関する指針に準拠し、かつ在来の測定法に必ずしもとられずに計測系を構成することを考えてゆく。又、同一条件下で異なる検出系、例えば電離箱型と半導体検出器との測定結果を比較することで測定対象をより明らかにするなどの手法を考えてみる。

成績評価の方法

中間テストによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線検出器工学	きた ざわ ひでお 北 沢 日出男	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

X線、ガンマ線、中性子線、荷電粒子線および重粒子線などの放射線を用いた病理学的診断や治療が幅広く行なわれている。このような医療の現場では、放射線検出器を用いて照射線量を評価することが重要になる。本講義では、各種放射線の起源、放射線と物質の相互作用、放射線の検出および放射線計測データの統計的取扱いについて講述する。さらに、放射線医療における放射線検出器の適用に関して概観する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 放射線のみなもと
- (2) 放射線計測における統計的取り扱い
- (3) 放射線と物質の相互作用
- (4) 放射線の検出
- (5) 放射線検出器の医療への応用

成績評価の方法

中間試験およびレポートの成績、受講態度。

教科書

使用しない。

参考書等

講義テキストを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線計測工学研究	小山正希・青木清 佐藤昌憲・杉田徹	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

- ・ Radiation Research
- ・ Physics in Medicine & Biology
- ・ Medical Physics
- ・ Nuclear Instruments and Methods
- ・ British Journal of Radiology

等の関連外国雑誌から主として医療に係わる、或は関連のある論文を主題にして放射線計測についての新しい知見と在来技術との関係などについて議論する。

成績評価の方法

授業時間内テストによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線計測工学特別実験	小山正希	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

半導体放射線検出器による制動 X 線のエネルギー分布測定など、放射線線束、被放射場の特性及び線量計測システムに関する実験を行う。

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況などにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線感光化学	山本裕右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線の感光材料としてはフィルムが最も一般的であり広く使用されているが、本講義においては、医療分野でフィルムと組み合わせて使用される増感紙、および放射線に対する新しい感光材料として近年使用されている輝尽発光体について、放射線と物質の相互作用に注目して解説する。増感紙については、まずラジオルミネセンスについて触れ、発光機構を説明すると共に、種々の増感紙材料の化学および発光特性について解説する。また、輝尽発光体については、輝尽発光の発光機構について説明し、種々の輝尽発光体材料の化学および発光特性について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 放射線による発光現象の医療への応用
2. 増感紙に用いられる発光体とその特性
3. 輝尽発光とは
4. 輝尽発光体の歴史
5. BaFX:Eu 発光体の特性と発光機構
6. その他の輝尽発光体の特性
7. ISP の自然科学への応用
8. 輝尽発光現象の線量測定への応用

成績評価の方法

試験およびレポート。

教科書

使用しない。

参考書等

S.Shionoya and W.M.Yen ed., Phosphor Handbook, CRC Press (1999).

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線化学特論	やまもと ゆうすけ 山本 裕右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

本講義においては、固体の放射線化学のうち、特に、放射線と固体との相互作用を利用した放射線線量測定に関係する領域について解説する。まず、イオン結晶、共有結晶、ガラスについて放射線の固体への効果を概観し、固体に残される放射線効果と格子欠陥の関係、空孔と捕獲中心などに触れながら、放射線のエネルギーがいかんして固体中に蓄積されるか、また、蓄積されたエネルギーをいかんして開放するかを解説する。さらに、以上の事を基礎として、熱ルミネセンス、エキソ電子放出現象について言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 固体の化学
2. 結晶の不完全さ、格子欠陥
3. 放射線と固体の相互作用
4. 放射線による発光現象
5. 熱ルミネセンスとは
6. グロー曲線の解析
7. 熱ルミネセンスの放射線計測への応用
8. 各種 TLD の特性

成績評価の方法

試験およびレポート。

教科書

使用しない。

参考書等

S.Shionoya and W.M.Yen ed., Phosphor Handbook, CRC Press (1999).

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用放射線化学研究	やまもと ゆうすけ はらだ かずまさ 山本 裕右・原田 和正	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

Journal of Luminescence, Journal of Physics, physica status solidi, Journal of Applied Physics などの洋雑誌および専門書から、固体線量計、特に TLD および輝尽発光体に関する最近の研究論文、総説などを講読し、この分野における最新の研究状況に触れると共に、種々の研究法の詳細、および得られたデータの解釈についての理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

予め論文のプリントを配布し、前期は一語一句を正確に訳すことから初める。後期は各自与えられた論文を予め精読、要約し、まとめた内容を30分程度で発表し、論文の内容についての質疑応答を行う。

履修上の留意点

予めの予習が大切である。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

教科書

その都度、論文のプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用放射線化学特別実験	やまもと ゆうすけ 山 本 裕 右	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

熱ルミネセンス発光体 (TLD)、輝尽発光体 (画像蓄積プレート ISP) および増感紙についてその基本原理、基本特性および使用上の注意点等を理解するための実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. TLD のグロー曲線
 2. TLD の熱ルミネセンススペクトル
 3. ISP の輝尽発光スペクトル
 4. ISP の輝尽励起スペクトル
 5. 増感紙の X 線励起発光スペクトル
 6. 増感紙、ISP の X 線回折
- 以上から各自 2、3 テーマを選択して実験を行う。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

教 科 書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線リスク評価学	はぶ たけし 羽 生 毅	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線に関するリスク解析及びメディカルリスクマネジメントシステムを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. リスク解析
2. メディカルリスクマネジメントシステムの構築

履修上の留意点

病院実習・勤務により知見を得たリスクマネジメントを整理しておくこと。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

教 科 書

配布資料による。

参 考 書 等

- D. M. Kammen and D.M. Hassenzahl 著、中田俊彦訳『リスク解析学入門』(シュプリンガー・フェアラーク東京) 3,900円
 JIS Q2001『リスクマネジメントシステム構築のための指針』
 三菱総合研究所政策工学研究部編『リスクマネジメントガイド』(日本規格協会) 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
最新放射線治療技術	くぼた すすむ 久保田 進	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線による癌治療の歴史、現状、将来について学び、癌治療と放射線を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

4月から7月まで週一回、講義を行います。講義の内容はHPにも書かれています。

履修上の留意点

講義中に直接、また電子メールで、質問してください。sk1950@katakuri.sakura.ne.jp

成績評価の方法

7月に試験を行います。

教 科 書

久保田進著『放射線治療ハンドブック』（ERC出版）私のHP：<http://katakuri.sakura.ne.jp/sk1950/ii.html>。

参 考 書 等

1. 館野之男編『原典で読む放射線治療史』（エムイー振興協会）
2. 原子力文化振興財団のホームページ：<http://nucpal.gr.jp/websitel/support/index.html>

そ の 他

講義中に質問できなかったこと、後で疑問に思ったことは電子メールで質問してください。携帯電話用のメルマガにもアクセスしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線画像工学研究	たかの まさお くまの 高野 正雄・熊坂さつき こんどう けいすけ 近藤 啓介	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

前半は、画像工学特別実験で各人が選定したテーマに関係する文献や雑誌の論文を講読する。後半は、「研究における創造性とは何か？」を主題に、医用画像工学に関する文献を精読する。

講義の内容・
授業スケジュール

一回目の論文は選定されたものを配布するが、二回目以降は各人で調査選択する。各人が月一回は講読発表をする。

履修上の留意点

文献の調査をしっかりおこない、内容のあるものを選定すること。

成績評価の方法

文献の調査、選定のレベル、講読の理解度等、総合評価をする。

放射線技術
科学専攻

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線画像工学特別実験	たかの まさお のぐち まさる 高野 正雄・野口 勝	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

X線画像形成システムを使用して、画質の評価法や解析法、画像処理と読影画質の関係の解明等をテーマにして実験を行い、レポートをまとめる。自分の知識をフルに使い、工夫と努力により一つのをまとめ上げる貴重な体験学習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

各人のテーマは協議して決定。

履修上の留意点

自分が選んだテーマなので、自らの努力と行動力が大切です。

成績評価の方法

学習姿勢とレポート。

そ の 他

積極的に人と討論をし、レポートの内容を高めてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線画像解析工学	近藤啓介	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

よりよいX線画像の診断を行うためには、優れた画質の像を作る必要がある。そのためには、対象となる画像形成システムの画質の解析を行い、最良の状態にしなければならない。この授業では、そのための基礎理論と具体的な手法について学習する。

講義の内容・授業スケジュール

フーリエ解析 (アナログ)
フーリエ解析 (デジタル)
ウェーブレット解析の基礎

履修上の留意点

授業の半分は演習を行います。積極的に受講すること。

成績評価の方法

演習とレポートにより評価する。

教科書

内田勝監修『デジタル放射線画像』(オーム社) 3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線画像処理工学	近藤啓介	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

今日、病院で取り扱われている医用画像の多くは、デジタル信号化され画像処理されて出力している。また、これらの信号は、保管や検索さらに伝送のための圧縮/伸長などの画像処理がおこなわれ、画像診断分野の合理化、スピードアップ等に活用されている。大変重要な技術で、IT時代の医療人としては不可欠なものである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 画像処理の基礎
 1. 画像のデジタル化
 2. 入力画像の単純変換処理
 3. 空間フィルター処理
 4. 直交変換フィルター処理
 5. 画像の表示
 6. 2値化画像
 7. 可逆符号化
 8. 非可逆符号化
 9. ウェーブレット変換
- II. イメージングシステム

履修上の留意点

毎週演習をおこないます。自習をしっかりとすること。

成績評価の方法

演習とレポートにより評価

教科書

近藤啓介・田畑慶人・笠井俊文著、『医療画像処理実践テキスト』(オーム社) 4,200円

仏教科—夜間開講—

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目

宗教教育

1. 宗教教育科目

仏教と人間〈角田泰隆〉	419
仏教と人間〔再クラス〕	

宗教教育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 仏教と人間〔再クラス〕	つの だ たい りゅう 角 田 泰 隆	短仏1必 短仏2年	4

講義のねらい

宗教とは何か、そして仏教とは何かについて、その基本的事柄について、できるだけわかりやすく講義する。特に、葬式仏教と批判され誤解されている仏教を、正しく認識してもらいたいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、宗教とは何かについて概説し、世界宗教（キリスト教・イスラム教）と民族宗教（ユダヤ教・ジャイナ教・ヒンドウー教・儒教・道教・神道ほか）についてそれぞれ講義する。後期は、仏教の歴史及び思想を解説する。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、年間授業数の3分の2以上授業に出席することが必要である。

宗教教育

2. 教 養 教 育 科 目

教養教育

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学〔比較宗教文化〕	〈田中 かの子〉	425
文学〔日本文学「古典」〕	〈田中 伸作〉	425
文学〔日本文学「近代」〕	〈保明 陽子〉	426
歴史学(1)〔日本近代史〕	〈林 彰〉	426
歴史学(2)〔中国史概観〕	〈小林 惣八〉	427
歴史学(3)〔アジア史概観〕	〈小林 惣八〉	427
哲学〔西洋思想の源流〕	〈滝沢 正之〉	427
哲学〔近代の人間観と世界観〕	〈伊古田 理〉	428
哲学〔現代文明と人間〕	〈鈴木 聡〉	428
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈伊古田 理〉	429
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈麻生 享志〉	429
倫理学〔現代と倫理〕	〈古田 知章〉	430
倫理学〔人生と倫理〕	〈水口 拓寿〉	431

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕	〈鶏 徳 啓 登〉	431
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈長谷川 日出世〉	432
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈枝松 正行〉	432
経済学〔現代経済と人間〕	〈明瀬 政治〉	433
社会学〔現代社会を考える〕	〈呉 炳 三〉	434
社会学〔現代文化を考える〕	〈橋爪 敏〉	434
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内 康 慈〉	435
文化人類学〔文化と人間〕	〈川上 新 二〉	436
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈杉井 純 一〉	437
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈三船 恵 美〉	438
政治学〔国際社会と日本〕	〈山村 恒 雄〉	438

(3) 自然分野

心理学 (1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈鈴木 順 一〉	439
心理学 (2)〔人間関係を考える〕	〈鈴木 順 一〉	440
生物学〔生態と進化〕	〈清水 善 和〉	441
生物学〔生物と環境〕	〈中村 敏 枝〉	442
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	〈澤口 隆〉	443
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	〈坂野井 和 代〉	444
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	〈加藤 潔〉	444
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	〈篠原 正 雄〉	445
自然環境論〔生命と環境〕	〈中村 敏 枝〉	446
情報数 学〔情報と論理〕	〈小沢 誠〉	446

教育教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	田 中 かの子	短仏1・2選	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をとまなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教を選び、それぞれの歴史・思想・文化を仏教との比較において講ずる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教科書

田中かの子著『比較宗教学—「いのち」の探究』（北樹出版）2004年

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「古典」〕	田 中 伸 作	短仏1・2選	4

講義のねらい

軍記物語の代表として知られる『平家物語』は、平家一門をとりまく人々のドラマを実に生き生きと描き出している。その内容・叙述において『平家物語』は非常に中世らしい文学作品であると言えるだろう。この作品を読むことで、古典文学に親しみ、中世における文学のあり方を考えることを目的とする。
また、史実が文学に取り込まれたとき、どういう世界として描かれるのかという歴史文学としての側面も考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

『平家物語』の代表的な句を読み、内容と特色を把握する。また、関連する史料を紹介し、時代背景や文化史的な問題も追及する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教科書

『平家物語抄』（おうふう）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学〔近代〕〕	ほ 明 陽 子 保 明 陽 子	短仏1・2選	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・
授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探求するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品について本格的に考えることになる。授業に出席することで新しい考え方を探求し、そして実際に本を読み、そこで獲得した考察の成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して話題になるテーマについて、その都度みなさんが考察してきたことが、不定期に課されるレポート提出という形で問われ、その提出状況と内容が成績に反映される。

教科書

畑有三・山田有策・長野隆『作品で綴る近代文学史』双文社出版 2,000円
随時プリントも配布する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (1) 〔日本近代史〕	はやし 彰 林 彰	短仏1・2選	4

講義のねらい

幕末から明治・大正時代にかけての歴史的な流れを、思想・思潮を中心に政治社会の動向をふまえて概観していく予定である。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、知識人・民衆がどう受容し、在来の伝統的な思想といかに対立・錯綜・混在していくのか。それらを人物・ジャーナリズムなどを中心にみていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、幕末から明治・大正・昭和前期の、いわゆる近代史の概説をこころみる。後期には、人物・メディアを中心に具体的に近代の思想の流れをおっていく。とくに、体制側の思想と運動、反体制側の思想と運動に留意しながらみていく。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

教科書

講義中に指示する。

参考書等

『日本の近代—国家と民衆』(梓出版) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 (2) 〔中国史概観〕	小林 惣八 <small>こばやし そう ほん</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 (3) 〔アジア史概観〕	小林 惣八 <small>こばやし そう ほん</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔西洋思想の源流〕	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

西洋古代中世哲学史を概説する。
古い哲学者では2500年前にまでさかのぼることになる。しかし、哲学というものは不思議なもので、古い人より新しい人のほうがより正しいことを言っているのかというと、そうでもない。科学とは事情が違うわけだ。古代や中世の哲学者たちは、現代でも十分に現役で通用する面白い考えを示してくれている。
古代中世哲学の時代を超えた洞察を紹介していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

西洋古代中世哲学史から、主要な哲学者を何人か取り上げ、解説する。古代哲学、そのなかでも、プラトンとアリストテレスが中心となる予定。

成績評価の方法

基本的に中間および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点を探る。今年度は、特に「世界」について検討する。われわれ人間の住む場である世界の理解のしかたを検討することは、人間の自己理解にもつながるが、こうした「世界」概念がどのように形成され、現代文明を考えるうえでどのような意義と問題点を持っているかを解説する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要などころをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教 科 書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 〔現代文明と人間〕	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

以下の素材のうちのいくつかを叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果論
2. 演繹
3. 帰納
4. 仮説形成
5. グルーのパラドクス
6. 懐疑的パラドクス
7. ニューカムのパラドクス
8. 囚人のディレンマ
9. 言語哲学

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

そ の 他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	いこた まさる 伊古田 理	短仏1・2選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 古典的三段論法 (2) 公理系Ⅰ～命題論理 (3) 公理系Ⅱ～述語論理
(4) コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あさ お たが し 麻 生 享 志	短仏1・2選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものかと考えるか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで(1) 論理とは何かを考え、(2) 変化する論理学の各内容についての知識を持ち、(3) 日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔現代と倫理〕	ふるたともあき 古田知章	短仏1・2選	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上でこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕倫理的原理についての検討

1. 倫理学における問題の所在 —倫理的であること—
2. 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
3. 中世における宗教的倫理観
4. ルネサンスと宗教改革 —個としての人間—

〔後期〕

- I. 倫理的原理についての検討（前期の続き）
 - 近・現代における倫理思想 —主体性と自由の問題—
- II. 応用倫理学の諸問題への基礎的な検討
 1. 生命の尊厳
 2. 人間の環境との関係
 3. 情報と倫理

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	みなくちたくじゅ 水口拓寿	短仏1・2選	4

講義のねらい

「無礼者」や「親孝行」という言葉には、皆さんもなじみがあるでしょう。この授業では、私たち東アジア人の思考や行動を二千年以上にわたり規定してきた「礼」と「孝」の精神を探りあげ、その原像・伝統・現在を見つめてみましょう。歴史的にも思想的にも、これら二文字に含まれる意味は、思いがけないほど深いのです。

講義の内容・授業スケジュール

初めに「倫理」という概念そのものや、「道徳」「規範」との異同について考察します。次に「礼」をめぐって、教科書Aの章節に沿いながら講義します。続いて「孝」をめぐって、教科書Bの章節に沿いながら講義します。教科書は共に「儒教」を表題にしていますが、この授業では儒教という言葉に必ずしもこだわらず、東アジアに今も息づく「礼」や「孝」を、身近なところから探り当てることに務めましょう。

履修上の留意点

私は教科書を朗読するだけの係ではありませんし、著者たちの代弁役でもありません。むしろ学説の一例として批評的に吟味する態度を、皆さんにも共有してほしいと思います。

成績評価の方法

学期末に提出してもらったレポートを、主な評価材料にします。授業中には出席状況の調査も兼ねて、講義内容の感想などを書いてもらう場合があります。

教科書

A 小島毅『東アジアの儒教と礼』（山川出版社、世界史リブレット）
B 加地伸行『儒教とは何か』（中央公論社、中公新書）
受講時には必ず持参して下さい。いずれも持ち運びやすく廉価な本です。

参考書等

必要に応じて、主に授業中に指示します。私の作成したプリントを、参考資料として配る場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	けいとくひろとう 鷄徳啓登	短仏1・2選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - 法の意義
 - 法発生背景
 - 法とその近辺の社会規範
 - 法の種別と解釈
 - 法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

教養教育

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法 学 ・ 憲 法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	短仏1・2選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかわりあいを検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社 会 科 学 論 〔社会認識の思想〕	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	短仏1・2選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的品格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

そ の 他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済と人間〕	明瀬 政治 <small>みょう せ まさ はる</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています

講義の内容・授業スケジュール

受講生にあっては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいます。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- (1) 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
 - (2) きょうは「経済学」か、と言わせたい
- そして、
- (3) 結構おもしろい(じゃん)、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りて業間チェック(クイズ)を行い、平常点として考慮します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 びよん さん 炳 三	短仏1・2選	4

講義のねらい

社会学が対象とするのは個人、集団、社会などである。その分野においても、「恋愛」「家族」「教育」「文化」「政治」「犯罪」「法律」「経済」「宗教」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何だろうか。また、これらの諸問題を解決するためにはどのような手段が有効であろうか、本講義で分析していく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、前期は社会学の基礎について講義する。後期は、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な諸問題について考察を深めていく。

- (1) 社会の変動にともなう家族の変化をおう。これは、乳幼児における親との関わりや家族生活における様々な要因によって、青春期や高齢期に様々な問題が現れる。また、少子・高齢社会といった家族に関する諸問題などを検討する。
- (2) 近年、凶悪な少年犯罪が多く、犯罪と家族との関係についても分析する。
- (3) 「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー：社会的な性」などの諸問題を考える。
- (4) 現代のIT文化が若者文化（ユース・カルチャー）に与える影響について、または現代社会において果たす役割とは、など日本の若者の心を分析していく。
- (5) 現代における企業活動の意義、または企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題について考える。

履修上の留意点

この講義は、出来る限り受講生自分自身で調べ、考え、答えを出す方向で講義を持つていくので、授業を聴く、考える姿勢が望まれる。または毎回辞書を持参すること。曖昧な日本語を使う学生、日本のことを知らない学生のために宿題を出すことがあるので、宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

前・後末に筆記試験を行うなど。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社） 2,500円

参考書等

講義中に、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	はし 橋 つめ さとし 橋 爪 敏	短仏1・2選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」の見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	短仏1・2選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) (1) 統計学の概要 (2) 度数分布表とヒストグラム (3) 基本統計量
(4) 確率の定義 (5) 場合の数 (6) 和事象・積事象の確率
(7) 演習 (8) 確率変数と確率分布 (9) 平均・分散と期待値
(10) 確率変数の標準化 (11) 正規分布表問題 (12) 演習 (13) まとめ
- (後期) (14) 母集団と標本 (15) 点推定と区間推定
(16・17) 正規母集団の区間推定 (18) 仮説検定
(19・20) 正規母集団の検定 (21) 推定・検定の応用 (22) 演習
(23) 散布図と相関係数 (24) 回帰分析 (25) 回帰分析の応用 (26) まとめ

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

3回の演習と期末試験を総合的に評価します。

教科書

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等

適時指定します。

その他

配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするために課題演習を実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔文化と人間〕	かわ 川 かみ 上 しん 新 じ 二	短仏1・2選	4

講義のねらい

国境を越えての交流がますます活発になっている現代社会では、私たち一人一人もこれからさまざまな国や地域の友人と出会うことになるであろうし、また既に出会っている人もいます。それらの友人を理解し、交流をさらに深めるためには、彼らが生まれ育った社会の生活様式（すなわち文化）を理解する必要があります。なぜなら人はそれぞれの生活様式の影響を大きく受けて暮しているからです。そのような生活様式の中には、私たちから見て不思議に思うものもあるかもしれません。しかし、なぜそのような生活様式の中で人々は暮しているのかということを考えずに、好奇心や奇異な目だけで眺めると、思わぬ誤解を招くことにもなりかねません。この講義では、世界各地の人々のさまざまな生活様式（文化）を客観的に理解するための視野を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期では文化人類学の概要や文化人類学による異文化の見方を中心に紹介します。①文化人類学とは、②人間と文化、③言語、④異文化と自文化、⑤文化人類学による異文化理解（例として、〈a〉男女の性差と文化、〈b〉生物学的な親と社会的な親、〈c〉結婚と住居、〈d〉父方の苗字と母方の苗字、〈e〉親族など）について、それぞれ1回ないし2回の講義時間をあてて紹介します。

後期では、異文化の理解を具体的に試みるための例として、主に韓国や中国や台湾・漢族などの文化を取り上げて、人と文化の関わりについて検討します。韓国の人々の①結婚、②親族、③家族、④相続、⑤中国・台湾漢族の場合との比較、⑥韓国や台湾・漢族の女性、⑦祖先祭祀と死後結婚、⑧日本の場合との比較について、それぞれ1回ないし2回の講義時間をあてて紹介します。

履修上の留意点

しばしばレポートの提出を課します。

成績評価の方法

定期試験と課題レポートを総合して評価します。

教 科 書

教科書は特に指定しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎい じゅんいち 杉井純一	短仏1・2選	4

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か
2. 文化人類学の歩み (1)
3. 文化人類学の歩み (2)
4. 文化とコミュニケーション
5. 環境と人間 (1) 狩猟採集民
6. 環境と人間 (2) 牧畜民
7. 環境と人間 (3) 農耕民
8. ジェンダー
9. セクシュアリティ
10. 婚姻の形態
11. 家族の多様性
12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教
2. アニミズム
3. シャーマニズム
4. シンクレティズム
5. 儀礼の構造
6. コスモロジー
7. 神話
8. 政治組織
9. 民族とエスニシティ
10. 民族紛争と戦争
11. 開発と文化
12. 移動の民族誌

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート (20%)、期末試験 (60%)、平常点 (20%) で評価します。

教科書

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

その他

できるだけ、ビデオを利用します (年に4~5回程度)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	三船恵美	短仏1・2選	4

講義のねらい

本講義の目的は、政治学を専攻していない学生が、教養としての政治学というものとはどのような学問であるのかを理解し、政治システムや政治参加についての基本的な理論や概念を学ぶことにあります。現代の政治が如何なる問題に直面しているのか、またそれを解決していく上で、現代政治学がいかなることを示唆しているのか、現代政治学が現実の政治課題を如何に捉えているのかを学びましょう。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 政治を理解するための基本的な知識を講義します。具体的には、政治学とはどのような学問か、政治体制と変動、政治と国家と政府、議院内閣制・大統領制・半大統領制、社会主義国家と独裁国家の政治制度、代表制と議会：二院制と一院制、選挙制度の類型と比較、選挙と世論、利益集団の圧力活動、公共政策と行政、政党と政党制、政治意識と政治文化、集権と分権、などについて講義していきます。
- ② 最近の政治事件・トピックを取り上げて、実際に分析します。

成績評価の方法

学期末試験（前期50%＋後期50%）。ただし、時々、教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦『新版・現代政治学』（有斐閣）2003年

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔国際社会と日本〕	山村恒雄	短仏1・2選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本をめぐる諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	短仏1・2選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強することではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。ヒューマン・ウォッチング（人間観察）の対象は、他者の行動ばかりではない。自己の内面の動きや行動を観察することでも、深い人間理解が得られるのである。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは？ 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (8) コミュニケーションの促進 (8) 感覚・知覚・認知
(9) 自己認知 (10~11) カウンセリングの理論と技法 (11~12) 発達の心理
- [後期] (13) 心の病と心理療法 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係 (16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation法 (19~22) 社会的行動

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (2) [人間関係を考える]	すずき じゅんいち 鈴木 順一	短仏1・2選	4

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を持った人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩みだすようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスと、遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見から得られるモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

学習計画は、進行状況により変更することがあります。

- [前期] (1) 学習とは？ 授業方針 (2) 心とは何か (3) 性格検査による自己理解
(4) パーソナリティ理論 (5) 精神分析的人格理論 (6) グループ形成とエンカウンター (7) コミュニケーションの促進 (8) 対人関係の心理
(9~10) カウンセリングの理論と技法 (11) 生涯発達心理 (12) 親子関係の心理
- [後期] (13) 青年の心理 (14) 交流分析による自己理解 (15) 自他肯定の人間関係
(16~17) 学習理論と行動療法 (18) relaxation 法 (19) 職場の人間関係
(20) 恋愛と結婚の心理 (21) 流行とマス・コミュニケーション (22) 社会病理と犯罪

履修上の留意点

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習ですので、毎回、グループごとに自筆で出席を取ります。欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

出席点と平常の小試験・小レポート・グループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。

教科書

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水 善和	短仏1・2選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発
 - (4) 生物の上陸 (5) 大量絶滅
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計
 - (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比
 - (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 生物の人口論－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係
 - (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論と宗教
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市化と生物 (3) 帰化種の侵入

教養教育

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を記述した「web版教科書」(清水執筆)を紹介する。受講者は清水のHPより自由にダウンロードして利用できる。

参考書等

「web版教科書」で章ごとに紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	短仏1・2選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題をとりあげる。科学技術は私たちに快適で豊かな生活をもたらした。しかしその負の部分が近年私たちを脅かしている。その一つである人工化学物質の功罪について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- (前期) 生物の生活
 (1-5) 地球の歴史と生命の期限
 (6-13) 生態系のしくみ
 (後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
 (14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染
 (22-23) 水銀汚染と水俣病
 (24-25) 人工放射性物質汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円

参 考 書 等

授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	さわぐち たかし 澤 口 隆	短仏1・2選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (Hyper Text Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教 科 書

使用しない。適宜資料を配付する。

参 考 書 等

同上

そ の 他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	さかのい かず 坂野井 和 代	短仏1・2選	2

講義のねらい

コンピュータの基礎的な操作方法、およびインターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの基礎的な操作方法を学んだ後、多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔地球の素顔と地球環境問題〕	かとう さよし 加藤 潔	短仏1・2選	4

講義のねらい

最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。

本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会が少なかった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、ブルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。

成績評価の方法

主に期末試験で評価されます。また、前・後期に2回ぐらいつつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点）。

教科書

特に定めない。適宜プリントを配布。

参考書等

『最新 図表地学』（浜島書店）

その他

OHP、スライド、ビデオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	しの はら まさ お 篠 原 正 雄	短仏1・2選	4

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義します。

太陽系の惑星の一つである地球の現在の自然環境は46億年の太陽系の歩みと地球の進化の産物です。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去40年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。最近では、太陽系外の惑星系も見つかり始めています。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でもかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

多くの要因が複雑に絡みあう地球規模の環境問題について、原因や対策がすでにわかっているとは到底言えません。しかし、地球環境の基礎を形作る事柄についての研究は着実に進んでいます。この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 宇宙と地球地球環境
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
2. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
3. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
4. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

御代川貴久夫著『環境科学の基礎 改訂版』(培風館) 2,100円+税

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』(岩波新書) 660円
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	短仏1・2選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内ではBSE問題が浮上した。BSEは牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが、生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食をさせた結果、生じた人災なのである。増え続ける人口、豊かな食生活への欲求、それが、生物と環境に何をもたらしているのかを考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 人間の活動と自然環境
 (1-6) 自然のしくみ
 (7-12) 自然の改変
 (後期) 食をめぐる問題
 (13-18) 農業—有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
 (19-22) 畜産業—肉食とは何か・BSE・クローン動物
 (23-25) 漁業—海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
 その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	おざわまこと 小沢誠	短仏1・2選	4

講義のねらい

コンピュータサイエンスにおける数学の概要を知ること为目标とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、コンピュータサイエンスと符号化理論の基礎・論理学の基礎・集合論の基礎を学ぶ。後期に、形式言語理論の基礎・オートマトン理論の基礎・グラフ理論の基礎・プログラミング論の基礎を学ぶ。

履修上の留意点

毎回必ず出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の期末試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

河村一樹『図解雑学コンピュータ科学の基礎 図解雑学シリーズ』(ナツメ社) 1,260円

参考書等

河村一樹『情報とコンピューティング IT Text—一般教育シリーズ』(オーム社) 2,625円

その他

講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問して欲しい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外 国 語 科 目

外国語

3 . 外国語科目

英語 I	〈丹 治 弘 昌〉	451
英語 I [再クラス]		
ドイツ語 I	〈清 水 修〉	451
ドイツ語 I [再クラス]	〈薮 下 紘 一〉	452
フランス語 I	〈八 木 明 美〉	452
フランス語 I [再クラス]	〈谷 川 かおる〉	452
中国語 I	〈東 映 全〉	453
中国語 I [再クラス]		
中国語 I [再クラス]	〈大久保 明 男〉	453
中国語 I [再クラス]	〈曹 泰 和〉	454
スペイン語 I	〈大 岩 功〉	454
スペイン語 I [再クラス]	〈栗 林 ゆき絵〉	455
ロシア語 I	〈廣 田 英 靖〉	455
ロシア語 I [再クラス]	〈杉 山 秀 子〉	456
英語 II	〈丸 小 哲 雄〉	456
英会話 I	〈永 野 光 一〉	457
英語 LL I	〈甲 斐 捷 子〉	458

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	丹 治 弘 昌	短仏1年	2
英語 I (再クラス)		短仏2年	

講義のねらい

教場にて説明いたします。

講義の内容・
授業スケジュール

教場にて説明いたします。

履修上の留意点

教場にて説明いたします。

成績評価の方法

平常の出席と時おりの小テスト、それに前期と後期の期末テストによって評価します。なお期末テストは授業の最終日に行うので留意のこと。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	清 水 修	短仏1年	2

講義のねらい

ドイツ語でのコミュニケーションのために必要な文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

ドイツ語でコミュニケーションするためには何が重要で、何が重要でないかを明確に示しながら授業を進めていきます。

また、ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということ considering、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。

そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

必ずしも教科書に沿った授業はしません。また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。

したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補うのが原則ですが、自分で解決できないときは必ず教師に相談するようにしてください。

成績評価の方法

普段の授業への参加と貢献、および年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断します。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法 (改訂版)』(朝日出版社)

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』(三修社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I 〔再クラス〕	やぶ した こう いち 敷 下 紘 一	短仏2年	2

講義のねらい

ドイツ語と一戦して負けましたね。今年こそは単位としてやると意気込んで下さい。教科書も変わるでしょうし、土曜日の午後、皆が遊んでいるのに学校へ出て来るのはなんともおもしろいものではないですが、今年だけはガマンして単位として、3年生からの専門科目に立ち向かしましょう。

履修上の留意点

休まないで出て来る事！

成績評価の方法

成績は前期・後期の試験及び平常点で決めます。

教科書

教科書は別のものを使います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I	や ぎ あけ み 八 木 明 美	短仏1年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

齊藤昌三著『新版ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I 〔再クラス〕	たに がわ 谷 川 かおる	短仏2年	2

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・授業スケジュール

基本文法を学んだのち、練習問題やテキスト読解にとりくみ、基礎力を養います。毎回小テストを行い、学んだことを確実に覚えます。

履修上の留意点

全員参加の演習方式。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験の点数に、小テスト、授業への取り組み態度などを加算し、総合的に評価する。

教科書

「彼女は食いしん坊」藤田裕二著、朝日出版社、2,500円。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I	あずま 東	短仏1年	2
中国語 I [再クラス]	えい 映 ぜん 全	短仏2年	

講義のねらい

中国語の正しい発音・基礎語法及び常用単語の習得によって、基本会話・文型を養成することを目的とする。

まず第一に、発音練習として中国語独特の音声記号ピンイン、そして四声を学びます。続いて基本語彙や文法・文型を易しい文章や会話を通して学習していき、基本的な表現を理解そして使用できるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は、原則としてテキストに沿って進みます。テキストにある文章と会話の発音を確認しながら読解を行います。聞く・話す・読む・書くという四つの能力をバランスよく伸ばすように取り組んでいきます。

履修上の留意点

言葉というのは話せることが大事である。ですから、口を開くことが肝心である。繰り返し練習を重ねていけば必ずできると信じて欲しい。

つぎに、事前の「予習」「復習」が不可欠である。また、何よりも大事である。

成績評価の方法

語学で一番大切なことは、出席することである。特に、中国語は世界中で、只一つ五つの声調を持つ語学なので、最初の音声授業する時間に出席しないと、中国語の取得は無理である。

だから成績評価は、出席状況及び履修態度により総合的に評価する。

教科書

斎藤道彦等共著『中国を知ろう』（神保出版）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I [再クラス]	おおくぼ あき お 大久保 明 男	短仏2年	2

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成をめざす。

履修上の留意点

毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

塚本慶一監修・劉穎著『新版 一年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I 〔再クラス〕	曹 泰 和 <small>そう たい わ</small>	短仏2年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

授業を通して、北京のことを中心に中国のさまざまなことを学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・李貞愛『北京コレクション』（朝日出版社）2,500円

参考書等

開講時に説明する。

その他

中国語の辞書を一冊買ったほうがよい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I	大 岩 功 <small>おお いわ いさお</small>	短仏1年	2

講義のねらい

スペイン語初級文法の基礎を概観し、日常会話に最低限必要な知識の獲得、およびスペイン語圏の文化に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

原則として毎回、小テストを行います。授業には辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎回行う小テストと前期・後期期末テストの得点、および出席状況、受講態度を勘案して総合的に評価します。

教科書

NHK テレビ『スペイン語会話』テキスト 2005年4月号～9月号（NHK 出版）
その他、必要なプリント教材を適宜用意します。

参考書等

推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書 大岩功著『スペイン語なるほど講座』（三修社）
寿里順平著『基礎スペイン語文法』（東洋書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I 〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	短仏2年	2

講義のねらい

年間で約60の基本会話表現を修得する。そのために必要な基本的な文法事項を整理して、スペイン語のこぼれを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。毎回時間の初めに小テスト（基本文、活用・単語）を実施。

履修上の留意点

少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。

成績評価の方法

小テスト30%、前後期試験70%の配分で評価。全体の合計が60点以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教科書

小池和良『多国籍スペイン語入門』（同学社）2,700円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I	廣田 英 靖	短仏1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定

参考書等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I 〔再クラス〕	すぎ やま ひび こ 杉 山 秀 子	短 仏 2 年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に重点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教 科 書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参 考 書 等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II	まる こ てつ お 丸 小 哲 雄	短 仏 2 年	2

講義のねらい

死の問題を扱う。現代的な生き方に対する問題を指摘し、キリスト教や仏教の死生観についても言及しながら、法律や医学に関するさまざまな現象的な問題をリアルタイムで議論していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

ウォーミングアップとしてリスニングを、その後をリーディング・タイムとします。レポート提出もあります。

履修上の留意点

私語厳禁

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

リーディング・テキスト：*Listen, Look, and Answer*（英宝社）
リーディング・テキスト：*Dying*（英宝社）

参 考 書 等

随時指示し、タイムリーな英字新聞コピーも配布します。

英 会 話 I

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL®のスコアー450点、TOEIC®のスコアー500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	なが の こう いち 永 野 光 一	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

英会話の基礎的な力を養成。

講義の内容・ 授業スケジュール

Q&A やペア・ワーク、グループ・ワーク、ロール・プレイなどを通して英語を聞く・話すことに慣れていきます。会話表現の学習やスピーチ・ライティングと発表も行います。

履修上の留意点

授業中の様々な学習活動に積極的に参加すること。

成績評価の方法

出席と授業中の学習活動への積極的な参加を重視。スピーチ・ライティングと発表の成績を入れて総合的に評価。

教 科 書

初回授業時に指定。

英 語 L L I

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階のPC教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。TOEFL[®]で450点、TOEIC[®]500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	甲 斐 捷 子	短仏1・2選	2

講義のねらい

外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音と習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から初めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、会話力が身につきます。小中学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは全22章からなり、各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期はゆっくり、後期は力がついてきますので、進度を早めながら、全章を終了します。

履修上の留意点

別売りのカセットテープを繰り返し聴いて、リスニング力を高める自己努力が必要です。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教 科 書

Sounds Right! Sounds Good!
Hisako Murakawa 著 MacMillan Languagehouse 2,000円

4. 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習（ニュースポーツ）	〈大石 武士〉	463
健康・スポーツ実習（空手道）	〈高橋 俊介〉	463
健康・スポーツ実習（バドミントン）	〈秋田 浩一・三幣 晴三〉	464
健康・スポーツ実習（卓球）	〈村松 誠〉	465
健康・スポーツ実習（室内球技）	〈山口 良博〉	466
健康・スポーツ論（前期）	〈鈴木 淳平〉	466
健康・スポーツ論（前期）	〈田中 佳孝〉	467

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	あお いし たけ し 大 石 武 士	短仏1選	2

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズについてはオリエンテーションの時に説明する。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか はし しゅん すけ 高 橋 俊 介	短仏1選	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あきた こういち みねば ほんみ 秋田 浩一・三幣 晴三	短仏1選	2

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時 限 目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時 限 目：スサ oh o ッシュの基本技術／ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時 限 目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時 限 目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時 限 目：同 第2日目
- 7 時 限 目：同 第3日目
- 8 時 限 目：同 第4日目
- 9 時 限 目：同 第5日目
- 10 時 限 目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時 限 目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時 限 目：同 第2日目
- 13 時 限 目：同 第3日目
- 14 時 限 目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時 限 目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	むら まつ まこと 村 松 誠	短仏1選	2

講義のねらい

卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やま ぐち よし ひろ 山 口 良 博	短仏1選	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート 2 対 1、ゲーム (1 次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート 3 対 2、ゲーム (1 次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート 4 対 3、ゲーム (1・2 次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート 3 対 3、ゲーム (2 次リーグ)
- 7～9 時限目：ゲーム (2 次リーグ)
(バレーボール)
- 10 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 12 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 13～15 時限目：ゲーム (トーナメント)

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

そ の 他

種目の内容については、第 1 回目の授業時に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	すず き じゅん へい 鈴 木 淳 平	短仏1選	2

講義のねらい

健康であるための条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：トレーニング理論全般
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：応急処置の実際、テーピング、アイシング等の実習
- 14 時限目：〃
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

出席を重視し、学期末のレポートとの総合評価をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論 (前期)	田中佳孝 <small>たなか よし たか</small>	短仏1選	2

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5～7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8～10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11～12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2 / 3 以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、優～不可の評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

教科書

なし

参考書等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)
『0歳からのビタミンバイブル』 / 『貝原益軒の養生訓』 / 『サーロインステーキ症候群』
『食事療法』 / 『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

その他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置(脳波測定装置)等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

保健体育

II 專 門 教 育 科 目

Ⅱ. 専門教育科目

基礎	仏教	学	〈木村誠司〉	473
坐禪		禪	〈角田泰隆〉	473
宗	学	研究	〈角田泰隆〉	474
禪	学	研究	〈奥野光賢〉	474
仏	典	研究	Ⅰ 〈木村誠司〉	475
仏	典	研究	Ⅱ 〈石井公成〉	475
仏	典	研究	Ⅲ 〈袴谷憲昭〉	476
仏	典	語解	〈池田道浩〉	476
中	国	宗	史 〈須山長治〉	477
日	本	宗	史 〈角田泰隆〉	477
イ	ン	ド	史 〈池田道浩〉	478
中	国	仏教	史 〈奥野光賢〉	478
日	本	仏教	史 〈袴谷憲昭〉	479
禪	籍	講	読 〈石井公成〉	479
仏	典	講	読 〈岡本一平〉	480
仏	教	伝	道 〈角田泰隆〉	480
中	国	古	語 〈須山長治〉	481
書		道	化 〈那須隆吉〉	481
仏	教	と	文 〈木村誠司〉	481
仏	教	と	現 〈下室覚道〉	482
外	国	語	仏書演習	482
イ	ン	ド	・チベット	483
中	国	仏教	思想演習	483
仏	教	思想	演習	484
仏	教	文	学演習	484
宗	学	演	習	485
日	用	経	典概	485
宗	教	哲	学	486
キ	リ	ス	ト	486
仏	教	特	講	486
仏	教	特	講	487
宗	学	特	講	487
宗	学	特	講	488

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎仏教学	木村誠司	短仏1必	4

講義のねらい

本講義の目的は、仏教の基礎的知識を学びかつスタンダードな学習方法に慣れることである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は馴染のある仏典を素材として、辞書の使い方、先行業績の扱い方、資料操作等を学び、仏典の内容を多方面から理解するよう努める。後期は、テキストを正確に読むことを主眼とする。

履修上の留意点

テキストや講義内容は、出席者との話し合いにより変更することもある。

成績評価の方法

通常の講義中に行う小テストや小レポートによってなされる。年度末テストおよびレポートはない。

参考書等

資料等は適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 禅	角田泰隆	短仏1必	4

講義のねらい

短大仏教科は仏教学の学習・研究の場であるとともに、曹洞宗宗侶の養成機関でもあり、曹洞宗の重要な修行である坐禅の実修を必修科目としている。将来僧侶となることを希望する学生にとっては、この坐禅の意義とその実践方法を学ぶ科目であり、一般学生にとっても坐禅という修行のほんとうの意義を知り、それを実際に体験できる科目として重要な意義をもっている。

講義の内容・授業スケジュール

この科目は、専ら坐禅を実修する。よって、教場は坐禅堂（禅研究館4階）である。坐禅を実際に修行し、曹洞宗の両祖の坐禅に関する教えを学びながら、坐禅の意義や作法を習得していただきたい。

実修時間の前半は只管打坐、後半は坐禅に関する文献の提唱をする。提唱には指定の講本を用いるので、各自購入して持参すること。筆記用具は不要。

履修上の留意点

坐禅は修練ではない、仏行である。従って服装・態度・動作等の厳粛・整齊であることが望まれる。

成績評価の方法

科目の性格上、評価方法は出席状況に重きをおくが、それに加えて服装・態度・動作・坐相等総合的な評価をするので、充分自覚して授業に臨んでいただきたい。原則として所定の授業時間数の3分の2以上出席しなかった者には、単位を認定しない。

教科書

『坐禅－講本－』（更生社）2,200円

参考書等

なし

その他

身体上の不自由がある者は、予め申し出て指示を受けること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗学研究	つのだたいりゅう 角田泰隆	短仏1・2選必	4

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の基本的な教義について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストにより曹洞宗の両祖（道元禅師・瑩山禅師）の伝記をたどりながら、その基本的な教義にも触れてゆく。著作も断片的に講読してゆきたい。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績と、夏季休業中の課題レポートによって評価する。ただし、原則として年間授業数の3分の2以上授業に出席することが必要である。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参考書等

角田泰隆著『道元入門』（大蔵出版）2,520円、角田泰隆著『禅のすすめ—道元のことば—』（NHK出版）970円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究	おくのみつよし 奥野光賢	短仏1・2選必	4

講義のねらい

研究は山登りに似ているように思われる。いきなり頂上を目指して、高度な専門分野に飛び込んでいったとしてもさしたる成果は得られないであろう。やはり、基礎からコツコツと学んでいかなければならないものと思われる。この授業は、これから本格的に「禅学」を学んで行くために必要な基本的事項の授業を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「禅学」を学ぶ上で必要となる基礎知識（文献・歴史等）の解説を中心に授業を進める。

後期は、前期の授業を踏まえた上で、実際に文献講読を行なう。講読する文献は、追って指示する。

（前期）

（1～2）禅学を学ぶために、参考文献・参考書の指示

（3～4）禅と禅宗

（5～6）禅宗の資料

（7～8）修行・禅定思想

（9～10）禅の語の意味、禅の分類

（10～11）菩提達摩

（12～13）禅宗の達磨像

（後期）

（14～15）禅宗の燈史

（16～17）六祖慧能について

（18～22）禅文献講読

（23～24）近年の禅学研究の学界動向

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

平常点によって評価する。年間出席日数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

特に指定せず、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

前期の「解説」は講義形式、後期の「講読」は演習形式で授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典研究 I	木村誠司	短仏1・2選必	4

講義のねらい

本講義は、インド仏教・チベット仏教に関する基本的知識の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、いくつかの概説書、参考書を参照して、基礎教義を学ぶ。後期は、出席者と相談の上、テキストを定めて読み進む。

成績評価の方法

成績評価は、通常の講義中に行う小テストや小レポートによってなされる。年度末テストおよびレポートはない。

教科書

コピーで配布する。

参考書等

資料等は適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典研究 II	石井公成	短仏1・2選必	4

講義のねらい

漢訳の原始仏教経典を講読する。漢訳経典は、早い時期に翻訳されているため、現存するパリー語などのテキストより古い内容を伝えていることも多く、資料として貴重である。パリー語テキストやその日本語訳なども適宜参照しつつ、初期の素朴な仏教のあり方を検討してゆきたい。語法・用例を徹底的に調べつつ徹密に読むために、パーソナル・コンピュータ（PC）を用いた研究法を体得できるようにする。本年は Peri による分析も試みる。

講義の内容・授業スケジュール

仏教漢文の訓練もかねるため、初めは漢文の基礎を説明しながら進めてゆき、平易で面白い内容の短い経典から読む。秋からは注釈の読み方なども指導する。授業は主にコンピュータ教場を利用して実際に PC を使いながら進めてゆき、インターネット上のデータの探し方や活用用法などについても紹介する。

履修上の留意点

仏教漢文が中心となる。漢文の力がつくよう基礎から指導するが、自分から取り組もうとする姿勢が必要とされる。日本語入力の方法やインターネット入門などを指導する時間はないため、それらについては、各自で身につけておくこと。柔軟で複雑な検索方法などについては、わかりやすく説明するが、自宅で練習することが求められるため、進んでそうした練習に取り組む意欲のある学生でないと、授業についていけないだろう。1年間がんばれば、必ず PC を活用した研究ができるようにするので、努力を期待したい。

成績評価の方法

平常点によって判定する。授業中に熱心に取り組んでいた者については、考慮する。

教科書

コピーを配布する。読む経典については、希望があれば考慮する。

参考書等

読む経典に応じて教場で一覧を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典研究Ⅲ	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	短仏1・2選必	4

講義のねらい

この演習は、日本の仏教文献の講読を通して、仏教思想を研究しようというものである。日本の仏教は、南都の六宗、平安の二宗、計八宗によって確立されたが、それらは、あたかも一旦源信に流れ込み、それがまた再び仏教の諸思想となって展開したかのような観を呈している。その意味で、源信は、日本の仏教を学ぶ上での原点と言ってもよい存在である。しかるに、その源信(942-1017)は、『往生要集』があまりにも有名であるため、彼の思想的主著ともいってよい『大乘対俱舎抄』や『一乗要決』の研究が却って遅れているといった状況を呈している。本演習では、この両者のうち、『大乘対俱舎抄』の方を取り上げて、丁寧に講読していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本テキストは、『俱舎論』本頌に、それに見合った大乘の教義を、大乘仏教の諸漢訳テキストよりの引用によって対応せしめたものである。本演習においては、それらの引用の原典にまで遡ることによって、アビダルマ教義と大乘教義との対応の意味を、順次に検討していくであろう。

履修上の留意点

初めは困難なようにみえても、扱われている内容は、仏教思想の基本的なものであるから、それを自ら講読してみたいと願うものが望ましい。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、状況次第により変更することもありうる。

教科書

源信『大乘対俱舎抄』(大日本仏教全書85)
入手困難なものについてはコピーを用意する。

参考書等

大久保良順訳註『一乗要決』(大藏出版)1990年 5,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教語解説	いけ た みち ひろ 池 田 道 浩	短仏1・2選	4

講義のねらい

本講義は多くの仏教語に触れ、その言葉によって表現される仏教教理を理解することを目的とする。基礎的な仏教の術語を理解した後、その言葉の背景に存在するさまざまな思想的問題を考察していく。一つの語句が多様に理解され、その意味が変容していったことにぜひ関心をもってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、教科書によって多くの仏教語の基本的な意味を理解し、その後、必要に応じて多くのテキストを参照し、仏教思想の基礎的な概念を考察する。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験あるいはレポートによって評価する。

教科書

水野弘元『仏教要語の基礎知識』(春秋社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国禅宗史	須山長治 <small>すやま ちょうじ</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当りにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察して行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅は時代とともにどういう問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とはなにかを考えて行きたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

『碧巖録』（岩波文庫）、『雪竇頌古』（禅の語録シリーズ）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	角田泰隆 <small>つのだ たいりゅう</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は日本の禅宗の歴史について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の、仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書（第三部禅宗の歴史-日本篇）によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として年間授業数の3分の2以上授業に出席することが必要である。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参考書等

授業において紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教史	池田道浩	短仏1・2選	4

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）
平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国仏教史	奥野光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

中国における仏教の展開を、主として「教理史」に力点をおいて概説する。同時に中国仏教を学ぶ上で必要となる各種文献の解題も行なう。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、中国仏教を学ぶ上で必要となる各種文献の解説を行なう。それを踏まえた上で、時代を追って中国における仏教の展開を見ていくこととする。各種文献に対する基礎的知識を習得しておけば、講義の中で興味をもった事柄について、各自が直接原資料にあたって調査・研究ができるようになるはずである。

(前期)

(1～4) 中国仏教史籍解題（経録・各種高僧伝）、参考書・参考文献解説、中国仏教の歴史的な性格

(5～6) 仏教の中国伝播流伝

(7～8) 格義仏教

(9～10) 仏図澄と釈道安

(11～13) 鳩摩羅什とその門下、慧遠教団の活躍

(後期)

(14～15) 新大乘經典の訳出

(15～16) 廢仏・破仏について

(17～18) 諸学派の興起と展開（涅槃・成実・地論・摂論学派）

(19～25) 隋・唐の仏教諸宗（三論宗・天台宗・三階教・法相宗・華嚴宗・律宗）

(26) まとめ

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

成績評価は受講者の人数によって決める。

教科書

特に指定せず、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

授業は講義方式で進めるが、受講生には授業のたびに何らかの質問をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

下記の教科書により、日本仏教史を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

ほぼ教科書の順序に従って進行する予定であるが、切れ目切れ目でプリントを配布して、文献の読解を促すかわら、講義内容の確認を行う。因みに、今念頭にある講義プランは、必ずしも全て実行するというわけではないが、ほぼ以下のとおりである。

- 序 仏教伝来以前の思想
- 1 古代宗教の解釈 2 日本古来の宗教
- 第1章 中国朝鮮の文化と仏教の受容
- 1 大陸仏教の意味 2 仏教伝来と影響 3 聖徳太子と仏教 4 作善主義と仏教
- 第2章 仏教の確立と南都六宗の教義
- 1 仏教思想と学問 2 三論宗と成実宗 3 法相宗と俱舎宗 4 華嚴宗と律宗と
- 第3章 平安二宗の教義と仏教の展開
- 1 国家体制と仏教 2 天台宗教義概観 3 真言宗教義概観 4 浄土教と諸思想
- 第4章 中世社会の展開と仏教の変様
- 1 権門体制と仏教 2 法然と浄土思想 3 親鸞道元日蓮と 4 本迹思想と神道
- 第5章 近世と近代の体制的仏教思想
- 1 キリスト教伝来 2 寺檀制度の確立 3 排仏毀釈と仏教 4 近代科学と仏教
- 結 現代社会と仏教思想
- 1 現代思想と仏教 2 現代と批判仏教

履修上の留意点

単に講義を聞くだけではなく、配布されたプリントを中心とした文献の読解を自らに課さんとすることが望まれる。

成績評価の方法

学年末にレポートを課して評価したいと考えているが、状況しだいで変更もありうる。

教科書

末木文美士『日本仏教史——思想史としてのアプローチ——』（新潮文庫）560円

参考書等

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禪 籍 講 読	いし い こう せい 石 井 公 成	短仏1・2選	4

講義のねらい

道元が最も重視した趙州（778-897）の伝記と語録を読む。趙州は、軽妙自在で枯淡の味わいを持つ禪者として知られるが、背後に非常に激しいを秘めているため、後世になって尊重されるイメージとは違う面を明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、最古の禪文献である『二入四行論』の問答と、北宗禪の『楞伽師資記』の指事問義と呼ばれる問答を検討した後、『趙州録』に取り組み、その特色を明らかにしてゆく。漢文の文法、禪文献の語法も初歩から平行して講義してゆく。

履修上の留意点

初めは講義の形をとるが、学生諸君が慣れてきたら、少しづつ担当して読んでもらうため、積極的に参加する気構えが必要である。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

秋月龍珉『趙州録』（禪の語録11、筑摩書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読	岡本 一平	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教の聖典は三蔵といい、経蔵（釈尊の教え）、律蔵（教団の運営）、論蔵（仏弟子による経の研究）の三種に分類されます。本年度は、大乘仏教の一形態である浄土思想について理解を深めるために、浄土三部経と総称される『阿弥陀経』『無量寿経』『観無量寿経』を関連文献とともに参加者全員で講読します。浄土三部経は、鎌倉時代の仏教思想家の中で、重要な学僧の一人、法然が所依として經典です。浄土三部経のもつ仏教思想史上の論点に留意しながら読みたいと思います。また、参加者自身が仏教文献を読解できる力を修得することも目標です。

講義の内容・授業スケジュール

前期：①三蔵について ②浄土三部経について ③浄土思想家について ④『阿弥陀経』『無量寿経』の講読
後期：⑤『観無量寿経』の講読

履修上の留意点

本講義では、参加者で順番に文献を音読する予定です。仏教語特有の読み癖を修得することも目標とします。漢文、読み下し文の読解能力は問いません。最初は、読み下し文からはじめ、慣れてきたら漢文を読みます。初学者は誰でも読めませんので、恥ずかしがらずに意欲的に参加して下さい。質疑は大歓迎です。

成績評価の方法

出席と学年末のレポートにより評価します。

教科書

講義にて指示します。なるべく安価なものにする予定です。

参考書等

中村元・早鳥鏡正・紀野一義訳註『浄土三部経』（岩波文庫）
藤田宏達『原始浄土思想の研究』（岩波書店）1970年

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教伝道	角田 泰隆	短仏1・2選	4

講義のねらい

道元禅師は「弘法救生」（仏法を広め、衆生を救う）の思いを常に深く心に願われていたというが、曹洞宗宗侶もやはり同様の誓願を持たなければならないであろう。そこで必要なのが伝道・教化ということである。この科目では、伝道・教化の理念と実践について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の伝道において、一般の人々にわかりやすく説き広めるということは容易なことではない。この科目では、まず釈尊の生涯をたどりながら、仏教伝道の基本的あり方について考え、さらに現代の宗門寺院における中心的活動である葬儀と法事（年回忌法要）の意義について考察する。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として年間授業数の3分の2以上授業に出席することが必要である。

教科書

随時、資料を配付する。

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語	須山長治	短仏1・2選	4

講義のねらい

昨年度に引き続き、『論語』を読む。中国の古典で最も有名なものは、何と言っても孔子とその弟子の言行録『論語』である。中国思想史としても、この書を中心として儒家の思想は展開する。本年度も『論語』を精読することによって、孔子を中心とした当時の人々の考え・思いそしてあり方を読み取っていきいたい。

講義の内容・授業スケジュール

『論語』二十卷は、それぞれ断片的な短文の集りである。まずはその一文一文をきちんと訓読できるようにする。その上で口語訳を試み、そこで語られる内容を細かに分析し、2500年前の“現在”を浮き彫りにする。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述と訓読・口語訳。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

金谷治訳注『論語』（岩波文庫）等。

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道	那須隆吉	短仏1・2選	4

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたるところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- ・書の基本的知識（書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、写経、書論等）について理解を深める。
- ・中国日本の書道史（文字の歴史）を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。（墨汁は使用不可。硯、筆は常に洗っておく。）

成績評価の方法

出席点、平常点（遅刻等）、清書、レポート等による。

教科書

『書の世界』（中教出版）約1,200円

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と文化	木村誠司	短仏1・2選	4

講義のねらい

本年度は、輪廻についてできるだけ広い視点から考察してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、出席者と相談の上、変更する場合もある。

成績評価の方法

成績評価は、通常の講義中に行う小テストや小レポートによってなされる。したがって、欠席の多い者は評価の対象にならない。

教科書

出席者には、そのつど資料等を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と現代	しもむろかくどう 下室覚道	短仏1・2選	4

講義のねらい

インドにおいて釈尊によって説かれた仏教は、東アジアを中心に伝播したが、その過程でその地域の民間信仰などとも融合しながら、人々の宗教的要請に応えたのである。僧侶は出家し、(経済的)労働にたずさわらない存在が本来的であった。しかし、現在の日本で「お坊さんは何をやる人」と問われれば、真っ先に「お葬式をする人」という答えが帰ってくるように、現在は僧侶と葬式との関係は深く、お寺の経営にも関わってくる。このような葬儀の問題に関して考えていきたい。さらに、臓器移植問題や人権問題という現代的課題に対しても、仏教との関わりを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

葬祭、臓器移植、人権問題の順に講義する。

履修上の留意点

仏教の基礎的知識を習得した上で、さらに現代の諸問題に対する問題意識を持ってもらいたい。

成績評価の方法

授業の出欠状況、レポート、年度末試験により評価する。

教科書

プリントを随時配布する。

参考書等

曹洞宗総合研究センター編『葬祭—現代的意義と課題—』 その他、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国語仏書演習	はかまやのりあき 袴谷憲昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

英語を通して仏教思想のなんたるかを学ぶことを目的とする。その一環として、下記のテキストを、下記の留意点などの配慮のもとに講読する。

講義の内容・授業スケジュール

アンベードカルの多数ある著述中より下記のものを選んで講読する。その箇所は、授業中に適宜指示する。講読の意図は、アンベードカルが不可触民の地位解放の原理として採用した仏教思想とはどのようなものであったかを解明することにあるが、そのためには、彼の基づいた仏教の出典も確認していく必要があるであろう。

履修上の留意点

この原英文テキストには、「参考書」欄に示した邦訳があり、それが光文社新書に入ったことにより求めやすくなった。出典の涉猟と共に、その邦訳と付き合わせて下調べしていただくことは大いに歓迎したい。

成績評価の方法

平常点とする。しかし、場合によっては変更もありうる。

教科書

B. R. Ambedkar, *The Buddha and His Dhamma*, Bombay, Siddharth Publication, Fourth Edition, 1991

参考書等

B. R. アンベードカル、山際素男訳『ブッダとそのダンマ』(光文社新書) 2004年 1,000円
袴谷憲昭『仏教入門』(大蔵出版)

その他

なお、上記テキストを購入できない人のためにはコピーを用意するので、その人数確認を兼ねた第一回目は必ず出席されたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド・チベット仏教演習	木村誠司	短仏1・2選	4

講義のねらい

ツォンカバ（1357-1419）の教学を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

ツォンカバはチベットを代表する学僧であり、彼の思想に関する研究も多いがいまだその実像ははっきりしない。その理由は、ツォンカバ教学が彼以前のインド・チベット仏教の龐大な知識の上に成り立っているからである。この無限とも言える知識をひとつひとつ解きほぐしていくつもりである。

成績評価の方法

通常の講義中の討論や小レポートによってなされる。

教科書

資料等は適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教演習	奥野光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

「演習」を通じて、中国仏教の歴史と教理の把握、および仏教文献の読解力養成をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

わが国、鎌倉時代の碩学、凝然（1240-1321）の『八宗綱要』を講読する。本書は、仏教各宗の歴史と教理を要領よくまとめた名著として古来より知られているものである。部分的な誤りは指摘されているにせよ、その価値は今日においてもいささかも減ずるものではない。本演習では、本書の講読を通じて、中国仏教各宗の歴史と教理を把握することを目標とする。本年度は最初から読み始める。

講義スケジュールは以下のような予定とする。

（前・後期）

（1）授業を進めるにあたっての諸注意と心構え、参考書の指示

（3～4）『八宗綱要』解題

（5回目以降）講読開始

履修上の留意点

演習なので事前の下調べが必要となる。指導にしたがって、一年間継続すれば、相当な力がつくはずである。指導は懇切丁寧に行なうので安心して欲しい。何よりも大切なのは意欲である。

成績評価の方法

純然たる演習科目なので、成績評価は平常点のみで行なう。

教科書

鎌田茂雄『八宗綱要』（講談社学術文庫）

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

事業は演習形式によって進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 思 想 演 習	ほかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	短仏1・2選	4

講義のねらい 今となって言うのも奇妙なことだが、インドより東アジア仏教圏に伝播した仏教思想を理解する上で、玄奘訳『成唯識論』は必須必読の文献である。この演習では、特に、唯識思想が我が国にいかなる影響を及ぼしたかを絶えず考慮しながら、インド原典にも遡りつつ、本文献の正確な読解に努めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール 体系的に記述された文献なので、順を追って講読していく。

履修上の留意点 文献を必ず自分で読むという気概を持つこと。

成績評価の方法 平常点とする。しかし、場合によっては変更もありうる。

教 科 書 佐伯定胤校訂『新導成唯識論』（法隆寺）

参 考 書 等 国訳一切経、印度撰述部、瑜伽部7
桑山正進、袴谷憲昭『玄奘』（大蔵出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 文 学 演 習	いし い こう せい 石 井 公 成	短仏1・2選	4

講義のねらい 仏教は総合的な文化体系であり、アジア諸国の文学についても大きな影響を与えている。本講義では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、和歌・漢詩・能・狂言・小説などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。本年は漢詩を木版本で読む楽しさを味わうことができるようにすることと、謡曲を味わうことを目標の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール 男女の愛情・無常・自然観・夢・ケガレと罪、その他のテーマを選び、そうしたテーマにかかわる散文や韻文の文献をいくつか比較しながら読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。

履修上の留意点 学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくため、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。

成績評価の方法 発表と日頃の応答による。討議などに積極的に参加していた者については評価する。

教 科 書 コピーを配布する。

参 考 書 等 テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗学演習	つのだたいりゅう 角田泰隆	短仏1・2選	4

講義のねらい

本科目は、曹洞宗の宗旨に関わる学問研究を演習形式で行うものである。本年は、道元禪師の主著『正法眼蔵』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

前期は図書館を利用してテキストの自主研究を行なう。教員の指導を受けながら、『正法眼蔵』の研究方法を習得する。後期は前期の自主研究の成果を発表してもらいながら、問答形式で授業をすすめ、テキストを読解してゆく。

履修上の留意点

前期の自主研究においては、自ら辞書等にあたり、一々の文字言句を正確に解釈し、現代語訳を行ってもらおう。出版されている種々の現代語訳はなるべく用いず、自ら解釈することを目指してほしい。

成績評価の方法

授業への出席状況、および研究成果の発表によって評価する。

教科書

テキストを配布する。

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日用経典概説	おくのみつよし 奥野光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

この講義は、曹洞宗で日頃、読誦されている経典（教典）、回向文に対する解説を主たる内容とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は当然のことながら、曹洞宗で日頃、読誦されている経典（教典）を主として扱うことになるが、内容は必然的に経典一般に及ぶ。したがって、前期は経典の成立史から講義をはじめめる。その上で、個々の経典に対して、曹洞宗の関わりから解説を試みる。後期は、曹洞宗で読誦される聖典のうち、主として『修証義』に的を絞り、種々の問題を考察することとする。

(前期)

- (1) ～ (2) お経とは何か
- (3) ～ (4) 大蔵経の系譜
- (5) ～ (6) 曹洞宗で唱える代表的回向文
- (7) ～ (8) 般若経典（般若心経と金剛般若経）
- (9) ～ (11) 法華経—如来寿量品・観世音菩薩普門品を中心に
- (12) ～ (13) 曹洞宗と法華経、前期のまとめ

(後期)

- (14) ～ (16) 涅槃経典、曹洞宗と遺教経、仏祖三経
- (17) ～ (18) 陀羅尼経典
- (19) ～ (20) 『修証義』の編纂
- (21) ～ (22) 『修証義』の構成と問題点
- (23) ～ (25) 『修証義』第四章「発願利生」の講読
- (26) まとめ

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

平常点によって評価する。年間出席日数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としないので注意されたい。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

特に指定せず、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

授業は基本的には講義方式とするが、受講生の人数によっては演習形式とする場合もある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教哲学	紺野 馨 <small>の かおる</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

現代世界における宗教の意味を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は前提として「理性と信仰」の関係を、主にヨーロッパ近代思想史の文脈のなかで考える。これには哲学だけではなく、科学思想史、宗教史、宗教学などの成果をも視野に入れる。後期は「現代社会と宗教」と題して、宗教の歴史的展開、近代化と宗教、さらには現代日本における宗教の様相などをフィロゾフィーレンする（哲学する）。

履修上の留意点

なるべく受講生諸君にも身近な事柄を糸口として講義するが、古典的著作を読む課題もあるので、受講生諸君にも積極的な「参加」の意欲をもって出席してほしい。

成績評価の方法

レポートによって評価する。出席も重視する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

参考書等は教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
キリスト教概説	紺野 馨 <small>の かおる</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

キリスト教の教義等のみならず、キリスト教ヨーロッパの精神史を紹介する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は聖書を中心に、キリスト教の成立を主題とする。後期は、キリスト教史を中心に、歴史的形成物としてのキリスト教を考える。

成績評価の方法

前期・後期それぞれ学期内に試験を行なう。出席も重視する。

教科書

教室で指示する。

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教特講 I	荒井 裕明 <small>あらい ひろあき</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

『八宗綱要』の第一章俱舎宗の読解を通して、『俱舎論』の概要や阿毘達磨に関する基礎知識を学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業は演習形式ではないが、仏教漢文の読解力を養うことを第二の目的とするため、原漢文を受講生諸君に読んでもらう形式で進めたい。ただし、基本的な漢文の読み方について丁寧に指導するので、全く経験のない方も心配は不要である。

成績評価の方法

授業の平常点及び学年末のレポートで評価する。出席をとる。

教科書

授業の際にコピーを配る。

参考書等

鎌田茂雄『八宗綱要』（講談社学術文庫）
桜部建・上山春平『仏教の思想 2 存在の分析〈アビダルマ〉』（角川ソフィア文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 II	すずき いっけい 鈴 木 一 馨	短仏1・2選	4

講義のねらい

6世紀に伝来した仏教は日本の宗教信仰の大きな柱となっていくが、そこには在来の宗教信仰との葛藤や、また新たな宗教信仰の形成などが見られる。一体、日本の宗教信仰を支えるものは何なのか、そして仏教が日本の宗教信仰に与えた影響は何なのか、などという問題は、仏教が日本に定着した理由やまたそこで果たしている役割を理解するためには、解決しておかなければならない問題である。

本講義ではその解決につながるよう、まず日本の宗教風土を概観し、それを基に神祇信仰(神道)・陰陽道・修験道などと仏教との関係を見ることを通して、日本の諸宗教と仏教との関係について見ていくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

第1部. 日本の宗教風土と神仏習合

(1～4) 日本の宗教風土 (5～13) 神仏習合の背景

第2部. 仏教と陰陽道・修験道

(14～17) 仏教と陰陽道 (18～26) 仏教と修験道

履修上の留意点

学生諸君が授業中の質問に答えたり、レポート提出などで見せる積極的な姿勢、そして社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をきちんとしないといけない。

成績評価の方法

出欠状況・期末試験・小テスト・受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

教 科 書

プリントを使用する。

参 考 書 等

阿部慈園編著『比較宗教思想論 II』(北樹出版、1997年) 2,835円

佐々木宏幹『神と仏と日本人』(吉川弘文館、1996年) 2,625円

鎌田東二『神と仏の精神史』(春秋社、2000年) 2,310円

鈴木一馨『陰陽道一呪術と鬼神の世界一』(講談社選書メチエ244、2002年) 1,575円

宮家準『修験道と日本宗教』(春秋社、1996年) 3,150円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 特 講 I	くま もと えい にん 熊 本 英 人	短仏1・2選	4

講義のねらい

曹洞宗寺院の諸行事法要の意味と意義の理解のための講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

曹洞宗寺院の主な法要の回向文の解説を中心に講義を進める。あわせて、1988(昭和63)年の曹洞宗行持軌範の改訂の意味についても触れ、現代における仏教の役割について考えたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。

教 科 書

櫻井秀雄著『修訂曹洞宗回向文講義』(曹洞宗宗務庁刊) 1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 特 講 II	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	短仏1・2選	4

講義のねらい

禅家における種々の儀軌と集団生活の規範の根本は、いわゆる清規に求められる。現代においては他宗と比較してその独自性が強調され勝ちであるが、宗門の清規が禅家古来の正統を色濃く継承している点を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

戒律史上における清規と禅戒の特色を講じた後、『永平清規』を講読し、宗門における僧堂生活の基礎を知るとともにその有効性について考えてみたい。講義はノートをとる方法を中心に進める。

履修上の留意点

自らの日常生活と照らし合わせ、出家と在家との現実的な境界線を模索してみたい。また、寺院徒弟ならば、今後予想される僧侶としての人生に、自分なりの意義付けを試みられたい。

成績評価の方法

レポートの提出に出席の状況を加味して評価したい。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

Ⅲ 他学部履修科目

フレックスAで開講される他学部履修科目は、短大
国文科・英文科の頁を参照してください。(→P.321)

Ⅲ. 他学部履修科目

商学	総論	〈大吹勝男〉	493
社会思想	史	〈休講〉		
国際経済	論	〈徳永俊明〉	494
商業政策	策	〈休講〉		
アジア経済	論	〈休講〉		
社会政策	策	〈休講〉		
銀行論	論	〈休講〉		
マーケティング	論	〈江上哲〉	495
経営管理	論	〈百田義治〉	496
中小企業	論	〈吉田敬一〉	497
人口論	論	〈森岡仁〉	498
労働管理	論	〈堀龍二〉	499
法思想史	史	〈高橋洋城〉	500
日本法制史	史	〈休講〉		
西洋法制史	史	〈北野かほる〉	501
経済法	法	〈荒井登志夫〉	502
国際関係論	論	〈三船恵美〉	502
地方自治法	法	〈富井幸雄〉	503
国際紛争解決法	法	〈王志安〉	504
倒産処理法	法	〈木川裕一郎〉	505
アメリカ経営学	学	〈休講〉		
経営財務論	論	〈高田光明〉	506
経営組織論	論	〈休講〉		
公益企業論	論	〈菅谷実〉	507
管理会計論	論	〈猿山義広〉	508
会計監査論	論	〈阿部一人〉	509
日本経済論	論	〈羽鳥茂〉	510

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

大学は、「企業に貢献する人材を育成」しなければならない、として大学は社会的要請に
 応えねばならないというが、その実、社会ではなく、会社・企業のために諸君を育成しろという
 マスコミや評論家等々、そして学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、
 大学は君たち自身のためにあり企業のためにあるものではありません。大学で学ぶことは、将来
 君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学であ
 る限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできな
 い、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐ
 には役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷い、そして
 考え大人になっていくところが、大学という場です。「即戦力になる人材の育成」をうたい文
 句にした大学も続々と出現していますが、企業は即戦力が必要ならば、そのような人材を中途
 採用します。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をして
 おくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサ
 ラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そし
 て、社会人として現実には困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生と
 して、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業
 に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しま
 すが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、
 思考能力を高めてください。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業
 政策・流通政策を学習するための基礎理論を提供するものでもあります。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業内容は下記の項目のようになります。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 商業資本の本質・機能論
- (5) 商業資本の自立化論・卸売り排除論（中抜き論）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (8) 商業資本の回転と価格。

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねたレポートの提出も評価します。また、各授業
 項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とし
 ます。期末試験では、テキストおよびノートの参照は可とします。しかし、この措置は、私自
 身、学生時代に非常に疑問に思っていたことではありますが、君たちに、受験生のような暗記の
 勉強を早く卒業してもらい、十分な準備（学習）をして試験に望んでもらいたいということ
 があります。いうならば、問題のわからないレポート試験とでもいえばよいかもしれません。し
 たがって、容易に単位が取得できるという意味ではありませんから誤解のないように。再試は
 実施する。

教 科 書

大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』（梓出版社）1,500円
 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』（梓出版社）4月刊行予定

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	徳永俊明	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか？」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけでもありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としています。同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ（予定）〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日＝第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民主義と世界経済

貿易・国際通貨制度・資本輸出——（「援助」と多国籍企業）・〈南北問題〉と新国際経済秩序

- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は、読書ノート（2～3回）および講義の基本的内容の理解を確認する学年末レポートで評価します。（追・再試験は行ないません。）

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ	江 上 哲 <small>えがみ さとし</small>	短国・短仏	4

講義のねらい

前期ではマーケティングの基礎というべき4Pを中心に講義します。後期においては、①マーケティング管理 ②マーケティングと経営組織 ③マーケティングとブランドを講義します。本講義の目的は、マーケティングの諸活動を通じて社会を見る眼を培うことです。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

- 第1回目 寡占経済とマーケティングの生成
- 第2回目 マーケティング論研究の発展
- 第3回目 フォーダイズムとマネージャリアルマーケティング
- 第4回目 製品戦略—製品差別化論
- 第5回目 製品戦略—市場細分化論
- 第6回目 価格戦略—非価格競争論
- 第7回目 価格戦略—管理価格論
- 第8回目 流通経路戦略—商業排除論
- 第9回目 流通経路戦略—流通系列化論
- 第10回目 販売促進戦略—広告と情報
- 第11回目 販売促進戦略—人的販売と営業
- 第12回目 前期まとめ

後期

- 第1回目 市場創造とマーケティング
- 第2回目 マーケティング組織論
- 第3回目 マーケティング活動と経営組織
- 第4回目 製品ポートフォリオ論
- 第5回目 消費者行動論
- 第6回目 ブランドマーケティング①
- 第7回目 ブランドマーケティング②
- 第8回目 日本型消費者のマーケティング
- 第9回目 ウェブマーケティング①
- 第10回目 ウェブマーケティング②
- 第11回目 マーケティングと消費者問題
- 第12回目 後期まとめ

成績評価の方法

レポートを前期と後期に1回課します。基本的には定期試験を評価の対象の主たるものとします。

教 科 書

講義がはじまって指定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営管理論	ひゃく た よし はる 百田義治	短国	4

講義のねらい

21世紀を迎えて、企業経営は大きく変貌しています。IT革命やグローバル化の進展を底流に、20世紀型の規模の経済性を追求したビッグ・ビジネスだけが競争優位を確立できた時代から、コア・コンピタンスを武器に競争優位を発揮するネットワーク型経営が現実化し、産業構造、経営組織、労働組織のあり方を大きく変容させています。グローバルな市場統合はメガ・コンペティション（大競争）を現出し、日本の経営の根本的変革を生みだしています。頻繁かつ大規模な企業再編（合併・提携）、持株会社化、猛烈なリストラ、能力主義・成果主義の台頭・普及など企業経営の変貌が日々マスメディアで報じられています。本講義では、このような激動の中にある企業の経営管理の問題について、その現状と今後の課題について講義します。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代企業と経営管理（経営管理とは何か）
- ②大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム、トヨタ・システム）
- ③経営管理と人間性（人間関係論、行動科学、労働の人間化、モチベーション論）
- ④経営組織の基本問題（官僚制、民主制、など）
- ⑤IT革命とネットワーク型組織
- ⑥グローバル化と企業経営の課題
- ⑦市民社会の成熟と企業の社会性

履修上の留意点

新聞を毎日読んで授業に参加してください。
「ビジネス事例研究」と併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

夏季レポートと学年末試験で評価します。
再試験はありません。

教科書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2005年。
小林俊治・百田義治編『社会から信頼される企業』（中央経済社）2004年。

参考書等

百田義治編著『経営学基礎』（中央経済社）2005年。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割を自動車工業を事例として明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

〈前期の講義概要〉

- I 中小企業の基礎理論、
 - I-1 独占段階固有の中小企業問題、
 - I-2 中小企業の法的規定、
 - I-3 中小企業の経営類型、
 - I-4 中小企業の企業形態、
 - I-5 日本型下請構造の特質、
- II 日本型下請システムの形成過程、
 - II-1 日本経済復活期の生産分業構造、
 - II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化、
 - II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立、

〈後期の講義概要〉

- II-4 自動車大国への飛躍と下請構造の成熟
- II-5 グローバル化と下請構造の大転換
- III 戦後日本の中小企業政策、
 - III-1 復興期の中小企業政策、
 - III-2 高度成長と中小企業近代化政策、
 - III-3 中小企業政策の大転換、
- IV 中小企業の経営問題、
 - IV-1 不公正取引と下請問題、
 - IV-2 中小企業の金融問題

履修上の留意点

中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は学年末試験を基準とし、夏季休暇中のレポートを加味して行なう。また再・追試験は実施します。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。毎年刊行される『中小企業白書』を読んでおくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口論	もりおか 森岡 仁	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況。
再試験を実施する。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

その他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	堀 龍 二	短仏	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用の流動化と雇用形態の多様化
 2. 非正規雇用の拡大と均等処遇
 3. 採用・配置慣行と人事制度
 4. 職能資格制度と人事考課
 5. 賃金制度とその成果主義化
 6. 諸手当、賞与、退職金と企業年金
 7. 労働時間の現状と弾力化
 8. チーム作業方式の特徴
 9. 能力開発と教育訓練とキャリア形成
 10. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

言うまでもないが、他の受講生の迷惑となる私語などの行為は厳に慎むこと。注意してやめない場合は、以後の受講を認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 思 想 史	たか はし ひろ き 高 橋 洋 城	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということが自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念史的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋法制史	きたの 北野かほる	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般の特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	荒 井 登 志 夫	短 仏	4

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で独占禁止法を中心とする経済法の分野はいよいよ重要性を増し、近年、相次いで法改正等が行われあるいは行われようとしています。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①実体経済の動きや歴史的視点をバックに、②規定の意味内容を平易に解説するとともに、③具体的な適用事例を挙げて説明して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕(1～3) 前史、全体像・基本的概念 (4～5) 私的独占 (6～10) 不当な取引制限等 (価格カルテル・入札談合、事業者団体カルテル、官製談合防止法、課徴金) (11～14) 不公正な取引方法・前半
 〔後期〕(15～17) 不公正な取引方法・後半 (景品表示法・下請法) (18) 寡占問題 (独占的状態・価格の同調的引上げ) (19～20) 第四章規定 (株式所有・合併・持株会社) (21～24) 適用除外・域外適用、公正取引委員会、手続規定・訴訟 (25) 国際的環境 (26) 事例研究 (27) まとめ

成績評価の方法

学期末試験の結果と前期末の受講者の提出物の内容に基づいて行います。問題の作成及び成績評価に当たっては、講義に出席し実態的な理解を深めた方が有利になるよう配慮します。

教科書

根岸哲・舟田正之『独占禁止法概説 [第2版]』(有斐閣) 3,800円
 なお、適宜プリントを配付し、理解の促進と新たな情報提供に役立つよう努めます。(六法全書をできる限り持参してください。)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 関 係 論	三 船 恵 美	短 仏	4

講義のねらい

国際関係論の基本的な概念と理論を学ぶとともに、《9・11》以後の国際関係の枠組について講義します。
 国際関係を学ぶ目的の一つは、国際紛争・危機・対立を平和的に処理したり国際平和を維持するためには如何なるシステムを案出していけばいいのか、を考えることです。21世紀の国際関係を見据え、また、国際関係の教訓を探り出すために必要な「基本的な視角」を学ぶことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、国際関係論の基本的な概念 (国際関係のアクター、国益とパワー、安全保障の概念と類型、リアリズム、ネオ・リアリズム、リベラリズム、ネオ・リベラリズム、リアリストとリベラリストの論争) について講義します。後半は、《9・11》以後のアメリカ極支配体制の世界政治的意味合い、《9・11》以後のアメリカ安全保障戦略、中国脅威論とブッシュ政権の対東アジア戦略、中国の対米安全保障戦略について講義します。
 後期前半は、《9・11》以後の国際テロリズム、大量破壊兵器の拡散と国際関係、一極国際システムにおける国連の可能性と限界、台湾問題をめぐる米中関係、アメリカと朝鮮半島、米軍再編と日米同盟、エネルギー戦略と武器拡散から見た中国の対中東関係の強化、東アジア共同体の可能性と限界、上海協力機構から見た中国・ロシア・中央アジア関係、を講義します。後半は、国際関係論の基本的な概念 (ゲーム理論、リンケージ・ポリティックス論、デモクラティック・ピース論、グローバル・ガバナンス論) を講義します。

成績評価の方法

学期末試験 (50%+50%)。ただし、時々教場レポートを課すので、それに学問的誠意をもって解答した学生には、テストの得点に加算点を与えていきます。

教科書

五味俊樹・滝田賢治編『9・11以後のアメリカと世界』(南窓社) 2004年

参考書等

必要に応じて、教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	富井 幸雄 <small>とみ い ゆき おお</small>	短仏	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしみながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版以降を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 紛 争 解 決 法	おう し あん 王 志 安	短 仏	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）（東信堂）2002 2,000円

参 考 書 等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	木川裕一郎 <small>きがわ ゆういちろう</small>	短仏	4

講義のねらい

本講義では、倒産処理制度の中核を構成する破産制度につき、重要な基本概念およびこれに関連する解釈論を学修してもらおう。債務者の財産状況が悪化した場合に、債権債務関係における利害の対立は著しい。その利害対立を調整し、債権者の公平な満足を図るために設けられたのが破産手続である。それは、手続規定たる性格から一見して無味乾燥であるが、その利害対立を調整する仕組みは実にエキサイティングである。近時、倒産件数が急激に増加してきたことから、この領域の知識は社会生活上にも不可欠となりつつある。また、これまでの諸君の実体法に関する知識を実践的に活用する場面としてこの領域は非常に重要である。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回：ガイダンス
- 第2回：倒産処理制度の概要と選択基準
- 第3回：破産法と破産手続
- 第4回：破産手続の主体と機関（1）
- 第5回：破産手続の主体と機関（2）
- 第6回：破産手続の開始要件と開始決定（1）
- 第7回：破産手続の開始要件と開始決定（2）
- 第8回：破産債権の意義・要件・順位
- 第9回：多数債務者関係と破産債権（1）
- 第10回：多数債務者関係と破産債権（2）
- 第11回：破産財団と自由財産
- 第12回：破産者をめぐる法律関係（1）
- 第13回：破産者をめぐる法律関係（2）
- 第14回：賃貸借契約・リース契約と破産
- 第15回：請負契約・雇用契約と破産
- 第16回：その他の特殊契約と破産
- 第17回：取戻権（破産管財人の第三者性に関する法律問題を含む）
- 第18回：別除権と担保消滅請求制度
- 第19回：否認制度（1）
- 第20回：否認制度（2）
- 第21回：否認制度（3）
- 第22回：相殺制度（1）
- 第23回：相殺制度（2）
- 第24回：消費者倒産・国際倒産

履修上の留意点

倒産法（破産法）には、手続的規定のみならず実体的な規定が含まれている。従って、講義を理解するためには、民法・商法などの規定の理解が不可欠である。民商法を学習していない者は、その予習が必要となる。

成績評価の方法

成績は、前期終了後に実施される試験と学年末に実施される定期試験の結果を考慮に入れて評価する。その際には、前者を4割、後者を6割の割合で斟酌する。

教科書

教科書は指定しない。推薦するのは、伊藤真『破産法（第4版）』有斐閣（3月下旬公刊予定）。

参考書等

判例集として、『倒産判例百選（第3版）』別冊ジュリストNo.163（有斐閣）。破産法改正関連の参考書として、『新破産法の実務 Q&A』別冊 NBL97号（商事法務）、小川秀樹編著『一問一答 新しい破産法』（商事法務）。

その他

授業は講義形式で実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たかだみつあき 高田光明	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態で通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要ときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法的重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教科書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 益 企 業 論	すが や みのる 菅 谷 実	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

本講義ではエネルギー、情報通信などの公益企業における政府・企業間関係について学ぶ。具体的には、政府・企業間関係に関わる基礎理論、さらに、公益事業規制の実態も、現実のトピックに関連しながら学んでいく。本講義は応用ミクロ経済学の一分野として位置づけられる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション (1)
〈総論〉
2. 公益企業とは (1)
3. 公益企業規制理論 (2)
4. 公益企業とネットワーク産業 (2)
5. ネットワーク理論 (2)
- 〈企業各論〉
6. エネルギー・水道 (3)
7. 情報通信 (4)
8. 交通・運輸 (4)
- 〈規制課題〉
9. ネットワークアクセス (1)
10. リストラクチャリング (1)
11. 民営化 (2)
12. ユニバーサルサービス (2)
13. 環境問題 (2)
14. NPO の役割 (1)
15. まとめ (1)

履修上の留意点

経済学の基礎知識があることが望ましい。

成績評価の方法

期末試験と平常点

教 科 書

『日本の公益企業』(白桃書房) 2005年3月刊行予定

参 考 書 等

講義の必要に応じて紹介する。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

この講義の目的は現代における管理会計の考え方や計算問題の解き方を理解してもらうことにある。管理会計は財務会計と並ぶ会計学の柱であり、会計学分野の演習を受講する学生はかならず履修してほしい。また、管理会計は経営学とも深く関わっているため、経営学分野の演習を受講する学生もできるだけ履修してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義の小テストを除いた授業計画は以下のとおりである。

- 第1回 管理会計の基礎
- 第2回 管理会計と原価計算
- 第3回 利益計画の意義と体系
- 第4回 短期利益計画における CVP 分析 I
- 第5回 短期利益計画における CVP 分析 II
- 第6回 原価予測
- 第7回 最適セールス・ミックスの決定
- 第8回 経済的発注量 (EOQ) の決定
- 第9回 標準原価計算による原価管理
- 第10回 活動基準原価計算 (ABC)
- 第11回 予算管理
- 第12回 マーケティング管理会計
- 第13回 事業部制の管理会計
- 第14回 原価企画
- 第15回 インテグレートド・コストマネジメント
- 第16回 バランスト・スコアカード (BSC)
- 第17回 業務的意思決定 I
- 第18回 業務的意思決定 II
- 第19回 キャッシュ・フローの計算
- 第20回 設備投資の意思決定 I
- 第21回 設備投資の意思決定 II
- 第22回 資本コストの測定
- 第23回 不確実性下の意思決定
- 第24回 無形資産の管理会計

履修上の留意点

講義の重点は計算問題の解法に置かれるので、かならず電卓を持参すること。周知のように、管理会計における計算問題の多くは、日商簿記1級原価計算および公認会計士第二次試験原価計算の特殊原価調査の分野で出題されるような問題と重なっている。学習上の効果を高めるためにも、まだ「原価計算論」を履修していない者は、できるだけ併せて履修してほしい。

成績評価の方法

全部で5回から6回行う小テストを計20点満点、定期試験を80点満点として、合計100点満点で評価を行う。中間試験および夏休み中のレポートなどは行わないので、安心して下さい。

教科書

テキストは開講時に指示する。
例題および練習問題は授業中に配布する。

参考書等

管理会計の最新理論については次の本に詳しく述べられている。
櫻井通晴『管理会計〔第三版〕』同文館出版。

その他

少しでも疑問な点があれば、授業中でも授業終了後でもかまわないので、積極的に質問すること。最後まであきらめることなく、よい成績が得られるように、粘り強く勉強してほしい。なお、この科目は再試験を実施しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 会計監査の意義と目的 (総論)(1) | 10. 監査人 |
| (1) 監査の必要 (2) 監査の意義 | 11. 監査証拠 |
| (3) 監査の対象 | 12. 監査計画 |
| 2. 会計監査の意義と目的(2) | 13. 内部統制 |
| (1) 監査の目的 (2) 監査思想の変遷 | 14. 試査 |
| (3) 監査の効用 | 15. 監査技術と監査手続 |
| 3. 監査の機能 | 16. 監査調査 |
| 4. 会計上の誤謬と不正 | 17. 監査報告書 |
| 5. 監査の種類 | 18. 連結財務諸表の監査 |
| 6. 会計監査と財務諸表監査 | 19. 中間財務諸表の監査 |
| 7. 我国の監査制度 | 20. システム監査 |
| (1) 証券取引法監査 (2) 商法監査 | 21. 国際監査基準 |
| (3) その他の監査制度 | 22. 現代監査論の動向 |
| 8. 監査基準(1) | (1) 監査概念の拡大化 |
| (1) 必要性 (2) 生成と展開 | (2) 監査保証に程度の差を認める監査概念 |
| 9. 監査基準(2) | |
| (1) 意義 (2) 体系 (3) 一般基準 | |
| (4) 実施基準 (5) 報告基準 | |

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー』(東京経済情報出版) 3,200円

参考書等

大矢知浩司『監査論概説』(白桃書房) 3,300円
田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円
高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円
鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円
三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円
山根忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円
脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	は ^{とり} 羽 ^{しげる} 鳥 茂	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

1990年代以降の長期停滞が長引くなかで、日本の経済システムの問題点およびそれと関連するシステム変換の必要性がさまざまな視点から議論されています。これらの議論を理解し自分の意見を持つためにはそもそも多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生成し、またどのように進化していくのかについての理解が不可欠です。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

前期では企業の内部システムを検討します。企業内コーディネーションの情報効率性比較、企業システムの生成と進化の可能性、雇用契約とインセンティブが主要なテーマです。

後期においては、企業間の競争と合併、コーポレート・ガバナンス、企業金融、政府と企業の関係がテーマになります。

成績評価の方法

後期授業終了後の筆記試験によって成績評価を行います。ただし、課題レポートの提出とその内容も考慮に入れます。

教 科 書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年3,200円

参 考 書 等

講義の進み具合に応じて適時紹介します。

そ の 他

数学が必要な時にはできるだけ解説します。意欲ある諸君の出席を期待しています。この科目は、再試験を実施しません。

Ⅳ 仏教学部開設科目

IV. 仏教学部開設科目

パーリ語初級	〈片山一良〉	515
サンスクリット語初級	〈金沢篤〉	515
チベット語初級	〈松本史朗〉	516
仏教美術	〈村松哲文〉	516
詩	偈 〈休講〉	
原始仏教	〈片山一良〉	517
宗教史	〈長谷部八朗〉	517
インド仏教文化史	〈金沢篤〉	518
真宗学概論	〈渡邊了生〉	518
浄上学概論	〈休講〉	
真言学概論	〈休講〉	
日蓮教学概論	〈庵谷行享〉	519

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
パ ー リ 語 初 級	かた やま いち ろう 片 山 一 良	短 仏	4

講義のねらい

パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は文法全体について講義し、後期は相応部経典『有偈篇』(Sagātha-vagga)を講読する。

履修上の留意点

習得に丁寧であることが望まれる。

成績評価の方法

年度末テスト、および平常点による。

教 科 書

コピーにて配布する。

参 考 書 等

水野弘元『パーリ語辞典』(春秋社)

そ の 他

随時、テープ等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
サ ン ス ク リ ッ ト 語 初 級	かな ざわ あつし 金 沢 篤	短 仏	4

講義のねらい

仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある下記の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際の・基礎的な力を養う。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

平常点と期末・年度末の筆記試験。

教 科 書

J・ゴンダ著『サンスクリット語初等文法』(春秋社)

参 考 書 等

辻直四郎著『サンスクリット文法』(岩波書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
チベット語初級	まつもと しろう 松本史朗	短仏	4

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの(チベット人の著作)を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

授業の中で指示する。(授業初回に必ず出席すること)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教美術	むらまつ てつふみ 村松哲文	短仏	4

講義のねらい

インド・中国・朝鮮・日本の仏教美術について、歴史的な背景と照らし合わせながら概観する。一つのモチーフが時代や国によって変化してゆく過程を考察し、仏像・仏画の基本的な鑑賞法を身につけてもらいたい。

また本講義では、美術作品から制作者の心情に迫り、芸術という側面だけではなく、信仰という側面に留意して話を進める。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕
 仏教美術の世界 (1) 日本・飛鳥時代の仏像 (2～4)
 日本・白鳳時代の仏像 (5・6) 日本・天平時代の仏像 (7～9)
 日本・平安時代の仏像 (10～12) 日本・鎌倉時代の仏像 (13～15)
 〔後期〕
 インド・無仏時代 (16) インド・ガンダーラ仏とマトゥラー仏 (17・18)
 中国・初期の仏像 (19) 中国・敦煌石窟 (20～22)
 中国・雲岡石窟 (23～25) 中国・龍門石窟 (26～28)
 朝鮮・三国の仏像 (29) 朝鮮・統一新羅の仏像 (30)

履修上の留意点

美術館・博物館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。仏教美術関連の展覧会には、必ず足を運ぶこと。

成績評価の方法

定期試験と出席率、レポートなどで総合評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原始仏教	かた やま いち ろう 片山 一良	短仏	4

講義のねらい

原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何か、を原始仏典の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前半は仏伝を紹介しつつ、縁起・四諦の教え、あるいは無常・苦・無我の三相による見方について講じる。後半は原始仏典を読み、とくに中道（八正道）、戒律などの実践について講じる。全体として、智慧と慈悲の教えを「法」と「律」の立場から考えるものである。

履修上の留意点

従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始経典を直接に読むことを勧めたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教史	は せ べ は ち ろ う 長谷部 八朗	短仏	4

講義のねらい

本講義では、古代から近世にかけての日本宗教史の概説を行う予定である。仏教を中心に、修験道、神道、キリスト教など広く諸宗教の歴史的展開を視野に入れて進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタンなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかをみる。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

開講後に決めたい。なお、授業時に1、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教科書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの実用性を望む。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	金沢篤 <small>かなざわあつし</small>	短仏	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
真宗学概論	渡邊了生 <small>わたなべのりお</small>	短仏	4

講義のねらい

自らを「愚禿」と呼び「いづれの行もおよびがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし」と信知する親鸞（1173～1262）。当講義では、その生涯にもふれながら、親鸞浄土教の思想的特色をおさえ、「浄土真宗は大乗のなかの至極なり」と語る彼の「他力念仏道」（「生死出づべき道）を見つめていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①親鸞教学の成立背景にある大乘仏教・浄土教思想の概要
- ②親鸞の生涯
- ③親鸞思想の特徴（親鸞の弥陀身土論・他力廻向義・信心の現生正定聚説、等）
上記のごとく講義をすすめる。

履修上の留意点

履修者には、仏教を学ぶに相応しい受講姿勢を要請する。

成績評価の方法

原則として定期試験により、出席点・平常点を加味する。

教科書

毎講義時にテキストとしてレジュメを配布する。

参考書等

前田専学・山崎龍明編『親鸞入門』（永田文昌堂）、小川一乗著『大乘仏教の根本思想』（法蔵館）。その他の参考書・文献については講義時に説明する。

その他

講義形式を中心とするが、可能であれば質疑応答の場も設けていきたいと思う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日蓮教学概論	おのゑ たに ぎょう こう 庵 谷 行 亨	短仏	4

講義のねらい

日蓮教学の基本的事項を体系的に学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 日蓮教学の本質と課題
日蓮教学の位置づけ
2. 日蓮教学の概念
3. 日蓮教学の本質
4. 日蓮教学の課題
5. 日蓮聖人の思想系譜
法華思想の伝承
6. 釈尊と法華経
7. 天台大師と法華経
8. 伝教大師と法華経
9. 日蓮聖人の法華経観
日蓮聖人の仏教受容
10. 日蓮聖人の法華経受容の特色
11. 日蓮聖人の教義
法華経の信心
- 12～13. 五義
14. 観心
- 15～19. 一念三千
- 20～25. 三大秘法
- 26～. 弘経の方軌

履修上の留意点

受講生各自が主体的に意欲を持って講義に臨んでいただきたい。必ず予習・復習をして着実に学習を進めていただきたい。

成績評価の方法

試験・レポート・学習態度等による総合評価。

教科書

庵谷行亨著
『日蓮聖人教学の基礎』一 (山喜房佛書林) 1,000円+税 ISBN4-7963-0711-7
『日蓮聖人教学の基礎』二 (山喜房佛書林) 1,000円+税 ISBN4-7963-0712-5
『日蓮聖人教学の基礎』三 (山喜房佛書林) 1,000円+税 ISBN4-7963-0713-3
『日蓮聖人教学の基礎』四 (山喜房佛書林) 1,000円+税 ISBN4-7963-0714-1

参考書等

立正大学日蓮教学研究所編『日蓮宗読本』(平楽寺書店)
日蓮宗勸学院監修『宗義大綱読本』(日蓮宗新聞社)
宮崎英修編『日蓮辞典』(東京堂出版)

その他

講義。

